

令和元年度実施事業  
行政評価  
【内部評価（詳細）】

目次

第1章・・・p.1

第2章・・・p.37

第3章・・・p.47

第4章・・・p.77

第5章・・・p.95

第6章・・・p.113

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

## 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

### 第1項 笑顔を生み出す地域づくり(地域協働・コミュニティ)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
<b>(1) 地域コミュニティの支援</b>							
①区会、自治会や各種団体との連携	<b>【01】まちづくり懇談会の実施</b> <b>●行政情報の提供と幅広い意見聴取を行うため、まちづくり懇談会を実施します。</b> ・自治会まちづくり懇談会(町内全72自治会)を実施します。 ・若者や女性等が参加しやすい開催方法を検討します。 ・各種活動団体との懇談会を実施します。 ・未実施の団体に対して懇談会が開催できるよう働きかけをします。 ・各区会が主催する地区懇談会(町内8区会)へ参加し連携を図ります。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) まちづくり懇談会を54自治会で実施。未実施の自治会へは担当職員より開催に向け働きかけを行った。また、各区会主催の町政懇談会に参加した。				
	(今後の取り組み・改善策) 未実施の自治会や各種活動団体との懇談会の開催に向け働きかけを行う。また、若者や女性等が参加しやすい開催方法を検討する。						
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>まちづくり懇談会参加者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	まちづくり懇談会参加者数	人
目標指標	単位						
まちづくり懇談会参加者数	人						
②区会および自治会組織の支援	<b>【02】区会および自治会との連携</b> <b>●地域における公益活動を促進するため、区会および自治会との連携を図るとともに、支援を行います。</b> ・住みよい地域社会活動交付金を交付するとともに、地域の状況に応じた交付金のあり方を研究します。 ・区長会および自治会長会を開催し連携を図るとともに、運営上の相談等に対応します。 ・地区別計画の策定について研究をしていきます。 ・全自治会へ担当職員を配置し、地域と行政との連絡調整を図ります。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) 全ての区会、自治会に対して住みよい地域社会活動交付金を交付。4月、12月に区長・自治会長会を開催。また、全自治会へ担当職員を配置し、地域との連携を図った。				
	(今後の取り組み・改善策) 地域の状況に応じた交付金のあり方、また、地区別計画の策定について研究を行う。						
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>自治会加入率</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標指標	単位	自治会加入率	%
目標指標	単位						
自治会加入率	%						
③人口減少や高齢化が深刻な集落に対する支援	<b>【01】人口減少や高齢化が深刻な集落に対する支援</b> <b>●人口減少等が深刻な地域においても、安心した暮らしを維持するため、集落維持や活性化支援に取り組めます。</b> ・地域活動を行う自主的団体の活動を支援します。 ・生東を考える会と一緒に生東地域の将来を考え、課題解決に向けた活動に取り組めます。 ・外部専門家を活用し、地域が元気を取り戻す支援を行います。 ・旧東小学校の具体的活用を進めます。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) 外部専門家を活用し、月に1回生東を考える会を開催した。生東地域の将来について考えた。旧東小学校の具体的な活用について、いくつかの提案を聴いたが実現には至っていない。				
	(今後の取り組み・改善策) 外部専門家から集落支援員に名称は変わるが、引き続きアドバイザーを活用し、生東を考える会を継続していく。 旧東小学校の具体的活用については、地域とも連携を図りながら有効活用を検討する。						
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>生東地区人口</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	生東地区人口	人
目標指標	単位						
生東地区人口	人						

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) まちづくり懇談会を49自治会で実施した。12月の区長・自治会長会で実施状況を公表したほか、自治会へ直接開催を促した。また、各区会主催の町政懇談会に参加した。 特定のテーマに係る懇談会の開催を求める声が出ている。					進捗状況 (達成状況・課題) △ まちづくり懇談会を49自治会、3団体で実施。各区会主催の町政懇談会に参加した。 自治会等の要望に応じて「防災」「ホストタウン事業」など、特定のテーマでの懇談会の開催も行った。		基本事業の成果指標 C 行政情報の周知という面では、まちづくり懇談会や区長・自治会長会等を通じて幅広い情報のお知らせができた。 まちづくり懇談会参加者数は目標値を下回り、懇談会の開催趣旨や方法についての見直しが必要。	
(今後の取り組み・改善策) 自治会の課題をテーマにした懇談会の開催について、自治会と相談する。					(今後の取り組み・改善策)			
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明		
1,263	1,140	1,128	1,128	1,053	1,300	全人口の約1割とします。		
(達成状況・課題) 住みよい地域社会活動交付金の算定基準を改訂し、翌年度から交付金を増額することとした。4月、12月に区長・自治会長会を開催した。また、全自治会へ担当職員を配置し、地域との連携を図った。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 住みよい地域社会活動交付金を区会・自治会へ交付した。 区長・自治会長会を4月と12月に開催して行政情報等の情報共有をした。		次期計画の方向性 拡大・改善 町と区会・自治会等との連携について、「行政情報の提供」から「住民との意見交換・相談」という双方向での連携となるよう、まちづくり懇談会の開催方法や区会・自治会運営支援の在り方を見直す。	
(今後の取り組み・改善策) 区会の財政状況を分析し、交付金について検討を行う。					(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 自治会への新規加入がある一方で、高齢等を理由とした脱退もあり、その対応が必要である。転入手続きの際に使用する自治会案内チラシを改訂した。 自治会集会所整備事業補助金により、15件の集会所の整備を支援した。					進捗状況 (達成状況・課題) △ 自治会アンケートを実施し、自治会運営の状況把握を行った。転入時の自治会加入の案内チラシを見直し改訂した。 集会所整備補助金交付数13件。		基本事業の成果指標 C 集会所整備などのハード面の支援は継続的に行うことができた。ソフト面では、転入者に対する自治会加入促進を住民税務課と連携して進めたが、脱退や役員の負担軽減などの課題に対しては具体的な支援には至らなかった。	
(今後の取り組み・改善策) 区・自治会等へ依頼する業務の負担について検討を行う。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 拡大・改善 役員の負担増、加入者数の減少など、自治会の直面している課題に対する支援・相談を、全国的な取り組み例も研究しながら、具体的に検討する。	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明		
79.5	77.4	77.4	75.1	73.7	80	減少傾向にある現状を鑑み、現状水準を維持します。		
(達成状況・課題) 生東を考える会の月例開催を継続して支援した。旧東小学校の活用について、地域おこし協力隊員による活用が拡大しつつある。					進捗状況 (達成状況・課題) △ 生東を考える会の開催支援を行った。住民が主体となった旧東小学校の活用の支援を行った。		基本事業の成果指標 C アドバイザーとともに、月に1度のペースで地域住民と地域の将来について意見交換を行った。住民が主体となった旧東小学校の活用に対する町の支援の在り方について、一定の方向性を出した。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続きアドバイザーを活用して、継続して生東を考える会の開催を支援する。また、この手法のほか地区普及を検討する。 旧東小学校の具体的活用については、民間と行政の多目的な利用形態について進めていく。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 拡大・改善 旧東小学校の活用拡大を1つの手段とし、地域おこし協力隊や集落支援員を配置して、人口減少や高齢化などの課題に対して持続可能な地域づくりを考え進めていく。	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明		
484	461	447	421	401	450	現状推計の減少人数を半分にとどめます。		

(2) 住民参画の推進			
①開かれた行政と住民参画	<b>【01】まちづくり出前講座の開催</b> ●住民が町政に関する情報に関心を持ち理解を深めてもらうため、町職員が住民のもとへ出向き、町政に関する知識や課題等を説明するまちづくり出前講座を開催します。 ・住民からの要請によるもののほか、メニュー等PRを行い開催を促します。 ・長野県および各種団体の出前講座とも連携し、幅広いメニューを提供できるようにします。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) 4月の区長・自治会長会において「まちづくり出前講座」のメニューを提示してPRを行い、まちづくり懇談会と同時開催したものと合わせ85回の講座を開催。 (今後の取り組み・改善策) 外部団体として現在は長野県のメニューを提供しているが、開催希望の多い地域団体(社協や交番など)を新たに加え、ニーズに合ったメニューを提供できるよう改善していく。
	目標指標 出前講座開催数	単位 回	
②住民参画機会の充実	<b>【01】審議会等への住民参加の充実</b> ●住民要請に適切に対応した施策を実現するため、審議会等委員への公募等住民参加の機会を設けます。 ・「附属機関等の委員の公募に関する要綱」を推進します。 ・委員公募実施状況を公表します。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 要綱の適正運用について、H29.3月にグループウェアにて周知を行った。平成28年度の委員公募実施状況について取りまとめが4月現在でまだできていないため、5月末までに実施するよう事務を行う。 (今後の取り組み・改善策) 引き続き職員へは要綱の適正運用を呼びかけるとともに、公募実施状況について公表を行っていく。
	目標指標 審議会等の公募委員募集定数	単位 人	
③自主的なまちづくり活動の支援	<b>【01】まつかわ町民提案型まちづくり事業の推進</b> ●地域の実情に即した公益活動や、まちの活性化とにぎわいの創出を促進するため、住民が新しい発想に基づき、自主的に行うまちづくり事業を支援します。 ・区会、自治会等へ補助金制度を周知します。 ・広報紙、メディアを通じて交付団体の活動について情報発信します。 ・まちづくり活動の団体に対して運営上の相談、支援を行います。 ・財源のふるさと基金の活用方針を検討します。 ・実績報告会を開催し、活動団体同士の情報共有、意見交換の機会を設けます。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) 制度の周知を4月の区長・自治会長会、またまちづくり懇談会の中でPRを行った。また、交付団体の活動内容について、広報紙などで紹介した。また、実績報告会を3月に開催。 (今後の取り組み・改善策) 制度について、チャンネル・ユニーなどを活用して幅広く周知し、町全体がまちづくり事業に参加しやすい環境を整える。 ふるさと基金の活用方針について検討を行う。
	目標指標 まつかわ住民提案型まちづくり事業採択件数	単位 件	

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) 新たに外部団体(社協、日赤、交番、消防)を追加し、「まちづくり出前講座」のメニューを4月区長・自治会長会でPRした。まちづくり懇談会との同時開催を含め、講座を95回開催した。					進捗状況 (達成状況・課題) △ 出前講座メニューの内容だけでなく、自治会の要望に応じたテーマの講座も開催した。全85回実施。	基本事業の成果指標 C 出前講座開催数の目標値は達成できなかったが、社会の動向や、自治会・各種団体のニーズに応じたテーマを取り入れ、幅広い行政情報の発信や意見交換を行い、社会の変化や情勢、行政課題等について住民との情報共有を進めた。
(今後の取り組み・改善策) ニーズに合った講座の開催と、自治会担当職員等から未実施団体への働きかけを行う。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
156	85	95	85	63	170	現状の実績値に、講座メニューの増加分を見込みます。
(達成状況・課題) 小学生ミニ議会は、学校側の事情により中止となった。中学生と町長との意見交換会は、11月16日に開催した。学年全体での開催を、今年度は2クラスずつとしたことから、町長との親密性が高まった。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 中学校と連携し、「人口減少対策に向けた地域の活性化」をテーマとして中学生と地域学習を行い、町長との意見交換会を実施した。	次期計画の方向性 拡大・改善 行政情報の共有やそれに対する関心を高めるだけでなく、住民が主体的に地域づくりに参画するための事業・仕組みについて考え、実施する。
(今後の取り組み・改善策) 学校サイドからの要望により、中学生のミニ議会の開催を予定している。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) 平成29年度の委員公募実施状況については、平成30年5月に公表した。目標指標について、数値が目標を大きく下回っており、積極的に公募委員を設置するよう、会議の事務局である担当課への働きかけが必要である。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ H30.5月に職員に対し制度の適正な運用を周知した。平成30年度の実施状況については、5月末に公表する予定である。	基本事業の成果指標 B 「松川町附属機関等の委員の公募に関する要綱」及び「松川町附属機関等の会議及び会議録の公開に関する条例」に基づいた運用により、住民参画の機会を創出することにつながった。しかしながら、目標として設定した公募委員募集定数については、附属機関等の数が、当初想定より少なくなってしまったことから、目標値を達成できなかったと推測する。また、会議録の公開については、会議開催の事前公表や実施後の会議録の公開が未実施であることが見受けられ、職員に対しては引き続き適正運用を呼びかける必要がある。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き職員へは要綱の適正運用を呼びかけるとともに、公募実施状況について公表を行っていく。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
18	11	19	18	22	42	「附属機関等の委員の公募に関する要綱」に基づき設置した人数
(達成状況・課題) 町の会議及び会議録等の公開状況について、5月と10月に公表した。公表にあわせて、要綱の適正運用について課長及び職員に対し周知しているが、会議開催の事前公開が未実施である事案が多い。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 公開状況について5月と10月に公表済。公表にあわせて職員に対し要綱の適正運用を及びかけた。	次期計画の方向性 維持継続 開かれた町政を実現するため、住民の知る権利の確保と町政への参加促進を図る必要があることから、これまでと同様に要綱に基づいた適正な運用が求められる。
(今後の取り組み・改善策) 要綱の適正運用について引き続き周知するとともに、人事異動等による認識不足にならないように、課長係長に対して、年度当初の職員研修等で、制度の適正運用を改めて説明する。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) 4月の区長・自治会長会及びまちづくり懇談会の中で事業の周知を行った。活動内容について広報誌で紹介した。また、実績報告会を3月に開催した。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 6件の新規事業を含む全11件の事業採択を行った。3月に実績報告会を開催し、町民と自主的活動事例の共有をした。	基本事業の成果指標 A 事業採択件数は、すべての年度で目標値を達成。住民主体の幅広い地域活動に対して支援を行うことができた。
(今後の取り組み・改善策) 事業の普及のため、チャンネル・ユニーなどを活用する。また、実績報告会への一般参加者拡大のため、広報を強める。ふるさと基金の活用について検討を行う。					(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 住民主体の地域づくりの推進に向け、高校生等若者の参画しやすい事業へ拡大していく。
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
8	8	10	11	7	8	現状実績値ベース(年8件)を目標とします。

第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

②公益的活動の支援	<b>【01】NPO 活動への支援</b> ●公益的活動を推進するため、NPO 法人設立および活動を支援します。 ・長野県と連携し、活動に関する知識や情報の収集および提供を行います。 ・設立後の運営に関しても相談に対応するなど、町と団体との連携を図ります。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) NPO 法人の設立や活動に対する支援を行った。  (今後の取り組み・改善策) 長野県と連携し、活動に関する知識や情報の収集および提供を行います。
<b>第2項 美しく住みよい環境づくり(環境美化・環境衛生)</b>			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 環境美化運動の推進</b>			
①環境美化活動の普及	<b>【01】ごみゼロ運動</b> ●地域の美化を地域が主体的に実施するため、 <b>ごみゼロ運動の推進と普及を行います。</b> ・広報や、ごみ処理等活動の支援を行います。 ・ごみゼロ運動推進協議会を組織し、一斉行動の推進と、団体間の情報交換を行うとともに、幅広い住民の参加について検討します。 ・ごみゼロ運動を通じて「自分のごみは自分で持ち帰る」意識の高揚を図ります。  <b>【02】環境に関する情報提供の充実</b> ●環境問題や環境保全に関する情報を提供するため、 <b>情報の発信・提供を行います。</b> ・環境大使を活用し、環境イベントの開催や、情報発信を行います。 ・住民参加のエコバスツアーを開催します。  <b>【03】学校における環境教育の推進</b> ●児童生徒への環境に関する知識を普及するため、 <b>学校の環境教育を支援します。</b> ・小学校、中学校での環境学習へ、情報提供を行います。 ・環境関係施設見学のコーディネートを行います。 ・資源物回収事業への助成を行います。	環境水道課 環境係	(達成状況・課題) ・ごみゼロ運動・地域環境整備活動を、区・自治会のほか、13団体が実施した。 ・ごみ袋の提供と、分別作業へ職員が協力した。 ・実施状況の広報は実施できなかった。  (今後の取り組み・改善策) ・ごみゼロ運動の実施状況を広報し、取り組みの高揚を図る。  (達成状況・課題) ・新ごみ焼却施設等のごみ処理施設の見学をす るエコバスツアーを催し、23名の参加を得た。 ・参加者から、開催時期が11月で寒いとの意見 が多くあった。  (今後の取り組み・改善策) ・開催時期を検討する。  (達成状況・課題) ・小学生の、水道施設、ごみ処理施設の見学を 受け入れたが、1校1クラスに止まっている。 ・小中学校PTA等資源物回収活動へ、助成を 行った。  (今後の取り組み・改善策) ・年度当初に、学校のニーズ把握や町からの働 きかけが必要である。

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

平成29年度評価		平成30年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) NPO法人の設立や支援活動はなかった。	進捗状況 (達成状況・課題) △ NPO法人の設立や支援活動はなかった。	(達成状況・課題) NPO法人の設立や支援活動はなかった。	基本事業の成果指標 C NPO法人の設立に対する支援については、長野県の主催する研修会等の広報活動にとどまり、具体的な支援の実施はなかった。		
(今後の取り組み・改善策) 法人の設立、支援策等に関する情報の収集及び提供を行う。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 定住対策も踏まえた創業・就業支援の検討が必要。必要に応じてNPO法人の設立や活動支援を行う。		
(達成状況・課題) ・ごみゼロ運動・地域環境整備活動を、区・自治会のほか、8団体が実施した。 ・ごみ袋の提供と、分別作業へ職員が協力した。 ・区・自治会による活動が主で、幅広い町民の参加に至っていない。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・ごみゼロ運動・地域環境整備活動を、区・自治会のほか、5団体が実施した。 ・ごみ袋の提供と、分別作業へ職員が協力した。 ・区長自治会長会の他、町公民館総合広場で開いた。	(達成状況・課題) ・ごみゼロ運動は、実施団体の活動支援を実施できたが、運動が広がっていない。実施時期が5、6月に集中している。 ・エコバスツアーは、農繁期を避けた開催時期で、以前より参加者が増えている。 ・環境大使事業は、過去のイベント開催型から、ポスター、動画作成のメディア活用型に移行した。 ・学校の環境教育は、施設見学、資源物回収活動に限定している。	基本事業の成果指標 B		
(今後の取り組み・改善策) 地区公民館への呼びかけと広報への記事掲載を行う。	(今後の取り組み・改善策)				
(達成状況・課題) ・環境大使事業でポスターを3種類製作した。 ・稲葉クリーンセンター内覧会に合わせ、7月日曜日にエコバスツアーを開催し、72名が参加した。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・環境大使事業で、20.10運動の動画CMを制作し、公開した。 ・7月にごみ処理施設を見学するエコバスツアーを開催し、36名が参加した。	(達成状況・課題) ・環境大使事業で、20.10運動の動画CMを制作し、公開した。 ・7月にごみ処理施設を見学するエコバスツアーを開催し、36名が参加した。	次期計画の方向性 縮小・廃止 ・ごみゼロ運動は、無理のない範囲で交流人口の多い秋期など年間を通じた活動の取り組みを住民に幅広く呼びかける。ごみゼロ運動(環境整備活動)での新型コロナウイルス感染防止対策を支援する。 ・エコバスツアーは、啓発効果を高めるため、分別に課題のあるごみを主体に計画する。 ・環境大使事業は、広報大使への統合を検討していく。 ・児童生徒の環境教育の取組主体は学校であるため環境水道課は、必要に応じて支援を実施する。		
(今後の取り組み・改善策) 29年度は内覧会に合わせた時期となったが、30年度は適期に開催できるよう検討する。	(今後の取り組み・改善策)				
(達成状況・課題) ・小学生の水道施設及びごみ処理施設見学を1校1クラス受け入れた。 ・小中学校PTA等の資源物回収活動に助成を行った。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・小学生の水道施設及びごみ処理施設見学を1校1クラス受け入れた。 ・小中学校PTA等の資源物回収活動に助成を行った。	(達成状況・課題) ・小学生の水道施設及びごみ処理施設見学を1校1クラス受け入れた。 ・小中学校PTA等の資源物回収活動に助成を行った。			
(今後の取り組み・改善策) 継続して支援を実施する。	(今後の取り組み・改善策)				

(2) 環境保全					
① 環境汚染の防止					
<p><b>【01】大気汚染の防止</b></p> <p>●大気汚染による住環境の悪化を防ぐため、<b>野焼き禁止の普及啓発と、対策を実施します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野焼き禁止に関する、正しい知識の普及を行います。</li> <li>・庭木剪定枝等の処理方法について検討します。</li> <li>・空間放射線量の測定を実施します。</li> </ul>	<p>環境水道課 環境係</p> <p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野焼き禁止について、組合回覧と環境衛生員会議で啓発をしているが、異臭等の苦情があり、当事者へ指導を行っている。</li> <li>・東電福島第一原発事故に係る、基準を上回る蓄積は、測定開始以来見られず、当初の目的は果たしたとして、H28年10月の測定をもって休止とした。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃やすごみの焼却施設がH29年9月から変わる予定である。プラスチックの排出も常にできることから、ごみの野焼き防止を合わせて啓発する。</li> <li>・近隣市町村の状況を調査し、大型の燃やすごみの排出を検討する。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">目標指標</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">単位</td> </tr> <tr> <td>環境汚染(野焼き、煙、異臭、水質汚濁、油流出、騒音等)の苦情件数</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> </table>	目標指標	単位	環境汚染(野焼き、煙、異臭、水質汚濁、油流出、騒音等)の苦情件数	件
目標指標	単位				
環境汚染(野焼き、煙、異臭、水質汚濁、油流出、騒音等)の苦情件数	件				
<p><b>【02】河川等の汚濁防止</b></p> <p>●河川、農業用水等の水質保全のため、<b>水質の監視と、汚濁防止対策を行います。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物最終処分場(生田)の他、旧処分場等の水質検査監視を継続し、公表します。</li> <li>・油類流出事故の際には、速やかに現場処理を行うとともに、原因究明と事故防止の広報を行います。</li> </ul>	<p>環境水道課 環境係</p> <p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して水質検査を実施し、処分場下流域自治会等への結果公表を行っている。</li> <li>・車両事故による油脂流出事故が3件あり、側溝、農業用水利への流出防止を行った。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して実施する。</li> <li>・青年学級水質班の情報提供や協働を行う。</li> </ul>				
<p><b>【03】騒音や悪臭等の防止</b></p> <p>●騒音・悪臭・振動被害の防止のため、<b>調査と対策を講じます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害等発生や苦情に対し、速やかな現地調査を行います。</li> <li>・関係機関と連携し、原因者への改善指導等を行います。</li> </ul>	<p>環境水道課 環境係</p> <p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理施設付近の異臭案件について、その原因調査を行った。また、緊急連絡体制の整備に助言を行った。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所等への苦情に対して、監督機関と共に対応する。</li> </ul>				
<p><b>【04】不法投棄の撲滅</b></p> <p>●不法投棄を撲滅するため、<b>地域住民や事業者とともに対策を実施します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境調査員と連携し、不法投棄の監視と、速やかな対応を行い、再発防止を図ります。</li> <li>・看板、柵、監視カメラ等による抑止の他、捨てられない環境づくりについて、地域と検討し対策を行います。</li> <li>・町内の小売店等と連携した「ポイ捨て」対策を検討します。【新規】</li> </ul>	<p>環境水道課 環境係</p> <p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境調査員のほか住民からの不法投棄通報の際には、速やかな処理及び原因者調査を行った。</li> <li>・原因者判明の際には、警察の協力を得て、再発防止を図っている。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイ捨て対策について、小売店等との連携を検討する。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">目標指標</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">単位</td> </tr> <tr> <td>不法投棄処理件数</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> </table>	目標指標	単位	不法投棄処理件数	件
目標指標	単位				
不法投棄処理件数	件				
<p><b>【05】中央自動車道沿線の被害対策</b></p> <p>●雑草木、騒音等による沿線の被害を防止するため、<b>調査、改善要望活動を行います。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害や支障箇所の調査を行い、道路管理者(中日本高速道路(株))への対策要望を、中央道環境対策協議会を通じて行います。また必要に応じて、直接的に対策を求めます。</li> <li>・被害状況の連絡、調査、対策要求、実施報告など地域との連絡体制を構築します。【新規】</li> <li>・草木対策については、持続効果のある対策について、地域と道路管理者とともに研究します。【新規】</li> </ul>	<p>環境水道課 環境係</p> <p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草、雑木除去について、対策協議会経由、また直接、道路管理者へ依頼を行っている。</li> <li>・騒音対策のため、騒音測定の予備調査を行った。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対策要望の裏付けとなる、騒音測定を実施する。</li> </ul>				



# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) 野焼き禁止について、環境衛生員会議と家庭ごみ分別手引きで啓発したが、煙、臭い等の苦情があり、当事者に指導を行っている。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 野焼き禁止について、環境衛生員会議と組合回覧で啓発したが、煙、臭い等の苦情があり、当事者に指導を行っている。	基本事業の成果指標 B ・環境汚染の苦情に対して、発生後の注意喚起だけでなく、事前の発生防止を呼びかける広報を実施している。 ・通報を受けた不法投棄を速やかに処理しているが、件数は増加傾向であり継続した取り組みが必要である。 ・中央道沿線の環境対策は、随時の苦情要望にも対応している。														
(今後の取り組み・改善策) 燃やすごみでプラスチックの焼却ができることを、野焼き禁止と合わせて啓発する。					<table border="1"> <tr> <td>H26 基準値</td> <td>H28 実績値</td> <td>H29 実績値</td> <td>H30 実績値</td> <td>R1 実績値</td> <td>R1 目標値</td> <td>目標値の説明</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>20</td> <td>現状実績値(当該年度以前3年平均)に、施策による減少(△2割)を見込みます。</td> </tr> </table>		H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明	25	16	19	15	17	20	現状実績値(当該年度以前3年平均)に、施策による減少(△2割)を見込みます。
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			R1 目標値	目標値の説明												
25	16	19	15	17	20	現状実績値(当該年度以前3年平均)に、施策による減少(△2割)を見込みます。														
(達成状況・課題) ・水質検査を継続して実施し、結果を処分場下流域自治会等へ報告している。公民館青年学級水質班と情報提供、意見交換を行った。 ・油流出事故が3件あり、側溝への流出防止を行った。井水関係者からごみ、泡等の苦情が寄せられ、県と合同調査を実施するとともに、広報と音声放送で注意を呼びかけた。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・水質検査を継続して実施し、結果を処分場下流域自治会等へ報告している。公民館青年学級水質班と情報提供、意見交換を行った。 ・油流出事故が3件あり、対応した。井水へのごみ、泡等流出の苦情が寄せられ、音声放送で注意を呼びかけた。	次期計画の方向性 維持継続 ・環境汚染防止のため、引き続き、広報等の対策を行う。 ・不法投棄対策は、対策の継続とともに、海洋プラスチックごみ問題を意識した河川ごみ回収に取り組んでいく。														
(今後の取り組み・改善策) ・継続して実施する。 ・井水の水質保全を環境衛生員会等で啓発する。					<table border="1"> <tr> <td>H26 基準値</td> <td>H28 実績値</td> <td>H29 実績値</td> <td>H30 実績値</td> <td>R1 実績値</td> <td>R1 目標値</td> <td>目標値の説明</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>55</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。</td> </tr> </table>		H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明	38	43	49	55	30	22	過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			R1 目標値	目標値の説明												
38	43	49	55	30	22	過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。														
(達成状況・課題) 騒音2件、異臭1件の苦情があり、現地調査を行い、原因者から事情を聴取した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 煙・異臭2件の苦情があり、現地調査を行い、原因者から事情を聴取した。															
(今後の取り組み・改善策) 苦情の内容により、長野県と共に対応する。					<table border="1"> <tr> <td>H26 基準値</td> <td>H28 実績値</td> <td>H29 実績値</td> <td>H30 実績値</td> <td>R1 実績値</td> <td>R1 目標値</td> <td>目標値の説明</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>55</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。</td> </tr> </table>		H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明	38	43	49	55	30	22	過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			R1 目標値	目標値の説明												
38	43	49	55	30	22	過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。														
(達成状況・課題) ・環境調査員その他の住民から通報を受けた不法投棄を速やかに処理した。状況により警察と情報共有を行った。 ・調査により原因者を特定した場合、再発防止を図っている。 ・小売店等との連携について取り組むことができなかった。					進捗状況 (達成状況・課題) △ ・環境調査員その他の住民から通報を受けた不法投棄を速やかに処理した。 ・小売店等との連携について取り組むことができなかった。															
(今後の取り組み・改善策) ・不法投棄の監視を継続し、速やかに処理を行う。 ・ポイ捨て対策について、小売店との連携を検討する。					<table border="1"> <tr> <td>H26 基準値</td> <td>H28 実績値</td> <td>H29 実績値</td> <td>H30 実績値</td> <td>R1 実績値</td> <td>R1 目標値</td> <td>目標値の説明</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>55</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。</td> </tr> </table>		H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明	38	43	49	55	30	22	過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			R1 目標値	目標値の説明												
38	43	49	55	30	22	過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。														
(達成状況・課題) ・被害や支障箇所について、協議会経由の要望で、又は随時に、道路管理者に対し依頼を行っている。 ・騒音対策要望のため、騒音測定を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・雑草、雑木除去等について、対策協議会経由で要望、随時の苦情要望は道路管理者に直接依頼している。 ・防音壁設置要望箇所の騒音測定を行った。															
(今後の取り組み・改善策) 要望活動を継続する。また、騒音測定に随時対応できるようにする。					<table border="1"> <tr> <td>H26 基準値</td> <td>H28 実績値</td> <td>H29 実績値</td> <td>H30 実績値</td> <td>R1 実績値</td> <td>R1 目標値</td> <td>目標値の説明</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>55</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。</td> </tr> </table>		H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明	38	43	49	55	30	22	過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			R1 目標値	目標値の説明												
38	43	49	55	30	22	過去10年平均に、施策による減少(△2割)を見込みます。														

第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

②その他の環境関係 施策	<b>【01】犬猫等ペットの適正な飼育向上</b> ●ペットに関わる被害を減らすため、 <b>適正な飼育とマナー向上の啓発</b> を行います。 ・犬の登録と狂犬病予防注射を実施します。 ・犬猫の飼い方と飼主のマナーや、講習会の案内を広報します。 ・効果的な野良猫対策について検討します。【新規】	環境水道課 環境係	(達成状況・課題) ・犬の集合注射等の実施を、獣医師会に委託して実施した。 ・県が行う、猫の譲渡会の開催を広報している。
	<b>【02】町営墓地の適正な管理</b> ● <b>霊園の適正な環境維持のため、管理運営</b> を行います。 ・墓地区画の使用許可、継承に関わる事務を行います。 ・霊園管理組合との連携により、園の適正な環境維持を行います。 ・放置された墓地に対する措置について、組合とともに検討します。【新規】	環境水道課 環境係	(達成状況・課題) ・墓地使用者の状況を調査し、遺族等へ継承手続きを督促した。
<b>第3項 環境にやさしい暮らしを育むまちづくり(循環型社会)</b>			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 廃棄物の適正処理</b>			
①燃やすごみの処理	<b>【01】燃やすごみの共同処理</b> ●効率的な「燃やすごみ」の処理を行うため、 <b>南信州広域連合による焼却施設の設置・運営に参画</b> します。 ・分別チェックを継続実施し、不適合ごみの混入を防止するための啓発を行います。 ・次期ごみ処理施設への移行(平成29年12月)に向け、分別、収集等についての検討と周知を行います。	環境水道課 環境係	(達成状況・課題) ・新燃やすごみ施設の稼働に伴う、廃プラ混焼、袋の刷新等を計画した。
	<b>【02】生ごみの減量と堆肥化</b> ●燃やすごみの処理費削減と有効利用のため、 <b>生ごみの資源化を推進</b> します。 ・生ごみ処理機の設置補助と、フードリサイクル事業を行います。 ・フードリサイクル設備の更新については、コスト等を検討します。 ・「捨てられる無駄な食品」を減らす意識の高揚を図ります。	環境水道課 環境係	(達成状況・課題) ・生ごみ処理機導入に19件の補助を行った。 ・フードリサイクル事業を継続して実施しているが、利用者が減少している。 ・宴会時に「無駄なく食べよう30.10運動」を啓発し、役場関係会議で実践した。
		目標指標	単位
		燃やすごみの排出量	t
(今後の取り組み・改善策) ・排出量の増加に対応するため、燃やすごみステーションの集積庫拡張をステーション代表者と協議して進める。 ・廃プラ混焼開始(H29年9月)に向け、町民への周知を、まちづくり懇談会のほか各種会議、広報紙等で行う。			
(今後の取り組み・改善策) ・継続して実施する。 ・燃やすごみの分別変更によるごみの増加について、調査分析を行い、新たな課題抽出を行う。			

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) ・犬の集合注射等の実施を、獣医師会に委託して実施した。 ・県が行う猫の譲渡会について、開催を広報している。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・狂犬病予防集合注射等を、県獣医師会に委託して実施した。休日実施の要望があった。 ・県主催猫の譲渡会の開催を広報している。 ・野良猫対策の事例調査を実施した。	基本事業の成果指標 B ・その他環境関係施策は、概ね適正に実施している。							
(今後の取り組み・改善策) ・狂犬病予防注射の実施について、継続して実施する。 ・野良猫の対策事例について、先行自治体の調査を行う。					/									
(達成状況・課題) 町営墓地(松川霊園)の看板修繕に合わせ、使用者の継承手続きを督促した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・町営墓地(松川霊園)の看板修繕が完了した。 ・墓地使用者の継承手続きを行った。	次期計画の方向性 拡大・改善 ・狂犬病予防注射は、令和元年度より、1日、日曜日実施に変更した。 ・野良猫対策を具体化していく。							
(今後の取り組み・改善策) 調査の結果不明者もあり、組合と連携して対応を検討する。					/									
平成29年度評価					平成30年度評価					総括評価				
(達成状況・課題) ・北部衛生事務協議会により、燃やすごみ袋の刷新を実施した。 ・分別変更について、まちづくり懇談会、広報、チャンネル・ユ一、ポスターなど様々な方法で周知を行った。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・燃やすごみチェックの結果、資源ごみ分別、ごみの減量化について広報を4回行った。 ・南信州広域連合で、ごみ減量キャンペーン実施に向けて協議した。	基本事業の成果指標 B ・稲葉クリーンセンターへの移行による燃やすごみ分別変更は、周知により、大幅な増加を抑えることができたが、資源ごみの混入も認められた。 ・フードリサイクル機器更新費用は高額であり、継続は困難である。 ・「20・10運動」は、県30.10運動と相乗して地域での認知度は高まっている。							
(今後の取り組み・改善策) ・残りの袋の問い合わせ、飯田市の袋での排出があり、啓発が必要である。 ・分別チェックを継続して実施し、町民に情報提供する。					/									
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明								
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値									
1,451 うち廃プラ101	1,498 うち廃プラ88	1,567 うち廃プラ61	1,557	1,643	1,378	H26実績値(燃やすごみと廃プラスチック101tの合計)の5%削減とします。								
(達成状況・課題) ・生ごみ処理機導入の補助を11件行った。 ・フードリサイクル事業を継続して実施しているが、利用者が減少している。 ・「残さず食べよう20.10運動」を町独自に提唱し、忘新年会時期の広報、商工会関係者への協力店の依頼、ポスターの作成等の啓発を実施した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・生ごみ処理機補助を15件行った。 ・フードリサイクル事業利用者が減少している。また、予定外修繕が2回発生した。 ・「20.10運動」は、区長自治会長会、食品衛生協会総会で取組依頼とポスター配布、動画CM作成、忘新年会時期の広報等啓発を実施した。	次期計画の方向性 縮小・廃止 ・適正な分別で排出できるように、広報活動を継続する。 ・フードリサイクル事業は、令和2年度で事業が終了する。終了後の生ごみ減量の取り組みについて検討する。 ・「20・10運動」の広報活動を継続する。							
(今後の取り組み・改善策) ・生ごみ処理機補助は継続して実施する。 ・フードリサイクル利用者アンケートを実施する。 ・20.10運動は、区長自治会長会など啓発範囲を拡大する。					/									

②分別サイクルの推進	<p><b>[01]ごみ分別の徹底</b></p> <p>●ごみの減量と資源化の推進のため、適切なごみの分別・排出の理解と実践を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別方法、収集日について「家庭ごみ排出カレンダー」、広報誌等で周知徹底を図ります。</li> <li>・転入者へ、ごみの排出方法、排出場所等の説明を適時に行います。</li> <li>・処理業者からの報告や内容物チェックから、分別の実施状況を評価分析し、公表します。</li> </ul>	環境水道課 環境係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの総量は、ほぼ横ばいの状況である。</li> <li>・転入手続きの際に、ごみの排出方法、分別について詳しく案内を行っている。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃やすごみの廃プラ混焼による分別変更の周知と合わせ、プラ製容器包装のほか、分別の周知徹底を行う。</li> </ul>
	<p><b>[02]計画的なごみ収集</b></p> <p>●燃やすごみや資源ごみ、埋立ごみ等の収集処理を、年間計画に基づき実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃やすごみ、古紙類、紙製容器包装、プラ製容器包装、廃プラスチック、金物、ペットボトル、ガラスビン、埋立ごみ、粗大ごみ、小型家電、有害ごみ、古衣料の収集運搬処理を実施します。</li> <li>・北部衛生事務協議会により、ごみ指定袋の作成販売を行います。</li> <li>・平成29年12月からの次期ごみ処理施設稼働に伴い、北部衛生事務協議会により、ごみ袋の仕様を変更し、作成販売を行います。【新規】</li> </ul>	環境水道課 環境係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画(ごみ排出カレンダー)どおりの収集、処理を行った。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい燃やすごみ袋の作成、販売の準備作業を行う。</li> </ul>
	<p><b>[03]ごみステーションの管理</b></p> <p>●ごみ排出の利便と分別排出の推進のため、ごみステーションの管理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会の環境衛生員と協力し、ごみステーションの適正な運営を行います。</li> <li>・環境衛生員会議を定期的に開催し、適正なごみ処理の啓発と、情報交換を行います。</li> </ul>	環境水道課 環境係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生員会議、燃やすごみステーション代表者会議を開催し、ごみ排出の現状の理解を求め、また分別収集、ステーションの管理運営の協力をお願いした。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラ収集の廃止、燃やすごみ集積庫の拡張事業など、地元と連携した対応を行います。</li> </ul>
	<p><b>[04]一般廃棄物最終処分場の管理運営</b></p> <p>●埋立ごみの適切な処理を行うため、埋立ごみの減量化を図るとともに、次期処分場計画について研究を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「埋立ごみ」排出の際の「再分別」を啓発します。</li> <li>・処分場搬入ごみの、再分別処理を行います。</li> <li>・処分場の残容量を調査し、次期処分場の計画について検討します。</li> </ul>	環境水道課 環境係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分場の詳細な測量調査を行い、残容量を測定した。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処分場の埋立量の管理を継続して行う必要がある。</li> <li>・処分場の延命のため、一層の分別の徹底を啓発し、不適合物の紹介など広報を行う。</li> </ul>
③事業者におけるごみの適正処理	<p><b>[01]事業系ごみの適正処理</b></p> <p>●事業者のごみは自らの責任において適正に処理することが原則であるため、継続的な適正処理の指導を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文書や広報誌による適正処理の周知を図ります。</li> <li>・現状に応じた調査および指導を実施します。</li> <li>・JA との協力による使用済み容器や廃プラスチック等の有料回収を実施します。</li> <li>・農業用廃棄物処理について、処理方法を明確化し、周知を図ります。</li> </ul>	環境水道課 環境係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の排出があるとの苦情がある。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査が必要である。</li> <li>・事業系一般廃棄物の処理原則について、周知を行う。</li> </ul>

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者への排出・分別説明と合わせて、生ごみ水切り袋の試供品を配布し、ごみ減量化の啓蒙をしている。</li> <li>・小型家電を活用する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加した。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者への排出・分別案内時に水切り袋試供品を配布しごみ減量化の啓蒙をしている。</li> <li>・小型家電及び使用済みインクカートリッジ回収ボックスを設置した。</li> <li>・プラ製容器包装のバール検査結果が悪かった。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量と資源化の取組は進んでいるが、プラ製容器包装の分別に課題がある。</li> <li>・計画に基づくごみ収集を実施できている。</li> <li>・分別変更に伴う、ごみ収集、ごみ袋販売、集積庫拡張は、計画どおり実施できた。</li> <li>・社会福祉協議会と協議をし、ごみ排出困難者に対応するステーションを設置した。</li> <li>・処分場の残余容量調査により、現在の処分場がしばらくの間利用可能であることが判明した。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	基本事業の成果指標	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量と資源化の取組は進んでいるが、プラ製容器包装の分別に課題がある。</li> <li>・計画に基づくごみ収集を実施できている。</li> <li>・分別変更に伴う、ごみ収集、ごみ袋販売、集積庫拡張は、計画どおり実施できた。</li> <li>・社会福祉協議会と協議をし、ごみ排出困難者に対応するステーションを設置した。</li> <li>・処分場の残余容量調査により、現在の処分場がしばらくの間利用可能であることが判明した。</li> </ul>	
基本事業の成果指標	B					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量と資源化の取組は進んでいるが、プラ製容器包装の分別に課題がある。</li> <li>・計画に基づくごみ収集を実施できている。</li> <li>・分別変更に伴う、ごみ収集、ごみ袋販売、集積庫拡張は、計画どおり実施できた。</li> <li>・社会福祉協議会と協議をし、ごみ排出困難者に対応するステーションを設置した。</li> <li>・処分場の残余容量調査により、現在の処分場がしばらくの間利用可能であることが判明した。</li> </ul>						
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>燃やすごみの分別変更に伴い、プラ製容器包装の排出量が減少していることから、分別の周知徹底を行う。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画(ごみ排出カレンダー)どおりの収集、処理を行った。</li> <li>・北部衛生事務協議会により、新しいごみ袋の作成販売を行った。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画(ごみ排出カレンダー)どおりの収集、処理を行った。</li> <li>・北部衛生事務協議会により、ごみ袋は、燃やすごみ排出増により、販売数が増加した。</li> </ul>					
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川清掃と粗大ごみ収集の日程が重なったため、30年度は日程調整を行った。</li> <li>・町民要望により、古紙類及び有害ごみの収集回数を増やす。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役場からステーション代表者に転入者等の新規加入者があることを連絡をしている。</li> <li>・ステーション代表者と協議して、60箇所の燃やすごみ集積庫拡張を行った。</li> <li>・社会福祉協議会と協議をし、ごみ排出困難者に対応する横づなステーションを設置した。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生員会議、燃やすごみステーション代表者会議を開催し、ごみ排出の現状の理解を求め、また分別収集、ステーションの管理運営の協力をお願いした。転入者等の新規加入者を役場から代表者に連絡している。・燃やすごみ集積庫1箇所拡張を行った。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>拡大・改善</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別に関する問い合わせは多く、繰り返し広報を実施していく。</li> <li>・町民要望と実際の収集状況を勘案し、ごみ収集計画を立てる。</li> <li>・地域と連携したごみステーションの管理を行う。</li> <li>・処分場延命のため、資源ごみ混入を減少させる啓発活動を行う。</li> <li>・高齢化が進むにつれ、高齢者のごみ出し支援が今後の課題になると推定される。</li> <li>・災害時の廃棄物処理計画を策定する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別に関する問い合わせは多く、繰り返し広報を実施していく。</li> <li>・町民要望と実際の収集状況を勘案し、ごみ収集計画を立てる。</li> <li>・地域と連携したごみステーションの管理を行う。</li> <li>・処分場延命のため、資源ごみ混入を減少させる啓発活動を行う。</li> <li>・高齢化が進むにつれ、高齢者のごみ出し支援が今後の課題になると推定される。</li> <li>・災害時の廃棄物処理計画を策定する。</li> </ul>	
次期計画の方向性	拡大・改善					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別に関する問い合わせは多く、繰り返し広報を実施していく。</li> <li>・町民要望と実際の収集状況を勘案し、ごみ収集計画を立てる。</li> <li>・地域と連携したごみステーションの管理を行う。</li> <li>・処分場延命のため、資源ごみ混入を減少させる啓発活動を行う。</li> <li>・高齢化が進むにつれ、高齢者のごみ出し支援が今後の課題になると推定される。</li> <li>・災害時の廃棄物処理計画を策定する。</li> </ul>						
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>環境衛生員と連携し、ごみ排出量に応じた対応を行う。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <p>埋立ごみのならし、覆土及び転圧作業に合わせて圧縮廃棄物量の計測を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋立ごみのならし、覆土及び転圧作業に合わせて圧縮廃棄物量の計測を行った。</li> </ul>					
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処分場の埋立量の管理を継続して行う必要がある。</li> <li>・小型家電回収ボックスを設置し、埋立ごみへの混入を減少させ、処分場の残容量の確保を行う。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別方法の変更に合わせて、事業系一般廃棄物の処理方法について、広報まつかわに掲載した。</li> <li>・実態調査は実施できなかった。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報まつかわで家庭ごみの分別啓発記事に合わせて、事業系産業廃棄物(プラ類)は稲葉クリーンセンターに排出できないことを掲載した。</li> <li>・実態調査は実施できなかった。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみの排出について、環境衛生員会議・広報で啓発活動を実施した。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	基本事業の成果指標	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみの排出について、環境衛生員会議・広報で啓発活動を実施した。</li> </ul>	
基本事業の成果指標	B					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみの排出について、環境衛生員会議・広報で啓発活動を実施した。</li> </ul>						
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査の取り組みを検討する。</li> <li>・JAの有料回収の情報共有を行う。</li> <li>・広報等の周知について、継続して実施する。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>維持継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査の取組を研究する。</li> <li>・JAが実施する有料回収について情報収集し、必要に応じて情報提供する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	次期計画の方向性	維持継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査の取組を研究する。</li> <li>・JAが実施する有料回収について情報収集し、必要に応じて情報提供する。</li> </ul>	
次期計画の方向性	維持継続					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査の取組を研究する。</li> <li>・JAが実施する有料回収について情報収集し、必要に応じて情報提供する。</li> </ul>						

第4項 森林の恩恵を次世代へつなぐ里山づくり(林業)			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 森林の整備と林業の振興</b>			
① 森林整備の推進	<b>【01】計画的な森林施業の推進</b> ●森林機能の維持・増進を図るため、 <b>森林の適正な育成や造成を計画的かつ効果的に推進します。</b> ・飯伊森林組合と経営計画の協議・見直しを行います。 ・森林造成事業(間伐等)、町有林保育間伐事業、分収造林保育事業等による森林整備を進めます。	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・池の平地籍町有林について、民間事業とも連携しつつ、観光資源としての周辺整備(森林整備)を進めている。  (今後の取り組み・改善策) ・サル対策にもつながることから、引き続き周辺の森林整備(生息環境整備)を進める。 ・将来を見据えた良質材の生産を図る。
	<b>【02】里山整備の促進と森林の活用</b> ●森林の重要性や恵みを受受できるよう、 <b>地域の里山やおよりの森(清流苑周辺)等を中心に森林の活用を推進します。</b> ・およりの森(森林セラピー基地)を地域協働で整備活用します。 ・植樹祭や森林体験の場を実施します。 ・緑の募金事業を活用した苗木の配布事業等を実施します。 ・竹藪から竹林への整備促進について、検討を行います。【新規】	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・およりの森(森林セラピー基地)整備や植樹祭等により、健康や育成を目的とした利用者が増えている。  (今後の取り組み・改善策) ・およりの森(森林セラピー基地)整備として、植樹祭(大の字広場～マレット場)と植樹後の管理(下刈)を進める。 ・苗木配布や森林体験の場等を提供し、森林の活用を推進する。
	<b>【03】松くい虫駆除事業推進</b> ●松くい虫による被害地域拡大を防ぐため、 <b>被害地の計画的・効果的な伐倒駆除事業、被害地の樹種転換事業を推進します。</b> ・更新伐事業を活用した樹種転換による被害未然防止と被害拡大の抑制を図ります。 ・枯損木や駆除後の風化した材木の活用について検討します。 ・隣接する町村とも情報の共有や連携を図り、被害防止策や駆除方法等について検討します。	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・生東区と部奈区から駆除要望を募り、緊急性・重要性の高いものから伐倒駆除を中心に拡大防止を図っている。  (今後の取り組み・改善策) ・伐倒駆除及び更新伐事業を活用した樹種転換を実施する。 ・補助対象にならない区域の被害木は町の助成制度のPRに努め、実効ある推進を図る。
	<b>【04】森林整備計画の推進</b> ●森林の有する多面的機能を発揮させるため、 <b>森林整備計画の見直しを行います。</b> ・平成30年度から10年間の森林整備計画を策定します。森林経営計画との整合を図ります。 ・林班図の見直しを実施します。(平成30年度)	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・現森林整備計画と現状がどうなっているかの把握と分析をする必要がある。  (今後の取り組み・改善策) ・森林整備計画の見直し策定に向けた準備を進め取り組む。
② 県産材等利用の促進	<b>【01】県産材や間伐材の利活用拡大</b> ● <b>県産材や間伐材の利用拡大を図るため、活用の推進について検討を行います。</b> ・間伐材の払下げにより、薪ストーブ等有効利用を推進します。 ・木質バイオマスエネルギーの活用について検討します。 ・搬出できない間伐材の方策を検討します。 ・町施設整備事業への県産材導入を推進します。	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・林産物払下げによる薪ストーブの材料を求める声が増えてきている。  (今後の取り組み・改善策) ・搬出しやすい里山周辺の間伐を推進することで、払下げ希望者へのニーズにも対応していく。
	<b>【02】特用林産物の振興</b> ●きのこ類等の特用林産物の振興を図るため、 <b>地域や関係団体への支援を行います。</b> ・町有林茸山入山鑑札制度を運用します。 ・松川町林業研究グループや地域住民への支援を行います。	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・鑑札制度2年目は無料対象者を中学生から高校生までに拡大した。 ・3年目に向け、引き続き周知に努め取り組む必要がある。  (今後の取り組み・改善策) ・町外者によるキノコ採取防止と山の魅力を知る機会を提供するため、生田地籍において引き続き町有林茸山入山鑑札制度を実施する。

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

平成29年度評価		平成30年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) ・町有林の整備に合わせ、周辺の私有林の地権者の同意を得て、面的に森林整備を進めている。 ・GPS調査の結果を受け、頻繁にサルが出没した森林の整備を進めている。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 4月に策定した森林経営計画に沿い、予定していた町有林の森林整備が完了した。分取造林保育事業は豪雨災害により林道が被災したことにより、翌年度へ見送る。		基本事業の成果指標	C 計画的に森林整備を実施した。鳥獣害防止や人が訪れやすい里山整備を実施した。
(今後の取り組み・改善策) 森林の間伐を行うことにより、野生動物の「すみか」の解消や、水源涵養に繋がることから、国県補助金や町かさ上げ補助制度を活用しながら、森林整備を進める。		(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) およりの森(森林セラピー基地)の枯損木などを整備したことにより、様々な野鳥や昆虫等が生息する多様性のある森が確認され、各種団体の利用者や、昆虫採取、野鳥の観察等の利用者が増えている。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) およりの森植樹祭を実施し、全域への植樹が完了した。松くい被害木など枯損木の伐採、下草刈りなど行い、森林管理を実施した。清流苑周辺、螢の里周辺整備を実施した。			
(今後の取り組み・改善策) ・およりの森(森林セラピー基地)整備として、大の字広場からマレットゴルフ場までの整備を継続的に進める。 ・町植樹祭、各種団体の植樹活動、苗木配布等により、森林と触れ合う機会を創出する。		(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) ・各区からの要望を受け、緊急性、重要性の高いものから伐倒駆除を実施している。 ・被害が著しい松林については、森林の地権者に対し樹種転換事業を案内し、森林整備を実施した。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 国県補助を活用し、440㎡の松くい虫被害木の伐倒駆除と、53㎡の危険木の伐倒処理を実施した。		次期計画の方向性	維持継続 ・森林経営計画により計画的かつ継続的な森林整備を実施していく。 ・清流苑周辺、フォレストアドベンチャー、ツリードームの運営の連携を図り、森の育児や、管理、遊歩道の整備を進める。 ・樹種転換を周知するなどして、面的な整備が求められる。また、森林環境譲与税の活用により、森林整備を進めるため、森林台帳の整備を進めていく。
(今後の取り組み・改善策) 被害地域の拡大を防止するため、伐倒駆除による対策のほか、更新伐事業を活用した樹種転換の推進を図る。		(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 平成30年度から10年間の松川町森林整備計画を策定した。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 森林整備計画に沿い、森林整備事業を実施した。			
(今後の取り組み・改善策) 松川町森林整備計画に沿った森林整備を実施するため、計画の周知を図る。		(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 林産物払下げを希望する者に対して、町有林の間伐材を案内した。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) どんと焼きなどの地域事業に必要な樹木の要望があり、間伐材を案内した。		基本事業の成果指標	D 間伐材に関しては一部の利用にとどまったため、引き続き林産物の利活用のあり方を研究する。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き、林産物の有効利用の観点から、間伐材と林産物の払下げを希望する者へ間伐材の払下げを行う。		(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 鑑札制度の施策の周知を行った。また、鑑札期間中は職員による見回りを実施した。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 200名を超える申請があり、許可証を発行した。本制度は、私有地への立ち入りを防ぐ役割も果たしている。		次期計画の方向性	維持継続 引き続き、入山鑑札制度を実施していく。
(今後の取り組み・改善策) 町外者によるキノコ採取防止対策など、地域住民からの意見、要望をいただきながら、引き続き、茸山鑑札制度の充実を図る。		(今後の取り組み・改善策)			

第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(2) 林道・治山の整備			
① 林道・治山の整備			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
① 林道・治山の整備	<b>【01】林道の整備</b> ●林道の適切な維持管理のため、危険箇所の改良を推進します。 ・落石等危険度の高い路線の防災工事を計画的に実施します。 ・通常時の点検、維持補修を行います。	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・地元へ要望を取りまとめ必要な林道整備を実施するとともに、日常の管理に努めていく。  (今後の取り組み・改善策) ・林道の適切な維持管理のため、林道整備及び維持補修を実施する。
	<b>【02】治山治水の強化</b> ●水源涵養、保水や土砂流出防止を図るため、治山治水の整備を推進します。 ・危険箇所の早期発見に努め、長野県に対策要望を行います。	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・各地区の要望を現地調査し取りまとめるとともに、県へ要望する。  (今後の取り組み・改善策) ・危険箇所の早期発見と県への対策要望を実施する。【H29雨沢堰堤2基新設予定】
第5項 暮らしを支える交通環境づくり(道路・公共交通)			
① 道路整備の推進			
① 国道および県道整備の促進	<b>【01】国道および県道改良整備の要望活動</b> ●国道および県道の改良促進を働きかけるため、関係市町村で構成する各期成同盟会等と連携して、国および長野県に対して早期実施を要望します。 ・国道153号飯田市座光寺以北の改良計画の策定を、期成同盟会、広域連合、近隣町村等と連携して、国および長野県、JRへ働きかけます。 ・上片桐バイパスの早期ルート決定に向け、引き続き要望活動を活発にし、長野県とルート案の検討協議をします。 ・(主)松川大鹿線しもくり工区の継続的な改良整備と、併せて福与辻からJA生田支所までの二車線化について、期成同盟会とともに長野県およびJRに要望します。 ・(主)伊那生田飯田線宮ヶ瀬橋架け替え工事による早期道路改良を、長野県と連携して推進します。	建設課 建設管理係	(達成状況・課題) 各期成同盟会と連携し、R153や上片桐バイパス、しもくり工区や宮ヶ瀬橋等提言書を提出し要望した。しもくり工区及び宮ヶ瀬橋は継続して事業を実施している。  (今後の取り組み・改善策) 継続して要望するとともに、関係機関へ強く働きかける必要がある。上片桐バイパスは、ルート変更も視野に入れる必要がある。
	<b>② 都市計画の推進</b> <b>【01】松川都市計画の推進</b> ●飯伊圏域の都市計画と整合を図りながら、必要に応じ松川都市計画マスタープランの見直しを行います。 ・都市計画に関する見直しに際しては、都市計画審議会を開催して検討します。 ・都市計画区域の現況や実態、将来見通しを立てる基礎データとするため、都市計画基礎調査を実施します。	建設課 土木係	(達成状況・課題) 松川都市計画マスタープランを作成するため、業者へ作成を委託し、必要な調査関係を実施した。  (今後の取り組み・改善策) 町民の意見を取り入れながら、松川都市計画マスタープランをH30年度に作成できるよう進めていく。土地利用計画と整合を図りながら作成する必要がある。
<b>③ 都市計画街路整備の推進</b> <b>【01】都市計画街路事業の推進</b> ●良好な市街地の形成のため、計画変更を視野に入れた街路整備を推進します。 ・町道59号線について、都市計画街路整備計画を基に交差点改良を実施します。 ・街路事業見直しに向け、計画変更を推進します。	建設課 土木係	(達成状況・課題) 街路事業の見直しを行うため、業者へ見直しのための業務を委託し、必要な調査を実施した。また、59号線の交差点改良を実施するため、地権者へ用地交渉を実施している。  (今後の取り組み・改善策) 街路変更する場合は、現況地権者や新路線地権者への説明責任が発生するため、街路見直しに係る関係地権者への聞き取り調査を行い、H30年度までに見直しができるよう進めていく。また、59号線の改良が実施できるよう、早急に用地確保が必要となる。	



# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) ・豪雨により林道間沢川線の災害復旧を実施した。 ・倒木や崩落土など林道維持管理や舗装補修などの修繕を実施した。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 林道間沢川線の災害復旧事業を進めた。工事の完成は次年度5月までの予定。	基本事業の成果指標 C 通行を妨げることなく、道路管理を実施できた。
(今後の取り組み・改善策) 森林の管理や茸山鑑札制度で林道の利用が多いため、定期的な点検により状況を把握し、林道の維持管理を行う。	(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) 県と各地区からの要望箇所の現地調査を行い、状況把握と情報共有を図った。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 各区からの要望により、県へ治山事業を要望した。上片桐鶴瓶での事業を実施した。	次期計画の方向性 維持継続 継続的に要望していく。
(今後の取り組み・改善策) H30年度雨沢堰堤1基を新設する予定である。継続的に県に対して事業実施の働きかけを行う。	(今後の取り組み・改善策)	
平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
(達成状況・課題) 各期成同盟会と連携し、松川インター大鹿線、飯島飯田線、上片桐バイパス、しもくり工区や宮ヶ瀬橋等の提言書を提出し要望した。しもくり工区及び宮ヶ瀬橋は継続して事業を実施している。R153は、飯島町、中川村及び高森町と改良促進勉強会を発足した。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 各期成同盟会と連携し、松川インター大鹿線、飯島飯田線、上片桐バイパス、しもくり工区や宮ヶ瀬橋等の提言書を提出し要望した。しもくり工区及び宮ヶ瀬橋は継続して事業を実施している。R153は、飯島町、中川村及び高森町と改良促進勉強会を引き続き実施した。上片桐バイパスは先線の計画調査に着手した。	基本事業の成果指標 B 各期成同盟会と連携した要望事項については、事業実施、計画調査が進んでいる。 ・国道153号伊那ハレリア北バイパス改良促進期成同盟会がR元年7月発足し、国・県に改良促進要望。・飯島飯田線 上片桐バイパスは松川インター大鹿線側から着手を県に計画調査要望。・松川大鹿線しもくり工区の事業も県事業にて推進中。
(今後の取り組み・改善策) 継続して要望するとともに、関係機関へ強く働きかける。上片桐バイパスは、計画ルートで要望すると決定したが、松川大橋への取付け道路の検討が必要であり、H30年度に取り組む。 R153は下市田本郷間の改良促進のため連携を強化していく。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 継続して要望するとともに、関係機関へ強く働きかける。上片桐バイパスは、計画ルートで要望と併せ、松川大橋への取付け道路の計画を進める。松川インター大鹿線より南(高森町へのルート)要望を高森町・飯田市と連携し県へ要望。 ・R153は下市田本郷間の改良促進のため期成同盟会発足。4町村同盟会の連携を強化し国・県に要望していく。
(達成状況・課題) 松川都市計画マスタープランを作成するため、業者へ作成を委託しH28年度に実施した町民アンケート調査の結果を反映させ、また、課内会議で検討し、全体的な素案を作成した。	進捗状況 (達成状況・課題) △ 松川都市計画マスタープランを作成のため県の都市計画キャラバンに参加し、指導を受けた。また、庁内協議を行い修正をし計画案を立てた。	基本事業の成果指標 C H28に着手した松川町都市計画マスタープランは、上位計画である第5次松川町総合計画【改定版】との整合を図るため、またR1年度末に完成した都市計画基礎調査結果を反映させるため、R2上半期の計画策定とした。
(今後の取り組み・改善策) 庁内の調整会議を開催し、また有識者による意見を反映させ、県担当課とも協議を進めながら、地区別計画を作成し、H30年度に完成させたい。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 策定した松川町都市計画マスタープランの進捗・管理を行う。
(達成状況・課題) 街路指定の見直しを行うため、業者へ委託し、課内で調整会議を行い、県担当課の指導を受けた。また59号線の交差点改良を実施するため、引き続き地権者へ用地交渉を実施している。	進捗状況 (達成状況・課題) △ 街路指定の見直しを行うため、県の都市計画キャラバンに参加し、指導を受けた。59号線の交差点改良を実施するため、一部用地補償に着手した。引き続き地権者との用地交渉を実施している。	基本事業の成果指標 C H29に着手した街路指定の見直し検討図を作成した。59号線の交差点改良事業は、用地・補償を全地権者と契約した。交通管理者の公安委員会と道路管理者の県との交差点協議が完了した。
(今後の取り組み・改善策) 街路指定を変更する場合は、現況地権者や新路線地権者への説明責任が発生するため、街路指定見直しに係る地権者へ説明等を行い、H30年度までに見直しができるよう進めていく。59号線の改良が実施できるよう、早急な用地確保に努める。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 街路の見直しの都市計画変更決定を進めたい。59号線については、補償物件が移転でき次第、工事に着手する。

第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

<p>④幹線道路および生活道路整備の推進</p>	<p><b>【01】幹線道路および生活道路整備の推進</b>  <b>●計画的な幹線道路整備および地元要望による生活道路整備を推進するため、幹線道路整備計画を再検討するとともに道路整備を推進します。</b>          ・計画的な整備を行うため、幹線道路整備計画を再検討します。          ・国庫交付金事業を利用して町道大草線・神護原線・町谷線の道路改良を実施します。          ・町単道路整備事業を推進します。          ・平成30年までを1期とする定期点検結果に基づいて、橋梁長寿命化計画を見直し、橋梁修繕を実施します</p>	<p>建設課 土木係</p>	<p>(達成状況・課題) 大草線・神護原線・町谷線は計画どおり進行中。都市局所管の116号線はH28年度に完成した。また、町単事業については、計画的に発注し年度内完成となった。橋梁定期点検は計画的に点検しており、橋梁修繕については中央道の跨道橋を実施した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 継続路線の早期完成に向け、関係機関への働きかけ及び早期発注を行う。また橋梁の定期点検を計画的に実施する。町単工事については、採択箇所を減らして1カ所当たりの予算を増額し、着手後早期完成となるよう事業を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="995 568 1455 696"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町道路改良率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	町道路改良率	%
目標指標	単位						
町道路改良率	%						
<p>⑤道路等の環境整備の推進</p>	<p><b>【01】道路等の環境整備の推進</b>  <b>●安全で快適な道路環境を維持するため、道路維持補修や除雪等を実施します。</b>          ・道路舗装、側溝等の小破修繕を実施します。          ・幹線道路法面の除草および支障木の除去を行うとともに、道路支障樹木等の所有者に管理を促します。          ・幹線道路、バス路線の除雪と、融雪剤散布を行います。          ・地域の道路環境整備を支援します。          ・山間地域および過疎地域の環境整備活動については、その範囲や内容について見直しを行います。</p>	<p>建設課 建設管理係</p>	<p>(達成状況・課題) 道路作業員を雇用し、道路修繕や環境美化の早期対応が図れた。また業者と除雪会議を行い、降雪時の連絡体制や除雪対応などを話し合った。なお、地域の皆さんには区長・自治会長を通じて除雪の協力をお願いし、職員が利用するため融雪剤散布機を購入した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 道路の修繕等を行う道路作業員を増員する。またH28年度は降雪による大きな混乱はなかったが、緊急時にも対応できるよう融雪剤をしっかりとストックする。今後地元住民による除雪の協力が必要である。</p>				
<p>(2)利用しやすい公共交通の推進</p>							
<p>①快適な公共交通の維持</p>	<p><b>【01】地域公共交通システムの運営</b>  <b>●交通弱者のため、コミュニティバス等を含めた公共交通システムを運営します。</b>          ・コミュニティバスの運行管理を行うとともに、地域公共交通対策協議会で運営について検討していきます。          ・効率の良い新たなシステムの導入を見据えた検討を行います。</p> <p><b>【02】JR飯田線の利用促進</b>  <b>●通学、通勤者等の公共交通手段であるJR飯田線を維持し、利用促進を図るため、駅舎およびその周辺環境整備等を行います。</b>          ・JR飯田線活性化期成同盟会と連携し、事業実施に協力します。          ・伊那大島駅内で、町および近隣町村の広報紙やパンフレットなどを設置します。          ・伊那大島駅における窓口営業の在り方(継続・廃止・縮小)を検討します。          ・JR飯田線のPR イベント等を実施します。</p>	<p>まちづくり政策課 リニア・公共交通係</p> <p>まちづくり政策課 リニア・公共交通係</p>	<p>(達成状況・課題) コミュニティバスの運行管理について、委託事業者と連携を密に取り、円滑に行った。県の補助事業を活用して交通アドバイザーの派遣を受け、現状のバス運行と今後の進め方についてアドバイスを受けた。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 利用者アンケート、町民アンケート、現状運行のデータ分析等を行い、効率的な運行体系への見直しを行う。</p> <p>(達成状況・課題) 伊那大島駅構内に町の広報紙やパンフレットなどを設置し、利用者へのPRを行った。また、切符等発売職員と協力して花壇へ花を植え駅舎の環境整備を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) JR飯田線活性化期成同盟会と連携して飯田線開業80周年に合わせたイベント等を計画し、飯田線や町のPRを行う。 切符等発売職員の高齢化に伴う、窓口営業の在り方(継続・廃止・縮小)の検討を行う。</p> <table border="1" data-bbox="995 1868 1455 1982"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日あたり乗車人数(伊那大島駅・上片桐駅)</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	一日あたり乗車人数(伊那大島駅・上片桐駅)	人
目標指標	単位						
一日あたり乗車人数(伊那大島駅・上片桐駅)	人						

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) 道路局所管の大草線は計画どおり進行中である。都市局所管の神護原線・町谷線はH29年度に完成した。また町単事業については、計画的に発注し年度内に完成となった。橋梁定期点検は計画的に実施しており、橋梁修繕については中央道の跨道橋2橋を実施した。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 大草線は8月末に郷原工区が供用開始となった。町単事業については、計画的に発注し年度内に完成となった。(一部繰越事業となった。)橋梁定期点検は計画どおり実施し、本年度全138橋の点検が完了し、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。		基本事業の成果指標 A 町道大草線(郷原工区)、神護原線、町谷線の道路改良事業が完了した。地元要望に基づき、町単事業を実施した。また、第1期の定期点検を実施し、松川町橋梁長寿命化計画を策定した。	
(今後の取り組み・改善策) 継続路線の早期完成に向け、関係機関への働きかけ及び早期発注を行う。また、橋梁の定期点検を計画的に実施する。町単工事については、採択箇所を減らして1ヵ所当たりの予算を増額し、着手後早期完成となるよう事業を実施する。					(今後の取り組み・改善策) /		次期計画の方向性 拡大・改善 国交付金事業により、新たな道路整備を推進させる。また、町単事業により、地元要望に沿った道路整備計画を推進させる。また、2期目の定期点検を計画的に実施すると共に、松川町橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に橋梁修繕を実施する。	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
49.2	49.7	50.2	50.6	51.0	50	町道の実延長の1/2とします。		
(達成状況・課題) 道路作業員を増員し、道路修繕や環境美化の早期対応に努めた。降雪対応については、業者と除雪会議を開催し、幹線道路の対応基準や連絡体制について協議した。なお区長・自治会長を通じて地域での除雪の協力をお願いし、危険箇所については、作業員による融雪剤散布を実施した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 道路維持作業を4名体制とし、道路修繕や環境美化の早期対応に努めた。降雪対応として、業者と除雪会議を開催し、幹線道路の早期対応基準を見直した。また区長・自治会長を通じ、地域除雪の協力を依頼した。		基本事業の成果指標 B 道路維持作業の定期実施により、日常的な舗装修繕、側溝清掃、除草作業等、迅速に対応できる体制を整えることができた。	
(今後の取り組み・改善策) 作業効率があがるよう資機材の購入を行う(軽トラック)。降雪時には、スリップ事故も多発しており、従来の除雪方法の見直し(資機材含む)を検討する必要がある。また、降雪時には交通安全への注意喚起を行う必要がある。					(今後の取り組み・改善策) /		次期計画の方向性 維持継続 大雪等の災害時に対応できるよう、地域での除雪体制を呼びかける。道路沿線の樹木管理等、高齢化により困難となる道路環境整備について支援体制を検討していく必要がある。	
(達成状況・課題) コミュニティバスの運行管理を実施した。公共交通利用実態や意見の聴取のため、町民アンケート及び利用者聞き取りを実施した。生田循環線の車両を更新した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 効率的で便利な交通システムについて検討を行い、R1年度より一部新たな運行形態で取り組むことで確認した。大島循環線車両を高校生が描いたデザインを活用したラッピングバスに更新した。		基本事業の成果指標 B コミュニティバスを事故無く運行管理できた。また、伊那大島駅の窓口も一日も滞りなく営業することができ、環境を保つことができた。	
(今後の取り組み・改善策) 調査結果に基づいた、効率的で便利な地域公共交通システムについて検討を行い、実施計画を立てる。					(今後の取り組み・改善策) /			
(達成状況・課題) 伊那大島駅構内に町の広報誌やパンフレットなどを設置し、町のPRに活用した。活性化期成同盟会主催の飯田線スタンプラリー事業に参画した。また、飯田線80周年を記念したアルプス号の運行イベントに参加し、伊那大島駅で町のPRを実施した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 伊那大島駅構内に町の広報誌やパンフレットなどを設置し、町のPRを行った。駅利用者アンケートを行い、当面の窓口開設継続の根拠を得ることができた。		次期計画の方向性 維持継続 交通弱者にとって必要不可欠である地域公共交通を維持する。また、伊那大島駅の窓口営業については、駅を利用される多くの方から維持継続の要望があるため、今後も開設を続ける。	
(今後の取り組み・改善策) 継続して活性化期成同盟会と連携した事業に参画し、飯田線利用のPRを行う。窓口営業の効果について、調査に着手する。					(今後の取り組み・改善策) /			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
794	750	750	720	695	800	現状の水準を維持します。		

第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

<b>(3) 次世代高速交通の整備</b>							
<b>①次世代交通の整備</b>	<b>【01】リニア中央新幹線整備への対応</b> ●次世代高速交通であるリニア中央新幹線を地域活性化へつなげるため、 <b>関係機関、地域住民と連携</b> します。 ・地元住民や関係機関による対策委員会を立ち上げ、整備工事に関する課題抽出や対策を検討します。 ・広報誌により工事の進捗状況の情報発信を行います。 ・事業者に対して工事計画に関する住民説明会の開催を働きかけます。 ・リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会と連携し、事業への協力をします。 ・開通後のまちづくりを見据えた住民による未来を考え話し合う機会を設けます。	まちづくり政策課 リニア・公共交通係	(達成状況・課題) 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会を立ち上げ、3回の対策委員会を開催し、課題等の検討を行った。また、関係する情報を広報誌へ掲載し、住民への情報発信を行った。 JR東海へ説明会の開催を求め、関係する地区において説明会を開催。  (今後の取り組み・改善策) 関係する地域住民や県と連携を図り、事業へ協力する。 開通後を見据えたまちづくりについて、住民が考え話し合う機会を検討する。				
<b>第6項 地域性のある憩いの場づくり(公園・緑地)</b>							
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
<b>(1) 安心して遊べる公園の整備と利用促進</b>							
<b>①安心して遊べる公園の整備と利用促進</b>	<b>【01】安心して遊べる公園の整備と利用促進</b> ●都市公園(町内5箇所)について、利用者が安心して楽しんでもらえるように、 <b>日常点検や環境整備等を実施</b> します。 ・台城公園は、明るく安全に利用していただくため、地元愛護会やボランティア団体と連携して、台城公園整備計画に基づく樹木整理等を実施します。 ・城山公園は、地元愛護会と連携して樹木整備等を実施します。 ・むらやま公園は、リフレッシュタウンまつかわの里等の周辺施設と一体となった公園環境を整備していきます。 ・富士森公園は、樹木整理を行うとともに施設(遊具、トイレ)についてバリアフリー化を進めます。 ・松川公園は、トイレのバリアフリー化を進めます。	建設課 建設管理係	(達成状況・課題) 道路作業員の見回りにより定期的にゴミ拾いや施設管理を実施している。また地元愛護会等の協力を得て、公園管理が行われている。むらやま公園はまつかわの里へ管理委託し、芝の管理を行った。  (今後の取り組み・改善策) 公園管理や遊具管理は今までどおり計画的に実施する。富士森公園のトイレバリアフリーや遊具設置は、地域住民の意向調査をしH29年度に実施する。また、ベットのマーキング等苦情が多く寄せられてきているため、何らかの方法を検討し、マナーの向上を呼び掛ける。  <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標指標</td> <td style="text-align: center;">単位</td> </tr> <tr> <td>都市公園利用団体数(団体)</td> <td>団体</td> </tr> </table>	目標指標	単位	都市公園利用団体数(団体)	団体
目標指標	単位						
都市公園利用団体数(団体)	団体						
<b>第7項 清流の恩恵を次世代へつなぐ水辺環境づくり(河川・水辺)</b>							
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
<b>(1) 安全な河川整備と環境保全</b>							
<b>①河川の整備促進</b>	<b>【01】天竜川、片桐松川、小渋川等の河川整備の促進</b> ●水害のない安全な生活を守るため、 <b>天竜川の無堤防箇所、未整備箇所について工事の早期実施を国および長野県に要望</b> します。 ・片桐松川に、親水性を高める護岸や施設および場所等の設置します。 ・唐沢川の未整備箇所について、工事の早期実施します。 ・河川内に茂った樹木や堆積土砂の除去します。	建設課 建設管理係	(達成状況・課題) 国の直轄事業である片桐松川の床固工と、天竜川の重要水防箇所の整備を国へ要望した。また、飯田建設事務所と唐沢川の現地視察を行い、整備工事を強く要望した。片桐松川の河川内に茂った樹木について、地域住民からの呼びかけにより2月に伐採作業が行われた。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き重要河川の整備事業について、国や県へ事業実施の働きかけを行う。また地域協働による河川内の樹木伐採作業については、町としても今後も協力していくなど地域と連携し河川整備のボランティア活動を継続していく。				
	<b>【02】小河川の改修修繕の促進</b> ●水害のない安全な生活を確保するため、 <b>河川整備を推進</b> します。 ・神護原北地区排水事業を実施します。 ・上大島地区から名子地区へ流れる小河川の改修事業を推進します。【新規】	建設課 土木係	(達成状況・課題) 神護原北地区排水事業は、神護原線道路改良工事と同時期に実施すると通行止めが多く発生することから、改良事業が終了するまで中止している。また、小河川の改修事業は、町単事業及び農地整備課の緊急県単事業により実施した。  (今後の取り組み・改善策) 町単事業により継続して河川改修を実施する。また、緊急県単事業の要望を上げ事業の実施を推進する。				

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) 町対策委員会を2回開催し、課題等の情報共有を行った。また、構成団体へ、工事等による影響の懸念について調査を行った。 生田3区による会議を立ち上げ、埋立候補地の評価検討に着手した。						進捗状況 (達成状況・課題) ○ 生田3区による会議を立ち上げ、埋立候補地の評価検討を行った。また、町対策委員会を1回開催し、3区会議の検討状況を報告し情報の共有を図った。 職員・議員を対象に、リニア開通後の町の将来について考える講演会を開催した。		基本事業の成果指標		C
(今後の取り組み・改善策) 発生土の他事業への活用について検討を進める。リニア開通を見据えたまちづくりについて、住民が考え話し合う機会を設ける。						(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性		維持継続
平成29年度評価						平成30年度評価		総括評価		
(達成状況・課題) 定期的な巡回により、ゴミ拾いや施設管理を実施している。また、地元愛護会等の協力を得て、公園管理が行われている。台城、富士森、城山の樹木整備を実施した。富士森公園のトイレ改築、遊具新設工事を実施した。						進捗状況 (達成状況・課題) ○ 定期的な巡回により、ゴミ拾いや施設管理を実施している。また、地元愛護会等の協力を得て、公園管理が行われている。台城、城山の樹木整備を実施した。松川公園のトイレ改築工事を実施した。		基本事業の成果指標		B
(今後の取り組み・改善策) 公園管理や遊具管理は今までどおり計画的に実施する。H30年度は、松川公園のトイレを改築し、バリアフリー化を図る。公園の樹木整備を継続して実施する。 台城公園は案内看板を新設する。						(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性		維持継続
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
34	29	35	33	35	33	人口推計を鑑みて現状水準を維持します。				
平成29年度評価						平成30年度評価		総括評価		
(達成状況・課題) 国の直轄事業である片桐松川の床固工と、天竜川の重要水防箇所の整備を国へ要望した。39号床固工(松川大橋上流300m)が施工された。昨年に続き(3年目)、片桐松川樹木伐採ボランティア事業が実施された。						進捗状況 (達成状況・課題) ○ 国の直轄事業である片桐松川の床固工と、天竜川の重要水防箇所の整備を国へ要望した。39号床固工(松川大橋上流300m)が施工された。昨年に続き(4年目)、片桐松川樹木伐採ボランティア事業が実施された。飯田建設事務所と唐沢川の現地視察を行い、整備工事を要望した。		基本事業の成果指標		B
(今後の取り組み・改善策) 引き続き重要河川の整備事業について、国や県へ事業実施の働きかけを行う。また地域協働による河川内の樹木伐採作業については、町としても引き続き協力し、地域と連携し河川整備のボランティア活動を進める。						(今後の取り組み・改善策)				
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
40	40	40	42	43	41	計画期間内に1基の完成を見込みます。				
(達成状況・課題) 神護原北地区排水事業は、神護原線道路改良工事と同時期に実施すると通行止めが多く発生することから、改良事業が終了するまで中止している。また、小河川の改修事業は、町単事業及び農地整備課の緊急県単事業により実施した。						進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 神護原北地区排水事業は、神護原線道路改良工事の完了に伴い、事業を再開した。また、小河川の改修事業は、地元要望に基づき町単事業により実施した。		次期計画の方向性		維持継続
(今後の取り組み・改善策) 神護原線道路改良工事が全線完成したことから、神護原北排水事業をH30年度より実施する。						(今後の取り組み・改善策)				
平成29年度評価						平成30年度評価		総括評価		

第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

<p>②河川清掃活動の推進</p>	<p><b>【01】河川清掃活動の推進</b>                  ●河川や水辺の環境を保全し、河川機能を維持するため、河川清掃活動を通して、環境維持と河川環境保全への啓発を行います。                  ・6月に地域住民による町内一斉河川清掃を実施します。                  ・長野県による河川パトロールに協力し、河川環境保全を行います。                  ・ボランティアによるごみ拾い等の環境美化活動を支援します。</p>	<p>建設課 建設管理係</p>	<p>(達成状況・課題) 6月に町内一斉河川清掃を地域住民の協力のもと実施した。国による河川合同巡視及び県による河川パトロールに同行し、見回りによる巡視を行った。  (今後の取り組み・改善策) 地域の河川環境を保持するため、町内河川一斉清掃を実施し、国や県の河川パトロールに協力する。</p>
<p>(2)ため池の保全</p>			
<p>①ため池の保全</p>	<p><b>【01】ため池の保全</b>                  ●安定した農業経営を図るため、老朽化しているため池整備を行います。                  ・土地改良事業により、老朽化したため池の整備を実施します。                  ・ため池耐震改修事業を推進します。</p>	<p>建設課 農地整備係</p>	<p>(達成状況・課題) 町単土地改良事業により部奈のため池改修事業へ補助金の交付を実施した。県の担当者と合同で池の平と閘屋原堤のパトロールを実施した。規模の小さいため池について、耐震診断が必要となってくる。  (今後の取り組み・改善策) 町単土地改良事業によるため池改修事業を推進する。池の平はため池耐震診断を行ったところ改修が必要なかったため、周辺の環境美化に努めることとする。</p>
<p>第8項 安心で安定した水づくり(上水道)</p>			
<p>基本事業</p>	<p>事業の内容</p>	<p>担当課係名</p>	<p>平成28年度評価</p>
<p>(1)安全で、安定した水道水の供給</p>			
<p>①安全安心の水道水の供給</p>	<p><b>【01】水道水質と設備の監視と維持</b>                  ●安全な水道水を、安定して供給するため、水道施設および設備の維持管理と、水質管理を行います。                  ・職員の巡視と監視装置により、浄水施設の運転状況および水質の変化を、常時監視します。                  ・職員の24時間体制による対応を維持し、異常時の速やかな運転調整や、破損修理を行います。                  ・法令に基づいた、水質検査を実施します。                  ・職員の水道技術管理者の資格取得を計画的に行います。                  ・老朽化した監視システムの更新を、継続実施します。</p>	<p>環境水道課 水道工務係</p>	<p>(達成状況・課題) ・定期的な点検と、24時間体制の緊急対応体制を維持し、事故の発生を防いだ。 ・水道技術管理者を1名養成した。 ・監視システムの更新計画を完了した。  (今後の取り組み・改善策) ・継続して法令を順守し、管理・運転を行う。</p>
<p>②安定した水道水の供給</p>	<p><b>【01】福与・部奈地区への連絡管設置【新規】</b>                  ●福与・部奈地区の安定給水のため、宮ヶ瀬橋架け替え事業に併せて、連絡管を施工します。                  ・新橋へ連絡管の添架工事を実施します。                  ・道路改良部分の配水管を整備します。</p>	<p>環境水道課 水道工務係</p>	<p>(達成状況・課題) ・新橋添架の連絡管及び、道路改良部の工事設計を行った。  (今後の取り組み・改善策) ・道路、水道事業双方の計画の円滑な推進のため、建設事務所と連絡調整を密に行い、発注準備を行う。</p>
	<p><b>【02】老朽管の更新計画の推進</b>                  ●耐震対策と破損事故防止のため、老朽配水管の更新工事を実施します。                  ・上片桐地区の老朽管更新を計画に基づき継続します。                  ・上新井、名子地区の老朽管更新計画を策定します。                  【新規】</p>	<p>環境水道課 水道工務係</p>	<p>(達成状況・課題) ・上片桐地区老朽管更新計画が完了した。 ・上新井、名子地区が主となる、大島地区老朽管更新計画を策定した。  (今後の取り組み・改善策) ・大島地区老朽管更新計画を推進する。</p>
	<p><b>【03】バイパス配管の施工</b>                  ●断水の回避や軽減のため、バイパス配管を施工します。                  ・配水管更新時等に合わせ、適地にバイパス配管を計画し施工します。</p>	<p>環境水道課 水道工務係</p>	<p>(達成状況・課題) ・町道116号線の改良に合わせ、バイパス管を施工した。  (今後の取り組み・改善策) ・道路改良等の計画に合わせ、設計施工を進める。</p>

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) 6月に地域住民の協力のもと町内一斉河川清掃を実施した。国による河川合同巡視(天竜川)及び県による河川パトロール(片桐松川)に同行し、河川の巡視を行った。	進捗状況 (達成状況・課題) 6月に地域住民の協力のもと町内一斉河川清掃を実施した。国による河川合同巡視(天竜川)及び県による河川パトロール(片桐松川)に同行し、河川の巡視を行った。	基本事業の成果指標 A 地域住民による町内一斉河川清掃を毎年実施したほか、河川愛護会、下伊那漁協と連携した天竜川の河川清掃、地域区民、事業所を中心としたボランティアによる片桐松川の環境維持作業(雑木伐採)など美化活動が定着し、河川美化の啓発が行われている。
(今後の取り組み・改善策) 地域の河川環境を保持するため、町内一斉河川清掃を実施し、国や県の河川パトロールに協力する。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 定期的活動を確実に実施していくことで、美化意識を継続していく。
(達成状況・課題) 本年度、継続で実施していた部奈のため池改修事業について、計画を前倒して完了することができた。また池の平について県より改善事項として指摘があった堤体の補強について、片桐松川ダムへの排砂を利用した補強を実施した。	進捗状況 (達成状況・課題) 7月豪雨により他県で発生した決壊を受け、急きょため池の緊急点検を実施し、防災重点ため池の見直しを実施した。(新認定4池)その他ため池管理者と立会いを行い、老朽化対策を協議した。	基本事業の成果指標 C 防災重点ため池の見直しによる認定により、国庫補助事業での補修検討も可能となることから実施に向けた一歩となった。
(今後の取り組み・改善策) 池の平については、県指定の重要ため池であることから、ハザードマップの作成を急ぎたい。また、その他のため池については、管理団体などと協議しながら改修・補強などの相談に対応したい。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 ハザードマップの作成を行う。併せて老朽化が進んでいるため池の耐震診断、補修工事の実施に向けた取り組みを行う。
平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
(達成状況・課題) ・定期的な点検と、24時間体制の緊急対応体制を維持し、事故の発生を防いだ。 ・法令に基づいた水質検査を実施している。 ・監視システムの更新計画はH28で完了した。	進捗状況 (達成状況・課題) ・定期的な点検と、24時間体制の緊急対応体制を維持し、事故の発生を防いだ。 ・法令に基づいた水質検査を実施している。 ・監視システムの更新計画はH28で完了した。	基本事業の成果指標 B 定期的な水道施設、設備の巡視と監視装置による監視、職員の24時間体制による緊急対応などにより、適正な管理・運転を行った。
(今後の取り組み・改善策) 継続して法令を順守し、管理・運転を行う。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 安全安心の水道水供給のため、継続して法令を順守し、管理・運転を行う。
(達成状況・課題) ・新橋添架の連絡管及び道路改良部の配水管布設工事を設計済み。	進捗状況 (達成状況・課題) ・新橋添架の連絡管及び道路改良部の配水管布設工事を設計済み。	基本事業の成果指標 B 計画に基づいた工事の実施により、破損事故防止と耐震対策を行った。
(今後の取り組み・改善策) ・道路、水道事業双方の計画の円滑な推進のため、建設事務所と連絡調整を密に行い、発注準備を行う。	(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・計画に基づき、大島地区老朽管更新に着手した。	進捗状況 (達成状況・課題) ・計画に基づき、大島地区老朽管更新を実施した。	
(今後の取り組み・改善策) ・継続して大島地区老朽管更新計画を推進する。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 安定した水道水供給のため、計画に基づき継続して工事を実施する。
(達成状況・課題) ・町道87号線の老朽管更新に合わせ、バイパス管を施工した。	進捗状況 (達成状況・課題) ・清源地一の消火栓設置に合わせ、バイパス管を施工した。	
(今後の取り組み・改善策) ・老朽管更新、道路改良等の計画に合わせ、設計施工を進める。	(今後の取り組み・改善策)	

(2) 上水道事業の経営の安定						
① 上水道事業の健全経営						
	<b>【01】上水道事業の健全経営</b> <b>●事業の健全経営に取り組みます。</b> ・上下水道事業経営審議会を定期的に開催し、経営状況等に意見をいただきます。 ・事業について広報を行い、水道事業への理解を求めます。 ・水道検針・使用料徴収を適正に実施します。 ・未収金の確実な徴収に努めます。	環境水道課 水道管理係	(達成状況・課題) ・水道事業経営戦略を策定し、公表した。 ・水道料金徴収に係る事務を実施している。 ・滞納者への督促のほか、状況に応じて給水停止等の措置などを実施している。  (今後の取り組み・改善策) ・適正な料金徴収を継続して実施する。			
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>上水道有収水量</td> <td>千m<sup>3</sup></td> </tr> </table>	目標指標	単位	上水道有収水量
目標指標	単位					
上水道有収水量	千m <sup>3</sup>					
	<b>【02】水道事業の資産管理の実施</b> <b>●水道事業の永続的な安定経営を進めるため、アセットマネジメント(資産管理)を実施します。</b> ・アセットマネジメントの手法による施設管理を行います。 ・施設等の更新・改良計画を策定し実施します。 ・使用料金の適正化について検討を行います。	環境水道課 水道管理係/水道工務係	(達成状況・課題) ・アセットマネジメント等調査を完了し、水道ビジョンを策定し、今後の水道事業の課題抽出を行った。 ・水道料金の改訂について検討を行う。  (今後の取り組み・改善策) ・水道ビジョンに沿った施設の更新等計画を進める。			
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>上下水道料徴収率</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標指標	単位	上下水道料徴収率
目標指標	単位					
上下水道料徴収率	%					
	<b>【01】危機管理体制の整備</b> <b>●自然災害等緊急時における生活用水供給のため、上水道危機管理体制を整備します。</b> ・松川町地域防災計画と連携した、上水道危機管理計画を策定します。 ・被災状況に応じた、設備の操作および復旧手順について、マニュアル化します。 ・緊急給水のための飲料水袋の備蓄と、給水車の維持を行います。 ・広域の水道施設災害等相互応援に参画し活動します。	環境水道課 水道管理係	(達成状況・課題) ・緊急用飲料水袋、給水車(タンク)を確保している。  (今後の取り組み・改善策) ・町防災計画の更新に沿って、危機管理計画を見直す。			
第9項 生活環境を向上させるまちづくり(下水道)						
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価			
(1) 下水道施設の適正な維持管理						
① 下水道施設の維持管理	<b>【01】下水道処理場の維持管理</b> <b>●放流水質の安定を図るため、処理場の適正な運転と管理を行います。</b> ・処理場の巡視と緊急対応を、専門業者委託により実施します。 ・機器類の故障等に速やかに対応し、不断の汚水処理を行います。 ・公共下水道処理場の固定脱水機の導入を行います。 ・農業集落排水汚泥の濃縮と有効利用について研究します。	環境水道課 下水道係	(達成状況・課題) ・業者委託による24時間体制での運転管理を実施している。 ・公共下水道終末処理場への固定脱水機の導入と電気設備更新、施設の耐震補強のため、調査設計を行った。  (今後の取り組み・改善策) ・平成29年度から固定脱水機、電気設備更新工事に着手する。			
	<b>【02】下水道管路の維持管理</b> <b>●下水道管の事故防止のため、計画的な調査と維持管理を行います。</b> ・下水道管の状況を計画的に調査し、状況により清掃・修繕を行います。 ・マンホールポンプの定期的な点検と清掃・補修を行います。	環境水道課 下水道係	(達成状況・課題) ・管路の簡易カメラ調査を継続して実施している。  (今後の取り組み・改善策) ・継続的な点検調査と、必要に応じた補修、清掃を行う。			



# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) ・上下水道事業経営審議会を2回開催し、経営状況等の報告を行った。 ・滞納者への督促のほか、状況に応じて給水停止措置等を実施している。						進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・上下水道事業経営審議会を開催し、経営状況等の報告を行った。 ・滞納者への督促のほか、状況に応じて給水停止措置等を実施した。適正な料金徴収の継続した実施が必要である。		基本事業の成果指標   B ・上下水道事業経営審議会を定期的に開催し、経営状況等の報告を行った。また適正な料金徴収、老朽施設の計画的な更新等、健全経営に努めた。使用料金の適正化については引き続き検討が必要である。			
(今後の取り組み・改善策) 適正な料金徴収を継続して実施する。						(今後の取り組み・改善策)					
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明					
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値						
1,191	1,216	1,219	1,224	1,191	1,200	過去の実績値および今後の給水人口に基づいた水量を見込みます。					
(達成状況・課題) アセットマネジメントのシュミレーションにより、水道料金の改定を検討した。						進捗状況 (達成状況・課題) ○ アセットマネジメントによる老朽管布設替工事を実施した。		次期計画の方向性   維持継続 引き続き、適切な施設の更新、適正な料金徴収により健全な経営を行い、経営状況の正確な把握に努め、適正な使用料金の検討を行う。 ・コンビニ収納の開始により、徴収率の向上を図る。			
(今後の取り組み・改善策) ・経営状況を鑑みながら適切な料金改定の時期を検討する。 ・水道ビジョンに沿った施設の更新等計画を進め、引き続き事業の健全経営に努める。						(今後の取り組み・改善策)					
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明					
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値						
97.3	98.8	98.5	98.5	98.7	99	過去の実績値(過去5年)からそれ以上を目標とします。					
(達成状況・課題) ・緊急用飲料水袋、給水車(タンク)を確保している。 ・水道施設災害等相互応援による訓練に参加した。						進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・緊急用飲料水袋、給水車(タンク)を確保している。水道施設災害等相互応援による訓練に参加した。 ・緊急時対応マニュアルを作成した。		基本事業の成果指標   B ・緊急用飲料水袋、給水車(タンク)を確保している。緊急時対応マニュアルを作成したが、迅速な対応ができる体制づくりが必要である。			
(今後の取り組み・改善策) 町防災計画の更新に伴い、危機管理計画を見直す。						(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性   維持継続 あらゆる事故、災害の発生に備え、危機管理体制の強化を行う。			
平成29年度評価						平成30年度評価				総括評価	
(達成状況・課題) ・業者委託による24時間体制での運転管理を実施している。 ・公共下水道終末処理場への固定脱水機導入と電気設備更新のため、実施設計を行った。						進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・業者委託による24時間体制での運転管理を実施している。 ・公共下水道終末処理場への固定脱水機導入と電気設備更新工事に着手した。		基本事業の成果指標   A ・処理施設について、専門業者と連携した運転管理、機器類の故障等への迅速な対応により、適正かつ不断の汚水処理を行い、安定した放流水質を保つことができています。 ・公共処理場の固定脱水機導入が完了した。 ・管路施設について、点検を計画的に行い、必要な補修・清掃を実施することで、機能を維持することができています。			
(今後の取り組み・改善策) 固定脱水機設置、電気設備更新工事を平成30年度に実施する。						(今後の取り組み・改善策)					
(達成状況・課題) 管路の簡易カメラ調査を継続して実施する。						進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 管路の簡易カメラ調査を継続実施し、必要な補修、清掃を行った。		次期計画の方向性   維持継続 恒久的な汚水処理の継続には、施設の維持管理及び計画的な点検・補修は必要不可欠であるため。			
(今後の取り組み・改善策) 継続的な点検調査と、必要に応じた補修、清掃を行う。						(今後の取り組み・改善策)					

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

<p>②危機管理体制の整備</p>	<p><b>【01】危機管理体制の整備</b>  <b>●自然災害等の緊急時対応のため、下水道危機管理体制を整備します。</b>          ・松川町地域防災計画と連携した、下水道危機管理計画を策定します。          ・維持管理業者と連携し、運転管理マニュアルを整備します。          ・下水道事業継続計画(BCP)に基づく訓練を実施し、計画の評価や見直しを行います。</p>	<p>環境水道課 下水道係</p>	<p>(達成状況・課題)          ・運転管理を業者と共に確認、実施をしている。          ・業者と下水道事業継続計画に基づく、マニュアル等の確認による訓練を実施した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          ・町防災計画に沿った機器管理計画を策定する。</p>				
<p>(2) 下水道事業の経営の安定</p>							
<p>①下水道事業の安定経営</p>	<p><b>【01】下水道事業の健全経営</b>  <b>●安定した下水道環境を提供するため、下水道事業の健全経営に取り組みます。</b>          ・経営状況の分析をすすめ、使用料金の適正化を図ります。          ・上下水道事業経営審議会を開催し、経営状況の報告と意見をいただきます。          ・下水道加入促進について、調査検討を行います。          ・加入および設備工事に必要な資金借入利子補給を行います。          ・長寿命化計画に基づき、固定脱水機の導入と監視機器の更新を実施します。          ・耐震診断の結果に基づく耐震補強工事を進めます。          ・処理施設の統廃合について研究します。</p>	<p>環境水道課 下水道係</p>	<p>(達成状況・課題)          ・公共、農集事業の経営戦略を策定し、課題抽出を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          ・下水道料金の改訂について、方針策定のほか手続きを進める。</p> <table border="1" data-bbox="995 857 1452 987"> <thead> <tr> <th data-bbox="995 857 1358 904">目標指標</th> <th data-bbox="1362 857 1452 904">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="995 911 1358 987">下水道加入率</td> <td data-bbox="1362 911 1452 987">%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	下水道加入率	%
目標指標	単位						
下水道加入率	%						
<p>(3) 合併処理浄化槽の設置促進と適正管理</p>							
<p>①合併処理浄化槽の設置と適正管理の促進</p>	<p><b>【01】合併処理浄化槽の設置と適正管理の促進</b>  <b>●公共水域の水質改善と生活環境の向上のため、合併処理浄化槽の設置と、適正管理を推進します。</b>          ・合併浄化槽設置整備補助事業を継続して実施します。          ・法定検査、定期点検等の維持管理経費について、集合処理下水道と均衡を図り負担します。          ・合併処理浄化槽設置工事に必要な資金借入利子補給を行います。</p>	<p>環境水道課 下水道係</p>	<p>(達成状況・課題)          ・小型合併浄化槽設置補助を、10件実施した。          ・浄化槽法定点検547件、維持管理補助558件実施した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          ・浄化槽の適正な運転管理のため、点検、維持管理補助を継続する。          ・下水道使用料検討と併せ、浄化槽維持管理補助の見直しを行う。</p> <table border="1" data-bbox="995 1361 1452 1489"> <thead> <tr> <th data-bbox="995 1361 1358 1408">目標指標</th> <th data-bbox="1362 1361 1452 1408">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="995 1415 1358 1489">合併処理浄化槽設置率</td> <td data-bbox="1362 1415 1452 1489">%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	合併処理浄化槽設置率	%
目標指標	単位						
合併処理浄化槽設置率	%						

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

<p>(達成状況・課題) 維持管理業者と連携し、危機管理体制を整備する。</p>						<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 下水道事業業務継続計画の見直しを行い、業者を含めて内容の確認、現地対応訓練を実施した。</p>		<p>基本事業の成果指標 A 関係者と下水道事業業務継続計画に基づく、自然災害発生時の対応確認、現地訓練を実施し、危機管理体制の整備に努めている。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 維持管理業者、組織体制の変更に伴い、下水道事業継続計画の見直し、再確認が必要である。</p>						<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続 災害に対して常に危機管理体制の整備しておくことが必要であるため。</p>	
<p>(達成状況・課題) 上下水道事業経営審議会を2回開催し、下水道事業の経営状況報告と、下水道料金見直しについての検討を行った。</p>						<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・固定脱水機導入、監視機器更新工事及び処理場耐震補強工事に着手した。 ・上下水道事業経営審議会を開催し、経営状況の報告を行った。</p>		<p>基本事業の成果指標 B 下水道事業の安定経営のための必要な収入確保面では、使用料適正化について方向性が出ていない状況である。 経費圧縮面では、処理施設の統廃合について、内部の方向性を決定し、必要な手続き等を進めている。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) ・料金改定について、方向性が決まっていない状況である。将来的な農集統廃合による経営状況の変化も考慮して、検討を進める。 ・長寿命化計画に基づく固定脱水機導入と監視機器の更新を平成30年度に実施する。 ・耐震診断結果に基づく耐震補強工事を平成30年度に実施する。</p>						<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続 下水道経営の安定化には収入確保、経費圧縮が必要不可欠であり、引き続き検討を進めていく必要があるため。</p>	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
82.6	84.6	85.2	85.9	86.8	87	施策による増を見込みます。			
<p>(達成状況・課題) ・小型合併浄化槽設置補助を、10件実施した。 ・浄化槽法定点検557件、維持管理補助566件実施した。</p>						<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・小型合併浄化槽設置補助を、10件実施した。 ・浄化槽法定点検550件、維持管理補助569件実施した。</p>		<p>基本事業の成果指標 B 設置整備事業補助金、維持管理補助金、修繕等経費補助金、法定検査費用の負担により、合併処理浄化槽の設置と適正管理の促進を実施しているが、設置率の目標値には達していない。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) ・浄化槽の適正な運転管理のため、点検、維持管理補助を継続する。 ・下水道使用料検討と併せ、浄化槽維持管理補助の見直しを行う。</p>						<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続 公共用水域の環境保全と公衆衛生の向上には、合併処理浄化槽地区における浄化槽設置率の向上と、浄化槽の適正管理の促進は必要不可欠であるため。</p>	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
76.3	77.7	77.9	78.3	78.5	80	施策による増を見込みます。			

第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

第10項 火災や災害に強い地域力のあるまちづくり(消防・防災)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 防災対策の充実</b>			
① 防災計画の確立	<b>【01】松川町地域防災計画の更新・実施</b> ● 常に有効な防災業務を遂行するため、松川町地域防災計画の見直しを随時行い、防災体制の確立を進めます。 ・町防災会議を定期的開催します。 ・国、長野県等の関係機関と連携し、実態に即した計画となるよう見直しを行います。 ・各課と連携した松川町業務継続計画(BCP)の策定を進めます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 国土交通省から天竜川のタイムラインの提示を受けた。片桐松川を視野に入れた松川町版タイムラインが必要。 地域防災計画は飯田市など先進地の視察を行ったが、国の法律改正など多く、職員のみの手では進めるのに限界がある。業務継続計画の策定は進んでいない。  (今後の取り組み・改善策) 平成29年度には国・県の防災計画の章立てと同じ防災計画を委託して作成したい。地域防災計画の見直しは各課から災害連絡調整員(仮称)を選出してもらい、各課業務内容に整合した防災計画となるよう調整したい。
	<b>【02】減災行動計画の確立</b> ● 災害発生時の減災を図るため、マニュアルの作成を進めます。 ・住民減災マニュアルとなる「命のパスポート」について、随時見直しを行い、効果的な減災情報の提供を行います。 ・避難に関する対策を事前に進めるため、避難所に關する基本的な考え方、避難所運営組織のあり方や活動内容をまとめた「避難所運営マニュアル」の策定を推進します。 ・「災害発生時の職員初動マニュアル」の随時見直しを行い、有事の際に行動できるよう訓練を進めます。 ・「避難勧告等の判断基準及び伝達マニュアル」の随時見直しを行い、近年の異常災害に対応できるマニュアルとします。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 過去の災害で被害のあった場所の視察学習会を地区ごとに行った。平成25年に作成した避難所運営マニュアルがあるが、町民に浸透していない。防災計画の策定に合わせて見直しを行う必要がある。  (今後の取り組み・改善策) 7月に行う防災リーダー研修に現在の運営マニュアルをお渡しし、マニュアルに沿った防災訓練を依頼する。避難訓練後、防災マニュアルの見直し部分を提案いただく様防災組織にお願いする。
	<b>【03】防災マップ等情報の充実</b> ● 防災情報や、避難行動に必要な情報を提供していくため、防災マップ等情報の充実を図ります。 ・土砂災害(特別)警戒区域・天竜川浸水想定区域を主とした防災マップの情報を拡充します。 ・危険箇所、避難施設等の防災案内看板の設置を進めます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 警戒区域等が変更になっているが、防災マップの見直しに着手していない。  (今後の取り組み・改善策) 平成29年度は防災計画を最優先課題として考えている。平成30年度以降、予算の確保を行い進める。
	<b>【04】災害時応援協定の推進・充実</b> ● 応援協定による相互応援要請を円滑に行えるよう、派遣要請手続き、人員、車両、物資等の受け入れおよび活動の供給体制について準備します。 ・町内の民間団体や他の自治体との応援協定の締結により、災害時の協力活動を要請していきます。 ・既締結関係団体と日頃からの情報連絡等を行い、発生時の円滑応援要請ができる体制づくりを進めます。 ・関係機関・供給業者等と災害時応援協定の締結を検討し、物資の備蓄を進めます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) コカコーラに続きダイトードリンクと災害協定を準備している。 蓮田市の災害応援協定に基づき、避難訓練の際に相互で応援訓練を行った。熊本震災の体験者から、新たな協定の必要な業種があることがわかってきた。  (今後の取り組み・改善策) 協定相手を研究し、物資の備蓄、場所の確保などできる民間業者から協定の締結を進めたい。
	<b>【05】非常時備蓄品等の整備</b> ● 自然災害等緊急時に対応するため、災害用備蓄品目や備蓄方法の検討を行い、購入計画の策定をし整備していきます。 ・町の災害用備蓄品の定期管理・購入を行い、緊急時に提供支援できるよう体制整備を進めます。 ・家庭用および、自主防災会の災害用備蓄品の常備化を奨励していきます。 ・自主防災組織施設整備事業補助金等の活用を周知し自主防災会の防災体制の強化を支援します。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 食糧等の備蓄を行った。自主防災組織の補助金を進めた。 賞味期限が近い備蓄品を処分した。自主防災組織の備蓄品が遅れている組織もある。  (今後の取り組み・改善策) 他の自主防災組織の備蓄等を示し、それぞれの自主防災組織で必要と思われるものを用意いただくよう防災リーダー研修会等で行う。

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
<p>(達成状況・課題)</p> <p>松川町地域防災計画の改定について取り組んだ。県及び関係機関の意見集約を行い、毎年改定を行う必要がある。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>平成30年9月に防災会議において松川町地域防災計画について審議し、確定版をホームページ等で公開し周知を行った。</p> <p>○ 業務継続計画については、県の支援により必要事項の洗い出しを行い、各課への照会を完了した。</p>	<p>基本事業の成果指標</p> <p>B</p> <p>松川町地域防災計画を策定したが国・県の計画改正に合わせて随時改定をする必要がある。業務継続計画は、現在策定に向けて準備中である。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>防災計画の改定後に各課へ周知するとともに、業務継続計画の策定を進める必要がある。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <p>防災計画の改定を反映させた避難所運営マニュアルの見直しが必要である。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>防災計画の改定を受けて、緊急性の高いマニュアルの優先順位付けの必要がある。</p> <p>○ 避難所運営マニュアルについては、各区会での状況が異なるため、検証中であり、地区ごとの運営マニュアルの見直しが必要。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>見直し後の避難所運営マニュアルを周知するとともに、避難所運営マニュアルに基づく運営訓練を実施する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>防災・減災対策は年々状況変化があるため決まった対応策の策定ができない状況である。想定される事象等を検討し、各計画マニュアルに反映していく必要がある。防災に対する職員への意識強化の対策が必要。</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <p>生東地区の地区防災マップの作成を進めている。今後、重点地域でマップの作成が必要となる。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>最大浸水想定区域のマップへの反映が急務となる。</p> <p>○ 県の土砂警戒区域変更指定に伴い、内容への反映も検討する必要がある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>地区ごとの避難経路、避難場所等を反映した地区独自のマップ作成に取り組む。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <p>応援協定については、様々な業種に声掛けを行い、進めてきている。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>災害時の応急支援、復旧支援は重要な支援策となるため、協力いただける企業等への災害時応援協定の締結に向け要請していく必要がある。</p> <p>○</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き民間業者との協定締結を進めていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <p>町備蓄品の収納場所の確保について計画を検討した。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>備蓄品の確保には、費用・場所等の課題があり、備蓄倉庫建設に向けて事業を進めてきている。(R1年度詳細設計)</p> <p>○ 必要量の検討を進め、倉庫を有効利用できる量の購入計画を策定する必要がある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>町備蓄品の必要量等の検討を進め、計画的に確保していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	

②地域防災組織の連携強化	<p><b>【01】自主防災組織の強化</b></p> <p>●自主防災組織が、持続的かつ機能的な活動ができる組織とするため、<b>情報共有や学習会等による活動の強化を図ります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技術の情報共有等を行うリーダー研修会を通じ自主防災会のリーダー育成・活性化を図ります。</li> <li>・自主防災組織施設整備事業により施設整備の充実を図ります。</li> <li>・防災アドバイザーの活用により組織に必要な情報を提供していきます。</li> <li>・日本赤十字奉仕団等と連携し、災害時の対応訓練を実施します。</li> <li>・町防災訓練を実施し、地域との連携確認や地域住民が初動時においての行動ができるよう訓練を行います。</li> <li>・自主防災組織への女性の登用を促していきます。</li> </ul>	総務課 危機管理係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>出前講座・防災リーダー研修会等で学習を深めた。過去の災害発生場所の視察を行った。多くの防災リーダーが一年で交代してしまい、減災マニュアル等が引き継がれない。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き防災リーダー研修会や出前講座を通じて知識を深める。日赤奉仕団との連携方法について情報交換をしたい。要望のある避難所マニュアルを提供し、実状に見合うか確認をお願いする。</p>
	<p><b>【02】災害ボランティアセンターとの連携</b></p> <p>●災害時の救援体制を確立するため、<b>災害ボランティアセンターへ職員の派遣を行い、松川町社会福祉協議会との連携によって相互支援を行います。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を共催します。</li> </ul>	総務課 危機管理係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>ボランティアセンターの訓練を共催した。年々充実している。町職員が多く参加しているが、派遣できるのかどうか検討が必要。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>災害時の業務継続計画を策定する中で、町職員派遣の計画を確定する。</p>
	<p><b>【03】消防水利等の整備</b></p> <p>●火災発生時における早急な初期消火と火災に対する防衛体制を高めるため、<b>消防施設整備の推進を図ります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防施設整備事業補助金を活用し、地域で守る消防体制の強化を図ります。</li> <li>・消火栓設置および耐震性貯水槽の自治会設置要望箇所への設置支援を行います。</li> </ul>	総務課 危機管理係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>耐震性防火水槽の補助申請手続き(古町中部・神護原神社)を行った。消火栓の要望個所の決定を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>消防委員会へ相談しながら要望の箇所への設置を進める。</p>
③災害情報伝達システムの整備	<p><b>【01】災害情報伝達システムの整備</b></p> <p>●緊急時の情報を速やかに伝達するため、<b>各種防災情報の伝達方法を研究します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害情報を住民に迅速に提供するため、インターネット、携帯電話、ケーブルテレビなど、多様な情報伝達手段を活用します。</li> <li>・電波法の一部改正による移動系防災行政無線のデジタル化について検討を進めていきます。</li> <li>・気象観測システムを有効活用し、気象災害に備えます。</li> </ul>	総務課 危機管理係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>防災無線システムが5年経過して故障し、更新を行った。アプリの導入を検討したが費用に対する効果が見合わず、見送った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>住民の皆さんに伝達が容易にできるシステムなどの情報収集を行い、有効なものがあったら導入を行いたい。防災無線の維持管理を行う。</p>
④耐震補強の推進	<p><b>【01】住宅耐震改修等の促進</b></p> <p>●地震等での建築物の倒壊被害を最小限に食い止めるため、<b>一戸建て木造住宅等の耐震診断と耐震補強工事等への支援を行います。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震改修補助を行い、地震に強い住宅へ改修を推進します。</li> <li>・危険ブロック塀耐震補助の周知を行い、耐震改修を推進します。</li> </ul>	建設課 建設管理係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>耐震診断をした家庭へ個別訪問をし、結果の報告及び改修の案内を行った。危険ブロック塀耐震補助についてPRしたが、実績はなかった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>住宅の耐震診断及び耐震改修並びに危険ブロック塀耐震補助について、いろいろな方法で周知し、事業の推進を図る。平成29年度からは、住宅耐震改修の上限が増額となったため、その事を強くPRしていく。</p>

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) 自主防災会のリーダーを養成していくことが重要と考える。					進捗状況 (達成状況・課題) 防災リーダーの複数年任務、防災会への女性参画が課題となっているが、申し送り等で改善がされない。 リーダー認定制度等の長期間任務いただける仕組みづくりの検討が必要。	基本事業の成果指標 C 自主防災会への町からの運営支援については、底上げや、簡単に取り組みやすい、また、防災会構成員の防災意識向上が課題となっているが、解決方法が見い出せない状況。 先進事例等を参考に、地域にあった方法での運営支援の検討を行う必要がある。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き自主防災組織の重要性を説明していく。					/	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明 全自治会(72自治会)の6割以上が毎年活用(27年~31年)すること目標とします。
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
183	(33) 216	(40) 256	(38) 294	(30) 324	400	
(達成状況・課題) 年1回の訓練を実施した。 災害発生時の運営協力(日本赤十字社長野県支部との共同訓練)について連携強化を図った。					進捗状況 (達成状況・課題) センター立ち上げについては長年の訓練により定着している状況であるが、町福祉担当職員の派遣体制、連絡体制等の再検討が必要。	
(今後の取り組み・改善策) 松川町社会福祉協議会、日本赤十字社等との連携強化に向け、共同訓練等の計画を検討する。					/	
(達成状況・課題) 補助事業が採択となり、2箇所の事業を実施した。要望のあった消火栓の移設を実施した。 防火水槽の必要性は感じるが、山間部等の条件不利地域への設置方法を検討する必要がある(住宅火災から山林に延焼)。					進捗状況 (達成状況・課題) 消火栓の新設(2基 上片桐)を行った。 水利の不足する地域(生東)への水利確保(自然水利へのセギ、貯水槽、貯水池)の検討を行い、地域と協議を進める必要がある。	
(今後の取り組み・改善策) 山間部等の条件不利地域への設置方法を検討する。					/	
(達成状況・課題) 松川町防災行政無線(移動系)の設備更新計画を進めた。 J-アラート新型受信機の更新計画を進めた。 緊急情報の町民への伝達方法について、様々な方法で構築していく必要がある(データ放送等)。					進捗状況 (達成状況・課題) 移動系防災行政無線デジタル化更新は年度内に完了した。 J-アラート新型受信機、データ放送設備、アプリの配信による防災情報の多重配信により、災害時の避難行動に期待ができる。	基本事業の成果指標 B 災害時の情報伝達整備は一定程度の配備が完了したが、住民へ確実に伝達できるシステムの構築が必要となる。
(今後の取り組み・改善策) 30年度に事業を実施するよう防災無線(移動系)の設備更新計画、データ放送の設備設置計画を進める。					/	
(達成状況・課題) 耐震診断した家庭へ個別訪問をし、結果の報告及び改修の案内を行った(7件)。危険ブロック塀耐震補助については、PRしたが実績につながらなかった。					進捗状況 (達成状況・課題) 耐震診断した家庭へ個別訪問をし、結果の報告及び改修の案内を行った(10件)。危険ブロック塀耐震補助について4件の実績があった。	基本事業の成果指標 B 継続して取り組むことで、地震に備えた住宅等の耐震改修は着実に進んでいる。
(今後の取り組み・改善策) 耐震補助制度のPR方法について再考し、耐震診断10件、耐震改修5件を目途に耐震化率の向上を目指す。					/	
					次期計画の方向性 維持継続	次期計画の方向性 維持継続

(2) 消防活動の充実			
① 消防団活動の充実	<b>【01】消防団活動の推進</b> ●地域バランスの改善と出動態勢の充実が図れるよう、 <b>消防団運営体制を支援</b> します。 ・消防団への住民理解と団員の自覚を促すため、防災体制における消防団の指導的な役割を明確化し、自主防災組織や地域住民に災害時の連携を促していきます。 ・従来の活動に固執することなく、消防団活動や業務を検討し、参加方法や訓練方法の見直しを行います。 ・消防団協力事業所表示制度の普及により事業所との新たな協力体制を構築します。 ・女性消防班による災害予防活動を支援し、日赤奉仕団、消防団救護班と連携した救護訓練の強化を進めます。 ・松川町消防団あり方検討委員会を設立し、消防団運営体制の見直し検討を進めます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 消防団分団改変について団員に説明し、団員の合意が得られた平成30年度に改編の方向が見い出せた。地域の住民への周知が必要となる。  (今後の取り組み・改善策) 来年度統合に向けて、統合を見据えた班編成で訓練を行う。 地域への説明と団員が減少してきた地域の自主防災会と消防設備の維持管理について話し合いを行う。
	<b>【02】機能別団員の任用</b> ●現役団員の平日昼間の出勤率の低さを補うため、 <b>機能別団員としてOB団員による地域支援を強化</b> していきます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 現在51名の機能別団員が活躍している。消防団改編になっても昼間の出勤率を確保するため、引き続き機能別団員の確保が必要である。  (今後の取り組み・改善策) 機能別団員を継続する。
	<b>【03】消防活動組織の支援</b> ●消防団の活動を継続していくために、 <b>組織活動に対する支援</b> を行います。 ・消防団車両の更新や、配備について計画的に進めます。 ・消防団員の装備品について、活動の手助けとなるよう計画的に装備の充実を進めます。 ・住宅用火災警報器の普及啓発を行います。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 団員の福利厚生について、各課・商工会など支援協力をお願いした。団員報酬の改正を行った。 2号車の更新を行った。ライト・雨具などを更新した。  (今後の取り組み・改善策) 平成29年度は1号車の更新を行う。防火服雨具など備品の更新を行う。
	<b>【04】消防署と消防団との連携強化</b> ●地域住民・消防団員の災害応急対策に対する知識・技術の習得、普及啓発を行うため、 <b>飯田広域消防高森消防署による指導講習の開催、合同訓練を共催</b> します。 ・火災時の情報伝達、災害現場における指揮命令系統の統一、現場の役割分担の徹底により、災害対応の体制を整えます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 春・秋の訓練・操法大会など飯田広域消防高森消防との連携を行った。  (今後の取り組み・改善策) 技術向上のための訓練を引き続き行う。
② 水防活動の充実	<b>【01】水防活動の充実</b> ●大雨による河川の氾濫や雨水の流入等の災害に対応するため、 <b>水防訓練の実施により土のう積等の水防工法の技術習得</b> を行います。 ・気象情報や河川水位情報の収集・伝達経路の確認等、水害に係る知識の普及、啓発を行います。 ・自主防災組織に対し水害に備えた避難活動等の研修会を実施します。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 水防訓練を平成29年度から行わないことにした。知識の継承が必要となる。 タイムライン松川版(小河川等)を作成する必要がある。  (今後の取り組み・改善策) 秋の訓練時に学習会として取り組む。 大雨による災害情報避難活動等を出前講座の中で取り入れたい。気象庁の発表基準についても広報をする。



# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

<p>(達成状況・課題) 平成30年4月の統合に向け、1年かけて試行的に訓練や事業を行ってきた。出された課題や意見については、その都度調整を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) 2分団体制がスタートし1年が経過する。 ○ 方面隊活動及び分団活動における課題については今のところ出されていないが、今後の副団長選出方法について、また、定数調整について協議を進める必要がある。</p>	<table border="1"> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>B</th> </tr> <tr> <td colspan="2">分団統合により、幹部団員の負担軽減に効果はあったが、常時活動できる団員の減少により、負担は増えてきている。事業及び訓練内容の見直し、改善により活動しやすく、また緊急時の救援活動に協力していただける体制、環境づくりが必要となる。</td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	分団統合により、幹部団員の負担軽減に効果はあったが、常時活動できる団員の減少により、負担は増えてきている。事業及び訓練内容の見直し、改善により活動しやすく、また緊急時の救援活動に協力していただける体制、環境づくりが必要となる。	
基本事業の成果指標	B					
分団統合により、幹部団員の負担軽減に効果はあったが、常時活動できる団員の減少により、負担は増えてきている。事業及び訓練内容の見直し、改善により活動しやすく、また緊急時の救援活動に協力していただける体制、環境づくりが必要となる。						
<p>(今後の取り組み・改善策) 統合後の団員ケアを重点的に監視していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題) 機能別団員の活躍(火災出動の初期消火)は大変重要となっており、団員活動の負担軽減等を検討しながら、機能別団員との役割を明確にしていく必要がある。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 昼間の消火活動においては、機能別団員の協力が大きく影響している。団員への負担軽減には有効となる制度ではあるが、自主防災組織と連携した活動に移行できる態勢整備が必要となる。</p>					
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き機能を絞った団員活動をお願いしていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題) 1号車の更新が完了し、団員活動用の雨具の配備を進めた。 消防団員装備品基準に基づき装備品の計画的配備を検討する必要がある。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 防火服の更新、小型ポンプの更新を完了した。</p>	<table border="1"> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>維持継続</th> </tr> <tr> <td colspan="2">消防団備品、配備品の更新等については、団員安全確保の為に計画的に進めていく必要がある。国の基準(消防団の装備の基準)に併せた整備計画を進めていく必要がある。(救助資機材)</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	消防団備品、配備品の更新等については、団員安全確保の為に計画的に進めていく必要がある。国の基準(消防団の装備の基準)に併せた整備計画を進めていく必要がある。(救助資機材)	
次期計画の方向性	維持継続					
消防団備品、配備品の更新等については、団員安全確保の為に計画的に進めていく必要がある。国の基準(消防団の装備の基準)に併せた整備計画を進めていく必要がある。(救助資機材)						
<p>(今後の取り組み・改善策) 中長期的な視点から、車両更新計画、装備品配備計画等の計画の検討を行う。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題) チャレンジ防災48を活用し、水防技術、救助技術講習を開催した。 年間行事の中で、高森署と連携して技術訓練等を実施した。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 消防署との技術講習、救急救助講習について、定期的に行うことで、団員の技能レベル維持に効果がある。</p>					
<p>(今後の取り組み・改善策) 消火技術や救護技術等が複雑かつ高度化となっており、引き続き指導的立場の幹部が習得し、継承していく方法を行っていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題) チャレンジ防災48を活用し、水防技術、救助技術講習を開催した。 ロープワークや工法等の知識習得は引き続き行っていく必要がある。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 水防技術の維持については、定期的に実施した。活動団員の減少により水防工法等の対応について検討が必要である。</p>	<table border="1"> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>B</th> </tr> <tr> <td colspan="2">関係機関とともに天竜川の河川合同巡視を実施し、水防技術の維持及び危険箇所の情報共有ができた。災害時の消防団員の役割として、避難誘導が主な業務となることから、定期的に関係機関と水防体制を確認していく必要がある。</td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	関係機関とともに天竜川の河川合同巡視を実施し、水防技術の維持及び危険箇所の情報共有ができた。災害時の消防団員の役割として、避難誘導が主な業務となることから、定期的に関係機関と水防体制を確認していく必要がある。	
基本事業の成果指標	B					
関係機関とともに天竜川の河川合同巡視を実施し、水防技術の維持及び危険箇所の情報共有ができた。災害時の消防団員の役割として、避難誘導が主な業務となることから、定期的に関係機関と水防体制を確認していく必要がある。						
<p>(今後の取り組み・改善策) 河川災害時に消防団ができる分担等を明確にする(主な優先度は、地域住民への避難周知、避難者支援、救護搬送)。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<table border="1"> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>維持継続</th> </tr> <tr> <td colspan="2">役割分担の協議を建設業者、河川愛護会、消防団と協議を行う必要がある。</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	役割分担の協議を建設業者、河川愛護会、消防団と協議を行う必要がある。	
次期計画の方向性	維持継続					
役割分担の協議を建設業者、河川愛護会、消防団と協議を行う必要がある。						

第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

第11項 交通事故や犯罪のない安心・安全づくり(交通安全・防犯・消費者保護)					
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価		
<b>(1)交通安全対策の推進</b>					
①交通安全意識の高揚	<b>【01】地域安全活動(交通安全運動)の推進</b> ●交通事故のない町とするため、交通安全に関する啓発・広報等を実施し、交通事故防止に努めます。 ・交通安全協会・交通安全指導員を中心に、交通安全教室や指導講習を開催します。 ・交通安全運動への参加、定例街頭指導を実施します。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 学校での交通安全教室に指導員・交通安全協会の協力をお願いして実施した。 交通事故死者0人1900日に到達した。		
			(今後の取り組み・改善策) 指導員や安全協会と共に交通事故防止を推進する。		
			<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>交通事故発生件数(人身・物損)</td> <td>件</td> </tr> </table>	目標指標	単位
目標指標	単位				
交通事故発生件数(人身・物損)	件				
	<b>【02】交通安全教育の推進</b> ●交通安全意識の向上を図るため、PTA・保護者会と連携し、児童生徒の発達に応じた交通安全教育を推進します。 ・交通要所と危険箇所における交通安全の指導を行います。(学校) ・基本的なルールを習慣付けるため、体験を取り入れた「親子の交通安全教室」を実施します。(保育園) ・保護者の交通安全意識を高揚するため、送迎時における学校・保育園周辺の交通安全活動を推進し、安全行動を呼びかけます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 学校・保育園に協力し交通安全教室を行った。		
	(今後の取り組み・改善策) 継続して交通安全を推進する。				
	<b>【03】高齢者保護活動の推進</b> ●高齢者による交通事故が増えているため、高齢者に対する交通安全講習や広報・啓発活動を促進します。 ・高齢運転者が身体機能の変化等に応じた(運転)技能や知識の習得を行うため、参加・体験・実践型交通安全講習の受講を促します。 ・高齢歩行者の「夜光反射材」の普及と活用を呼びかけます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 高齢ドライバー講習に参加をお願いした。全国的に高齢者ドライバーの事故が多発しており、広報が必要となる。		
	(今後の取り組み・改善策) 安全協会と協力して交通安全の呼びかけを行う。高齢者ドライバー教室に派遣する。				
②交通安全施設の整備	<b>【01】交通安全施設の整備</b> ●交通の安全を確保するため、事故危険箇所における信号機や横断歩道、道路標識等の交通安全施設の整備を推進します。 ・信号機・横断歩道・規制標識等は、長野県公安委員会へ設置要望を行います。 ・歩道や幹線道路等の交差点へのカラー舗装標示等自主交通規制の研究を行います。 ・見通しのきかない場所等へカーブミラーを設置します。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 県の公安委員会に安全施設の要望活動を行った。町谷線の信号機が設置できたが要望のほとんどが採択されない。リニア対策で安全施設の検討が必要となってくる。		
	(今後の取り組み・改善策) 安全施設の要望を引き続き行う。要望の結果を当該地区に調整懇談会などを通じて説明する。				

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) 交通死亡者ゼロ達成2,000日 県より表彰を受けた。 児童生徒の登下校時の見守り、高齢者への見守り等を強化していく必要がある。					○	(達成状況・課題) H30.12月に死亡事故ゼロ2,562日でストップとなった。 交通事故削減のための方法を検討していく必要がある。	基本事業の成果指標 B 交通安全について啓発・広報活動を積極的に行った結果、交通事故の抑制につながった。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き交通安全協会、交通安全指導員会と連携し、対策を進めていく。					(今後の取り組み・改善策)			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
244	188	212	255	213	200以下	現状(H26)から20%以上の削減を目標とします。		
(達成状況・課題) 交通安全教室へ参加し、歩行者の安全確保、自転車運転の指導等を行った。					○	(達成状況・課題) 交通安全運動への街頭指導を年4回実施した。毎月定期的な街頭指導を安全協会・指導員会と連携し、実施した。		
(今後の取り組み・改善策) 引き続き交通安全教育の推進を行う。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 引き続き登校時の街頭指導及び運転者への啓発を行っていく必要がある。 高齢者事故防止対策及び夜間通行時の安全対策の検討を行う必要がある。	
(達成状況・課題) 高齢者が関わる交通事故の割合が高いため、特に高齢者を対象とした啓発活動や講習が必要となってきた。					○	(達成状況・課題) 交通安全協会女性部によるマスコット配布等により啓発活動を行った。 高齢者を含む歩行者・運転者への啓発を行った。		
(今後の取り組み・改善策) 飯伊交通安全協会主催の高齢者ドライバー教室への参加を呼びかける。 警察、安全協会等関係機関との連携強化を行っていく。					(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 東浦交差点の横断歩道設置が完了した。 重点要望箇所の榎原への信号機設置に向け要望活動を行った。					○	(達成状況・課題) 歩行者への安全確保「グリーンベルト」を実施した。 保護者会・PTAと連携した安全対策の検討を進める。	基本事業の成果指標 B 通行時の速度制限「ゾーン30」の設置に向け、検討を行う必要がある。	
(今後の取り組み・改善策) 関係機関と調整を密にし、早期設置に向けて引き続き要望活動を行っていく。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 歩行者(児童生徒)の安全確保のための、グリーンベルト、ゾーン30区間の実施に向けた計画の策定及び実施を行う。 交通安全施設(横断歩道等)の採択に向けた、交差点改良等の検討を進める必要がある。	

<b>(2) 犯罪のない地域づくりの推進</b>									
① 防犯体制の充実	<b>【01】地域安全活動(防犯活動)の推進</b> ●地域の安全を守るため、生活安全意識の高揚・生活安全活動の推進・環境整備等を行います。 ・生活安全推進協議会委員と町職員により下校時に青色パトロール巡回を実施します。 ・身近な安全活動として、生活安全推進委員による年末一斉防犯パトロールを実施します。 ・自治会防犯委員と連携し、地域の防犯活動を強化します。 ・夜間等の安全確保、犯罪防止のため、危険箇所へ防犯灯を設置します。 ・防犯灯の更新(蛍光灯からLED 灯)を計画的に進めます。	総務課 危機管理係	(達成状況・課題) 青色パトロールを行った。ふるさと納税を活用し専用車両を購入した。巡回することにより地域での防犯意識の醸成を進める必要がある。  (今後の取り組み・改善策) 週2回の青色パトロールを行う。安全推進委員会を開催し、地域との連携を図る。						
	<b>【02】防犯パトロール等の実施</b> ●児童犯罪の未然防止を図るため、防犯パトロールを実施します。 ・子ども会育成会連絡協議会と少年警察補導委員会による防犯パトロールを実施します。 ・危険箇所の見回り等の現地調査を行います。	こども課 こども係	(達成状況・課題) 松川町交番の協力を得て、 6月10日 少年警察補導委員会 8月9日 子ども会育成会連絡協議会 12月27日 子ども会育成会連絡協議会・少年警察補導委員会合同 で、防犯パトロールを実施した。  (今後の取り組み・改善策) 今後も継続して、子どもたちを犯罪から守る活動を実施する。						
			<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>犯罪発生件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>防犯パトロール実施数</td> <td>回</td> </tr> </table>	目標指標	単位	犯罪発生件数	件	防犯パトロール実施数	回
目標指標	単位								
犯罪発生件数	件								
防犯パトロール実施数	回								
<b>(3) 消費者保護対策の推進</b>									
① 消費者保護対策の推進	<b>【01】消費者被害防止のための啓発活動</b> ●消費者被害を未然に防ぐため、情報提供を積極的に行い、広報誌などを利用した啓発活動を行います。 ・消費者被害について、チャンネル・ユー音声放送やホームページ掲載、広報誌配布などにより注意を喚起します。 ・住民の相談窓口として、南信消費生活センターや警察と連携し、相談者への助言、斡旋を行います。 ・高齢者が被害にあわないために、特殊詐欺などの犯罪について注意を払い、関係機関と連携し、必要な対応を速やかに行います。 ・消費者の会の自主的な活動を支援し、会と連携して住民向け学習会を定期的に開催します。	住民税務課 住民係	(達成状況・課題) 特殊詐欺などの被害に遭わないよう広報を行った。「消費者の会」事務局として会の活動を支援した。  (今後の取り組み・改善策) 今後もこれまでのような事業を実施していきたい。						

# 第1章 地域の絆と力を育み 安全・安心なまちをつくる

(達成状況・課題) 週2回(火曜日、木曜日)の下校時(15:00~16:00)の取り組みを引き続き行った。声掛け事案や連れ去り事案に一定の効果が出ている。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) 地域を見守る活動としてパトロール用ステッカーの配布を実施した。	基本事業の成果指標 【総務課:B】 下校時の防犯活動は、地域での見守りが定着してきており、引き続き地域内での見守りを強化していく必要がある。	以下のとおり
(今後の取り組み・改善策) 下校時や登校時、日中等のパトロールについて、町内企業、ボランティア等の方法を検討する。						(今後の取り組み・改善策)		【子ども課:A】 少年警察補導員会へは活動補助金として60,000円を交付し、左記の他に各地区祇園祭でのパトロールを行った。	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
51	52	36	28	25	40	現状(H26)から20%以上の削減を目標とします。			
週2	週2	週2	週2	週2	週2	現状を維持(火・木)します。			
(達成状況・課題) 松川町交番の協力のもとで、 6月28日 少年警察補導員会 8月10日 子ども会育成会連絡協議会 12月26日 子ども会育成会連絡協議会・少年警察補導員会合同 で、防犯パトロールを実施した。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) 松川町交番の協力のもとで、 5月25日 少年警察補導員会 8月9日 子ども会育成会連絡協議会・少年警察補導員会合同 12月25日 少年警察補導員会 で、防犯パトロールを実施した。	次期計画の方向性 【総務課:維持継続】 夜間歩行者対策や防犯対策となる監視カメラ等の設置や、地域全体で児童犯罪の未然防止対策を行うため、引き続き警察署と連携・協議をする。	以下のとおり
(今後の取り組み・改善策) 今後も継続して、犯罪の未然防止と犯罪から守る活動を実施する。						(今後の取り組み・改善策)		【子ども課:継続維持】 少年警察補導員会は左記の他に各地区の祇園祭でもパトロールを行っているが、特に危険箇所は見られない。また青少年に有害な自販機等もないため、来年度も継続維持とする。	
(達成状況・課題) 特殊詐欺などの被害にあわないように、関係機関と連携して広報や必要な対応を行った。「消費者の会」の事務局として活動支援をした。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) 特殊詐欺などの被害に遭わないように、関係機関と連携して広報や必要な対応を行った。「消費者の会」の各種事業について事務局として活動支援をした。	基本事業の成果指標 ・詐欺や訪問販売等の情報が入った際は、町内へチャンネルユー音声放送などで迅速な情報提供を行うなどし、被害が拡大するなどの動きは見られなかった。 ・消費者の会事務局として、自主的な活動の支援を行っているが、会員の高齢化や減少が著しく、会の在り方について検討が必要である。	B
(今後の取り組み・改善策) 今後もこれまでのような事業を継続していきたい。						(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 ・詐欺の被害が発生しないよう情報提供等を行い、関係機関と連携して迅速な対応をしていく。 ・消費者の会事務局として、自主的な運営が持続するよう引き続き支援を行う。	維持継続

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

### 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

#### 第1項 地域の特色を活かした農業づくり(農業)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 魅力ある松川町農業の振興</b>			
①持続可能な農業経営の推進	<b>【01】持続可能な農業生産の推進</b> <b>●持続可能な農業経営の推進のため、農業生産の強化に関する取組を支援します。</b> ・果樹品種更新対策事業により産地育成のための新たな品種更新に対する支援をします。 ・花木振興事業により花木等の新品種等の導入に対する支援をします。 ・自然環境に配慮した生産の振興事業により環境保全型栽培実践事業等減農薬に係る支援をします。 ・果樹共済加入補助、気象災害対策資材等補助事業を実施します。 ・農業農村環境ネットワーク等と連携し、気候変動に対応した生産品目の検討を実施します。【新規】 ・畜産農家への安定経営を支援します。 ・農業委員会の運営を支援するとともに、法改正による条例(委員会制度)改正を行います。【新規】	産業観光課 農業振興係/農林係	(達成状況・課題) ・農業生産強化に関する支援について、各種申請に基づき、随時実施をしている。 ・農業農村環境ネットワークの活動がなく、連携が取れていない。 ・平成28年12月に農業委員会委員が新体制となった。  (今後の取り組み・改善策) ・継続されている補助事業の効果検証を行い、補助対象事業の精査を行う。 ・農業農村環境ネットワークの活動が実施されていないため、実施を促す。 ・農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し運営できるよう支援していく。
	<b>【02】6次産業等による付加価値の創出</b> <b>●付加価値の高い農業生産経営を推進するため、6次産業等の展開を支援します。</b> ・りんごワイン特区認定申請の手続きを完了し、取組農家を支援します。 ・さんさんファーム森の家との連携を図りつつ、松川高原キャンプ場周辺の施設整備を進めます。	産業観光課 農業振興係/商工観光係	(達成状況・課題) ・6次産業事業への補助申請のあった法人に対し、書類作成等の支援を行った。 ・シードルパンフレットを作成し、注目が高まっている。 ・さんさんファームと共同でツアーを実施した。  (今後の取り組み・改善策) ・今後要望申請があった場合には、農政課、農業改良普及センター、6次産業地域推進員と連携し、事業採択に向けて進める。 ・シードル特区の取得により醸造所を目指す農園を支援する。
	<b>【03】多角的な農業経営の推進</b> <b>●持続可能な農業経営を推進するため、農業担い手の育成支援を行います。</b> ・支援体制を充実させます。(農地・経営相談員の設置)【新規】 ・認定農業者連絡会や若手農業者グループ若武者等の担い手組織活動を支援します。 ・農村女性ネットワーク等農業担い手となる女性グループの活動を支援します。(新たな活動グループの立ち上げ支援)【新規】	産業観光課 農業振興係	(達成状況・課題) ・農地経営相談員を設置し、農地貸借等の相談及び農業法人への相談業務を実施した。 ・各種事務局として、会の運営の支援を行った。  (今後の取り組み・改善策) ・農家へ嫁いで来た方や農業に関わりのなかった女性の皆さんに農業についての情報交換などができる機会を立ち上げる。
		目標指標	単位
		農業法人数(一般法人含む)	軒

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) ・各種農業支援について、各種申請に基づき、随時実施した。 ・農業農村環境ネットワークの活動がなく、連携が取れていない。 ・農業委員会活動、勉強会、研修参加、関係団体との意見交換会等を通じ、農業委員と農地利用最適化推進委員の課題・活動意識の高揚を図った。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・補助事業の見直しを行い、生産振興の補助金の整理をし、次世代を担う若者に対する学びの場として松川農業みらい塾の立ち上げを実施した。 ・農業者の高齢化、離農により担い手不足により、遊休農地が増えてきている。		基本事業の成果指標 B ・持続可能な農業については、農業の担い手が農地に対して絶対的に不足しているため、新規就農希望者の確保、支援が必要であり、松川町果樹農業研修制度を立ちあげ、2名の研修生を獲得し研修につなげた。 ・地域内の現状認識の共有と課題解決のため、町、農業委員会等が協力して実行性のある人農地プラン(増野地区、大沢地区)の作成支援を行った。	
(今後の取り組み・改善策) ・継続されている補助事業の効果検証を行い、補助対象事業を精査し、平成30年度より見直しを行う。 ・農業農村環境ネットワークの活動が実施されていないため、実施を促す。 ・引き続き農業委員と農地利用最適化推進委員の課題・活動意識の高揚を図り、農業委員会活動を推進する。					(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) ・申請のあった法人に対し、書類作成等の支援を行った。								
(今後の取り組み・改善策) ・6次産業化事業への申請があった場合には、農政課、農業改良普及センター、6次産業化推進員と連携し、事業採択に向けて支援を行う。 ・醸造所建設を目指す農家の支援を行う。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 拡大・改善 ・持続可能な農業については、現在いる後継者や女性団体の事務局への支援を継続して実施する。 ・新規就農希望者の確保に向けて、住宅や生活面の支援も含め、個人のニーズに即した支援ができる体制を作り、貸出し可能な空き家の整備、情報確保に努める。	
(達成状況・課題) ・農地の賃貸借等の相談、あっせんを実施した。農業法人連絡会を開催し、法人間の情報共有を行った。 ・各種団体事務局として、会の運営支援を行った。							進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・昨年立ち上げたMATSUKAWA農業女子の活動の支援充実を行った。 ・増加を続ける農地の賃貸借の相談、調整を実施した。	
(今後の取り組み・改善策) ・農業に関わる女性が緩やかに集まることができる「MATSUKAWA農業女子」の立ち上げたが、今後は自主的な運営ができるように支援をする。					(今後の取り組み・改善策)			
H26	H28	H29	H30	R1				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
10	11	13	12	9	15	1年で1法人の新規参入を見込みます。		

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

②農業担い手の育成と農地利用の推進	<b>【01】農業担い手の育成支援</b> <b>●持続可能な農業経営を推進するため、農業担い手の育成支援を行います。</b> ・支援体制を充実させます。(農地・経営相談員の設置)【新規】 ・認定農業者連絡会や若手農業者グループ若武者等の担い手組織活動を支援します。 ・農村女性ネットワーク等農業担い手となる女性グループの活動を支援します。(新たな活動グループの立ち上げ支援)【新規】	産業観光課 農業振興係	(達成状況・課題) ・農地経営相談員を設置し、農家への支援体制の充実を図った。  (今後の取り組み・改善策) ・農家へ嫁いで来た方や農業に関わりのなかった女性の皆さんに農業についての情報交換などができる機会を立ち上げる。			
	<b>【02】新規就農者の受入支援</b> <b>●持続可能な農村経営を推進するため、新規就農者の受入を支援します。</b> ・里親研修制度や青年就農給付金、町単独支援事業による支援を実施します。 ・支援体制を充実させます。(移住・就農・交流相談員)【新規】 ・移住・就農・地域おこし協力隊等の受入れを通じた新規就農を推進します。	産業観光課 農業振興係	(達成状況・課題) ・各種制度を使い、新規就農者の支援を実施した。  (今後の取り組み・改善策) ・新規就農者だけでなく、定年帰農者や実家を離れた方のUターン者の農業支援などの取り組みも必要である。			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">目標指標</th> <th style="width: 30%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規就農者数(支援終了者含む)</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>		目標指標	単位	新規就農者数(支援終了者含む)	人
	目標指標	単位				
新規就農者数(支援終了者含む)	人					
<b>【03】農地利用の積極的な調整</b> <b>●持続可能な農村経営を推進するため、農地の利用調整を積極的に行います。</b> ・農地利用調整推進員による規模拡大者と離農者とのマッチング機能の充実を図ります。 ・農地中間管理事業(農業開発公社)と農地利用集積円滑化団体(JA みなみ信州)と連携した農地あっせんを推進します。	産業観光課 農業振興係	(達成状況・課題) ・農地中間管理事業、農地利用集積円滑化団体と連携し、規模拡大希望者、法人への農地のマッチングを行い、農地のあっせんを実施した。  (今後の取り組み・改善策) ・農地相談会を実施し、果樹園地の伐採される前の農地情報の入手に努める。				
<b>【04】遊休農地対策の推進</b> <b>●遊休農地解消のため、中長期的な解消に向け対策を推進します。</b> ・遊休農地対策会議を開催、各種の取り組みを推進します。 ・ふれあいガーデン(住民菜園)の利用促進を図り、利用者の拡大を図ります。 ・農地のあっせん、耕作放棄地再生利用交付金による利用調整を推進します。 ・農地法の下限面積(現在:生田地区以外40a、生田地区30a)の緩和について、移住者等について1筆単位で設定できる方法等を検討します。【新規】	産業観光課 農林係/農業振興係	(達成状況・課題) ・耕作放棄地再生利用交付金事業を活用し、耕作放棄地の再生を実施した。 ・農業委員会新委員による農地利用推進の認識と提案を検討する必要がある。  (今後の取り組み・改善策) ・今後も耕作放棄地再生利用交付金事業を検討し、農地の遊休農地化を防ぐ。 ・遊休農地対策会議において各種取り組みを検討する。 ・新たなふれあいガーデンの団地を検討する。				
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">目標指標</th> <th style="width: 30%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休農地面積</td> <td>ha</td> </tr> </tbody> </table>		目標指標	単位	遊休農地面積	ha	
目標指標	単位					
遊休農地面積	ha					
③農業振興地域整備計画の推進	<b>【01】農業振興地域整備計画の推進</b> <b>●農業振興における地域整備の方向性を示すため、農業振興地域整備計画の見直しを行います。</b> ・非農地判断による地目変更登記手続き勧奨を実施します。	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・平成27年3月から県との整備計画変更事前協議について、今年度中に同意が得られる見通しである。  (今後の取り組み・改善策) ・非農地判断について、土地所有者による地目変更登記への準備事務及び法務局協議を進める。			



## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

(達成状況・課題) ・農地経営相談員を設置し、農地貸借など支援の充実を図った。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・農地経営相談員を設置し、農地貸借など支援の充実を図った。	基本事業の成果指標 B ・持続可能な農業については、農業の担い手が農地に対して絶対的に不足しているため、新規就農希望者の確保、支援が必要であることから松川町果樹農業研修制度を立ち上げ、2名の研修生の受け入れを開始することができた。 ・地域内の現状認識の共有と課題解決のため、町、農業委員会等が協力して実行性のある人農地プラン(増野、大沢地区)の作成支援を行った。
(今後の取り組み・改善策) ・農業に関わる女性が緩やかに集まることができる「MATSUKAWA農業女子」を立ち上げたが、今後は自主的な運営ができるように支援する。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・新規就農希望者の相談に対し、関係機関(普及センター、JA)と連携して対応した。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・県、JA担い手プロデュースと連携し新規就農相談会への積極的な参加を行った。	
(今後の取り組み・改善策) ・新規就農者だけでなく、定年帰農者や実家を離れたUターン者の農業支援等の取り組みも必要である。					(今後の取り組み・改善策)	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
6	5	14	6	11	10	1年で1人の新規就農者増を見込みます。
(達成状況・課題) ・農地中間管理事業、農地利用集積円滑化団体と連携し、農地のあっせん等を実施した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・かぶちゃんファーム関連農地について、新たな借り手と調整し、7割以上の農地についてあっせんを行った。	次期計画の方向性 維持継続 ・農地中間管理事業を中心に農地のあっせんができるよう、農家、農業委員会からの情報が集められる体制を営農支援センターで構築し、農地のあっせんを行った。 ・地域での解決方法を探る、人農地プランの策定と、一人一坪農園の推進としてふれあいガーデンの推進を実施。遊休農地の解決に努めた。 ・家庭菜園(無農薬・化学肥料不使用)の野菜作りを健康な体作りのためにも推奨し、将来的に給食での食材提供などに利用できるように進める。
(今後の取り組み・改善策) ・月1回の農地相談会を実施し、農地、農業機械等の情報入手に努める。 ・農業委員会との情報共有に努める。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・ふれあいガーデンの候補地を探したが、条件の良い適地が見当たらない状況である。 ・農業委員会において農地利用最適化の推進に関する指針を策定し、新たな事業として農家アンケートを基礎資料にして担当地区の個別訪問に取り組んだ。 ・農地法の下限面積の緩和について、情報収集と検討を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・荒廃農地等利活用促進交付金事業を活用し、荒廃農地の再生等を実施した。 ・下限面積(農地付空き家)の検討をするも、設定には至らず、更なる検討が必要。	
(今後の取り組み・改善策) ・遊休農地対策会議において各種取り組みを検討する。 ・引き続き新たなふれあいガーデンの候補地を検討する。 ・農地法の下限面積の緩和について、農業委員会において引き続き検討する。					(今後の取り組み・改善策)	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
213	210	222	235	214	185	非農地手続きによる減(28ha)を見込み、その他の要因については現状維持とします。
(達成状況・課題) ・8月に整備計画変更(農振総合見直し)が完了した。その後の非農地・地目変更登記手続きについては、現在準備を進めている状況である。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・生田地区の非農地判定通知を発送した。申請により、非農地証明を発行し、地目変更を進めた。	基本事業の成果指標 C 総合見直しの後、1種農地の判定基準を明確にし、各種相談を受けることにより、守るべき農地と転用可能な農地の判断がつきやすくなった。
(今後の取り組み・改善策) ・地目変更登記手続きは、段階的に該当者へ説明と勧奨を行い、山林としての適正な土地利用を図っていく。					(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 地域の状況により、農地の判断は変更される。常々状況判断していく。

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

(2) 鳥獣被害防止対策の推進			
①鳥獣被害防止対策の推進	<b>【01】鳥獣被害防止対策の推進</b> ●有害鳥獣による被害を最小限に食い止めるため、有害鳥獣駆除対策協議会において総合対策を実施します。 ・有害鳥獣駆除対策協議会において、侵入防止柵の管理運営および総合対策を行います。 ・大型捕獲檻の設置運営を行います。 ・GPS 調査によるサル群の実態把握と対策検討を行います。	産業観光課 農林係／農業振興係	(達成状況・課題) ・寄せ付けない・農作物を守る・駆除捕獲の総合対策を継続性のある方法で進めていく必要がある。  (今後の取り組み・改善策) ・総合対策(追い払い、防護・捕獲対策、侵入防止柵管理、生息環境整備、学習会、他事業)を有害鳥獣駆除対策協議会、農業技術者連絡協議会、県対策チーム等と連携し進める。
	<b>【02】猟友会活動の支援(有害鳥獣駆除)</b> ●自然保護および有害鳥獣駆除のため、猟友会活動への支援と捕獲駆除を計画的に実施します。 ・猟友会組織および活動を維持するため、組織支援と新規加入促進を図ります。 ・猟友会駆除班と連携し、捕獲駆除を実施します。	産業観光課 農林係	(達成状況・課題) ・有害鳥獣捕獲数が減少しており、運営費の予算確保が不安定である。 ・猟友会員は高齢化や非農家が多く、実際に被害を受けている方は少ない状況である。  (今後の取り組み・改善策) ・新規狩猟免許取得後の有害鳥獣講習経費について補助を実施する。また、くくりわなを支給する。 ・ニホンザルの捕獲報奨金額を増額する。
(3) 中山間農業農村の活性化			
①中山間活性化施設の運営	<b>【01】総合交流促進施設梅松苑の運営</b> ●都市との交流、中山間地域の活性化のため、総合交流促進施設梅松苑を設置運営します。 ・総合交流促進施設活用検討委員会の設置により、施設の利活用を検討します。【新規】	産業観光課 農業振興係	(達成状況・課題) ・新たな指定管理者により、施設の利活用が始まった。 ・アグリ工房まつかわについては、事務局として活動の支援を実施している。  (今後の取り組み・改善策) ・アグリ工房まつかわの事務局として、地域と都市を結ぶ拠点となるよう支援を継続する。
	<b>【02】農産物加工施設アグリ工房の利用促進</b> ●都市との交流、中山間地域の活性化のため、交流促進施設梅松苑を設置運営します。 ・アグリ工房まつかわ組合への支援を行います。	産業観光課 農業振興係	(達成状況・課題) ・新たな指定管理者により、施設の利活用が始まった。 ・アグリ工房まつかわについては、事務局として活動の支援を実施している。  (今後の取り組み・改善策) ・アグリ工房まつかわの事務局として、地域と都市を結ぶ拠点となるよう支援を継続する。
(4) 農業基盤整備の推進			
①農道用排水路等の整備の推進	<b>【01】農業基盤整備事業の実施</b> ●生産性の向上および労力の軽減のため、農業基盤を整備します。 ・町単土地改良事業(農道、かんがい排水、暗渠排水、土砂崩落防止等)による補助を推進し、農業基盤施設の整備を図ります。 ・多面的機能支払交付金制度の推進を図り、地域協働での農地管理、遊休農地の活用、水路等施設の長寿命化の取組みを推進します。 ・一定規模以上の用水路改修には、地元負担が少ない国庫補助農業基盤整備事業の実施を計画します。 ・ふるさと農道(前河原地区)整備を宮ヶ瀬橋架橋と連携したネットワーク道路として事業化を推進します。	建設課 農地整備係	(達成状況・課題) 町単土地改良事業については、かんがい排水を中心に採択し農業施設の整備を図った。また多面的機能支払交付金事業を活用した9団体により、農地保全の取り組みを実施した。国庫補助事業の基盤整備は申請を行ったが、新規採用との理由から不採択であった。  (今後の取り組み・改善策) 町単土地改良事業については、今後も要望を取り入れ実施していく。また多面的機能支払交付金事業は、他団体へ事業参加を促す。国庫補助の基盤整備は他の補助事業の調査をし、施設の長寿命化を推進する。 前河原道路については、道路ネットワークへの補助事業や広域農道の補助事業などの調査を実施していく。

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄せ付けない・農作物を守る・駆除捕獲の総合対策を継続性のある方法で進めていく必要がある。</li> <li>・各地区協議会の運営や維持管理体制への支援策として、新たに急傾斜地にある電気柵の除草と施設改良整備を行った。</li> <li>・サルは、農業被害に加え、人への威嚇など課題が多い。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治会、役場、普及センター、有害鳥獣対策協議等と連携して、地域内での猿追い払いを実施した。</li> <li>・鳥獣害対策駆除協議会において、移動式大型捕獲檻の設置や、追払いのための備品購入を実施した。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の整備事業と柵の設置などでの侵入防止などで、鳥獣の農産物への被害を防ぐ努力を行っている。</li> <li>・地域住民の皆さんへの声掛けで、サルの追払いを実施。農作物だけでなく住民への危険も感じるようになった昨今、自身での追払いを行うとした啓発活動となった。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	基本事業の成果指標	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・森の整備事業と柵の設置などでの侵入防止などで、鳥獣の農産物への被害を防ぐ努力を行っている。</li> <li>・地域住民の皆さんへの声掛けで、サルの追払いを実施。農作物だけでなく住民への危険も感じるようになった昨今、自身での追払いを行うとした啓発活動となった。</li> </ul>
基本事業の成果指標	B					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森の整備事業と柵の設置などでの侵入防止などで、鳥獣の農産物への被害を防ぐ努力を行っている。</li> <li>・地域住民の皆さんへの声掛けで、サルの追払いを実施。農作物だけでなく住民への危険も感じるようになった昨今、自身での追払いを行うとした啓発活動となった。</li> </ul>					
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合対策(誘引物除去、追い払い、防護・捕獲対策、侵入防止柵管理、生息環境整備、学習会、他事業)を有害鳥獣駆除対策協議会、みらい、農業技術者連絡協議会、県対策チーム等と連携し、継続性のある方法で進めていく。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規狩猟免許取得者への申請料とわな支給の補助事業を新設し、5名へ助成を行った。</li> <li>・サルの捕獲報奨金額(単価)を増額した。</li> <li>・サルの捕獲は困難であり、防護柵等の効果によりシカ・イノシシの捕獲数も減っている。その影響で報奨金が減っているため、猟友会の運営へ支障が出ている。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猟友会への新規加入者3名で、会員60名となった。免許の取得、更新の補助及び手続きを実施した。</li> <li>・地域からの要望により、猟友会の出動により、駆除を実施した。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>維持継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣を寄せ付けない環境づくりを地域住民と一緒に進めて継続実施していく。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	次期計画の方向性	維持継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣を寄せ付けない環境づくりを地域住民と一緒に進めて継続実施していく。</li> </ul>
次期計画の方向性	維持継続					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣を寄せ付けない環境づくりを地域住民と一緒に進めて継続実施していく。</li> </ul>					
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した猟友会の運営ができるよう、予算確保や運営支援、勧誘等について検討する。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな指定管理者と連携し、運営の協力を行った。</li> <li>・アグリ工房まつかわの事務局として、活動の支援を行っているが、地域と都市を結ぶ拠点とはなっていない。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化している梅松苑、アグリ工房まつかわの修繕等を行い、活動の支援を行った。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅松苑、加工施設の修繕やキャンプサイトの排水工事など環境整備を実施し、誘客につながるよう改善を実施した。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	基本事業の成果指標	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅松苑、加工施設の修繕やキャンプサイトの排水工事など環境整備を実施し、誘客につながるよう改善を実施した。</li> </ul>
基本事業の成果指標	B					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅松苑、加工施設の修繕やキャンプサイトの排水工事など環境整備を実施し、誘客につながるよう改善を実施した。</li> </ul>					
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>アグリ工房まつかわが地域と都市を結ぶ拠点となるような取り組み、支援策等を検討する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな指定管理者と連携し、運営の協力を行った。</li> <li>・アグリ工房まつかわの事務局として、活動の支援を行っているが、地域と都市を結ぶ拠点とはなっていない。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化している梅松苑、アグリ工房まつかわの修繕等を行い、活動の支援を行った。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>維持継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き老朽化の予防のための修繕等を行い、誘客につながる支援を実施していく。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	次期計画の方向性	維持継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き老朽化の予防のための修繕等を行い、誘客につながる支援を実施していく。</li> </ul>
次期計画の方向性	維持継続					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き老朽化の予防のための修繕等を行い、誘客につながる支援を実施していく。</li> </ul>					
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>アグリ工房まつかわが地域と都市を結ぶ拠点となるような取り組み、支援策等を検討する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <p>新たな国庫補助事業を利用した農業基盤整備に着手することができた。今後、同事業を町内農業用水利施設の改修に計画的に利用できるよう調整を図る必要がある。町単土地改良事業については要望が多く寄せられたが、事業計画を前倒して着手、完了することができた。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>農地耕作条件改善事業について要望の取りまとめを行い年次計画とすることができた。また、多面的機能支払交付金事業も円滑に事務処理ができ、取組団体の活動が推進された。また、町単土地改良事業についても要望について前倒して実施することができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <p>老朽化が進む農業用施設の更新を各種補助事業を活用して進めている状況である。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	基本事業の成果指標	D		<p>老朽化が進む農業用施設の更新を各種補助事業を活用して進めている状況である。</p>
基本事業の成果指標	D					
	<p>老朽化が進む農業用施設の更新を各種補助事業を活用して進めている状況である。</p>					
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>国庫補助事業の採択要件とされている農地中間管理事業を利用した農地の貸借を進め、農地維持を目指したインフラ整備を促進したい。また、多面的機能支払交付金について、平成30年度が最終年度となる取組団体もあることから、引き続き農地維持に努めていただけるよう制度の継続を依頼したい。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>維持継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <p>地元負担金が生じることから、協議を進めて計画的に事業の推進を図ることが必要である。また農業者が安心、安定して営農できるよう継続していくことが必要である。継続的に水利組合に水路改修を呼びかけることが必要。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	次期計画の方向性	維持継続		<p>地元負担金が生じることから、協議を進めて計画的に事業の推進を図ることが必要である。また農業者が安心、安定して営農できるよう継続していくことが必要である。継続的に水利組合に水路改修を呼びかけることが必要。</p>
次期計画の方向性	維持継続					
	<p>地元負担金が生じることから、協議を進めて計画的に事業の推進を図ることが必要である。また農業者が安心、安定して営農できるよう継続していくことが必要である。継続的に水利組合に水路改修を呼びかけることが必要。</p>					

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

### 第2項 力強く、魅力ある商工業が育つまちづくり(商業・工業)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 商工業の振興</b>			
<b>① 商工業の振興</b>	<b>【01】商工業の振興(商工会関係)</b> <b>●商工業の振興を図るため、商工会が行う振興策を支援します。</b> ・小規模企業指導事業、商工業振興対策事業等商工会事業への補助を実施します。	産業観光課 商工観光係	(達成状況・課題) ・商工会と連携を取り、工場等設置事業補助金の交付対象の拡充を実施した。 ・創業支援計画の事前協議を商工会、金融機関とを行い、制度資金の見直しを行った。  (今後の取り組み・改善策) ・より一層の商工会との連携が必要である。
			目標指標
			単位
			製造品出荷額
	<b>【02】企業誘致と既存企業との連携</b> <b>●企業誘致と既存企業留致を図るため、誘致や情報共有等を積極的に実施します。</b> ・町内企業との情報交換、訪問活動を実施します。	産業観光課 商工観光係	(達成状況・課題) ・町長の企業訪問を企画できなかった。 ・工場進出などの情報に、インター企業団地等の情報提供を行った。  (今後の取り組み・改善策) ・情報共有が必要となるため商工会との連携により、情報交換会を実施する。
	<b>【03】商工振興資金等による経営支援</b> <b>●中小企業者等の経営安定化と工業の活性化を図るため、商工振興資金等による経営支援を行います。</b> ・商工振興資金等(長野県信用保証料補給金、中小企業特別融資事業、町制度資金利子補給等)による支援策を実施します。	産業観光課 商工観光係	(達成状況・課題) ・融資額が、町41件、6400万円、県14件、2億3,450万円の融資が行われ、保証料補給金として、700万円余が利用された。小口資金が多い中、創業支援資金の利用もある。  (今後の取り組み・改善策) ・創業支援について、商工会、金融機関と連携し、情報発信を行う。
	<b>【04】安定経営や起業等の支援</b> <b>●商工業の振興を図るため、経営拡大や起業等への支援を行います。</b> ・町内企業の工場等設置を促進するため補助金を交付します。 ・販路拡大や技術力向上支援として展示商談会への出展に対する補助事業や産業フェア等のツアーを実施します。 ・住宅リフォーム補助事業の実施を検討します。	産業観光課 商工観光係	(達成状況・課題) ・28年度より工場等設置事業補助金の対象を拡充し、24件1200万円が対象となった。 ・展示商談会補助金21件168万円を実施した。展示会での営業が進められている様子である。 ・住宅リフォームは76件で550万円余の補助を実施した。  (今後の取り組み・改善策) ・展示商談会については、実施する企業が限られているため一層の広報が必要である。 ・住宅補助については、賃貸の戸建て住宅も可能とし、補助対象を広げる。

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり補助金等の申請に有利な国の認定計画への参加を表明した。</li> <li>制度資金のあっせん審議会では、地域の中小企業の活性化に寄与するため信用保証料の見直しを行った。</li> </ul>					<p>進捗状況</p> <p>○</p> <p>(達成状況・課題)</p> <p>松川町導入促進基本計画が7月31日付けで国の同意を得た。それに基づき4社の先端設備等導入計画を町が認定し、ものづくり補助金の採択を受けていた3社に国からの交付決定があつた。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>C</p> <p>企業が有利となる補助事業等については、企業側も活用できている現状ではある。令和元年度より町長の企業訪問を実施。企業側からの要望事項を把握し、施策への反映を進める。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画を策定する。</li> <li>各補助金等、商工会会員であることとする項目を削除したが、事業者の経営状態を把握し、支援しているのは商工会なので、今後も一層連携し、町として支援していく。</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
2,745,297	3,047,626	3,031,617	3,396,282	3,957,298	3,300,000	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の経営状況や今の課題など、聞き取りを行った上で支援を検討する必要があるが、できていない。</li> <li>インター企業団地の地元説明会等を実施した。</li> <li>JRとの協議がさらに必要である。計画がなく地元から用地を購入することは難しいと思われる。</li> </ul>					<p>進捗状況</p> <p>◎</p> <p>(達成状況・課題)</p> <p>インター企業団地、ガイドウェイヤード誘致は断念した。その後、地元協議会を設置し、今後の誘致について検討を開始した。また、並行し進出希望企業への対応をした。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>企業の経営状況、今の課題等を聞き取り、適切な支援を検討する。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>世界、国内は勿論のこと、町内企業の情勢や景気動向に常に注目する必要がある。</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>融資あっせん審議会では、新年度からの信用保証料の見直し及びメニューの削除を行った。</li> <li>創業支援計画が認定され、5年間の支援を開始した。町独自の支援を使って、創業1件、事業の拡大1件の実績があつた。</li> </ul>					<p>進捗状況</p> <p>○</p> <p>(達成状況・課題)</p> <p>融資斡旋審議会でも、町内近況による大型店舗対策資金の復活や一部を県資金との準ずる方向で決定した。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容の要望を把握し、融資の新しいメニューや見直し等の検討を行う。</li> <li>創業希望者が国の支援の申請ができるようなサポートを検討する。</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場等設置事業補助金は、26件1,262.2万円を実施した。</li> <li>展示商談会補助金は、7事業所24件186.5万円を実施した。</li> <li>店舗リフォームは、19件443.3万円の補助を実施した。</li> <li>住宅リフォームは、55件451.1万円の補助を実施した。</li> </ul>					<p>進捗状況</p> <p>○</p> <p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場設置事業補助金 27件 1,893.7万円</li> <li>展示商談会 17件 147.9万円</li> <li>店舗リフォーム 12件 225.9万円</li> <li>住宅リフォーム 73件 416.2万円</li> <li>町創業支援事業補助金 2件 190.3万円</li> </ul> <p>各補助金等については、町内で認知されてきている。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設備投資への支援策が国で検討されている。計画の申請等が必要だが、3年間償却資産税がゼロ、対象金額も低いいため、計画を策定する。</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

(2) 商店街の活性化支援							
①商店街の活性化支援	<p><b>【01】マークンカード事業の支援</b></p> <p>●町内の購買力を向上させるため、マークンカードの利用促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マークンギフトカードによる補助金(券)交付を推進します。</li> <li>・マークンカード事業協同組合が行う事業を協働支援します。</li> </ul>	産業観光課 商工観光係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅リフォーム、各種補助金やお祝い金による「マークンギフトカード」の発行を実施した。町の地域通貨として定着している。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光マークンカードの発行もあり、カード保有者への情報発信等を行い、町の活性化を狙う。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">目標指標</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">単位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">マークンカードポイント発行額</td> <td style="text-align: center;">万円</td> </tr> </table>	目標指標	単位	マークンカードポイント発行額	万円
目標指標	単位						
マークンカードポイント発行額	万円						
	<p><b>【02】あらい商店街等の活性化支援</b></p> <p>●商店街(商業)活性化や空き店舗対策として、商店街等が行う事業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色を活かした商店街支援事業(県補助)を活用した商店街活性化を支援します。</li> <li>・空き店舗を活用した起業等への支援策を検討実施します。【新規】</li> </ul>	産業観光課 商工観光係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の商店街支援事業が終了し、まつかわすたいるグランドデザインが形成された。</li> <li>・ぺっかんの改修も行われ、町のたまり場、コミュニケーションの場が生まれた。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗の紹介や、起業への支援補助などを積極的に行い、町の活性化を生み出す仕組みを作る必要がある。</li> </ul>				
(3) 雇用対策の推進							
①雇用対策の推進	<p><b>【01】雇用対策の推進</b></p> <p>●移住定住支援として、雇用の場を確保する事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料職業紹介所を開設し、就職斡旋による支援を行います。</li> <li>・就職支援相談員(仮称)の設置を検討します。【新規】</li> </ul>	産業観光課 商工観光係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用就業相談員2名の配置により、無料職業相談所としての相談数、マッチングが実施された。</li> <li>・初の就職ガイダンス、松川高校への就職相談会を実施し、町内企業の紹介ができた。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業側からもガイダンス等、継続希望があるため、内容の見直しを行い実施する。</li> <li>・高校、専門学校、大学への進路相談に情報発信を行う。</li> </ul>				

## 第2章 安心して働ける環境をつくり地域の良さを活かした産業を育てる

(達成状況・課題) ・アンケートを実施し、ギフトカードによる補助金の有無を確認した。 ・地域通貨としての更なる利用のため、新しい事業の取り組みが必要である。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 補助金への発行は継続している。キャッシュレス化への対応として先進事例視察の実施。存続も含め今後の検討が必要。	基本事業の成果指標 C ・町の各種補助金等の交付にマークンギフトカードを活用することによって地域経済の活性化を図った。 ・マークンカードのシステム化更新とインバウンド対応も視野に入れ検討する必要がある。
(今後の取り組み・改善策) ・こちらの予想以上に地域通貨での発行に賛同される方が多く、今後も継続して実施していく。 ・ボランティアや観光と組み合わせた活動を検討する。					(今後の取り組み・改善策)		
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
1,949	1,754	1,725	1,673	1,518	1,949	現状を維持します。	
(達成状況・課題) ・4月からべっかんをコワーキングスペースとしてオープンした。1日限りの営業所として利用実績があった。 ・11月からはチャレンジショップとしてオープンし、商工会、町と合わせて、「まつかわ・すたいる」まちづくり研究会が応援した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) チャレンジショップについてはR1年度にも現事業者が継続して行う。まつかわスタイル事務局として賑わい創出事業へ参加。一定の効果は得たが一時的な創出が目的なのが課題。	次期計画の方向性 維持継続 チャレンジショップについては今後も継続できるような取組を検討する。まつかわスタイルと町の連携、以前の空き店舗調査の結果などから新たな対策の再検討が必要。マイナポイント、地域カードの検討を進める。
(今後の取り組み・改善策) ・更なる空き店舗の解消を検討する。					(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) ・2年目のガイダンスは参加者5名と少人数であったが、企業からの希望もあることから、時期の変更を検討する必要がある。 ・松川高校での説明会には101名の生徒が参加し、好評であった。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 4月ガイダンス 企業 名参加 1月高校説明会 企業 名参加 4月のガイダンスについては参加人数とから時期の検討が必要。1月の説明会は開催方法の検討が必要。	基本事業の成果指標 C いずれも、良い取組であると企業、参加者から評価を得ている。そのためより良いものするため、今後の開催方法、時期についての検討が必要。
(今後の取り組み・改善策) ・ガイダンスは開催時期を変更して行う。 ・早めに情報発信を行う。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 参加者、参加企業のニーズの把握が必要であり、地元企業との連携が必要。産業部門のキャリア教育について広域的に連携をしていく必要がある。

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

#### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

#### 第1項 情報を積極的に発信する地域づくり(地域情報の発信)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 情報公開の推進と広報広聴の充実</b>			
① 行政情報、町の情報発信	<b>【01】情報公開の推進</b> ●公正で開かれた町政を推進するため、 <b>情報公開制度を適切に運用</b> します。 ・情報公開審査会を定期的に開催します。 ・文書管理規程の見直しを行うとともに、公文書管理システムを導入し、情報公開請求に適切に対応します。	総務課 行政庶務係	(達成状況・課題) 情報公開審査会の委員任期が切れていたため、委員の選定を進めた。 公文書管理システムを導入したが、更新できていない課がある。  (今後の取り組み・改善策) 新たな委員のもと情報公開審査会を開催し、マイナンバーの対応等を審査していただく。 公文書管理システムの説明会を行う。
	<b>【02】広報まつかわの発行</b> ●行政情報や町の情報を分かりやすく住民へ提供するため、 <b>広報まつかわおよびお知らせ版を発行</b> します。 ・お知らせ版の新聞折り込みを継続します。 ・タブレット等の紙媒体以外による広報誌の提供を検討します。 ・専任の広報担当職員を配置し、読みたいと思える広報誌を作成します。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) お知らせ版の新聞折り込みを、毎月末に発行した。 兼任の広報担当職員を配置して、読みたいと思える広報誌作りを心掛けた。  (今後の取り組み・改善策) タブレット等の紙媒体以外による広報誌の提供について検討を行う。
	<b>【03】ホームページ等を活用した情報発信と広報広聴</b> ●最新の行政情報等を分かりやすく、広く情報提供するため、 <b>町ホームページを運営管理</b> します。 ・松川町のポータルサイトとして情報更新を定期的に行うとともに、facebook等の新たな情報発信ツールと連携した情報発信を行います。 ・職員のスキルアップのための定期的な講習会を開催します。 ・電子申請届出サービス(ながの電子申請サービス)を提供します。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) ホームページの情報の更新を定期的に行い、またfacebook等の新たな情報発信ツールを用いた情報発信を行った。 職員のスキルアップのための講習会を年度当初に実施した。 ながの電子申請サービスにより、電子申請届出サービスの提供を行った。  (今後の取り組み・改善策) 住民目線に立ったホームページのリニューアルを検討する。
② 情報通信環境の提供	<b>【01】(株)チャンネル・ユーとの連携</b> ●高度情報化への対応と様々な町内の情報を提供するため、 <b>(株)チャンネル・ユーと連携して情報通信環境を提供</b> します。 ・CATVを使った新たな情報発信(データ放送)について検討を行います。 ・事業者と連携し転入者等へ地元CATVの加入案内を行います。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) CATVを使った新たな情報発信(データ放送)について検討を行った。  (今後の取り組み・改善策) データ放送について、利用者への新たな情報発信ツールとして、費用対効果も含め検討を行う。 住民への情報発信ツールとなるチャンネル・ユーの加入について、事業者と連携した転入者等への加入案内について検討する。
			目標指標
		チャンネル・ユー加入世帯数	世帯



### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
<p>(達成状況・課題) 情報公開請求により、13件の公開を行った。情報公開審査会を開催し、委員の選任と現状について説明した。 公文書管理データを更新できていない課がある。</p>					<p>進捗状況 ○</p> <p>(達成状況・課題) 情報公開請求により、21件の公開を行った。非公開とした2件について異議申立があり、情報公開審査会において審議を行った。 公文書整理を2回実施した。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>以下のとおり</p> <p>【総務課：B】 情報公開請求件数がH29年度から増加している。情報公開の可否に時間を要するケースもあったが、適正な情報公開審査会の運営にあたった。 公文書整理の機会を年に2回程度設け、定期的な管理システムの更新を実施した。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 公文書管理データの更新について説明会を行う。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>【まちづくり政策課：B】 ホームページのリニューアルをはじめ、住民に分かりやく行政情報を伝えるための環境整備を行った。また、facebookなどSNSによる発信ツールも取り入れて、広報広聴の充実を進めた。</p>	
<p>(達成状況・課題) 広報まつかわ及びお知らせ版(新聞折込)を毎月発行した。 専任1名、兼任1名、非常勤1名の体制で担い、また広報編集委員会を開催し、編集に当たった。 無料の広報誌掲載サイトを利用し、スマホ・タブレット端末での閲覧を容易とした。</p>					<p>進捗状況 ○</p> <p>(達成状況・課題) 広報まつかわ及びお知らせ版(新聞折込)を毎月発行した。お知らせ情報だけでなく地域ごとの特集ページを設けるなど、内容の見直しも行った。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策) 紙面を工夫しながら、継続して発行していく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>以下のとおり</p> <p>【総務課：維持継続】 情報公開請求件数は増加傾向にある。公正で開かれた町政運営を推進するため継続していく。</p>	
<p>(達成状況・課題) 職員への情報掲載(CMS)講習会を年度当初に開催し、ホームページへの情報掲載、更新に務めた。 ながの電子申請サービスにより、電子申請届出サービスの提供を行っているが、子育て関係に留まっている。</p>					<p>進捗状況 ○</p> <p>(達成状況・課題) ホームページのリニューアルを実施し、情報への辿りつきやすさの改善を行った。新たに移住定住の特設ページの開設も行った。</p>		<p>【まちづくり政策課：維持継続】 行政情報を分かりやすく住民に伝えることができるよう、引き続き広報まつかわやホームページの内容の見直しを行い、積極的に情報を発信していく。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) ホームページのリニューアルを予定している。職員のほか幅広く意見を聴取して、利用しやすいホームページを構築する。また構築に当たっては、プロポーザル手法により業者選定を行う。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題) 緊急放送を主に、CATVを使った新たな情報発信を検討し、実施を予算化した。 移住体験住宅へCATV受信機を設置し、利用者の利便と普及を画した。</p>					<p>進捗状況 ○</p> <p>(達成状況・課題) 緊急情報や町のお知らせなど、データ放送による情報発信環境の整備を行った。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>B</p> <p>データ放送による情報発信環境の整備により、情報伝達手段が拡充してより多くの人への情報提供ができるようになった。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) データ放送設備事業にあわせ、掲載情報について整備に取り組む。 行政情報の広報に有効に利用するため、CATV取材、情報提供番組に積極的に応じる。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>引き続き、高度情報化に即した情報通信環境の整備を検討していく。</p>	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
3,097	3,020	3,068	3,072	3,073	3,100	現在の実績値を鑑み、全世界の7割以上の加入を目標とします。		

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

第2項 健康で暮らし、安心して医療が受けられるまちづくり(健康づくり・国民健康保険・医療・救急)											
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価								
<b>(1) 健康まっかわ21の推進</b>											
①健康診断による健康づくり	<b>【01】小中学校血液検査</b> ●子どものうちから生活習慣病を予防できる力を身に付けるため、小学5年生と中学2年生において血液検査を実施します。 ・血液検査の結果を分析し、健康教育会議(教育委員会、保育園、小学校、中学校、保健福祉課)の中で、指導内容を検討していきます。 ・血液検査が基準値を上回った児童・生徒・保護者に対して個別相談を行います。 ・血液検査を行った小学5年生と中学2年生に検査結果に基づいて学習の場を設けます。 ・HbA1c高値者に対して1年後の再検査を行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 血液検査の結果をもとに、健康教育会議で養護教諭と情報共有を行った。結果分析をし、小学校5年生と中学2年生を対象に集団指導を実施。また、高血糖について、保護者との個別相談を行った。  (今後の取り組み・改善策) 今回の結果分析から、HbA1cが低いほど結果の改善がしやすいことがわかったため、それらを踏まえた集団指導と個別相談の実施をしていく。								
	<b>【02】消防団健診</b> ●自覚症状のない生活習慣病を若いうちから予防するため、血液検査と事後指導を行います。 ・消防団の各分団へ健診受診の推進と簡易健診の実施を行います。 ・消防団の福利厚生事業として血液検査を実施します。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 5月に消防団健診を実施し、118名が出席した。8月からは各分団ごと個別の結果説明会を開催し、81名に対して事後指導を行った。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。								
	<b>【03】総合健診</b> ●疾病を早期に発見し、重症化を抑制するため、総合健診を実施します。 ・自治会学習会、乳幼児健診、小中学校保護者へ通知するとともに、後期高齢者保険証交付時に総合健診の受診勧奨を行います。 ・国保データベースシステム(以下、「KDBシステム」という。)を活用した受診推奨を行います。 ※「国保データベースシステム=KDBシステム」…全国の国保事業者の健診結果等をまとめたデータベース。それぞれの国保事業者の加入者の健康実態の分析をはじめ類似団体や全国平均等と比較ができます。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 自治会学習会、乳幼児健診などの機会を通じて、受診勧奨を行い、7月と10月に総合健診を実施した。受診者39歳以下208名、75歳以上357名、計565名が受診。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き、多様な機会を通じて受診勧奨を行う。								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防団健診受診率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>総合健診(39歳以下)受診者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>総合健診(75歳以上)受診者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	消防団健診受診率	%	総合健診(39歳以下)受診者数	人	総合健診(75歳以上)受診者数	人
目標指標	単位										
消防団健診受診率	%										
総合健診(39歳以下)受診者数	人										
総合健診(75歳以上)受診者数	人										

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) 血液検査の結果をもとに、健康教育会議で養護教諭と情報共有を行った。結果分析をし、小学校5年生と中学2年生を対象に集団指導を実施した。また、高血糖について、保護者との個別相談を行った。					進捗状況 ◎		(達成状況・課題) 4月と5月に血液検査を実施し、その結果を受けて養護教諭と栄養士とともに、授業と個別相談を行った。	
(今後の取り組み・改善策) 検査結果を踏まえた集団指導と個別相談を実施する。					(今後の取り組み・改善策)		基本事業の成果指標 B ・健診や血液検査を通じて、実施したそれぞれの世代等から生活習慣の状況が確認されたとともに、その情報を両者で共有できた。 ・結果説明会の前に、保健師・栄養士で各種ガイドラインと生活状況を関連させた事例検討を行ったことで、指導の質が向上した。	
(達成状況・課題) 5月の消防団健診では、95名の団員に血液検査を実施した。 分団ごとの結果説明会には60名が出席し、生活習慣と結びつけた保健指導を実施した。					◎			
(今後の取り組み・改善策) より多くの団員が受診できるよう、案内や受診方法の見直しを検討する。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 ・受診率の向上と、効果的な保健指導で重症化を未然に防ぐことにより、医療費の抑制につながる。 ・医療費の抑制は、国保税の抑制につながるとともに、将来的には介護保険料の抑制となり、財政負担の軽減につながる。	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明		
52.5	51.3	41.3	37.9	46.2	56.5	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
(達成状況・課題) 7月と10月に総合健診を実施した。生活習慣と結びつけた結果説明を行うことで、保健指導からの継続的な受診を促した。 受診者:39歳以下178名、75歳以上361名、計539名が受診した。					◎		(達成状況・課題) 7月と10月に総合健診を実施し、当日受診者全員と結果説明会参加者に保健指導を実施した。	
(今後の取り組み・改善策) 生活習慣病の予防が介護予防にもつながることも積極的に示しながら、さらなる受診勧奨を行う。					(今後の取り組み・改善策)			
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明		
180	208	178	175	148	190	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
323	357	361	365	367	340	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		

<p><b>【04】特定健診</b>                  ●疾病を早期に発見し、重症化を抑制するため、<b>特定健診を実施します。</b>                  ・40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象として、特定健診を実施します。                  ・集団健診、個別健診、情報提供、健診結果提出など、対象者に合わせた受診方法を提供します。                  ・国保新規加入者に対し、特定健診制度の周知を行います。                  ・健康学習会や広報誌、町ホームページなどを使い受診勧奨を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 町の総合健診、下伊那赤十字病院での特定健診・人間ドック、飯田下伊那地域の医療機関での個別健診等により、特定健診を実施した。受診率等は平成29年9月頃確定の見込み。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 定期受診を促すための保健指導を重点に置きながら、特定健診受診率向上のための取組を検討する必要がある。</p> <table border="1" data-bbox="975 504 1415 622"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	特定健診受診率	%		
目標指標	単位							
特定健診受診率	%							
<p><b>【05】健診受診後の保健指導</b>                  ●健診結果の改善により医療費伸長の抑制、重症化・死亡の回避をするため、<b>総合健診、特定健診受診者への結果説明会の充実を図ります。</b>                  ・対象者に合わせたわかりやすい結果説明に努めます。                  ・健診結果から頸部エコー検査、75g糖負荷検査、微量アルブミン検査、蓄尿検査等の二次検査を行い、健診結果の改善につなげます。                  ・健診結果により指導対象者として把握された方に対し、確実な保健指導を行い、特定保健指導率95%を維持します。                  ・受診者のうち、優先順位の高い重症化予防対象者を明らかにし、医療受診勧奨や生活習慣改善のための保健指導を行います。                  ・将来の国保への加入を見越して、国保加入者以外(社会保険の被扶養者等)の方に対する健康相談、保健指導を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 事例検討を毎月実施して健診結果の読み取りを行った。それをもとに、結果説明会や訪問を通じて、結果の説明を行った。特定保健指導率85%を達成する見込み。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 優先順位の高い重症化予防対象者を明らかにし、医療受診勧奨や生活習慣改善のための保健指導を引き続き行う。</p> <table border="1" data-bbox="975 936 1415 1137"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定保健指導率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>健診受診者結果説明率(受診者÷(説明会参加+訪問による説明))</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	特定保健指導率	%	健診受診者結果説明率(受診者÷(説明会参加+訪問による説明))	%
目標指標	単位							
特定保健指導率	%							
健診受診者結果説明率(受診者÷(説明会参加+訪問による説明))	%							
<p><b>【06】健診未受診者対策</b>                  ●重症化を予防するため、<b>健診未受診者に対して受診勧奨を行います。</b>                  ・特定健診についてはKDBシステムを利用し分析し受診勧奨対象者の絞り込みを行い、年度毎に効果的、集中的な勧奨を行います。                  ・KDBシステムを活用し、定期受診をしていない人を優先的に受診勧奨します。                  ・がん検診については、検診未受診者の実態把握を行い、検診体制の整備を図ります。                  ・全世帯を対象に健診意向調査を実施するとともに、健康診断の大切さを呼びかけます。                  ・受診率の低い年代に対し、対象者個々に訪問して受診勧奨を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 未申込者への受診勧奨通知を1,158名に発送。40歳、45歳、50歳までの対象者40名にも電話または訪問にて受診勧奨を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) KDBシステムを活用した受診勧奨対象者の絞り込みを行い、未受診者対策にさらに力を入れていく。</p>						

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

(達成状況・課題) 集団健診や個別健診等様々な被保険者の希望に沿った受診機会を設け、特定健診を実施した。平成28年度受診率は57.0%で、前年度比2%増。平成29年度受診率は、H30.10頃に確定する予定である。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 集団健診、個別健診を通年で実施した。現在の速報値は57.1(R1.2月末)となっているが、今後結果提出者等を合わせると60%に到達する見込み。
(今後の取り組み・改善策) より効果的に健診受診・保健指導を実施するため、医師からの受診勧奨、医療受診結果の提出、情報提供等、医療機関との連携体制の構築について飯田医師会と協議する。					(今後の取り組み・改善策)	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
55.0	57.0	57.8	65.7	60.0	60.0	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
(達成状況・課題) 健診結果の読み取りの学習会を毎月行い、生活習慣と結びつけた保健指導を実施した。特定保健指導率はH30.10頃に確定する予定である。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 毎月結果説明会の前に、重症化予防対象者及び特定保健指導対象者に担当をつけて事例検討会を実施した。また、説明会に出席しない人に対し、訪問を実施した。
(今後の取り組み・改善策) より効果的に健診受診・保健指導を実施するため、医師からの受診勧奨、医療受診結果の提出、情報提供等、医療機関との連携体制の構築について飯田医師会と協議する。					(今後の取り組み・改善策)	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
84.6	69.8	74.5	72.4	70	95	現状水準を維持します。
100	100	100	100	100	100	現状水準を維持します。
(達成状況・課題) 未受診者対策専門保健師が、訪問により513名に受診勧奨を実施した。そのうち263名が受診につながった。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 健診意向調査の未提出者に対し、ハガキ、電話による督促を行った。更に調査未回答者895名に対し訪問等により、227名を特定健診受診につなげた。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き未受診者対策専門保健師による受診勧奨を行う。					(今後の取り組み・改善策)	

②健康学習の推進	<p><b>【01】地域における健康学習の推進と健康意識の醸成</b></p> <p>●町の健康実態にあわせ住民の自己管理能力を育むため、学習会を行います。内容は実態に合わせたものとし、重症化予防、死亡の回避、介護予防へも反映させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会に健康推進委員を設置し、自治会での健康学習会を促進します。また健康学習会を健診受診勧奨の場として活用します。</li> <li>・企業や団体等の健康学習会を開催します。</li> <li>・健康を考える集会を運営委員事務局として支援します。</li> <li>・広報誌にて、健康に関する広報活動を行います。</li> <li>・まつかわ健やかマイレージを普及促進します。</li> </ul>	保健福祉課 保健予防係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>認知症やがんをテーマとした健康学習会を37自治会、4団体で実施した。2月には第41回松川町健康を考える集会開催の支援を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>健やかマイレージは、制度利用者が増えない状況である。平成29年度は制度を休止し、あり方について検討する。</p>
	<p>目標指標</p> <p>健康学習会回数(延べ回数)</p> <p>単位</p> <p>回</p>		
③がん予防	<p><b>【02】課題別学習会の実施</b></p> <p>●自己管理能力形成のため、健康課題別の学習会を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果の改善を目指した、慢性腎臓病予防や減塩等の学習会を行うとともに、新たな加入促進も図ります。</li> <li>・健診結果説明会において、対象者に対し課題別学習会への参加を促します。</li> </ul>	保健福祉課 保健予防係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>各種自主グループの学習会を通じて、腎機能維持回復をテーマとした学習会を年5回開催した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>腎機能低下者等を対象にした学習会の開催を検討する。</p>
	<p>目標指標</p> <p>腎機能低下者等に対する学習会開催回数</p> <p>単位</p> <p>回</p>		
③がん予防	<p><b>【01】がんを知るための取り組み</b></p> <p>●がんに関するメカニズムを知り予防するため、情報や学習の機会の提供を行い、相談の窓口となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの医療費や介護の実態の分析を行います。</li> <li>・自治会等で行う健康学習会で「がん」に関する学習会を行います。</li> <li>・広報まつかわにおいて「がん」に関する情報を提供します。</li> <li>・医療機関や専門医とともに講演会等に参加し、情報の収集を行います。</li> </ul>	保健福祉課 保健予防係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>自治会でがんについての健康学習会を実施し、情報提供と受診勧奨を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>未受診者への個別の情報提供・受診勧奨も行っていく。</p>
	<p>目標指標</p> <p>がんに関する学習会開催回数</p> <p>単位</p> <p>回</p>		
③がん予防	<p><b>【02】がん検診の推進</b></p> <p>●早期発見・早期治療につなげるため、がん検診を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の必要性を周知します。</li> <li>・健診意向調査によって、がん検診の意向を確認し受診を促します。</li> <li>・特定健診とがん検診の同時実施を継続します。(胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、肝炎)</li> <li>・要精密検査者への受診勧奨を行い、確実に受診につなげます。</li> <li>・新たに20歳、40歳になる女性に対し、それぞれ子宮頸がんと乳がんの無料クーポン券を配布し、受診を促します。</li> </ul>	保健福祉課 保健予防係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>検診意向調査表を活用して検診受診を促し、胃、大腸、肺、前立腺等がん検診の受診を促した。</p> <p>20歳と40歳の女性にそれぞれ子宮頸がんと乳がんの無料クーポンを配布した。クーポン利用者は子宮頸がん9/76名、乳がん34/80名。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>松川町の死亡統計からみて、毎年悪性新生物は上位に位置しており、受診率の向上が課題となる。個別の受診勧奨を推進していく。</p>
	<p>目標指標</p> <p>胃がん検診受診者数</p> <p>大腸がん検診受診者数</p> <p>肺がん検診受診者数</p> <p>子宮頸がん検診受診者数</p> <p>乳がん検診受診者数</p> <p>精密検査受診率</p> <p>単位</p> <p>人</p> <p>人</p> <p>人</p> <p>人</p> <p>人</p> <p>%</p>		

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果指標	C
高血圧やバランス食、国保制度改正等をテーマとした健康学習会を35自治会及び4団体で実施した。また、1月に第42回健康を考える集会の開催を支援した。					◎	家庭測定の意味や、減塩について37自治会、6団体に実施した。第43回健康を考える集会では、歯の健康について学習し、67名の参加があった。	・町で取り組むべき優先的な課題として、血圧、減量、蛋白制限について学習を実施した。 ・健康学習会や健康を考える集会による町民への健康に対する意識啓発によって、国保保険給付費は減少傾向にある。(一般療養給付費 H27→H28:▲5.1%、H28→H29:▲2.4%)	
(今後の取り組み・改善策) ・健康学習会は、包括支援センターによる認知症学習会へ振替えたケースもあり、保健予防系の学習会の減の要因ともなっている。 ・健やかマイレージのあり方検討については、平成30年度に実施予定である。					(今後の取り組み・改善策)			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
247	72	39	78	71	250	現状を維持します。		
(達成状況・課題) 腎機能低下者を対象とした学習会を3月に開催し、8名の出席があった。					◎	(達成状況・課題) 特定保健指導対象者に対し、年2回体重等の評価健診及びバランス食会を開催した。	次期計画の方向性	維持継続
(今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。					(今後の取り組み・改善策)		・町の一人当たり国保医療費は、同規模の町村と比較して86%程度(H26年度実績)に抑えられている。入院では脳血管疾患や高血圧がその要因となっている。 ・介護保険2号被保険者で要介護3以上の要因は脳卒中が58.3%を占めており、基礎疾患として100%が高血圧者であることが分かっている。 ・健康学習では、こうした課題を絞った学習会の実施により、効果的な取り組みとする。	
(達成状況・課題) 日赤病院の特定健診受診時と、検診意向調査の提出者に対し、がん検診の同時受診を勧めた。					◎	(達成状況・課題) 日赤病院の特定健診受診時と、検診意向調査の提出者に対し、がん検診の同時受診を勧めた。	基本事業の成果指標	A
(今後の取り組み・改善策) 調査票未提出者に対し、再度通知をすることにより、受診率向上を図る。					(今後の取り組み・改善策)		・特定健診受診と同時に、がん検診受診を促した。総合健診受診者に対しては積極的に受診勧奨が行えなかった。 ・無料クーポンの方に対し、対象者に通知し受診勧奨を行った。検診意向調査の未提出者に対し、がん検診の申し込みを勧めた。 ・がん検診は、登録制にしたり消化器検診の実施等住民が受けやすい体制づくりをしたのでA評価とした。	
(達成状況・課題) 検診意向調査を活用して、胃、大腸、肺、前立腺等がん検診の受診を促した。 20歳と40歳の女性にそれぞれ子宮頸がんと乳がん和大腸がんの無料クーポンを配布した。クーポン利用者は子宮頸がん8/80名、乳がん26/59名、大腸がん30/148名。					◎	(達成状況・課題) 検診意向調査を活用して、胃、大腸、肺、前立腺等がん検診の受診を促した。20歳と40歳の女性にそれぞれ子宮頸がんと乳がん和大腸がんの無料クーポンを配布し、利用者は子宮頸がん3名、乳がん27名、大腸がん29名だった。	次期計画の方向性	維持継続
(今後の取り組み・改善策) 松川町の死亡統計や高額医療費の状況からみて、毎年悪性新生物は上位に位置しており、受診率の向上が課題であるため、個別の受診勧奨を推進していく。					(今後の取り組み・改善策)		・がんの好発年齢者に対し、パンフレット等を作成し受診勧奨を行う。また、総合健診受診者に対し、12月消化器検診の受診勧奨を行う。 ・がん検診の体制を維持し、受診者の確保をしていく。	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
670	674	644	685	623	750	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
1,086	1,164	1,121	1,183	1,117	1,150	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
1,300	1,413	1,344	1,444	1,376	1,350	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
358	513	551	452	577	450	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
364	489	475	431	325	450	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
76.3	62.5	52.7	68.2	69.6	85	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		

<p>④歯・口腔の健康</p>	<p><b>【01】むし歯や歯周病の予防</b>                  ●歯の喪失を減らし、よく噛むことにより生活の質や活動能力を高めるため、<b>幼児期と学童期のむし歯予防指導を実施します。</b>                  ・乳幼児の歯科相談、歯科健診を行い、保護者が子どもに歯の健康のために生活習慣の改善や早期治療、定期的な歯科受診等を行うように指導を行います。                  ・保育園では保護者を対象とした歯の健康に関する講演会を行います。                  ・小中学校養護教諭とむし歯の情報を共有します。                  ・歯科医師会と連携し、乳幼児保護者の定期的な受診の普及を検討していきます。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 12ヶ月、2歳、3歳児健診で歯科衛生士による歯科相談を実施した(3歳児健診時には、歯科医師による健診も実施)。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 乳歯が16本に増える、味覚が広がる、自我のめばえにより歯磨きが困難になる等の特徴をもつ1歳半児についても、歯科相談を開催して支援する。</p>
<p>⑤精神保健</p>	<p><b>【01】こころの健康予防</b>                  ●こころの健康を保持するため、<b>自殺対策も含め、本人、家族へのこころの相談を行います。</b>                  ・相談を受付する窓口を周知します。また、自殺予防に関する広報活動を行います。                  ・相談内容に応じて専門医、医療機関につなげる体制を整備します。                  ・統合失調症やうつ病など、こころの病気に関する情報や自殺予防に関する情報を提供します。                  ・ひきこもりに対し、生活実態を把握して社会復帰のための支援を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 地域活動支援センター等関係機関と連携し、相談内容に応じて必要な支援を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 専用の相談窓口を平成29年度より設置する。自殺予防に向けた連絡会を開催し、総合的な推進体制を構築する。</p>
	<p><b>【02】精神障がい者が地域で暮らしていくための支援</b>                  ●<b>精神障がい者が、地域で生活できるようになるため、当事者の会や家族会を支援します。</b>                  ・地域活動支援センターとの連携をはかり、利用につなげていきます。                  ・精神疾患の長期入院の実態を分析し、地域へ移行するための体制整備を検討していきます。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 地域活動支援センター等と連携を図り、就労支援等につなげた。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 自殺対策連絡会の開催も踏まえながら、家族会への具体的支援について検討する。</p>
<p>⑥感染症の予防</p>	<p><b>【01】感染症の予防および予防接種事業</b>                  ●<b>病気の重症化や伝染の恐れのある感染症の発生・まん延を防ぎ医療費を抑制するため、予防接種を実施します。</b>                  ・予防接種法に基づき補助と受診勧奨を行います。乳幼児については健診時に接種状況を確認し、確実な接種を促します。                  ・インフルエンザについては予防接種補助事業(対象:65歳以上高齢者、保育園3歳以上児)を推進します。                  ・高齢者肺炎球菌ワクチン(65歳以上)の定期化に伴い、新規に65歳になる方に対し、接種勧奨を行います(平成32年度まで)。                  ・予防接種に対する副反応については、ワクチン接種勧奨通知にわかりやすく記載するなど周知を行います。                  ・感染症の発生やまん延を防止するため、健康危機管理体制のマニュアル作成を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 予防接種受診率向上に向け、乳幼児健診での予防接種の把握や就学前勧奨を行った。 H28年度から新たに定期接種となったB型肝炎について、乳幼児健診や2ヶ月訪問、通知等で制度周知と接種勧奨の促進を図った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 予防接種の種類や時期、接種間隔を出来るだけ分かりやすく伝えるため、予診表の配布や説明方法について見直しを行う。</p>



### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

<p>(達成状況・課題)            歯科衛生士、歯科医師による乳幼児期の歯科相談・健診を実施した。            成人の歯周病予防については、生活習慣病の予防も踏まえ、年度末年齢40、50、60、70歳及びHbA1c6.5以上者に歯周病検診を実施することとした。</p>	<p>進捗状況 ○ (達成状況・課題)            歯科衛生士、歯科医師による乳幼児期の歯科相談・健診を実施した。            成人の歯周病予防については、生活習慣病の予防も踏まえ、年度末年齢40、50、60、70歳及びHbA1c6.5以上者に歯周病検診を実施し、受診率は12.47%だった。</p>	<p>基本事業の成果指標 B            今年度初めて、成人に向けて歯周病予防のための歯科検診を実施した。また、乳幼児健診では、月齢に合った歯科指導を行ったことにより、親と子に対する歯科への関心を定着させることができた。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)            新たな取り組みであり、その実施について、住民への周知を行い、受診につなげる。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続            歯科検診の受診率が12.47%と低いと、今後広報や出前講座等で周知徹底を行い、受診率の向上を目指す。年度毎、対象者に通知を出し、受診率の向上を目指す。</p>
<p>(達成状況・課題)            ・社会福祉士等の専門家による専用の相談窓口を設置し、45件15名の相談に対応するとともに、専用電話回線を引いて、気軽に相談できる体制を整えた。            ・6月に関係機関連絡会を開催し、総合的な推進体制を整備した。</p>	<p>進捗状況 ◎ (達成状況・課題)            関係機関と連携して、自殺対策基本計画を策定した。計画策定にあたり、関係機関からの実態や課題が出され、今後の課題について検討することができた。</p>	<p>基本事業の成果指標 A            相談窓口の設置により、新たな相談者が増加した。また、自殺対策基本計画策定により、今後取り組むべき課題が明確となった。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)            関係機関の役割と町の実態を整理し、平成30年度末までに町の自殺対策推進計画を策定する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続</p>
<p>(達成状況・課題)            地域活動支援センター、福祉係も加わったケース会議等を行い、家庭の状況に応じた生活支援、就労支援等や家族会の研修支援を行った。</p>	<p>進捗状況 ○ (達成状況・課題)            地域活動支援センターと共同で、バランスの良い食事について学習した。家族会の支援については、個別相談に留まり支援はできなかった。</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続            ・精神保健福祉手帳取得者や、自立支援医療受給者に対し、関係機関と連携して、訪問や面談を実施していく。            ・年4回地域活動支援センターで利用者に対し、健康学習会を開催し、健康について学ぶ機会を作る。            以上の取り組みにより、特にうつ病を患い、その後退院になった者の受け皿としての機能を充実させることにより、社会復帰のための支援をしていく。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)            家族会への参加など、情報提供の機会を通して支援していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続</p>
<p>(達成状況・課題)            予防接種受診率向上に向け、乳幼児健診での予防接種の把握や就学前勧奨を行った。また、接種間違い防止のため、予診票に氏名、生年月日、接種注意事項を印字した。</p>	<p>進捗状況 ◎ (達成状況・課題)            子供の予防接種は、接種期間の前に問診票を送ったことで受診率向上につながった。また、毎回乳幼児健診で接種状況を確認し、保護者に受診勧奨を行った。また、新たに始まる成人の風疹事業の準備を行った。</p>	<p>基本事業の成果指標 A            ・子供の予防接種については、接種時期近くに問診票を送ったことで接種率向上につながった。風疹事業は年度途中で方針が出されたが、今年度から実施が可能となった。            ・定期接種は、接種近くに通知を出し、乳児期は接種する予防接種が多いため乳幼児健診・通知等で丁寧な確認を行い受診率向上に努めた。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)            二種混合ワクチンについては、平成30年度より個別接種に移行されるため、受診率が下がらないよう受診勧奨を行う。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続            ・引き続き乳幼児健診や広報、通知等による受診勧奨を実施していく。            ・接種率向上のため通知や接種確認作業を継続実施していく。</p>

(2) 医療救急体制の充実						
①安心して医療を受けられるまちづくり	<b>【01】町内医療機関との連携</b> ●連携した医療を行える体制を維持するため、 <b>町内医療機関と情報交換を実施します。</b> ・連携強化のための町内医療機関との定期懇談会を開催します。 ・円滑な医療体制維持のため、必要に応じ随時会議を開催します。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 12月に町内医歯会を開催し、糖尿病性腎症重症化プログラムを通じての行政とかかりつけ医との連携等について情報交換を行った。  (今後の取り組み・改善策) 歯科と認知症の関係性が指摘されていることから、歯科医師会と連携して歯周病予防等の広報活動や成人の歯科検診等について協議する。			
	<b>【02】下伊那赤十字病院との連携</b> ●下伊那赤十字病院が、地域住民の医療に対するニーズに十分に応え、地域中核病院として役割を果たすことができるよう、 <b>情報共有および意見交換を行います。</b> ・「公的病院医療確保対策補助金」を交付し、医療水準を安定的に確保します。 ・松川町日赤運営協議会等に参加し、情報共有および意見交換を行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 安定的医療水準の確保のため、下伊那赤十字病院に対して公的病院医療確保対策補助金を交付した。 日赤運営協議会を通じて、医師確保や町との連携方法について意見交換を行った。  (今後の取り組み・改善策) 特別交付税措置が8割となったことも踏まえ、運営費補助の在り方や町と病院との連携体制について引き続き協議をしていく。			
	<b>【03】医療体制の確保</b> ●地域の医療体制を確保するため、 <b>関係機関と連携し、医師等の確保に向け働きかけを行います。</b> ・看護師不足に対応するため、「看護学科就学支援制度」について検討を行います。 ・下伊那赤十字病院診療科の充実を支援します。 ・上片桐診療所の維持・支援を行います。 ・産婦人科医師の確保について関係機関へ働きかけを行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 南信州広域連合を通じ、看護師等確保対策就学資金貸与制度が整備された。 下伊那赤十字病院では、整形外科の常勤医師の配置、皮膚科診療時間の拡大がなされた。  (今後の取り組み・改善策) 個人医院の減少や産婦人科医師の確保困難な状況等の諸課題について、医歯会と情報交換を行い、県や町村会と連携して対策を検討する。			
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町内常勤医師数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	町内常勤医師数
目標指標	単位					
町内常勤医師数	人					
②救急体制の充実	<b>【04】休日・夜間急患診療体制の確保</b> ●休日および夜間において確実に診療体制がとれるよう、 <b>小児救急医療体制の確保を含め、飯伊地区包括医療協議会輪番体制を支援するとともに、住民にチャンネル・ユー文字放送、町ホームページを利用し当番医、受診方法の周知を行います。</b>	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) チャンネル・ユーや町のホームページを通じて、休日夜間緊急当番医について毎月案内を行った。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き丁寧な情報提供を行っていく。			
	<b>【01】AEDの普及</b> ●救命率を向上させるため、 <b>住民が集う機会へAEDの利用できる環境を整えます。</b> ・イベントなどで利用できるよう移動式AEDの貸与制度の拡充を検討します。 ・町内福祉施設を運営する事業者等と情報交換を行い、危機管理係と連携しAEDマップの最新化を行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 本年度未実施。  (今後の取り組み・改善策) 危機管理係や生涯学習・男女共同参画係と連携して、AEDマップの更新等について協議する。			

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

(達成状況・課題) 医師からの特定健診受診勧奨や医療情報の提供、重症化予防対象者への行政と医療双方の関わり等、第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)策定にあわせ、町と医療機関との連携体制について協議を行った。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) 特定健診の受診につながる診療情報提供の仕組みで、75名について情報を得た。また、健診結果の重症化予防のために、個別の相談を行い保健指導の共有ができた。	基本事業の成果指標 B	・医療機関と連携して、特定健診の受診率向上や重症化予防について医師と検討ができた。 ・医師会や県等と協力し医療情報について広報ができた。 ・下伊那赤十字病院との懇談会を通じ、町民や町、議会からの率直な意見や提案により情報共有等が図られた。 ・平成25年度より交付している、「公的病院医療確保対策補助金」により、安定的な医療水準の確保に一定の成果があった。
(今後の取り組み・改善策) 平成30年度より、生活習慣病との関連も踏まえた歯周病検診を新たに実施する。制度周知を行い、受診につなげる。						(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 安定的医療水準の確保のため、下伊那赤十字病院に対して公的病院医療確保対策補助金を交付した。連携体制の構築の1つとして、災害時の医療救護活動の協定を締結した。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) 公的補助について、貸借表を用いて今後の日赤のあり方について検討した。		
(今後の取り組み・改善策) 適時に意見交換の場を設けることにより、町と病院の連携体制の構築を進める。						(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 下伊那赤十字病院に耳鼻科の常勤医師が4月より採用され、外来診療日の拡大が図られた。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) 婦人科医師の休診により、婦人科健診の実施方法を飯田医師会と連携して構築した。	次期計画の方向性 維持継続	・医療費分析の結果から、高額医療になる心疾患について、発症予防のための精密検査等の体制整備について、医師と検討を行っていく。 ・引き続き医師会と連携し医療情報の広報や、医師確保について連携を行う。
(今後の取り組み・改善策) 人口規模等から医師確保が非常に困難な状況であるため、どのような方策をとることができるか、引き続き、町内医歯会、町村会、県と連携しながら対策を検討する。						(今後の取り組み・改善策)			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
11	11	11	11	11	13	過去の水準を確保します。			
(達成状況・課題) チャンネル・ユウや町のホームページを通じて、休日夜間緊急当番医について毎月案内を行っている。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) チャンネル・ユウや町のホームページを通じて、休日夜間緊急当番医について毎月案内を行っている。		
(今後の取り組み・改善策) 引き続き情報提供を行っていく。						(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 本年度未実施。						進捗状況 △	(達成状況・課題) 本年度未実施。	基本事業の成果指標 D	AEDの普及について実施できなかった。
(今後の取り組み・改善策) 危機管理係や生涯学習・男女共同参画係と連携して、AEDマップの更新等について協議する(R1年度予定)。経費的な課題解決のため、リースによる導入を進める。						(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 縮小・廃止	総務課と協議し、係単独事業は廃止していく。

<b>(3) 国民健康保険税等の健全運営</b>			
<b>①国民健康保険税等の健全運営</b>	<b>[01] 国民健康保険の健全運営</b>	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 5月と2月の2回、運営協議会を開催し、税率の設定や保健予防活動のあり方等について協議した。 平成30年度の県単位への広域化に向けた自庁システム改修を実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国民健康保険事業特別会計の長期的な安定運営のため、医療費の動向を見据えながら、適正な国保税率を設定し健全な保険運営を行います。</li> <li>・医療費の抑制を図るため、「健康まつかわ21」に沿った保健予防活動を推進します。</li> <li>・国保運営協議会を開催し、健全運営のために必要な施策を協議するとともに適正な税率を設定します。</li> <li>・悪質滞納者への厳格な対応を行います。</li> <li>・適用の修正、レセプト点検、第三者行為賠償等の適正化事業に引き続き取り組みます。</li> <li>・重症化予防対象者に対し、生活習慣病予防訪問を行い、健診結果の改善による医療費の抑制、介護予防、重症化予防、早世死亡の回避、健康格差の縮小につなげます。</li> <li>・国民健康保険事業運営計画をもとに事業運営の健全化を図ります。</li> <li>・平成30年度の県下広域化に向け、情報収集を行い準備を進めています。</li> </ul>		(今後の取り組み・改善策) 平成30年度の県下広域化に備え、適正な課税方式や率の検討、国保システムの改修等、新国民健康保険制度導入に向けた体制を整備する。
<b>第3項 支え合い、認め合う福祉のまちづくり(地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉)</b>			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 地域福祉を推進するひとづくり</b>			
<b>①住民意識の向上と学習支援</b>	<b>[01] 学校における福祉学習の支援</b>	保健福祉課 高齢者係/包括支援センター	(達成状況・課題) 包括支援センターによるオレンジ支援研修が行われた。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉やボランティア活動への関心を高めるため、小学校、中学校、高校における福祉学習を支援します。</li> <li>・福祉学習の計画支援や、取組みの発表を行う「福祉推進校連絡会」へ参加し、福祉関係施策の現状説明と学習に係る助言を行います。</li> </ul>		(今後の取り組み・改善策) 今後も包括支援センター中心に福祉学習の場を小中学校に行っていく。
	<b>[02] 広報やイベント、学習会による住民意識の高揚</b>	保健福祉課 高齢者係/福祉係/包括支援センター	(達成状況・課題) 民生児童委員改選に伴い、行政サービスの周知と地域支え合いの啓発を行った。 年6回発行の社協広報誌にて啓発を行った。またふれあい広場が10/16、福祉を考える集会在が3/22に開催され、高齢者・障がい者の垣根をこえた相互理解が図られた。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民の地域福祉に関する知識を深め、差別や偏見を取り除き、地域の支え合いの精神を醸成するため、<b>広報やイベントによる交流、学習会の開催を行います。</b></li> <li>・広報誌等による啓発を行います。</li> <li>・高齢者および障がい者、福祉事業所の交流の場である「ふれあい広場」の開催を支援します。[社]</li> <li>・福祉を考える集会の開催を支援します。[社]</li> <li>※[社]・・・松川町社会福祉協議会が実施している事業です。</li> </ul>	(今後の取り組み・改善策) 引き続き支援していく。	
<b>②高齢者、障がい者の文化スポーツ活動の支援</b>	<b>[01] 高齢者、障がい者の文化スポーツ活動の支援</b>	保健福祉課 高齢者係/福祉係	(達成状況・課題) ・ふれあい広場に高齢者クラブ作品の作品展を支援した。 ・高齢者クラブ会員やそれ以外の高齢者を対象に、7月マレットゴルフ大会、2月介護予防学習会を行った(9月グランドゴルフ大会は雨天のため中止)。県主催のシニア大学飯田支部の窓口として、広報まつかわ、チャンネル・ユーを通じて募集し、申込み受付を行った。 ・障がい者スポーツ大会の開催要綱等を身体障がい者福祉協会や家族会等に呼びかけ参加者を募った。また、協会等の組織に未加入の方には個別に周知している。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人とのふれあい、交流のため、<b>高齢者や障がい者のスポーツ大会や、文化芸術活動の支援を行います。</b></li> <li>・松川町文化祭等作品発表やイベントの支援を行います。</li> <li>・長野県障がい者スポーツ大会等の運営に参加します。</li> <li>・長野県障がい者福祉センターが実施する障がい者スポーツ教室の開催を支援します。</li> <li>・高齢者クラブ会員以外の高齢者の自主性を尊重しながら、事業参加を広報誌等を活用し促進します。【新規】</li> </ul>	(今後の取り組み・改善策) 高齢者クラブ会員の年齢も上がってきているため、町主催の集いは体を動かすことだけでなく文化的な内容など、活動内容の見直しが必要となってきている。また近年では障がい者スポーツが盛んであり、障がい者の社会参画を支援するため補装具等の給付を積極的に行っていく。	

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

<p>(達成状況・課題) 国保制度の県単位化に伴い、年間3回運営協議会を開催し、賦課方式や一般会計の繰入等、広域化に向けた松川町の方針・方向性について協議した。また、制度改正によるシステム改修も遅滞なく実施した。 保険者努力支援制度では290点/345点を獲得した(県内1位/77市町村、全国8位/1,741市町村)。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) 年2回運協を実施し、医療費の動向や税率について協議した。また、今年度から毎月KDBを用いて高額医療の状況を把握し、保健指導の実施内容について検討が行えた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度からの県単位化に伴い、国の財政支援が増大するとともに、単年度の保険給付費に左右されにくい安定的な財政運営が可能となった。</li> <li>国保の県単位化に伴い導入された「国保保険者努力支援制度」において、前倒しで行われた平成28年度において、特定健診、特定保健指導のほか保健予防の取り組みが総合的に評価され、県下1位、全国8位の成績を納めることができた。</li> </ul> </td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度からの県単位化に伴い、国の財政支援が増大するとともに、単年度の保険給付費に左右されにくい安定的な財政運営が可能となった。</li> <li>国保の県単位化に伴い導入された「国保保険者努力支援制度」において、前倒しで行われた平成28年度において、特定健診、特定保健指導のほか保健予防の取り組みが総合的に評価され、県下1位、全国8位の成績を納めることができた。</li> </ul>	
基本事業の成果指標	A					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度からの県単位化に伴い、国の財政支援が増大するとともに、単年度の保険給付費に左右されにくい安定的な財政運営が可能となった。</li> <li>国保の県単位化に伴い導入された「国保保険者努力支援制度」において、前倒しで行われた平成28年度において、特定健診、特定保健指導のほか保健予防の取り組みが総合的に評価され、県下1位、全国8位の成績を納めることができた。</li> </ul>						
<p>(今後の取り組み・改善策) 特定健診受診率の向上、がん検診受診率の向上等、保険者努力支援制度も踏まえた国保保健事業の推進を図る。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">引き続き医療費分析を毎月行い、保健事業評価も行うことで、効果的な保健事業の展開を実施することにより、国保税の抑制ひいては介護保険料の抑制に寄与する。</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	引き続き医療費分析を毎月行い、保健事業評価も行うことで、効果的な保健事業の展開を実施することにより、国保税の抑制ひいては介護保険料の抑制に寄与する。	
次期計画の方向性	維持継続					
引き続き医療費分析を毎月行い、保健事業評価も行うことで、効果的な保健事業の展開を実施することにより、国保税の抑制ひいては介護保険料の抑制に寄与する。						
<p>平成29年度評価</p>	<p>平成30年度評価</p>	<p>総括評価</p>				
<p>(達成状況・課題) 福祉学習の一環として、認知症サポーター養成講座を実施し、小学校6年生130名、高校生165名が受講し、認知症への理解を深める機会となった。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) 小学6年生で認知症サポーター養成講座を受講した児童が、中学1年になり、地域福祉学習の一環として認知症学習をし理解を深めた。(H30.7.10、町民体育館において生徒115名、先生4名)</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="2">オレンジ推進員を中心に、生徒の認知症理解を深めるため、事例等を通じた体験的プログラムを試行している。先生たちの協力により成否が顕著に表れるため入念な打ち合わせが必要となってくる。</td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	A	オレンジ推進員を中心に、生徒の認知症理解を深めるため、事例等を通じた体験的プログラムを試行している。先生たちの協力により成否が顕著に表れるため入念な打ち合わせが必要となってくる。	
基本事業の成果指標	A					
オレンジ推進員を中心に、生徒の認知症理解を深めるため、事例等を通じた体験的プログラムを試行している。先生たちの協力により成否が顕著に表れるため入念な打ち合わせが必要となってくる。						
<p>(今後の取り組み・改善策) 小中学校長とは毎年開催の確約はいただいているが、引き続き働きかけを行っていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題) 社協広報誌により、地域福祉の啓発を行った(年6回)。ふれあい広場が10/21、福祉を考える集会在2/17に開催され、住民が地域福祉に触れる機会に協力した。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) 社協広報誌により、地域福祉の啓発を行った(年6回)。ふれあい広場が10/21、福祉を考える集会在2/16に開催され、住民が地域福祉に触れる機会に協力した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「地域共生社会」の実現には、まず関係者が町の状況、住民の声を、交流を通じ共有していく必要がある。</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	「地域共生社会」の実現には、まず関係者が町の状況、住民の声を、交流を通じ共有していく必要がある。	
次期計画の方向性	維持継続					
「地域共生社会」の実現には、まず関係者が町の状況、住民の声を、交流を通じ共有していく必要がある。						
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き支援していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題) ・ふれあい広場への作品展示を各地域の高齢者クラブに案内するが、年齢的に作品を作れないとの断りがあり、今年度は出展していない。 ・高齢者クラブやそれ以外の高齢者を対象に、7月町内施設見学、9月マレットゴルフ大会、12月歴史学習会(宮ヶ瀬ものがたり)、2月学習会(我が家の漬物と塩分)を開催した。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) (福祉係)障がい者スポーツ大会の開催要綱等を身体障がい者福祉協会に呼びかけ参加者を募った。協会等未加入の方には個別に情報提供を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>(福祉係)県主催の大会運営に協力している。情報提供を松川町身体障がい者福祉協会や家族会と連携して行った。家族会の存続が懸念されているため個人対応を充実させていく必要がある。</li> <li>(高齢者係)年度当初に高齢者クラブ代表者を開催し、単位クラブの意見聴取を踏まえた年間計画を立て、季毎に事業を実施している。町の歴史や健康に関するテーマを取り上げ、参加者も徐々に増加傾向にある。</li> </ul> </td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>(福祉係)県主催の大会運営に協力している。情報提供を松川町身体障がい者福祉協会や家族会と連携して行った。家族会の存続が懸念されているため個人対応を充実させていく必要がある。</li> <li>(高齢者係)年度当初に高齢者クラブ代表者を開催し、単位クラブの意見聴取を踏まえた年間計画を立て、季毎に事業を実施している。町の歴史や健康に関するテーマを取り上げ、参加者も徐々に増加傾向にある。</li> </ul>	
基本事業の成果指標	A					
<ul style="list-style-type: none"> <li>(福祉係)県主催の大会運営に協力している。情報提供を松川町身体障がい者福祉協会や家族会と連携して行った。家族会の存続が懸念されているため個人対応を充実させていく必要がある。</li> <li>(高齢者係)年度当初に高齢者クラブ代表者を開催し、単位クラブの意見聴取を踏まえた年間計画を立て、季毎に事業を実施している。町の歴史や健康に関するテーマを取り上げ、参加者も徐々に増加傾向にある。</li> </ul>						
<p>(今後の取り組み・改善策) ・高齢者クラブの会員から「工作などが難しい」との声もあり、今後のふれあい広場への参加について検討の余地がある。 ・全町対象の高齢者クラブの内容を見直し、歴史を主題に行ったところ男性の参加が多かった。次年度も内容を各支部長と研究し、より参加してもらえる事業を行いたい。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>(福祉係)人とのふれあい、交流の場の提供のため引き続き情報提供や大会開催の支援を行う。</li> <li>(高齢者係)単位高齢者クラブの高齢化が進み、事業の充実が図ることができないなかで、町の事業を通じて各単位クラブの交流の場にもなっている。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>(福祉係)人とのふれあい、交流の場の提供のため引き続き情報提供や大会開催の支援を行う。</li> <li>(高齢者係)単位高齢者クラブの高齢化が進み、事業の充実が図ることができないなかで、町の事業を通じて各単位クラブの交流の場にもなっている。</li> </ul>	
次期計画の方向性	維持継続					
<ul style="list-style-type: none"> <li>(福祉係)人とのふれあい、交流の場の提供のため引き続き情報提供や大会開催の支援を行う。</li> <li>(高齢者係)単位高齢者クラブの高齢化が進み、事業の充実が図ることができないなかで、町の事業を通じて各単位クラブの交流の場にもなっている。</li> </ul>						

③ボランティア活動の推進と人材活用	<b>【01】地域ボランティアセンターの活動支援</b> ●ボランティアの育成や活動を支援するため、 <b>地域ボランティアセンターの運営を支援します。</b> ・ホームページや広報誌によりボランティア活動の紹介やイベントの参加呼びかけを行います。【社】 ・ボランティア活動の発表の場となる、ふれあい広場の開催を支援します。【社】 ・技能取得のための研修会の紹介を行います。【社】	保健福祉課 高齢者係	(達成状況・課題) 年6回、社協広報誌によりボランティア団体・活動の紹介、イベントのお知らせを行った。ボランティア保険加入者は1,048人。  (今後の取り組み・改善策) 地域ボランティアセンター、包括支援センター等と連携し、地域資源である団体・人材の発掘、ボランティア育成などを行っていく必要がある。	
			目標指標 ボランティア団体登録数	単位 団体数
	<b>【02】認知症サポーターの育成</b> ●地域で認知症の方の見守り活動等を支援するため、 <b>認知症サポーターを育成します。</b> ・認知症地域支援推進員による認知症サポーター養成講座講習会を開催します。【新規】	保健福祉課 地域包括支援センター係	(達成状況・課題) 新たな試みとして、6月に小学校6年生を対象にサポーター養成講座を開催した。2月の福祉を考える集会では受講者の中から3名の生徒による発表が行われ、早いうちからの認知症学習の重要性が再認識された。H28年度は301名が受講し、H28年度末で受講者の総数は1,223名となった。  (今後の取り組み・改善策) 小学校6年生については学校との話し合いで毎年開催となった。中学校2年生の福祉学習にも取り入れてくれる。金融機関をはじめとした事業所での開催を積極的に呼びかけていく。	
		目標指標 認知症サポーター登録者数	単位 人	
	<b>【03】飯田広域シルバー人材センターの活用</b> ●高齢者の生きがい対策や、団塊世代の就労支援のため、 <b>飯田広域シルバー人材センターの運営に参画します。</b>	保健福祉課 高齢者係	(達成状況・課題) 10/17、シルバー人材センター構成市町村担当課長会議に出席し、平成27年度実績等について報告を受けるとともに、来年度に向けての要望事項等を出し合い、協議した。 また、11/25には正副理事長等が来庁し、意見交換を行っている。  (今後の取り組み・改善策) 国が進める「生涯活躍のまち」の一環として、平成29年度の『福祉施設アシスタント講習会』の飯伊会場として実施されることとなった。	
<b>(2) 暮らしを支えあう地域づくり</b>				
①社会福祉協議会との連携強化	<b>【01】社会福祉協議会との連携強化</b> ●効果的な福祉サービス提供を行うため、 <b>社会福祉協議会と連携して地域福祉事業を行います。</b> ・社会福祉協議会へ社会福祉事業の委託および法人運営事業の補助を行っています。 ・個別ケースや事業検討等について協議を行う連絡会を開催します。	保健福祉課 高齢者係	(達成状況・課題) 法人運営、地域福祉事業、ボランティアセンター運営、心配ごと相談、結婚相談事業に対し補助を行った。連絡会を1回開催し、特養松川荘の改修・建替えについて検討した。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き補助を行う。 特養松川荘を含めた各福祉施設のあり方について具体的な方向を見い出せるよう検討していく。	

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

<p>(達成状況・課題) 年6回、社協広報誌によりボランティア団体・活動の紹介、イベントのお知らせを行った。ボランティア保険加入者は2,103人となっている。</p>					<p>進捗状況</p> <p>◎</p>	<p>(達成状況・課題) ・年6回、社協広報誌を発行した。 ・10月の「ふれあい広場」では、ボランティア活動の発表の場として有効であった。</p>	<p>基本事業の成果指標</p> <p>A</p> <p>・金融機関での講座の中で話し合いでは、実際の現場で認知症の方との関わりが多いことが分かった。 ・オレンジ推進員による出前講座や、認知症サポーター養成講座により、地域の中で着実に認知症に対する理解は浸透してきている。 ・社協広報誌により、地域福祉に関する情報発信を随時実施している。 ・毎年10月に実施される「ふれあい広場」では、福祉活動の啓発、ボランティア団体や福祉関係団体の発表の場として定着してきている。 ・福祉懇談会から出されたゴミ出し困難者に対する対応から、「ボランティア横づな」が発足し、中学生をはじめとする新たなボランティアへの関わりもでき始めている。 ・国の「生涯活躍のまちづくり」の推進に合わせ、シルバー人材センター主催の事業に積極的に参加するとともに、新規会員の確保に協力し、すそ野の拡大に努めた。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) 地域ボランティアセンター、包括支援センターが中心となって、地域資源である団体・人材の発掘、ボランティア育成などを行っていく必要がある。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
24	23	21	20	20	25	現在の水準を維持し、施策による増加分を見込みます。	
<p>(達成状況・課題) 昨年度、北小・中央小の両校より毎年開催の確約を得た中で、本年度も開催できた。中学1年生の福祉学習でも取り入れられ、2年連続の認知症学習となり、若いうちからの認知症理解がさらに深められた。また、高校生も165名が受講し、小～高校の流れができあがった。</p>					<p>進捗状況</p> <p>◎</p>	<p>(達成状況・課題) 小学校6年生、松川高校生の講座は恒例となった。町内金融機関1事業所からの依頼により開催した。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) オレンジ推進員(認知症地域支援推進員)を中心に、養成講座の講師役であるキャラバン・メイトと連携し、広報誌等を活用し、地域での普及啓発活動を積極的に行っていく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>・認知症サポーター養成講座については他の金融機関も含め多くの事業所へも開催依頼をかけていく。 ・地域ボランティアセンターの活動を支援することにより、町民のボランティアに対する意識付けを継続的に実施していく必要がある。 ・今後、高齢化が一層進む中で、シルバー人材センターの組織を活用した高齢者の活躍の場を設ける。</p>
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
881	1,345	1762	2,016	2,268	1,030	認知症のある方へのサポート体制として必要な登録数を施策の増加分として見込みます。	
<p>(達成状況・課題) 飯田広域シルバー人材センターの高齢者活躍人材育成事業の一環として、「福祉施設アシスタント講習会」を松川町を会場に開催し、定員15名中、11名が受講修了した。また、このうち7名が就業に結び付いている。</p>					<p>進捗状況</p> <p>◎</p>	<p>(達成状況・課題) 10/19、シルバー人材センター構成市町村担当課長会議に出席し、平成30年度実績等について報告を受けるとともに、来年度に向けての要望事項等を出し合い、協議した。また、11/22には正副理事長等が来庁し、意見交換を行っている。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 人材不足のなか、高齢者を雇用に結び付ける手段として、シルバー人材センターの果たす役割は大きい。引き続き会議に参画し、センターへの登録者を増やしたい。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) 法人運営、地域福祉事業、ボランティアセンター運営、心配ごと相談、結婚相談事業に対し補助を行った。連絡会を2回開催し、特養松川荘の改修をはじめ社会福祉施設の在り方について検討した。</p>					<p>進捗状況</p> <p>◎</p>	<p>(達成状況・課題) 「元気センター(仮称)」整備にあたり、地域福祉連絡会を開催し、施設のコンセプトや必要な部屋数などについて積極的な意見交換を行った。</p>	<p>基本事業の成果指標</p> <p>A</p> <p>・地域福祉事業に必要な経費を、補助金として交付している。 ・地域福祉活動計画の年度ごとの評価を実施する中で、行政からの助言を併せて行っている。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) 社会福祉協議会に対しては引き続き補助を行うとともに、特養松川荘の改修、社会福祉施設整備について具体的な方向を見い出せるよう検討を進める。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>・域福祉の水準を維持継続するためには、事業内容を精査した上で、必要な経費を補助していく必要がある。 ・「社会福祉施設保全計画(平成30年8月初版)」に基づいた適正な施設官営を行うため、必要に応じて連絡会を開催していく。</p>

<p>②民生児童委員による相談、支援体制の充実</p>	<p><b>【01】民生児童委員活動の充実</b>                  ●地域に密着し、住民の福祉に関わる相談や援助を行うため、民生児童委員を配置し、福祉行政情報の提供と情報交換のための民生児童委員協議会事務局を担います。                  ・毎月、民生児童委員協議会を開催し、福祉行政に関する情報提供および相談事案の報告、行事・イベント等の計画、調整を行います。                  ・民生児童委員が担当地域の家庭を訪問し状況の聞き取りや相談を行います。                  ・民生児童委員がボランティア活動や学校、保育園等のイベントに積極的に参加します。                  ・民生児童委員のスキルアップとノウハウの蓄積を図るため、定例会において事例検討並びに情報の共有を積極的に行っています。                  ・民生児童委員協議会事務局として「くらしの相談」(社協主催)に出発する委員に、施策や制度等の情報提供等を行い、相談案件の解決に向け支援します。</p>	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題)                  民生児童委員については、昨年の12月の一斉改選により10名の委員が交代した。改選当初から、介護保険や障がい者福祉サービス、生活保護制度等についての研修を行うとともに、定例会において相談案件のグループ討議を行うなど、問題の解決に向け委員自らが考え、情報を共有できるようグループワークを行っている。また、県民協や県社協の開催する研修会に積極的に参加し、委員個々の見識を広げている。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  福祉台帳や災害時要援護者支援台帳の更新を定期的に行い、委員個々の要支援者の訪問や災害時の安否確認、避難誘導に役立つよう情報の刷新を行っている。</p>				
<p>③ふれあいいきいきサロンの充実</p>	<p><b>【01】ふれあいいきいきサロンの開催支援</b>                  ●高齢者の交流による、生きがい対策や介護予防、また地域住民の集いの場として、自発的な企画運営による「ふれあいいきいきサロン」の開催を支援します。                  ・活動状況や成果などを広報します。                  ・事例研究や講師等の情報交換を、福祉懇談会やサロン代表者会等で行います。                  ・サロンの担い手の育成を図ります。【新規】</p>	<p>保健福祉課 高齢者係／包括支援センター</p>	<p>(達成状況・課題)                  ふれあいいきいきサロンは地域の31ヶ所で行われている。年6回発行の社協広報誌で活動状況などを発表している。年3回の福祉地区懇談会、1回のサロン代表者会において情報交換を行っている。サロン保険加入者は累計で2,812名。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  サロンの現状と課題について、地域ケア会議で検討が必要。</p>				
<p>④社会福祉関係団体等の活動支援</p>	<p><b>【01】社会福祉関係団体等の活動支援</b>                  ●各種社会福祉関係団体の活動の充実のため、運営の支援と、事業への協力をを行います。                  ・身体障がい者福祉協会、遺族会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会、松川町赤十字奉仕団、福祉を考える会、こども福祉教室あいま、ボランティア連絡会、精神障がい者家族会、結婚相談所の活動への助成と運営支援を行います。[社]                  ・広報誌等を通じて活動をPRします。</p>	<p>保健福祉課 福祉係/ 高齢者係</p>	<p>(達成状況・課題)                  地域の高齢者クラブ(10団体)へ活動補助を行っている。また、日赤奉仕団等のボランティア団体には社会福祉協議会を通じて活動費や災害時の救援資材の補助を行っている。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  高齢者クラブの会員・クラブ数の減少について考察していく必要がある。また、社会福祉団体、ボランティア団体については、その場しのぎではなく、計画的に活動資金や資材が活用されるよう支援していく必要がある。</p>				
<p>⑤災害時要援護者情報の整備</p>	<p><b>【01】災害時要援護者情報の整備</b>                  ●災害発生時の迅速な安否確認と救援のため、要援護者台帳を整備します。                  ・未登録の要援護者の方へ働きかけを行い、登録を促します。                  ・台帳情報の更新を随時行い、民生児童委員等と最新の情報を共有します。                  ・危機管理係等と連携し個別避難計画を見直し活用します。【新規】</p>	<p>保健福祉課 高齢者係</p>	<p>(達成状況・課題)                  ひまわり乗車券申請書発送時に、登録等案内を行っている。(188人)</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  地域支援者の確保が難しい。支援者への個人情報開示等、慎重を期すべきことも課題である。</p> <table border="1" data-bbox="970 1944 1415 2065"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害時要援護者台帳登録者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	災害時要援護者台帳登録者数	人
目標指標	単位						
災害時要援護者台帳登録者数	人						



### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

(達成状況・課題) 定例会において相談事例の検討を6回開催した。また、いいた成年後見支援センターに成年後見人制度等の講師の派遣を依頼して研修会を開催した。他、県社協主催の心配ごと相談員研修会へ民生児童委員を参加させるなど、委員のスキルアップを図った。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・毎月協議会を開催し、情報共有、相談案件の報告等を行った。 ・定例会時、ぐるーぷわーくを行い事例検討や、地域の情報共有を行った。 ・委員の訪問・連絡活動は延べ1,014回行われ地域との密着が図られた。	基本事業の成果指標 B ・毎月協議会を開催し、情報提供・連携を行い、行事・イベント等の調整、参加を行った。 ・グループワークを行う事で地域の情報共有や、委員各自のスキルアップを図った。 ・県主催の研修会に参加するとともに、北部5町村の民生児童委員会研修総会にて情報交換を行うなど、交流の場をもった。			
(今後の取り組み・改善策) 民生児童委員が収集した災害時要援護者台帳の情報は、非常時において活用を図られるべきものであるが、消防団、自治会等に情報共有が図られないため、災害の折に活用されない事が想定されることから、台帳の活用方法を検討する。						/					
(達成状況・課題) 協議会のあり方について委員にアンケートを実施し、その集約結果をもとにグループ討議を行った。定例会のあり方や進行方法、委員活動について意見・要望をいただいている。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) 定例会時、「介護保険について」「共同養育について」「社会文教委員との懇談」「社協ケアマネとの懇談」等委員のスキルアップのため講演会等を開催した。	次期計画の方向性 維持継続 地域の相談窓口として多様化する相談・問題に対し、委員のスキルアップを図ると共に、様々な機関との連携を図ることで複合的な支援方法を模索し、委員一人に負担がかかる事のないようにする必要がある。			
(今後の取り組み・改善策) 委員個々の情報交換や議会社会文教委員会・保護司・人権擁護委員等との交流会を開催し、協議会活動の幅を広げるとともに、アンケートに基づいて改善を図る必要がある。						/					
(達成状況・課題) ふれあいいきいきサロンは32ヶ所の地域で行われている。年6回発行の社協広報誌で活動状況などを発表し、年3回の福祉地区懇談会、1回のサロン代表者会において情報交換を行っている。サロン保険加入者は累計で1,875名である。						進捗状況 ○	(達成状況・課題) シニア大学OBによる、町全体を対象としたサロン「いちごサロン」が上新井商店街の「ぷらっと」で発足した。	基本事業の成果指標 B 単位高齢者クラブの解散に反比例して、役などの負担がないことから、各地区でサロンが立ち上がっている。社協としてもサロン代表者等への支援を行なっている。			
(今後の取り組み・改善策) 今後も地域ケア会議を開催し、現状の確認を行っていく。						/					
(達成状況・課題) 地域高齢者クラブ(8団体)へ活動補助を行った。						進捗状況 ◎	(達成状況・課題) ・単位高齢者クラブ(6団体、会員234名)に対し補助を行った。 ・高齢者クラブを対象に実施した町の事業には、より身近なテーマを取り上げたことにより参加者が増加している。	基本事業の成果指標 A ・単位高齢者クラブ及びその会員数は減少傾向にあるものの、花壇整備や遺跡清掃、学習会、日帰り旅行など有効活用が図られているとともに、会員の居場所づくりにも寄与している。 ・その他各種団体に対して必要な補助を行う一方、定例会などに参加して助言を行うなど、支援をしている。			
(今後の取り組み・改善策) 地域の高齢者クラブは今後も減少する傾向がある。運営方法等を各クラブ代表者などと検討する。						/					
(達成状況・課題) ひまわり乗車券申請書発送時に登録案内を行った。民生児童委員等と最新情報を共有した。						進捗状況 ◎	(達成状況・課題) ひまわり乗車券申請書発送時に登録案内を行った。4月に民生児童委員に最新情報を提供した。	基本事業の成果指標 B ・ひまわり乗車券申請書発送時に、要援護者台帳への登録をお願いしている。現在対象者の約2割が登録されている。 ・災害等発生時には最新の台帳を出力し、総務課危機管理係と情報共有している。 ・民生児童委員に対し、毎年度当初に台帳を交付し、情報共有を図っている。 ・個別避難計画の策定には至っていない。			
(今後の取り組み・改善策) 新しく転入してきた方や新興で住宅が建てられた地域では、地域支援者の確保が難しいため、民生児童委員と協力して対応する。						/					
H26	H28	H29	H30	R1	H32	目標値の説明		次期計画の方向性 維持継続			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			・災害時、迅速な対応を可能にするため、引き続き要援護者台帳の整備を進めるとともに、民生児童委員に情報提供を行っていく。			
356	308	291	284	266	396	毎年8人の増加を見込みます。					

(3) 福祉サービスの充実			
① 各種相談事業の実施	<b>【01】福祉・介護の相談</b> ●生活や介護等の困難ケースに対応するため、 <b>地域包括支援センターが総合的な相談窓口となります。</b> ・相談に来ることができない方のために訪問活動を行います。 ・民生児童委員、行政相談員、人権擁護委員、女性相談委員による「くらしの相談」と連携します。	保健福祉課 地域包括支援センター係	(達成状況・課題) 相談件数314件のうち22件を訪問対応した。くらしの相談への直接的な関わりはなかったが、民生児童委員協議会定例会へ毎回出席し、くらしの相談担当委員から情報収集をした。  (今後の取り組み・改善策) 民生児童委員協議会定例会の折に事例検討会をグループワークで行うが、地域包括支援センター職員がグループファシリテーターとして参加し情報収集を行うと同時に、委員のスキルアップを図る。
	<b>【02】権利擁護の相談</b> ●高齢者や障がい者の権利擁護のため、 <b>様々な権利擁護事業を推進します。</b> ・成年後見制度利用のための手続支援を行います。 ・高齢者・障がい者虐待の防止と対応を行います。【新規】	保健福祉課 地域包括支援センター係	(達成状況・課題) 今年度申立支援はないが、北部ブロック介護ワーキングにおいて、いいだ成年後見支援センターによる研修を受けスキルアップを図った。虐待通報5件(障がい者2件・高齢者3件)のうち1件については、養護者自らが警察通報した事案で、対応に苦慮するケースがあった。  (今後の取り組み・改善策) 精神障がいを持った高齢者への対応はより専門的なスキルと他部署との連携が必要である。県等が行う研修へ積極的に参加し、スキルアップを図る必要がある。
	<b>【03】認知症の相談窓口の充実【新規】</b> ● <b>認知症初期支援のため、地域包括支援センターが中心となって認知症初期相談を行います。</b> ・認知症初期集中支援事業を下伊那赤十字病院に委託し、地域包括支援センターと連携して、認知症の疑いがある方や、認知症の対応に苦慮している家庭へ医療面と介護面の両方で集中支援を行います。 ・認知症の初期症状等について、パンフレットや広報誌等を活用しわかりやすく情報提供します。	保健福祉課 地域包括支援センター係	(達成状況・課題) 平成28年度55件の新規相談、訪問実人数146人、延訪問件数608件。いきいき健康調査も2サイクル目に入りハイリスク者訪問も進んでいる。専門医受診、薬剤師等との連携ができています。県主催の研修において先進地事例発表を行った。  (今後の取り組み・改善策) 軽度認知症患者のための憩いのある場であるオレンジカフェを充実していく必要がある。
② 高齢者福祉サービスの充実	<b>【01】生きがいづくりと介護予防活動の推進</b> ● <b>生きがいづくりと介護予防のため、高齢者の自主性を尊重した事業を実施します。</b> ・老人福祉センターや室内温水プールでの体操教室を開催します。 ・コミュニティ・カフェ(高齢者生きがいディサービス)での生きがい活動と自立の支援をします。【新規】	保健福祉課 高齢者係/包括支援センター	(達成状況・課題) ・骨折、関節障害、筋力低下防止のため、毎週水曜日、体操教室(178人)、毎週1回昼、夜にプール教室を開催した。 ・コミカフェ 登録者333人 参加者4,111人(累計)。  (今後の取り組み・改善策) 介護予防の事業として、包括支援センター事業に位置付け、事業の強化を図っていく。
	<b>【02】ひとり暮らし高齢者等への支援</b> ● <b>ひとり暮らし世帯等のひきこもりを解消するため、訪問による声かけや安否確認を行います。</b> ・こんにちは訪問事業を実施します(訪問によるひとり暮らし高齢者の安否確認と精神的支援)。[社] ・配食サービスを実施します。[社] ・高齢者ホームヘルパー派遣事業を実施します。[社] ・高齢者や障がい者等へ緊急通報警報装置の設置斡旋を行います。	保健福祉課 高齢者係	(達成状況・課題) こんにちは訪問、配食サービスを社協に委託補助した。配食サービス利用は2,085食。配達した民生児童委員、事業所との連携から、介護サービスへつなげたり安否確認などを行った。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。
	<b>【03】介護者の負担軽減の実施</b> ● <b>介護者の負担軽減を図るため、家族支援サービスを提供します。</b> ・高齢者やすらぎ支援事業を実施します。[社] ・位置検索システムを利用した「徘徊者発見システム貸与事業」を実施します。 ・介護者教室、介護者リフレッシュ事業を実施します。[社]	保健福祉課 高齢者係	(達成状況・課題) やすらぎ支援は1名の利用があった。徘徊システム利用者は現在2名登録、28年度中は位置検索サービス利用はなかった。  (今後の取り組み・改善策) 利用者は少ないが、高齢化が進む中、引き続き支援する。

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

(達成状況・課題) 相談件数316件のうち18件を訪問対応した。くらしの相談会からの相談は1件あり、関係機関と綿密な連携をとって対応した。民児協定例会の事例検討会にも出席した。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 相談件数254件のうち18件を訪問対応した。くらしの相談所からの相談はなか く他の機関へつながった。	基本事業の成果指標   B 相談件数は前年度比△19.6%で、介護相談が 減った一方で、高齢者と単身の子供の8050問 談、認知症や精神疾患による生活維持能力の 低下に伴う成年後見制度利用の検討、虐待案 件等の超困難事例が多くなってきている。高 齢者係等と連携を図っているが、早急な人員体制 整備が求められている。				
(今後の取り組み・改善策) 相談に来ることができない方の中には、訴えること ができない方や重篤な方が潜んでいる可能性がある。 引き続き健康調査目的で訪問をかけたり、民生 児童委員と連携して訪問する。	(今後の取り組み・改善策)					
(達成状況・課題) 年3回発行の地域包括支援センター機関紙“きずな だより”において「シリーズ権利擁護」と題し、高齢者 虐待、成年後見制度、消費者トラブルについて特 集し、普及啓発を図った。 高齢者虐待通報は2件だったが経過観察となっ ている。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 地域包括支援センター機関紙“きずな だより”において「シリーズ権利擁護」 の掲載を3回行なった。 高齢者虐待通報9件、すべて経過観 察となっている。					
(今後の取り組み・改善策) 施設従事者、使用者による虐待防止のため、事業 者連絡会での研修会を開催する必要がある。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性   拡大・改善 高度な専門性が求められているため、人材育成 を図るとともに即戦力の人材を補充する必要が ある。同規模以下の町村と同じ人員配置である ため支援に支障をきたしかねない。				
(達成状況・課題) 平成29年度新規相談55件、訪問実人数172人、延 対応件数890件。平成29年5月に立ち上がったオレ ンジカフェとも連携し、情報共有することで実績の 増につながった。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 初回相談71件、実訪問数85件、延訪 問数359件、終了者に対するフォロー アップ:51件、延べ訪問数235件。 オレンジ推進員によるチャンネルYOU啓 発を行なった。地域包括機関紙にてオ レンジ通信を掲載した。					
(今後の取り組み・改善策) 普及啓発活動や民生児童委員活動を通じて、潜在 的ニーズを把握していく。	(今後の取り組み・改善策)					
(達成状況・課題) 体しなやか体ひきしめ体操教室(延べ276名)、温 水プール健康教室(延べ1,651名)を開催した。9割 弱の参加者が、痛みなどの自覚症状の改善が図ら れた。コミカフェは延5,811名の参加となり、昨年度 比41%の増となった。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 体しなやか体引締め体操教室:延べ 200人、温水プール健康教室:延べ 864人、水曜くらぶ:延べ237人、コミュ ニティ・カフェ:延べ5,992人。	基本事業の成果指標   B H29年度-H30年度対比では、高齢者数が増え ている(0.5%増)にもかかわらず、自立高齢者 率は横ばいで推移していることから予防ができ ているといえる。				
(今後の取り組み・改善策) 多くの方に参加していただけるよう訪問や広報活動 を通じて参加者を募っていく。	(今後の取り組み・改善策)					
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
82.6	84.2	84.6	84.1	84.0	82.7	第6期介護保険事業計画・老人福祉 計画に基づいた数値とします。10/1現 在
(達成状況・課題) 要支援認定を受けず、要支援相当サービスが利用 できる事業対象者は73名となっており、早いうちか らの介護予防につながっている。福祉用具等が必要 な要支援認定者は微減となっている。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・こんにちは訪問、配食サービスを社 協に委託実施している。配食サービス は近年増加傾向にある。 ・緊急通報装置は現在75名が設置し ており、センサー等による通報が640回 あった。					
(今後の取り組み・改善策) 65歳の1号被保険者資格取得時、75歳の後期高齢 者医療保険資格取得時に介護予防と介護保険制 度を説明し普及啓発を図るとともに、健康指導の機 会としても位置付けていく。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性   維持継続 H30年度開始の65歳介護保険説明会におい て、生活習慣病・介護予防の意識付けを行な い、介護予防事業を紹介していく。高齢者の保 健事業と介護予防を一体的に実施し、フレイル 予防を図っていく。				
(達成状況・課題) 徘徊システム利用者は3名登録されている。1名が 頻回に位置検索サービスを利用している。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・やすらぎ支援事業の利用はなかつ た。 ・認知症高齢者の事件をきっかけに、 徘徊高齢者システムは現在5名が導 入。					
(今後の取り組み・改善策) 引き続き支援を行う。 頻回に利用(徘徊)する方については、別の介護 サービス利用(デイサービス利用、施設入所等)に ついてケアマネージャーを通して進めていく。	(今後の取り組み・改善策)					

③予防重視による介護費用の抑制	<p><b>【01】介護保険事業の健全な運営</b></p> <p>●適正な介護サービスの供給と質の確保のため、<b>介護保険事業の健全な運営を行います。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険事業計画に沿った介護給付費適正化事業を行い、介護給付費の抑制を行います。</li> <li>介護保険事業計画期間中に、介護保険運営状況を点検し次期計画策定時に保険料を決定します。</li> <li>サービス事業者への指導監督を行います。</li> </ul>	保健福祉課 高齢者係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>保険料は第6期介護保険事業計画に基づいている。介護保険給付費適正化事業を国保連に委託し縦覧点検を行っている。第7期事業計画策定のための『高齢者等実態調査』を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>平成29年度に第7期介護保険事業計画を策定する。</p>
	<p><b>【02】地域包括ケアシステムの推進【新規】</b></p> <p>●高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、<b>介護予防と日常生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防・日常生活支援事業を推進します。</li> <li>生活支援コーディネータを配置します。</li> <li>在宅医療と介護の連携を推進します。</li> </ul>	保健福祉課 地域包括支援センター係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>平成28年4月開始の総合事業も利用者、事業者理解され、真にサービスが必要な方への支援がきめ細やかになった。生活支援コーディネータは、ケアマネジメントを通じ地域包括ケアシステム構築を担ってもらっている。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>在宅医療・介護連携推進については南信州在宅医療介護連携推進協議会を中心に行っていくが、退院調整ルールづくり等、一保険者では扱えない大きな課題も出てきている。</p>
④障がい者福祉サービスの充実	<p><b>【01】障がい者福祉サービス利用のための相談支援の充実</b></p> <p>●障がい者本人や家族のニーズに即した障がい福祉サービスを提供するため、<b>相談支援を行います。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飯伊圏域障がい者総合支援センター、サービス事業所、医療機関等と連携し、障がい者の現状、適切なサービスを把握するため支援会議を開催します。</li> </ul>	保健福祉課 福祉係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>支援会議において障がい者本人やその家族から近況や要望について聞き取りを実施。また、区分認定調査により障がい者の能力(区分)を正確に把握し、サービスの種類や量を決定している。H28年度は、支援計画及び区分認定について更新26件、新規10件のサービス決定を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>近隣の地域でも入所施設やグループホームの収容能力が限界に来ており、今後障がい者の自立に向け、就労訓練や地域生活移行に積極的に取り組んで行く必要がある。</p>
	<p><b>【02】地域生活支援事業等の充実</b></p> <p>●在宅の障がい者や介護家族の負担軽減のため、<b>地域生活支援事業等のサービス提供に努めます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外出による社会参加を促進する移動支援事業を実施します。</li> <li>聴覚、視覚等障がい者との意思疎通を仲介するコミュニケーション支援事業を実施します。</li> </ul>	保健福祉課 福祉係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>H28年度は主に在宅の障がい者の一般社会での生活を支えるため、移動支援事業について対象者25名、延213回のサービスを提供した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>昨今、在宅の障がい者については、家族が負担軽減のため複数の施設やサービスを組み合わせ利用しており、自宅から施設、施設から施設への交通のため移動支援事業の需要が増えている状況。在宅障がい者の支援を根本的に検証していく時期にきている。</p>
	<p><b>【03】福祉機器・用品の給付</b></p> <p>●障がい者の生活の便宜を図るため、<b>身体機能を補完する補装具の交付、修理を行うとともに、日常生活用具を給付します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補装具を給付します。</li> <li>日常生活用具を給付します。</li> </ul>	保健福祉課 福祉係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>日常生活用具(主に紙おむつ、ストマ用資材)については概ね40名の利用者に対して購入費の補助を行った。補装具については車椅子や電動車椅子の購入や修繕、義足や義肢の新設や調整用の助成を25名に行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>ストマ用具(蓄便器、蓄尿器)や紙おむつについては、支給の遅れが利用者の死活問題となる事から迅速に給付処理を行っていく。また、補装具については利用者の体に変化していく事から、耐用年数に配慮しつつも適宜に更新を検討していく必要がある。</p>
	<p><b>【04】松川町地域活動支援センターあすなるの運営</b></p> <p>●障がい者等の社会参加と創作活動や就労支援に資するため、<b>松川町地域活動支援センターあすなるを運営します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動支援センターあすなるを親愛の里松川に委託し運営します。</li> <li>障がい者やその家族の相談支援を行います。</li> <li>工賃作業等の軽労働を通して職業訓練を行います。</li> <li>レクリエーションや社会見学を通して利用者の社会参画を促します。</li> <li>利用者のニーズに対応した幅の広いサービスメニューを企画していきます。</li> </ul>	保健福祉課 福祉係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>平成27年度当時は手探りで開所した「あすなる」も、現在では一日当たりの受入人数10名/日に対して年間平均6.4人と増加しており、就労訓練や創作活動、ニュースポーツ等を通じて引きこもりがちな障がい者に社会参画の機会が提供できている。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>施設の存在やどのような施設であるか周知不足であり、町の広報紙やホームページに公開する他、定期的にパンフレットを刷新し、施設の魅力を発信していく必要がある。また、サービスメニューについても一層の充実が求められる。</p>

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

<p>(達成状況・課題) 保険料は、第6期介護保険事業計画に基づいている。介護保険給付費適正化事業を国保連に委託し、縦覧点検を行っている。 第7期事業計画を策定し、保険料を定めた。</p>	<p>進捗状況 ◎</p>	<p>(達成状況・課題) ・第7期介護保険事業計画・地域ケア計画に基づいて事業を実施した。 ・65歳到達者に対する説明会を新たに開催し、生活習慣病予防について保健師より指導を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td colspan="2">増えつつある事業対象者のケアマネジメントを行える職員体制を整備する必要がある。</td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	増えつつある事業対象者のケアマネジメントを行える職員体制を整備する必要がある。	
基本事業の成果指標	B						
増えつつある事業対象者のケアマネジメントを行える職員体制を整備する必要がある。							
<p>(今後の取り組み・改善策) 第7期介護保険計画に沿って事業を推進していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>拡大・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高度な専門性が求められているため、人材育成を図るとともに即戦力の人材を補充する必要がある。同規模以下の町村と同じ人員配置であるため支援に支障をきたしかねない。</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	高度な専門性が求められているため、人材育成を図るとともに即戦力の人材を補充する必要がある。同規模以下の町村と同じ人員配置であるため支援に支障をきたしかねない。	
次期計画の方向性	拡大・改善						
高度な専門性が求められているため、人材育成を図るとともに即戦力の人材を補充する必要がある。同規模以下の町村と同じ人員配置であるため支援に支障をきたしかねない。							
<p>(達成状況・課題) 要支援認定を受けず、要支援相当サービスが利用できる事業対象者は73名となっており、早いうちからの介護予防につながっている。福祉用具等が必要な要支援認定者は微減となっている。</p>	<p>進捗状況 ○</p>	<p>(達成状況・課題) 事業対象者109人となっており、介護保険を使わず予防が行なわれており「ほぼ自立」が維持できている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul> </td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul>	
基本事業の成果指標	B						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul>							
<p>(今後の取り組み・改善策) 65歳の1号被保険者資格取得時、75歳の後期高齢者医療保険資格取得時に介護予防と介護保険制度を説明し、普及啓発を図って行く。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul> </td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul>	
基本事業の成果指標	B						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul>							
<p>(達成状況・課題) 障がい者及びその家族からサービスに対する要望等を支援会議において把握した。 また、障がい福祉サービス受給者(新規12件、更新21件)の区分認定調査を行い、適正な給付につなげた。</p>	<p>進捗状況 ◎</p>	<p>(達成状況・課題) ・支援者会議、退院カンファレンス等に参加し、本人、家族、支援者との連携を行った。 ・基準となる区分認定調査はH30年度更新25件、新規4件行い適正な給付に繋がった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul> </td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul>	
基本事業の成果指標	B						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用のための相談に応じ、本人家族の思いを受け、事業所、医療機関等と連携を取りながらサービス利用に繋げている。</li> <li>・利用者の生活環境、身体環境等に応じて地域支援事業の提供や福祉機器等の給付を行った。</li> <li>・「あすなる」について委託運営を行った。利用者の状況や相談内容について情報共有を行い、就労支援などサービスへの移行を行った。</li> </ul>							
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き個々の障がいに対し適正なサービスを提供するためのきめ細かい計画相談に取り組んでいく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>拡大・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>	
次期計画の方向性	拡大・改善						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>							
<p>(達成状況・課題) H29年度は主に在宅の障がい者の地域での生活を支えるため、移動支援事業について、対象者22名、延べ51回のサービスを提供した。</p>	<p>進捗状況 ◎</p>	<p>(達成状況・課題) ・移動支援事業について、対象者23名、延べ164回のサービスを提供した。 ・手話通訳を2件派遣した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>拡大・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>	
次期計画の方向性	拡大・改善						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>							
<p>(今後の取り組み・改善策) 地域生活支援拠点(障がい者総合支援センター)のバックアップを得て、障がい者の一般住宅やグループホーム等での生活を推進していく。また、権利擁護の方策として成年後見制度を活用していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>拡大・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>	
次期計画の方向性	拡大・改善						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>							
<p>(達成状況・課題) 日常生活用具(主に紙おむつ、ストマ用資材)については概ね34名の利用者に対して購入費の補助を行った。補装具については車椅子の購入や修繕、義足や義肢の新設、調整に対する助成を27名に行った。</p>	<p>進捗状況 ◎</p>	<p>(達成状況・課題) ・日常生活用具(主にストマ、紙オムツ)について33名の利用者に対して購入費の補助を速やかに行なった。 ・補装具については車椅子や補聴器等の購入、修理の助成を29名に行なった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>拡大・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>	
次期計画の方向性	拡大・改善						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>							
<p>(今後の取り組み・改善策) 日常生活用具については、給付の遅れが要支援者の生活を制限してしまうため、迅速な支給決定を心掛けていく。又、補装具等については、本人の体に適合した規格品を支給できるよう心掛ける。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>拡大・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>	
次期計画の方向性	拡大・改善						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>							
<p>(達成状況・課題) 「あすなる」の利用者数は定員10人/日に対して、H30年3月末では平均9.9人まで増えている。また、就労訓練や創作活動、ニュースポーツ等のメニューも充実してきており、就労移行者は2名あった。</p>	<p>進捗状況 ◎</p>	<p>(達成状況・課題) ・利用者が平均10.2人まで増えている。また、利用者1名が障がいサービスである就労継続支援B型を開始した。 ・施設PRのため「うえるかむでい」を開催し、まつかわカレンダーで周知した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>拡大・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>	
次期計画の方向性	拡大・改善						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>							
<p>(今後の取り組み・改善策) 現行の施設は、共同作業所の延長施設であり、単費運営となっている。施設の方向性については、社会福祉施設の在り方と合わせて検討していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>拡大・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	拡大・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>	
次期計画の方向性	拡大・改善						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用について、本人・家族の希望に沿いつつ、提供を行っていく。計画相談所や事業所の少なさに対し今後さらに増える利用者への対応が課題となる。</li> <li>・「あすなる」について、利用者が10人/日確保できるようになったことから、これまでの基礎的事業から機能強化Ⅲ型へ移行し、プログラムの充実、精神福祉士の常駐による相談支援など活動を強化する。また、精神障害等による長期入院者の退院後の社会復帰前の受け皿にもなっているため、保健福祉課予防係や医療機関との連携が重要となる。</li> </ul>							

<p>⑤生活安定施策の推進</p>	<p><b>(01)生活支援制度の利用支援</b>                  ●生活困窮世帯が各種制度を利用しやすくなるため、生活保護制度の他、各種支援制度について紹介、手続きの支援を行います。                  ・生活保護認定にあたっては、長野県保健福祉事務所と連携して相談、手続きの支援を行います。                  ・各種給付金融資制度の相談等の支援を行います。</p>	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題) 生活保護制度については、8件の相談案件に応じ、うち3名について生活保護が認定された。当面の食糧に困窮する支援者については、「まいさぼ飯田」から福祉米を給付し、社会福祉協議会の生活資金の斡旋も取り次いだ。(H28年度末生活保護世帯29世帯、34人)</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 生活困窮者(世帯)については、急に表面化し緊急の対応を迫られるものが多く、事前に情報を察知するため地区の民生児童委員や福祉推進委員から事実確認を確実に行う他、相談事案については、詳細に聞き取りをしていく。</p>
	<p><b>(02)生活困窮世帯の自立のため相談支援</b>                  ●高齢者や障がい者等の経済的負担軽減のため、税の減免や給付事業を行います。                  ・税の減免や所得控除手続きの支援を行います。                  ・福祉医療費給付事業により、生活困窮世帯の各種医療保険における自己負担の軽減を図ります。                  ・介護用品クーポン券を支給します。                  ・「まいさぼ飯田」(生活就労支援センター)や社会福祉協議会等へ就労支援および家計相談の仲介を行います。</p>	<p>保健福祉課 福祉係／高齢者係</p>	<p>(達成状況・課題) 確定申告時、介護認定者で障害者控除対象相当者に「障害者控除対象者認定書」、要介護者で医師の診断により認められた方に「おむつ使用証明書」を発行した。 介護用品クーポン券は対象者448名で申請が400名(89.3%)あった。 障がい者については手帳等の交付時に税制やNHKの受信料、高速道路の通行料の減免などの制度の説明を行っており、手続きに必要な証明等を発行している。また、生活困窮世帯については、「まいサボ」等の家計相談支援に仲介しました。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 生活困窮者世帯(者)の支援については単なる経済力の不足力や、多重債務、高齢や障がいにより起因する就労困難など、ケースによって異なる対応が求められるため、関係機関との連絡・連携を密にして取り組む必要がある。</p>
<p>(4)地域福祉の基盤整備</p>			
<p>①福祉情報の広報の充実</p>	<p><b>(01)福祉サービス情報の提供</b>                  ●福祉サービス情報の提供のため、様々な媒体を利用した広報活動を行います。                  ・「広報まつかわ」と「社協だより」の連携により、分かり易い情報発信を行います。                  ・ホームページの福祉サービス内容についてページを拡充し、説明と申請書類等の入手を容易にします。                  ・社会福祉関係団体の活動内容や方法を紹介します。</p>	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題) 臨時福祉給付金や出生子育て支援金等の案内や優遇制度を広報紙や町ホームページにより情報公開している。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 町ホームページに古い情報が掲載されている記事があり、早急に刷新する。</p>
<p>②人権擁護の推進</p>	<p><b>(01)人権擁護の推進</b>                  ●高齢者や障がい者に対する、同情や隔離による差別の思想が発生しないように、啓発や相談事業を行います。                  ・人権擁護について、広報誌で啓発します。                  ・人権擁護委員による人権相談所の利用斡旋と、啓発活動の支援を行います。</p>	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題) 人権擁護委員の人権相談窓口の会場を提供する他、郡の人権擁護委員会や中学生の啓発活動に参加した。また相談案件については、法務局内の人権擁護委員会事務局へつないでいる。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 人権擁護の啓発活動に積極的に参加していく。</p>
<p>③住宅改造の促進</p>	<p><b>(01)住宅改造の促進</b>                  ●在宅での自立生活を支援するため、手すりの取り付け等の住宅改修を推進します。                  ・長野県地域福祉総合助成事業を推進します。                  ・介護保険事業住宅改修補助事業を推進します。</p>	<p>保健福祉課 福祉係／高齢者係</p>	<p>(達成状況・課題) ・「高齢者にやさしい住宅改修」は0件。介護保険事業住宅改修は43件の支給があった。                  ・「障がい者にやさしい住宅改良促進事業」は1件の支給があった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) ・高齢化や障がい者の日常生活における支障を除去するため、住宅改修の需要が高まっている。住宅改良事業等は今後とも推進していくほか、制度の周知にも努めていく。</p>

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

<p>(達成状況・課題) 生活保護制度については、6件の相談案件に応じ、うち新規3件について生活保護に認定されたが、その後の措置入所等により1件となった。現在27世帯(30人)が生活保護の対象となっている。H29年度は緊急案件、困難案件が多かった。</p>	<p>進捗状況 ○</p>	<p>(達成状況・課題) 生活困窮について11件の相談案件に応じた。社会福祉協議会やまいさば飯田と連携を取り、生活資金の斡旋や就労支援を行い新規認定は0件であった(生活保護世帯27世帯。31人)。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(福祉係)生活困窮世帯については複合的な要因がある世帯が多く、課内のみならず保健福祉事務所、社会福祉協議会、まいさば飯田と連携して金銭面、自立面等支援を行った。 (高齢者係)確定申告時、介護認定者で障害者控除対象相当者に「障害者控除対象者認定書」、要介護者で医師の診断により認められた方に「おむつ使用証明書」を発行している。</td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	(福祉係)生活困窮世帯については複合的な要因がある世帯が多く、課内のみならず保健福祉事務所、社会福祉協議会、まいさば飯田と連携して金銭面、自立面等支援を行った。 (高齢者係)確定申告時、介護認定者で障害者控除対象相当者に「障害者控除対象者認定書」、要介護者で医師の診断により認められた方に「おむつ使用証明書」を発行している。	
基本事業の成果指標	B						
(福祉係)生活困窮世帯については複合的な要因がある世帯が多く、課内のみならず保健福祉事務所、社会福祉協議会、まいさば飯田と連携して金銭面、自立面等支援を行った。 (高齢者係)確定申告時、介護認定者で障害者控除対象相当者に「障害者控除対象者認定書」、要介護者で医師の診断により認められた方に「おむつ使用証明書」を発行している。							
<p>(今後の取り組み・改善策) 国の方針により、保護費の引き下げが予定されており、受給者からの問い合わせ等も予想される。今後の国の動向を注視する。</p>	(今後の取り組み・改善策)						
<p>(達成状況・課題) 【高齢者】確定申告時、介護認定者で障害者控除対象相当者に「障害者控除対象者認定書」、要介護者で医師の診断により認められた方に「おむつ使用証明書」を発行した。介護用品クーポン券は対象者485名で申請が422名(87.0%)あった。 【障がい者】手帳等の交付時に税制やNHKの受信料、高速道路の通行料の減免などの制度の説明を行っており、手続に必要な証明等を発行している。また、生活困窮世帯については、「まいサポ」等の家計相談支援に仲介した。</p>	<p>進捗状況 ○</p>	<p>(達成状況・課題) 【障がい者】手帳の更新時に税制やNHK受信料、高速道路通行料の減免等の制度説明を行い、手続に必要な証明等を発行している。生活困窮者については社会福祉協議会やまいさば飯田と連携を取り、生活福祉資金の斡旋、家計相談、就労相談を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(福祉係)生活困窮世帯の多くは金銭面、生活面などで長期的な支援が必要な場合が多く、各機関と連携を取りながら継続的な支援が必要となる。 (高齢者係)高齢者の経済的負担軽減のため、税法上定められた経費については、控除証明書の発行を行う。</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	(福祉係)生活困窮世帯の多くは金銭面、生活面などで長期的な支援が必要な場合が多く、各機関と連携を取りながら継続的な支援が必要となる。 (高齢者係)高齢者の経済的負担軽減のため、税法上定められた経費については、控除証明書の発行を行う。	
次期計画の方向性	維持継続						
(福祉係)生活困窮世帯の多くは金銭面、生活面などで長期的な支援が必要な場合が多く、各機関と連携を取りながら継続的な支援が必要となる。 (高齢者係)高齢者の経済的負担軽減のため、税法上定められた経費については、控除証明書の発行を行う。							
<p>(今後の取り組み・改善策) 【高齢者】引き続き支援していく。 【障がい者】相談案件ごとに丁寧な聞き取りを行い、ケースに応じて福祉事務所、まいサポ、社会福祉協議会等関係機関に取り次いでいく。</p>	(今後の取り組み・改善策)						
<p>(達成状況・課題) 出生子育て支援金や臨時福祉給付金の情報等を広報やホームページで情報公開している。</p>	<p>進捗状況 ○</p>	<p>(達成状況・課題) 出生子育て支援金や福祉医療制度等についてを広報紙やホームページで情報提供を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td colspan="2">随時新しい情報について広報やホームページで情報提供を行ったが、既存のサービスについて額面の変更など対応が遅れがちであった。</td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	随時新しい情報について広報やホームページで情報提供を行ったが、既存のサービスについて額面の変更など対応が遅れがちであった。	
基本事業の成果指標	B						
随時新しい情報について広報やホームページで情報提供を行ったが、既存のサービスについて額面の変更など対応が遅れがちであった。							
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き、適時に情報提供を行う。</p>	(今後の取り組み・改善策)		<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">常に新しい情報を提供する必要があり、また申請様式など使いやすい情報提供が必要となる。</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	常に新しい情報を提供する必要があり、また申請様式など使いやすい情報提供が必要となる。	
次期計画の方向性	維持継続						
常に新しい情報を提供する必要があり、また申請様式など使いやすい情報提供が必要となる。							
<p>(達成状況・課題) 人権擁護委員の相談窓口開設に伴い、音声放送等で周知している。</p>	<p>進捗状況 ○</p>	<p>(達成状況・課題) ・人権擁護委員の相談窓口をホームページ、まっかわカレンダーで広報した。またポスター掲示を各区に依頼した。 ・人権週間には委員と共に街頭啓発を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人権擁護委員活動の継続的な支援、周知を行った。</td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	B	人権擁護委員活動の継続的な支援、周知を行った。	
基本事業の成果指標	B						
人権擁護委員活動の継続的な支援、周知を行った。							
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き人権擁護委員の活動を支援するほか、改選期においては適切な人材を推薦していく。</p>	(今後の取り組み・改善策)		<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">法務局と連携を取りながら人権擁護委員の活動が円滑に進むよう協力を行っていく。</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	法務局と連携を取りながら人権擁護委員の活動が円滑に進むよう協力を行っていく。	
次期計画の方向性	維持継続						
法務局と連携を取りながら人権擁護委員の活動が円滑に進むよう協力を行っていく。							
<p>(達成状況・課題) ・「高齢者にやさしい住宅改修」は1件。介護保険事業住宅改修は50件の支給があった。町独自事業の高齢者自立支援住宅改修は10件の利用があった。</p>	<p>進捗状況 ○</p>	<p>(達成状況・課題) (福祉係)「障がい者にやさしい住宅改良即人事業」は希望がなく実績がなかった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(福祉係)長野県地域福祉総合助成事業の要綱に沿って事業を行った。 (高齢者係)介護保険の対象とならない住宅改修事業に対し補助を行っている。また、介護保険事業による住宅改修事業については、保険給付費の中で小規模な住宅改修を実施している。</td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	A	(福祉係)長野県地域福祉総合助成事業の要綱に沿って事業を行った。 (高齢者係)介護保険の対象とならない住宅改修事業に対し補助を行っている。また、介護保険事業による住宅改修事業については、保険給付費の中で小規模な住宅改修を実施している。	
基本事業の成果指標	A						
(福祉係)長野県地域福祉総合助成事業の要綱に沿って事業を行った。 (高齢者係)介護保険の対象とならない住宅改修事業に対し補助を行っている。また、介護保険事業による住宅改修事業については、保険給付費の中で小規模な住宅改修を実施している。							
<p>(今後の取り組み・改善策) 高齢者が介護保険を利用せず、軽微な住宅改修(手すり設置等)で自立できるよう支援したことにより、給付費の削減につながった。今後も引き続き支援していく。</p>	(今後の取り組み・改善策)		<table border="1"> <tr> <td>次期計画の方向性</td> <td>維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(福祉係)身体障がいのある方が日常生活の一部を自力で行えるよう支援の必要があるため。 (高齢者係)自身が住み慣れた場所で、人生の最期まで生活する、「地域包括ケアシステム」の考え方を尊重し、引き続き自宅生活を支援するため必要な住宅改修事業を実施する。</td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続	(福祉係)身体障がいのある方が日常生活の一部を自力で行えるよう支援の必要があるため。 (高齢者係)自身が住み慣れた場所で、人生の最期まで生活する、「地域包括ケアシステム」の考え方を尊重し、引き続き自宅生活を支援するため必要な住宅改修事業を実施する。	
次期計画の方向性	維持継続						
(福祉係)身体障がいのある方が日常生活の一部を自力で行えるよう支援の必要があるため。 (高齢者係)自身が住み慣れた場所で、人生の最期まで生活する、「地域包括ケアシステム」の考え方を尊重し、引き続き自宅生活を支援するため必要な住宅改修事業を実施する。							

<p>④交通手段の確保</p>	<p><b>【01】交通手段の確保</b>                  ●交通弱者の円滑な社会参加のため、公共交通の利用促進と、移動支援を行います。                  ・高齢者世帯や心身障がいを持つ方へ、ひまわり乗車券(タクシー券)を交付します。                  ・障がい者福祉サービスおよび介護保険サービスとして、移動支援事業の給付を行います。                  ・福祉有償運送の担い手の育成を行います。【社】【新規】</p>	<p>保健福祉課 高齢者係</p>	<p>(達成状況・課題)                  ひまわり乗車券対象者は1,855人、申請者792人(42.7%)。フルーツバス利用時に1回乗車で200円券1枚を400円券にしてくれるため、併用する方が増えた。ストレッチャーの利用できるタクシーも用意され、利便性が高くなった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  引き続き実施する。</p>
<p>⑤安心して外出できる環境整備</p>	<p><b>【01】公共施設のバリアフリー化の推進</b>                  ●障がい者等が安心して外出できるようにするため、公共施設や道路のバリアフリーチェックを行い、改善を進めます。                  ・社会福祉関係団体と連携して、道路や公共施設のバリアフリーチェックをし、改善を行います。                  ・公共施設の建築、改修にあたっては、バリアフリーを考慮した設計施工を行います。</p>	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題)                  H28年度は未実施。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  公共施設、公道など杖や車椅子の方が利用しにくい箇所を抽出し、施設管理部門や道路管理部門と協議しつつ改良を進める。また、視覚障がいの方の点字ブロックについて、必要箇所の検討を行う。</p>
<p>⑥地域福祉の拠点整備</p>	<p><b>【01】社会福祉センター、サービスセンター、特養松川荘の管理</b>                  ●社会福祉活動の円滑で適正な推進のため、社会福祉センター、サービスセンター、特別養護老人ホーム松川荘を管理します。                  ・施設の管理運営を、指定管理者制度により社会福祉法人へ指定管理します。                  ・施設の維持に必要な大規模修繕および設備更新等を行います。                  ・老人福祉センターの施設整備計画と併せて、特養松川荘の施設整備計画を策定します。【新規】</p>	<p>保健福祉課 高齢者係</p>	<p>(達成状況・課題)                  松川町社会福祉協議会に運営管理を指定管理した。地域福祉連絡協議会を開催し、特養松川荘の建替え等について協議を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  老人福祉センターの耐震診断結果を受け、旧北名子保育園の活用や特養松川荘の在り方を含め、社会福祉施設について検討していく。</p>
	<p><b>【02】老人福祉センターの管理</b>                  ●高齢者の介護予防事業の拠点施設として、利用しやすい施設維持管理を行います。                  ・最適な方法により修繕を行います。                  ・特養松川荘の施設整備計画と併せて、老人福祉センターの施設整備計画を策定します。【新規】</p>	<p>保健福祉課 高齢者係</p>	<p>(達成状況・課題)                  老人福祉センターの耐震診断を行い、1階X方向についてIs値0.42(基準値=0.6)であった。結果について議会全員協議会へ報告するとともに、老人福祉センターを利用する社協・親愛の里へ結果報告を行い、方向性について検討を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  地域福祉連絡協議会において、耐震結果に基づいて、特養松川荘を含めた施設の在り方について検討を進める。</p>
	<p><b>【03】高齢者支えあい拠点施設の整備</b>                  ●地域において、高齢者や障がい者等が、様々な世代の住民と交流を行うコミュニティ施設として、高齢者支えあい拠点施設の整備を推進します。</p>	<p>保健福祉課 高齢者係</p>	<p>(達成状況・課題)                  自治会施設を高齢者支えあい拠点施設として利用し、その地域に住む様々な年齢層の方の交流の場となった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  活用状況を精査し、必要に応じ適正な利用の指導を行う。</p>



### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

(達成状況・課題) ひまわり乗車券対象者は1,858人、申請者764人(41.1%)。申請時にフルーツバス利用も推進した。	進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 対象者1,898人に対し、申請者は41%であった。免許返納者からの問い合わせも数件受けており、要綱に基づき交付した。	基本事業の成果指標 A 要介護認定者、認知症患者、身障手帳(重度)・療育手帳(重度)・精神保健福祉手帳(重度)所持者及び、平成27年度から拡充した65歳以上で一定の条件下にある者に対し、乗車券として、年間19,200円/人を交付し、社会参加等への支援を行った。
(今後の取り組み・改善策) ひまわり乗車券申請の窓口で、フルーツバスについて利便性が良くないとの声をよく聞いた。住民からの声をまちづくり政策課につなげ、オンデマンド方式など検討してもらうようつなげていく。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 拡大・改善 65歳以上の一定条件を満たす者への交付を拡大したことで、不公平感が生じている。フルーツバスとの明確な棲み分けが必要で、ひまわり乗車券としては本来の給付に戻すことを検討する。
(達成状況・課題) 町道新井西線の県営上新井団地から郵便局までの歩道区間については車椅子利用者等から苦情もあり、担当課に取り次いだものの、支障も多く着工できていない。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 担当課により、県営上新井団地からキラヤ駐車場までの側溝の改良工事を行っている。将来的には松川インター大鹿線交差点までの改良を予定している。	基本事業の成果指標 C 公共施設や道路が対象のため、迅速に対応することが難しかった。
(今後の取り組み・改善策) バリアフリーチェックについては、公共施設等を中心に見回りを行い、必要がある時は関係機関に働きかけていく。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 引き続き窓口や社会福祉協議会などに要望等を届ける等、関係機関と連携を取りながら対応していく。
(達成状況・課題) 松川町社会福祉協議会が指定管理者制度により運営している。地域福祉連絡協議会を開催し、特養松川荘の建替え等について協議を行った。	進捗状況 ◎	(達成状況・課題) ・平成28年度の協定に基づき、社会福祉協議会と年度協定を締結し、事業を推進した。 ・町内15ヶ所の社会福祉施設について、「社会福祉施設保全計画(初版)」を策定した。	基本事業の成果指標 A ・社会福祉センター、デイサービスセンターひまわり荘、特別養護老人ホーム松川荘について、平成31年3月議会で、指定管理者として社会福祉協議会を指定し議決を得た。 ・老人福祉センター等、町内の老朽化した社会福祉施設や特養待機者問題等を受け、平成30年8月、「社会福祉施設保全計画(初版)(以下、この項において「保全計画」という。)」を策定した。今後、優先的に取り組むべき施設ごとに対応していく。 ・町内全5ヶ所の高齢者支えあい拠点施設について、全ての施設において設置後10年間の指定管理協定書の締結を行った。その後の取り扱いについては保全計画において規定していく。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き社会福祉施設の在り方を検討していく。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 ・社会福祉センター、デイサービスセンターひまわり荘、特別養護老人ホーム松川荘については、地域福祉の担い手である社会福祉協議会を指定管理者としていく。 ・高齢者支えあい拠点施設については、各自自治会の管理運営に任せることが妥当と考えられることから、次回の切り替え時にあり方について相談の上、方向性を決めていく。 ・保全計画は、概ね4年を目安に更新することとしている。社会情勢を踏まえ、適時に適切な管理を行うよう第2版以降で見直しを行っていく。
(達成状況・課題) 老人福祉センター耐震診断の結果を受け、新しい施設について関係団体、議会と協議を行った。	進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 老人福祉センターの老朽化や立地問題、旧北名子保育園の立地問題を解決するため、旧ハローミヤ店舗跡地を利用した「元気センター(仮称)」整備計画の検討を進めた。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き検討・研究していく。	(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) 自治会施設を高齢者支えあい拠点施設として利用し、その地域に住む様々な年齢層の方の交流の場となった。(5自治体)	進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 平成31年3月議会において、大島中部地区高齢者支えあい拠点施設の指定管理協定書の取り交わしを行った。	
(今後の取り組み・改善策) 活用状況を精査し、必要に応じ適正な利用の指導を行う。	(今後の取り組み・改善策)		

第4項 豊かな自然と共生するまちづくり(自然環境)			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 自然環境の保全</b>			
①自然環境の次世代への継承	<b>【01】貴重な自然の保全と学習機会の提供</b> ●豊かな自然を次世代に継承するため、貴重な自然動植物を保全します。 ・町の指定文化財である(大洲七杉神社叢林、天竜川のツツザキヤマジノギク等)の保護保全を行います。 ・自然観察会や体験会を実施します。 ・松川町に生息する貴重なツツザキヤマジノギクについて学習会を実施します。	生涯学習課 文教施設係 生涯学習男女共同参画係	(達成状況・課題) 地域を知る講座にて「ツツザキヤマジノギク観察会」を開催。参加者30名。天竜川上流河川事務所他関係団体とツツザキヤマジノギク保全についての意見交換会を開催した。社会教育委員会独自の活動として保全活動を3回実施した。
			(今後の取り組み・改善策) 活動を多くの方々に知ってもらえるように情報発信を検討する。天竜川上流河川事務所と連携をして関係団体とともに保全活動を展開していく。
			目標指標
		観察会・学習会・保全活動の回数	回
②地球温暖化対策	<b>【01】自然エネルギーの活用</b> ●地域の資源である自然エネルギーの有効利用のため、自然エネルギー利用システムを促進します。 ・住宅用太陽光発電設備設置補助を実施します。 ・ペレットストーブ・ボイラーの導入に、森のエネルギー推進事業を実施します。 ・住民、事業者による小水力発電等の導入を支援します。 ・木質バイオマス・太陽熱の利活用を研究します。 ・松川町太陽光発電事業を運営します。	環境水道課 環境係	(達成状況・課題) ・住宅用太陽光発電設備補助金を減額改訂を行った。31件の補助を行った。 ・薪、ペレット等ストーブの設置補助を拡充し、6件の補助を行った。 ・太陽熱温水器の設置補助を新設し、10件の補助を行った。 ・清流苑、温水プールでの木質バイオマスボイラー、農業用水利用の小水力発電1箇所について、事業可能性調査を実施した。 ・中央小学校、中央公民館の太陽光発電設備工事が完了し、全5箇所の設備事業が完了した。
			(今後の取り組み・改善策) ・家庭での自然エネルギー利用設備補助を継続して実施する。 ・木質バイオマスボイラー、小水力発電設備導入について、事業化の検討を行う。
			目標指標
		太陽光発電設置数(累計)	箇所
	<b>【02】エコライフの普及啓発</b> ●二酸化炭素削減のため、日常におけるエネルギーの節約や効率化について普及・啓発を行います。 ・地球温暖化防止やエコライフ、エコカーの普及啓発に努めます。 ・「松川町役場地球温暖化防止実行計画」を推進します。 ・雨水貯留施設設置補助事業を推進します。 ・「南信州レジ袋削減推進協議会」の構成員として、レジ袋削減運動を実施します。	環境水道課 環境係	(達成状況・課題) ・松川町地球温暖化防止実行計画におけるCO2排出実績を調査した。
			(今後の取り組み・改善策) ・地球温暖化防止等に係る普及啓発に取り組む。 ・松川町役場における地球温暖化防止実行計画の評価及び次期計画の策定に取り組む。
	<b>【03】特定外来生物の被害拡大の防止【新規】</b> ●特定外来生物の被害拡大を防止のため、住民への情報提供と駆除対策に取り組めます。 ・特定外来生物の被害拡大防止についての啓発を行います。 ・「ウチダザリガニ」の駆除・利活用について研究します。 ・「アレチウリ」、「オオキンケイギク」駆除の取組について検討します。	環境水道課 環境係	(達成状況・課題) ・ウチダザリガニ棲息地へ「持ち出し禁止」看板設置を長野県と実施した。 ・片桐ダムのウチダザリガニ対策について、漁協、町内有志との意見交換会、捕獲体験会を実施した。また、部奈大堤にて、区役員と調査捕を実施した。
			(今後の取り組み・改善策) ・長野県がH29から実施する片桐ダムウチダザリガニ捕獲試験調査に協力する。 ・広報誌等により、特定外来生物に関する啓発を行う。

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
<p>(達成状況・課題) ツツザキヤマジノギク保全についての地域を知る講座を実施した。6月の保護活動には51名、10月の観察会には60名の参加を得た。観察会は、写真・絵手紙団体等の文化クラブにつなげて展示等を実施したことで、徐々に関心が高まってきた。また、保全協議会が立ち上がった。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ツツザキヤマジノギク保全についての地域を知る講座を実施した。6月の保護活動には65名、10月の観察会には40名の参加を得た。7月の豪雨により保全区域に土砂が堆積などの被害が出て、新たな保護区域を設定した。12月2月に播種活動を行った。被害の対応もあり、保全協議会の活動は8回だった。</p>		<p>基本事業の成果指標 A ツツザキヤマジノギクの保全活動を継続し、観察会等の学習会を行うことができた。秋の観察会は2年ほど台風のために行えない年があったが、活動を報告する機会を2回いただき県内各市町村に活動を知っていただくことができた。目標指標を達成することができた。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 平成29年度は文化クラブにつなげる等新たな取組みを実施したが、平成30年度も保護活動・観察会への関心度を高めるため、新たな仕掛けを創造する</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続 引き続き、ツツザキヤマジノギクの保全活動を行う。新たな保全区域にツツザキヤマジノギクが発生するか観察を行う。地域を知る講座を開催し、また、新聞等のPRを行う。</p>	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
2	3	5	8	5	5	施策による増加分を見込みます。		
<p>(達成状況・課題) ・住宅用太陽光発電設備に21件の補助を行った。 ・太陽熱温水器の設置に6件の補助を行った。 ・薪、ペレット等ストーブの設置に3件の補助を行った。 ・木質バイオマスボイラー、小水力発電の事業化を検討したが課題が多く、事業化が難しい状況である。 ・全5箇所の設備で発電事業を運営し、9,876千円の発電収入があった。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ・住宅用太陽光発電設備に18件の補助を行った。 ・太陽熱温水器の設置に2件の補助を行った。 ・薪ストーブの設置に5件の補助を行った。 ・小水力発電のについて、水利組合から設置要望があり、長野県企業局で設置可能であるか情報提供を行った。 ・全5箇所の設備で発電事業を運営し、10,065千円の発電収入があった。 ・再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドラインを制定し、届出と相談を受けた。</p>		<p>基本事業の成果指標 B ・太陽熱、木質バイオマスを家庭で活用する機器の設置補助を拡充した。 ・小水力発電、木質バイオマスの事業化は調査段階に留まっている。 ・太陽光発電事業による発電事業特別会計は、順調に運営している。 ・ガイドライン施行により、地域への周知がなく施設が設置される事例はなくなった。 ・「松川町役場地球温暖化防止実行計画」は、次期計画策定に至らなかった。 ・特定外来生物駆除の継続した取り組みが行われている。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) ・家庭での自然エネルギー利用設備補助を継続して実施する。 ・木質バイオマスボイラー及び小水力発電設備の導入について、事業化の可能性について検討を行う。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 拡大・改善 ・補助事業は、事業毎に申請件数のばらつきがあり、時期に応じた啓発活動及び事業毎に効果検証を行う。また、太陽光発電では、固定価格買取期間終了後の対応が今後課題となることが予想される。 ・太陽光発電設置補助を拡充し、蓄電設備設置補助を追加する。 ・発電事業特別会計は、今後も継続していく。 ・国のマニュアルを基に「温暖化防止実行計画」次期計画の策定に取り組む。 ・特定外来生物被害防止のため、啓発活動を継続する。</p>	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
476	551	572	590	604	530	年平均20箇所の設置を見込みます。		
<p>(達成状況・課題) ・松川町地球温暖化防止実行計画におけるCO2排出実績を調査したが、事業計画の策定に至らなかった。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ・松川町地球温暖化防止実行計画におけるCO2排出実績を調査したが、事業計画の策定に至らなかった。 ・「南信州レジ袋削減推進協議会」の啓発活動、シンポジウムに参加した。</p>		<p>次期計画の方向性 拡大・改善 ・補助事業は、事業毎に申請件数のばらつきがあり、時期に応じた啓発活動及び事業毎に効果検証を行う。また、太陽光発電では、固定価格買取期間終了後の対応が今後課題となることが予想される。 ・太陽光発電設置補助を拡充し、蓄電設備設置補助を追加する。 ・発電事業特別会計は、今後も継続していく。 ・国のマニュアルを基に「温暖化防止実行計画」次期計画の策定に取り組む。 ・特定外来生物被害防止のため、啓発活動を継続する。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) ・国が作成した計画策定・実施マニュアルをもとに次期計画の策定に取り組む。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 拡大・改善 ・補助事業は、事業毎に申請件数のばらつきがあり、時期に応じた啓発活動及び事業毎に効果検証を行う。また、太陽光発電では、固定価格買取期間終了後の対応が今後課題となることが予想される。 ・太陽光発電設置補助を拡充し、蓄電設備設置補助を追加する。 ・発電事業特別会計は、今後も継続していく。 ・国のマニュアルを基に「温暖化防止実行計画」次期計画の策定に取り組む。 ・特定外来生物被害防止のため、啓発活動を継続する。</p>	
<p>(達成状況・課題) ・「オオキンケイギク」の駆除について、音声放送で2回周知を行った。 ・片桐ダムウチダザリガニの試験的捕獲が県委託事業で実施された。部奈区が入倉堤で駆除を実施し、捕獲用具を提供した。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ・「オオキンケイギク」の駆除について、音声放送で2回周知を行った。 ・片桐ダムウチダザリガニの試験的捕獲が県委託事業で実施された(2年目)。部奈区が入倉堤で駆除を実施し、捕獲用具を提供した。</p>		<p>基本事業の成果指標 B ・太陽熱、木質バイオマスを家庭で活用する機器の設置補助を拡充した。 ・小水力発電、木質バイオマスの事業化は調査段階に留まっている。 ・太陽光発電事業による発電事業特別会計は、順調に運営している。 ・ガイドライン施行により、地域への周知がなく施設が設置される事例はなくなった。 ・「松川町役場地球温暖化防止実行計画」は、次期計画策定に至らなかった。 ・特定外来生物駆除の継続した取り組みが行われている。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) ・特定外来生物に関する啓発を継続して行う。 ・県委託事業は3年間実施予定で、今後の結果も合わせて駆除対策を検討する。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 拡大・改善 ・補助事業は、事業毎に申請件数のばらつきがあり、時期に応じた啓発活動及び事業毎に効果検証を行う。また、太陽光発電では、固定価格買取期間終了後の対応が今後課題となることが予想される。 ・太陽光発電設置補助を拡充し、蓄電設備設置補助を追加する。 ・発電事業特別会計は、今後も継続していく。 ・国のマニュアルを基に「温暖化防止実行計画」次期計画の策定に取り組む。 ・特定外来生物被害防止のため、啓発活動を継続する。</p>	

第5項 誇りある景観が続くまちづくり(土地利用・景観)							
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
<b>(1) 国土利用計画(松川町計画)の推進</b>							
①国土利用計画(松川町計画)の推進	<b>【01】適正な土地利用の推進</b> ●適正な土地利用を推進するため、土地利用計画および農業振興地域整備計画、森林整備計画と整合した国土利用計画(松川町計画)を適正に運用します。 ・国土利用計画(松川町計画)に基づいて、適正な土地利用を進めます。 ・「松川町土地利用の届出等に関する条例」に基づいて、地域と開発業者との情報共有を図ります。	まちづくり政策課 企画財政係/まちづくり推進係	(達成状況・課題) 長野県土地利用計画及びこれに関連する土地利用関係法(都市計画法、森林法など)の適切な運用を心掛けた(実質的に業務としての取り組みはない)。計画に関する各種調査等に対応することが取り組みのほとんどである。 松川町土地利用の届出等に関する条例に基づいた申請1件を受け付け、地域と開発業者との情報の共有を図った。				
	(今後の取り組み・改善策) 各課で担当する個別の土地利用関係法(都市計画法、森林法、自然公園法、農業振興地域の整備に関する法律など)からの相談や、県等からの調査業務に対して必要な情報を提供するなど連携していく。						
<b>(2) 美しい景観の保全</b>							
①美しい景観の保全	<b>【01】地域における景観育成の推進</b> ●地域の優れた景観を守り育てるため、地域住民の自律的な取組に必要な情報提供等を行います。 ・「信州ふるさとの見える丘」など、地域の景観を生かした育成活動の案内および支援を行います。 ・地域の自主的な取り組みに協力し、景観意識の醸成を図ります。 ・地域固有の美しい景観の保全を促し、看板や太陽光発電施設の設置には周辺の景観と調和を図る目的で町の景観条例策定を検討します。【新規】	建設課 建設管理係	(達成状況・課題) 地域住民より提案のあった片桐松川の河川内樹木伐採を行った事により、周辺地域の景観が良くなった。ただし、今後も地域住民の先導により樹木伐採が必要と思われる。				
	(今後の取り組み・改善策) 地域協働の観点から、今後も地域住民の皆さんの景観意識に対して、情報の発信が必要である。 町では県の景観条例に準じているが、他町村の動向を見ながら町独自の景観条例の策定を検討する。						
	<b>【02】花いっぱい美化活動の推進</b> ●地域コミュニティの連帯感を強め、地域を美しい花で飾るため、花いっぱい美化活動を推進します。 ・花いっぱい美化活動補助金を交付し、各種団体の活動を支援します。 ・個人等でガーデニングをされている場所をオープンガーデンとして紹介、PRします。		まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) 17団体に補助金を交付し活動を支援。年々活動実施団体も増加してきており町の景観もよくなっている。また、活動団体の状況を把握して更なる活動を推進するため、花植えの活動に参加した。			
(今後の取り組み・改善策) 活動団体が固定化しないよう、美化活動組織の更なる増加に向けたPRを行う。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花いっぱい美化活動実施団体数</td> <td>団体</td> </tr> </tbody> </table>		目標指標	単位	花いっぱい美化活動実施団体数	団体
目標指標	単位						
花いっぱい美化活動実施団体数	団体						

### 第3章 自然豊かなふるさとで いきいきと暮らせる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価		
(達成状況・課題) 松川町土地利用の届出等に関する条例に基づいた申請3件を受け付け、地域への情報提供と意見照会を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) 長野県土地利用計画及びこれに関連する土地利用関係法(都市計画法、森林法など)の適切な運用を心掛けた(実質的に業務としての取り組みはない)。計画に関する各種調査等に対応することが取り組みのほとんどである。松川町土地利用の届出等に関する条例に基づいた申請1件を受け付け、地域と開発業者との情報の共有を図った。		基本事業の成果指標		A
							平成28年3月に国土利用計画(松川町計画)を策定後は、上部機関(国・県等)からの調査に対する回答などの事務を行うことがほとんどである。		
(今後の取り組み・改善策) 都市計画法、森林法、自然公園法、農業振興地域の整備に関する法律などの調整や、上部機関からの意見照会に適正に応じていく。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性		縮小・廃止
現計画における目標年次は平成35(2023)年であり、計画の見直しは当面予定されていない。また、国土利用計画を適正に運用するという目的は達成できており、改めて次期計画へ掲載することは必要はないと判断する。									
(達成状況・課題) 片桐松川の河川内樹木伐採ボランティア事業により、周辺地域の景観が良くなった。部奈展望台公園へビューポイント整備事業補助金を交付し、あずまやの設置を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) 景観形成団体に移行するため、景観計画の策定業務に着手した。景観アンケートと住民懇談会(ワークショップ)を開催し、景観資源の抽出など、町の基礎調査をおこなった。伐採ボランティア事業を引き続き実施した。		基本事業の成果指標		以下のとおり
							【建設課:A】 町独自の景観計画と条例・規則を制定するため、景観計画の役場庁内会議を1回及び策定委員会を3回開催した。町民より広く意見を聴取する為パブリックコメントを1月間実施。景観についての町民意識を醸成することで、地域での合意形成を図っていく。		
(今後の取り組み・改善策) 引き続き片桐松川の樹木伐採に取り組む。H30年度から景観計画の策定を進める。					(今後の取り組み・改善策)		【まちづくり政策課:B】 花いっぱい運動の実施団体数は、各年度とも目標指標の16団体を上回り、継続的な美化活動の推進を支援することができた。		
(達成状況・課題) 19団体に対して補助金を交付し、活動を支援した。年々活動実施団体が増加しており、町の景観形成に資している。また、活動に参加し、意見等の聴き取りを行った。							進捗状況 (達成状況・課題) 16団体に対して補助金を交付し、町の景観保全に資する活動の支援をした。		次期計画の方向性
(今後の取り組み・改善策) 広報を利用した事例紹介を行い、景観向上意識の普及と参加団体の拡大を図る。					(今後の取り組み・改善策)				【建設課:拡大・改善】 景観計画、条例・規則は、県協議、町議会に提出していく。スケジュール計画により、R3年4月から景観行政団体に移行していく。町民意識を醸成することで、地域での合意形成を図る。また、看板等の屋外広告物の規制にかかる町規則の制定。
(今後の取り組み・改善策) 広報を利用した事例紹介を行い、景観向上意識の普及と参加団体の拡大を図る。							(今後の取り組み・改善策)		【まちづくり政策課:維持継続】 町内の美しい景観の保全に向け、引き続き花いっぱい美化運動を推進する。
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
16	17	19	19	15	16	現状を維持します。			

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

第1項 住民に身近で効率的な役場づくり(自治体経営)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 効率的な行政経営</b>			
①業務の効率化とサービス向上	<b>【01】効率的な行政評価の実施</b> ●最少の経費で最大のサービスを提供するため、 <b>効率的に行政評価を実施します。</b> ・組織目標の進捗管理により行政評価を実施します。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 平成28年度は総合計画1年目のため行政評価は実施せず。組織目標については、4月に各課より目標の取りまとめを行い、4半期毎で進捗状況について公表を実施。「行政評価」「組織目標」「人事評価(個人目標)」と事務処理が重複するなかで、「シートを記入すること」が仕事とならないよう、職員への事務負担の軽減を図る必要がある。  (今後の取り組み・改善策) H28分の行政評価については、「総合計画推進会議」を6月に開催、その後議会へ報告していく。組織目標進捗管理についてはシートの簡素化や記入時期を4半期毎→前期後期へ減らすなど事務負担の軽減を研究し、効率化を図る。
	<b>【02】行財政改革の推進</b> ●より専門化する業務量を適正かつ効果的に実施するため、 <b>業務改善に取り組めます。</b> ・若手職員を交える等、新たな提案等が行える行財政改革推進会議(仮称)を定期的に開催します。 ・行財政改革に係る個別的な計画については、計画ごとに設けられた専門組織により進行管理を行います。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 行財政改革推進会議については開催できていない。全庁的に取り組まなければならない行革は、必要な職員体制の整備と時間を要する中で取り組まなければならない。  (今後の取り組み・改善策) 町の財政状況について、課長会議や職員研修等で認識を共有し、業務改善に取り組むという職員認識の醸成を図る必要がある。
	<b>【03】5Sの手法による業務改善の実施【新規】</b> ●業務の効率を向上させるため、 <b>業務の中に5Sの手法を取り入れます。</b> ・民間の経験者をアドバイザーとしてお願いし、推進を図ります。 ・職員研修(5S活動講演会等)を実施します。	総務課 行政庶務係	(達成状況・課題) 進んでいない。  (今後の取り組み・改善策) まずは3Sから取り組み、平成29年度は職員研修を行う。
	<b>【04】庁舎環境の改善</b> ●より良い窓口サービスを提供するため、 <b>庁舎環境の改善を行います。</b> ・計画的なリフォームを推進します。 ・書類収納の職員研修を行い、書類整理の体系を持続します。	総務課 行政庶務係	(達成状況・課題) 1階、2階トイレの改修を行った。公文書管理システムの研修は行っていない。  (今後の取り組み・改善策) 2階女子トイレの改修を行う。公文書管理システムの研修を開催する。
	<b>【05】職員接客力の向上</b> ●訪れるお客様にとって感じの良い安心できる役場とするため、 <b>清潔感のある快適な窓口環境を提供するとともに、職員接客力の向上を図ります。</b> ・窓口サービスアップ実践マニュアルの見直しを行うとともに、実践につなげます。 ・接客満足度アンケートと外部調査員による職員対応調査を実施します。	総務課 行政庶務係	(達成状況・課題) 窓口アンケートを設置したが、窓口職員の印象はおおむね良好だった。窓口サービスアップマニュアルの見直しは行っていない。  (今後の取り組み・改善策) 窓口対応の研修を7月に行う。講師に事前に来ていただき、窓口対応について外部調査を行う。

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
<p>(達成状況・課題) 平成28年度分の行政評価については、公表に至らなかった。組織目標の進捗管理は、四半期ごとで状況を公表した。組織目標進捗管理の事務簡素化は実施に至っていないが、職員の事務負担軽減と業務の適正な管理の面から引き続き研究を行っていく必要がある。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) 平成29年度分の行政評価について、9/26に行政評価委員会を開催し、11/14に議会(全協)へ報告した。11/28に最終結果を公表した。組織目標の進捗管理については、上半期と下半期で取りまとめ、理事者ヒアリングにより内容の情報共有を図った。</p>		<p>基本事業の成果指標 以下のとおり</p> <p>【まちづくり政策課:C】 組織目標の進捗管理など行政評価を確実に実施したことは、業務の効率化を図るという点において一定の効果があつた。目標指標(人口1人当り人件費物件費等決算額)は増加傾向にあるが、類似団体内平均値とは50,000円以上低い水準を保っており、効率的な行政運営が図られていると判断できる。行財政改革は実施できておらず、仕事(業務)量が肥大化の傾向にある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 四半期ごとの組織目標進捗管理について、様式の簡素化を図るとともに、事業進捗を理事者に報告する方式へ変更し、情報共有ができるよう改善を図る。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>【総務課:B】 ・5S項目の整理、整頓、清掃を中心に取り組んできた。いいむす21や朝清掃など実践できているが、職員の意識向上を図っていく必要がある。 ・庁舎設備の安全性、利用環境、利便性は進んできているが、施設の老朽化で漏水や雨漏りなどが起きている箇所がある。 ・窓口アンケート回答は少ないものの、結果はおおむね好評である。「窓口サービスアップ実践マニュアル」を改定した「職員接遇向上マニュアル」を基本に接客力の向上を図る必要がある。</p>	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
122,290	132,131	137,084	144,797	152,235	120,000	増加傾向にある現状を鑑み、現状水準を維持します。		
<p>(達成状況・課題) 行財政改革推進会議については開催できていない。議会等からも職員の働き方改革が求められており、全庁的に取り組む必要があるが、職員の体制等が追い付いていない。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) 行財政改革推進会議については開催できていない。全庁的に取り組む必要があるが、職員の体制等が追い付いていない。</p>		<p>次期計画の方向性 以下のとおり</p> <p>【まちづくり政策課:維持継続】 業務の効率化は引き続き必要な事項であることから行政評価を確実に実施するとともに、行財政改革に取り組む。また現在実施していない事務事業評価に取り組み、予算編成の効率化を図る。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 長期的な目線で取り組むことを第一とし、まずは業務の洗い出し、事務事業評価を実施するなかで、仕事の取捨選択を図る。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>【総務課:維持継続】 ・5S項目の「清潔」「習慣」についても行動ができるよう職員の意識向上を図っていく。 ・利用環境と必要な施設修繕を整えていく。 ・新入職員や全職員を対象に職員接遇向上マニュアルの活用と外部委託による職員研修を合わせて取り組む。</p>	
<p>(達成状況・課題) 5S推進委員会を立ち上げ、職員研修を行った。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) いいむす21は年間を通して全課で取り組んだ。新たに事務事業マニュアルを作成した。利活用は検討の余地がある。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策) できることから始め、できている部分について確認をしていくことが必要である。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題) 2階女子トイレの改修を行った。公文書管理規程の研修を行う必要がある。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) LED照明化、防犯カメラ導入、エレベーター改修、2階男子トイレ改修を行った。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策) 公文書管理規程の研修を開催する。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題) 窓口サービスアップマニュアルの見直しに着手した。7月に窓口対応研修を行った。1月におもてなしセミナーを行った。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) 新入職員及び全職員を対象とした窓口対応研修を実施した。窓口サービスアップ実践マニュアルの見直し作業を行い、改定版を作成した。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策) 窓口アンケートの提出増を図る。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

②民間活力の導入	<p><b>【01】業務の外部委託の検討</b></p> <p>●業務の効率的、効果的な執行に資するため、民間委託が可能であり、かつコスト低減が図られる業務の外部委託(指定管理者制度を含む)を検討・導入します。</p> <p>・業務システム・情報機器の現状・課題調査を外部コンサルタントにより検証します。【新規】</p> <p>・他団体の民間活力活用事例の調査研究を行います。</p>	まちづくり政策課 企画財政係/まちづくり推進係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>業務システム・情報機器検討委員会を立ち上げ、「システム経費の現状把握とその改善を図る」という方向性を確認。2カ年計画の初年度である28年度は、コンサルへ委託し現状把握等調査を実施する中で、経費増大の原因等も確認した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>委託2年目は、システム経費の適正化を図るための「ICT最適化計画」を策定し、職員へ周知徹底を図る。</p> <p>県などの民間活力活用事例について、調査研究を行う。</p>				
	<p><b>【02】支所のあり方検討</b></p> <p>●支所業務の効率化を図るため、各支所の存続や業務委託等について、地域住民とともに民間委託を含めて研究します。</p>	住民税務課 住民係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>新たな進展なし。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>上片桐区から区等の事務支援の見直しの提案があった。区と共に検討していく予定。</p>				
<b>(2) 適正な人事管理</b>							
①職員の意識能力改革	<p><b>【01】職員人材育成計画の適確な運用</b></p> <p>●職員人材育成を推進するため、職員人材育成計画を策定し適切に運用します。</p> <p>・人材育成推進委員会(庁内組織)において、人材育成計画の運用管理を行います。</p> <p>・職員アンケートを定期的の実施します。</p> <p>・職員研修計画を策定し、実施します。</p> <p>・長野県や広域連合、他自治体との人事交流を実施します。</p> <p>・計画的異動(ジョブローテーション)を実施します。</p> <p>・人事評価制度の改善運用を行います。</p> <p>・ストレスチェックを年に1回実施します。</p>	総務課 行政庶務係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>人材育成計画を策定した。</p> <p>平成29年度長野県職員との人事交流を行う。</p> <p>人事評価については、180度評価を検討したが、人材育成推進委員会のなかで人事評価そのもの見直し提案があった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>人事評価について、平成29年度に見直しを進める。</p>				
	<p><b>【01】定員管理計画の策定と見直し</b></p> <p>●総人件費のバランスを考慮しつつ計画的な職員採用を行うため、定員管理計画を策定します。</p>	総務課 行政庶務係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>定員管理計画の見直しを平成28年に行った。業務が多くなり、残業が増える中、総合計画に掲げた目標値では業務の遂行が不可能であると考え、人員については、増加することになった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>平成28年4月の計画を土台に人員を増員した計画に見直しを行う。</p> <table border="1" data-bbox="997 1294 1452 1422"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>職員数(定員管理調査)</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	職員数(定員管理調査)	人
目標指標	単位						
職員数(定員管理調査)	人						
②正規職員数の適正な確保	<p><b>【02】臨時非常勤職員の活用</b></p> <p>●臨時・非常勤職員の人材を最大限活用するため、臨時・非常勤職員の担任業務を明確に規定します。</p>	総務課 行政庶務係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>臨時非常勤職員の雇用について地方公務員法の改正が行われた。今後は改正に見合った採用や雇用の継続を行っていく。育児休暇介護休暇等を取得できるように改正した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>地方公務員法に則り臨時非常勤職員の身分保障等を進める。</p> <table border="1" data-bbox="997 1646 1452 1769"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>臨時・非常勤職員数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	臨時・非常勤職員数	人
	目標指標	単位					
臨時・非常勤職員数	人						



## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) 業務委託により、現状調査分析を行い、ITCにかかるコスト適正化、効率的業務のためのシステム運用及びセキュリティ対策を重点とした「松川町ICT最適化計画」原案を策定した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ICT最適化計画に基づいて、基幹系システムの定例会を3回実施し、システムの改善要望や制度改正によるシステム改修準備を行った。見積もり精査ガイドラインとシステム調達ガイドラインの原案を策定した。		基本事業の成果指標 以下のとおり 【まちづくり政策課：B】 ICTに関するシステム、情報機器の在り方を、民間の専門機関の支援を受けながら検証し、「松川町ICT最適化計画」を策定して、コストの最適化や効業務の効率化、セキュリティ対策の向上を図った。	
(今後の取り組み・改善策) 計画原案について専門会議等から意見聴取を行った上で決定し、職員に周知を図る。 民間活力活用事例について、情報収集を継続して行う。					/		【住民税務課：C】	
(達成状況・課題) 上片桐区の事務支援を廃止し、納付金の減額を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) △ 新たな進展なし。		次期計画の方向性 以下のとおり 【まちづくり政策課：継続維持】 民間の専門機関の支援も受けながら、ICT費用に係る見積もりの精査や適正なシステムの調達を行う。	
(今後の取り組み・改善策) 当面予定なし。					/		【住民税務課：維持継続】 地域の実情にあった形の支所の在り方や、存続について引き続き検討が必要である。	
(達成状況・課題) 人材育成計画に沿って研修計画の進行を図った。長野県、国土交通省との人事交流を図った。人事評価制度の見直しに取り組んだが、結論に至らなかった。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 人事評価制度、新入職員メンター制度、国県人事交流、職員研修などに取り組んだ。人事評価制度の見直し作業は、改善の方向性を出したまでにとどまった。		基本事業の成果指標 B 現行の人事評価制度は課題があり、制度の改善見直しを進める必要がある。	
(今後の取り組み・改善策) 研修計画に沿って研修派遣を進める。 人材育成に寄与する制度になるよう、人事評価制度について見直しを進める。					/		次期計画の方向性 拡大・改善 人事評価制度は、現行の課題解消と抜本見直しを分けて改善検討していく。	
(達成状況・課題) 定員管理計画の改正を進めたが、職員数の増加により目標値の設定に至らなかった。 計画的に職員の定員管理を進める必要がある。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 業務量増化や職務遂行などにより、職員を増員し必要な体制を整えた。目標値の定員管理にはなっていない。		基本事業の成果指標 B ・会計年度任用職員制度を整備した。 ・重要施策の推進や行政需要の多様化等により正規職員の採用は増加し、それに伴い平均年齢は下がり育児休業も増える傾向にある。適正に人員管理するための定員管理計画を策定する必要がある。	
(今後の取り組み・改善策) 職員の定員管理を進めるための計画等を検討する。					/			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
105	109	117	121	128	113	職員定員管理計画に基づいた数値とします。		
(達成状況・課題) 非常勤職員制度の説明会を開催し、労働条件について説明を行った。継続希望調査の折に、人事評価書の提出を依頼した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ H32年度から導入される会計年度任用職員制度の対応ため、職員の実態調査を行った。		次期計画の方向性 拡大・改善 ・会計年度任用職員制度を適正に運用する。 ・定員管理計画を策定する。	
(今後の取り組み・改善策) 平成32年度から会計年度任用職員制度が導入されるため、制度に沿った雇用条件を整備していく。					/			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
75	79	84	86	89	75	現状水準を維持します。		

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

<p>③人材の育成</p>	<p><b>【01】分限処分取扱要綱の適確な運用</b>                  ●職員および役場組織の公正かつ誠実な職務遂行を確保するため、勤務実績不良等職員の分限処分について適確な運用を行います。                  ・人事評価結果に基づく指導対象職員への改善指導を確実に実施します。</p>	<p>総務課 行政庶務係</p>	<p>(達成状況・課題)                  成績不良職員の改善指導について、指導方法が確立しておらず、改善できていない職員があり、公平な運用ができなかった。連続して下位評価の職員を上位にできる指導が難しい。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  人事評価について、平成29年度に見直しを進めることにしたため、分限処分についての運用も併せて見直すことにしたい。連続して下位になる職員の職種配置替えを行う。</p>						
<p>④公正な報酬</p>	<p><b>【01】報酬審議会の開催</b>                  ●適切な報酬水準を維持するため、報酬審議会を定期的に実施します。                  ・報酬審議会を開催し、特別職の報酬等について審議を行います。</p>	<p>総務課 行政庶務係</p>	<p>(達成状況・課題)                  平成29年2月に報酬審議会を行った。報酬については改定がなく、賞与について改定を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  定期的を実施する。</p>						
<p><b>(3) 健全な財政運営</b></p>									
<p>①計画的な財政運営</p>	<p><b>【01】中長期財政計画の運用と財務4表の作成</b>                  ●持続可能な財政運営を見極めるため、中長期財政計画の運用と新地方公会計に対応します。                  ・新統一基準に基づく有形固定資産台帳の整備を進めます。                  ・特別会計を含めた全会計を連結した財務4表への移行準備を進めます。                  ・決算状況に基づき、必要に応じて中長期財政計画の見直しを行います。</p> <p><b>【02】公共施設等総合管理計画に基づく施設の適切な運用【新規】</b>                  ●財政負担の軽減と、適切な施設運営のため、公共施設等管理計画に基づき、評価検討を行います。                  ・抽出された公共施設等について、意見聴取を行いながら方向性を決定し個別計画を策定し、適切に運用します。</p>	<p>まちづくり政策課 企画財政係</p> <p>まちづくり政策課 企画財政係</p>	<p>(達成状況・課題)                  公表に向けたシステム導入及び有形固定資産台帳の整備は平成28年度をもって完了。H28分の公表はH30.1月末公表の予定で事務手順等を確認済みであり、連結の対象となる会計及び団体の把握も完了している。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  平成29年度は「新たな統一基準に基づいた公表を確実に実施すること」、「指標の根拠数値等の把握」、「類似団体や近隣町村との比較・分析」することを第一とする。指標結果を業務改善等へ活かしていくのは30年度以降の予定で準備を進</p> <table border="1" data-bbox="995 958 1452 1160"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実質公債費比率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(達成状況・課題)                  H29.3月に計画(初版)をホームページにて公開。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)                  国等から地方に対して個別計画策定に向けた要請等の動向を注視しながら、計画的に整備を進められるよう準備や情報収集を行う。</p>	目標指標	単位	実質公債費比率	%	経常収支比率	%
目標指標	単位								
実質公債費比率	%								
経常収支比率	%								

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) 成績不良職員に対する指導方法が確立していない。どのような指導を行っていくか検討が必要である。	進捗状況 △	(達成状況・課題) 成績不良職員に対する指導方法が確立していない。	基本事業の成果指標 C どのような指導を行っていくか検討が必要である。			
(今後の取り組み・改善策) 成績不良職員に対する指導方法を確立し、計画的に指導を行っていく。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 指導方法を検討し継続して進める。			
(達成状況・課題) 平成30年2月に報酬審議会を開催した。報酬については改定がなく、賞与について改定を行った。	進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 2月に報酬審議会を開催した。報酬については改定がなく、賞与について改定を行った。	基本事業の成果指標 A 適正な特別職の報酬審議を行うことができた。			
(今後の取り組み・改善策) 定期的実施する。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 報酬額については毎年定期的な審議を行っていく。			
(達成状況・課題) 新統一基準(新地方公会計)に基づく財務書類はH30.3月に公表した。固定資産台帳の更新作業は計画どおり進めた。他団体の財務書類が年度末時点で公表されていないことから、比較分析は平成30年度の実施とする。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 固定資産台帳の更新を確実に実施し、連結財務諸表をR1.3月に公表した。他団体との比較分析は実施できなかった。	基本事業の成果指標 B 財務諸表の公表や長寿命化計画を整備、運用することで計画的な財政運営を図ることができた。しかしながら平成27年度に財政計画を策定して以降、決算等との比較分析が未実施で、計画の見直しができている。固定資産台帳の整備、財務諸表の公表については、国の通達どおりに整備し、公表することができるようになったが、業務改善等財政運営に活用することまでは至っていない。また、公共施設等総合管理計画の整備完了により、長期的な町の方向性を決定することになり、個別施設計画策定につながってきている。			
(今後の取り組み・改善策) 現在財務書類の作成を外部委託しているが、作成された書類の理解・分析をできる限り職員が作業できるように、先ず職員のスキル向上を図る。また公有財産の異動情報を担当係へ集約する仕組み作りを検討する。	(今後の取り組み・改善策)					
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
9.1	7.2	7.2	7.4	7.4	9	健全数値とされる現状水準を維持します。
79.5	82.3	83.1	83.5	87.1	79	増加傾向にある状況を鑑み、70%台を維持します。
(達成状況・課題) 部門により、また補助事業適用条件として、個別施設計画策定の必要性が出ている。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 部署により個別施設計画の策定がされつつあるが、策定に当たりコンサルに委託するなどして費用が多額になる傾向にある。	次期計画の方向性 維持継続 経常収支比率の上昇を抑え、財政の硬直化を抑制するためには、計画的な財政運営が不可欠であり、引き続き、財務諸表の活用や財政計画の確実な運用などを実施する必要がある。			
(今後の取り組み・改善策) 町内全体の調整のため、情報提供や相談対応を行う。	(今後の取り組み・改善策)					

②自主財源確保と町有財産の利活用	<b>【01】町税等の徴収体制の強化</b> ●徴収業務の効率化と徴収率の向上を図るため、町税等の徴収について全庁徴収体制を整備します。 ・全庁収納対策会議を定期的に開催し、未収金徴収マネジメントを一括して行います。 ・町単補助事業等の助成制限により滞納税額の解消を図ります。 ・コンビニ収納等新たな納税方法の検討を行います。 ・職員の折衝力、各滞納処分の技術取得を行い、滞納者減少を図ります。	住民税務課 徴収係	(達成状況・課題) 収納率はほぼ前年並みを確保できる見込み。コンビニ収納について、北部3町村(高森町、喬木村、松川町)で担当者会議を開催し検討を行っている。  (今後の取り組み・改善策) コンビニ収納について、実施時期等の細部を詰めていきたい。	
			(今後の取り組み・改善策) コンビニ収納について、実施時期等の細部を詰めていきたい。	
			目標指標	単位
			町税収納率	%
	<b>【02】固定資産税評価基準の再構築</b> ●固定資産税の適正公平な課税のため、宅地評価基準の見直しを行います。 ・画地に対する調査を行い、新評価基準を作成し、それを平成30年度の評価替えに反映します。	住民税務課 課税係	(達成状況・課題) 宅地の周辺状況調査などを実施し、新評価基準作成に向けて進めている。  (今後の取り組み・改善策) 北部町村共同での航空写真撮影の結果も資料として、国基準により則した新たな基準での課税に向け取り組んでいく。	
			(今後の取り組み・改善策) 今後一層eLTAXや電子申告等の普及を宣伝していきたい。	
	<b>【03】町税等の電子申告サービス</b> ●税務関係書類の提出について、利便性を図るため、 <u>地方税電子申告サービス</u> 等を利用します。 ・個人住民税(給与支払報告書)、法人住民税、固定資産税(償却資産)では、eLTAXの利用を進めます。 ・軽自動車税の電子データによる賦課情報の受取りについて検討します。 ・税務署へ提出された確定申告書を電子データで受取りしています。今後、町で受付けした確定申告書を電子データで税務署に提出できるようにシステム改修について研究します。 ・給与支払報告書や他の申告書に記載されたマイナンバーを利用し、より適正な課税を行います。	住民税務課 課税係	(達成状況・課題) ・各税目で電子データによる賦課資料の受取りを行っている。 ・税務署へのデータ送信は、もう少し情報交換等が必要である。  (今後の取り組み・改善策) 今後一層eLTAXや電子申告等の普及を宣伝していきたい。	
			(今後の取り組み・改善策) 今後一層eLTAXや電子申告等の普及を宣伝していきたい。	
	<b>【04】税外収入の確保</b> ●財源確保のため、 <u>広告掲載事業の拡充</u> やふるさと納税を推進します。 ・ホームページを利用したリアルタイムな情報提供により、広告主および掲載媒体の拡大を図ります。 ・ふるさと納税制度の拡充について随時検討・取り組みを行います。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 平成28年度は共通使用封筒へ町制60周年記念封筒デザインとして広告を掲載しなかった為広告事業による収入は例年より減少した。現在、「広報紙」「窓付封筒」「窓口用封筒」へ掲載中。ふるさと納税についての地元特産品を返礼品として追加するなどして(平成28年度末51品) 寄附の募集拡大を図った。  (今後の取り組み・改善策) 総務省より「返礼割合3割以内」「節度ある対応」等の要請が出されているなかで、単に特産品目当ての寄附者だけでなく、町の「魅力ある」取り組み(寄附金の使途)に対して賛同してもらい、寄附を募る仕組みづくりを検討していく。	
			目標指標	単位
			くだものの里まつかわ応援寄附金額	千円
	<b>【05】借受不動産賃借料の適正化</b> ●適切な公有地確保に資するため、借受不動産の見直しを進めます。 ・契約期間満了を迎える借受不動産について、賃貸借料基準に基づく改訂を進めます。 ・借受不動産の妥当性について検証します。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 新たな借り受け物件については基準を適用するよう指導しているが、過去からの借り受け分については実施できていない。  (今後の取り組み・改善策) 現状での借受不動産の把握及び基準との整合性を調査し、契約更新時等に改訂を促していく。	

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題)					進捗状況		基本事業の成果指標		以下のとおり	
<p>収納率は、滞納繰越分の納付が増え、アップする見込みである。</p> <p>コンビニ収納について、飯田市へ共同事務を申し込んだが、最終的にできないとの回答であった。</p>					<p>◎</p>		<p>【住民税務課徴収係:A】</p> <p>・税と料金担当課による収納対策会議を年1回開催し、未納者を共有、収納時に税・料金を同時に収納した。税・料金について債権や不動産等の差押を執行したことにより徴収した。</p> <p>・町単補助事業等の助成制限により、短期・中期滞納者の解消が図れた。</p> <p>・コンビニ収納は、下伊那4町村(松川町、高森町、喬木村、阿智村)で、平成31年度予算執行し、各関係機関との調整をして、税、上下水道料について令和2年4月1日より運用を開始した。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>コンビニ収納は、引続き北部3町村(高森町、喬木村、松川町)で検討を行っていく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
99.1	99.0	99.1	99.4	99.3	99	現状水準を維持します。				
<p>(達成状況・課題)</p> <p>宅地の画地調査を終了し、固定資産評価事務取扱要領(宅地)の作成が完了した。</p>					<p>○</p>		<p>【住民税務課課税係:B】</p> <p>当町における固定資産税土地評価は、近隣自治体に比べて宅地状況類似地区数が著しく少ない。また、現在使用している宅地状況類似地区は古くから利用されているもので、現在の土地利用の実態と大きくかけ離れたものである。今後は宅地状況類似地区の再編を行い、評価の精度を上げていく必要がある。また、現在宅地のみの方策となっている固定資産税事務取扱要領は未整備地目や家屋の整備を行い、公平な課税を推進していく。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>新たな固定資産評価基準により公平な課税を心掛けていく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <p>・各税目で電子データによる賦課資料の受取りを行っている。</p> <p>・税務署へのデータ送信について、国は普及を進めていますが住民サービスの向上等のメリットについてもう少し検討が必要である。</p>					<p>○</p>		<p>【まちづくり政策課:B】</p> <p>ふるさと納税による収入増は、自主財源の確保につながり、これにより保育園の冷房設備の設置や公用車(マイクロバス等)の整備を一般財源を使用することなく実施できた。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>平成31年10月に地方税納税システムを稼働し、法人住民税と個人住民税(給与特徴)の納税データの受信が開始される予定であり、それに向けてシステムの改修と職務体制の確保を会計部局との連携を図ります。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <p>広告掲載事業については、これまで同様の媒体に対して、申請の都度掲載対応をした。ふるさと納税について、総務省からの通達に沿った運用(返礼率3割以下)への変更を完了した。ふるさと納税返礼品の開発と、寄附増額を目的とし、南信州まつかわ観光まちづくりセンターへ、ふるさと納税返礼関係業務の外部委託を行うこととし、準備を行った。</p>					<p>◎</p>		<p>【住民税務課課税係:維持継続】</p> <p>国は地方税の電子申告、電子納税を推進しており、確定申告等のデータの送受信によるペーパーレス化が一般的になる他、納税等については電子マネー等が普及すると思われます。このような社会環境の変化に対応し住民の要求に応えられるよう職員の資質向上やハードの整備を計画的に推進していく必要があります。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>業務の一部を外部委託した分、町は魅力ある事業の提案や、クラウドファンディング型の寄附募集など新たな取り組みを研究していく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
19,825	47,005	41,637	53,842	107,165	50,000	増加傾向にある状況を鑑み、施策による増加分を見込みます。				
<p>(達成状況・課題)</p> <p>新たな借受物件については、協議の際に基準を適用するよう指導しているが、過去からの借り受け分については実施できていない。</p>					<p>○</p>		<p>【まちづくり政策課:維持継続】</p> <p>余裕のある財政状況ではないことから、ふるさと納税や未利用地の売却などにより今後も自主財源の確保が求められる。また新たな財源を確保することで、住民サービスの向上につながることから、積極的に自主財源の確保に努める必要がある。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>現状での借受不動産の把握及び基準との整合性を調査し、かい離が著しい案件から、対応策を研究していく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					

<p>③情報セキュリティ対策</p>	<p><b>【01】情報セキュリティ対策</b>                  ●町の情報資産を脅威から保護し、適正に管理するため、<b>情報セキュリティ対策を講じます。</b>                  ・マイナンバー制度を見据えた、庁内ネットワーク構成の見直しを行います。【新規】                  ・松川町セキュリティ委員会を定期的に開催し、必要な対策について検討します。                  ・緊急事態の発生した際には、セキュリティポリシーに基づいた適正な対応を行います。                  ・職員に対するセキュリティ研修会を開催します。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 総務省の指針によるマイナンバーに対応したセキュリティ強化対策を実施したが、業務効率が低下しており、それに対する対策が必要。セキュリティポリシーの改定に合わせて、職員に対するセキュリティ研修会を行った。  (今後の取り組み・改善策) セキュリティの水準を確保しつつ、業務の効率化を改善する仕組みを構築するよう検討を行う。職員の意識を保つためにセキュリティ研修会を継続して行う。</p>
<p>第2項 魅力を発信し、交流する地域づくり(地域間交流・広域行政)</p>			
<p>基本事業</p>	<p>事業の内容</p>	<p>担当課係名</p>	<p>平成28年度評価</p>
<p>(1) 地域間交流の推進</p>			
<p>①都市部・他市町村との交流</p>	<p><b>【01】他市町村等の交流事業の展開</b>                  ●都市部との交流推進および他市町村等との交流・親善を深めるため、<b>交流事業を展開します。</b>                  ・牧之原市、蓮田市との交流事業を実施し、各種団体による交流を支援していきます。                  ・関東、関西松川町の会との交流を行うとともに、会の運営に協力します。                  ・新たな自治体との特産品、文化等を通じた交流を研究します。                  ・地域住民と連携した大学との連携事業を実施します。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 町制施行60周年を機に、蓮田市とは友好姉妹都市の締結へと友好関係を発展させた。関西信州松川町の会の定例総会の開催に協力した。  (今後の取り組み・改善策) 新たな自治体との交流について、調査研究を行う。大学連携について、他市町村の取り組み状況を集約するとともに、その方向性について検討を行う。</p>
<p>②町の魅力発信</p>	<p><b>【01】広報大使・ふるさと大使を活用した町の魅力発信</b>                  ●大勢の町内外の方へ松川町の魅力を知ってもらい、<b>新たな交流へつなげるため、広報大使等を活用します。</b>                  ・県内外で行われるイベントにおいて広報大使を活用し、町の魅力を発信します。                  ・ふるさと大使を設置し、連携しながら松川町をPRします。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 広報大使を活用し、特に県外のイベントにおいて町をPRした。町制施行60周年を機に、ふるさと大使を新たに3名委嘱した。  (今後の取り組み・改善策) 広報大使、ふるさと大使に更なる町のPRをお願いするとともに、広報大使・もりちの故郷である広島県三原市との交流について検討を行う。</p>
<p>③三遠南信地域との連携</p>	<p><b>【01】三遠南信地域との連携推進</b>                  ●県境を越えた三遠南信地域の地域活性化を図るため、<b>連携事業を推進します。</b>                  ・三遠南信地域連携推進ビジョン推進会議に参画し、地域連携の推進を検討します。                  ・三遠南信自動車道の整備について期成同盟会等と連携し要望行動を実施します。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 三遠南信地域連携推進ビジョン推進会議に参画し、地域連携の推進について検討を行った。三遠南信自動車道の整備について、期成同盟会等と連携し要望活動を行った。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き、三遠南信地域の地域活性化を図るため、三遠南信地域の連携事業を推進する。</p>
<p>④広域連携</p>	<p><b>【01】広域行政と定住自立圏の連携</b>                  ●効率的な広域行政と南信州圏域の活性化を図るため、<b>広域連携を進めます。</b>                  ・南信州広域連合第4次広域計画を推進します。                  ・定住自立圏構想に基づき、協定締結による広域連携を進めます。                  ・下伊那北部総合事務組合を事務局とした情報交換、業務連携を推進します。                  ・中部伊那や上伊那市町村との連携を検討します。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 定住自立圏構想に基づいた協定締結による広域連携を進めた。下伊那北部総合事務組合を事務局とした情報交換、業務連携を推進した。  (今後の取り組み・改善策) 中部伊那や上伊那市町村との連携について、検討を行う。</p>

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) トラブルが発生した際は、セキュリティポリシーに基づいた適正な対応を実施した。 毎年1回の開催が規定されている職員に対するセキュリティ研修会を開催した。	進捗状況 (達成状況・課題) 職員を対象としたセキュリティ研修会を実施した。 統合型GIS及びホームページサーバのデータセンター化を実施し、セキュリティを強化した。	基本事業の成果指標 B インターネット系とLGWAN系ネットワークの分離を図るなど、庁内ネットワーク構成の大幅な見直しを行い、LGWAN系ネットワークのセキュリティを強化した。
(今後の取り組み・改善策) セキュリティの維持のため、職員研修会を継続して開催する。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 インターネット系とLGWAN系のネットワークを分離しハード面では大きな対策を施したことから、今後は、外部記憶装置の取扱い等人的エラーの発生防止の観点からセキュリティ対策の強化を図っていく。
平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
(達成状況・課題) 蓮田市関係イベント(5回)に参加し、町特産品の販売等を行った。 「関東地区松川町の会」「関西信州松川町の会」両総会の開催に協力し、総会時に交流を行った。 産業観光課と共に横浜国大のゼミ活動のコーディネートを行い、また、研究発表会を開催した。	進捗状況 (達成状況・課題) 蓮田市との交流事業を4回実施した。 11月には、関西松川町の会の総会に参加した。	基本事業の成果指標 B 蓮田市、関東地区松川町の会、関西信州松川町の会等、交流事業を継続的に実施し、都市部へ松川町の魅力発信を行うとともに、交流が深まった。
(今後の取り組み・改善策) 新たな自治体との交流について、機会を伺う。 大学連携について、関係課と連携した誘致とコーディネートを行う。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 交流人口の増加に向けて、引き続き都市部との交流促進を図る。
(達成状況・課題) 広報大使を活用し、蓮田市や都内などのイベントで町のPRを行った。 ふるさと大使に名刺を託し、町のPRを依頼している。	進捗状況 (達成状況・課題) ふるさと大使を新たに2名委嘱し、県内外で行われるイベントを通じて松川町のPRを行った。	基本事業の成果指標 B 広報大使・ふるさと大使を活用して、幅広く県内外へ松川町の魅力のPRを行った。
(今後の取り組み・改善策) にゃんたぶうに、H30.4月から広報大使第3期目を委嘱する。 11名のふるさと大使から、活動状況、意見等を聞き取る。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 関係人口、交流人口の増加に向けて、引き続き県内外へ松川町の魅力を発信する。
(達成状況・課題) 三遠南信地域連携推進ビジョン推進会議において、ビジョン改訂に参画した。 三遠南信自動車道の整備について、期成同盟会等と連携して要望活動を行った。	進捗状況 (達成状況・課題) 第2次三遠南信地域連携ビジョンの策定に向け、プラットフォームづくりについて等市町村間で意見交換を行った。 三遠南信自動車道の整備について、期成同盟会と連携して要望活動を	基本事業の成果指標 B 三遠南信地域連携ビジョン推進会議を通じて、地方創生への取り組みや行政課題等について、市町村間で意見交換を継続的に行った。 今後、連携の内容や方法を具体的に検討していくことが必要である。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き、三遠南信地域の地域活性化を図るため、三遠南信地域の連携事業を推進する。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 第2次三遠南信地域連携ビジョンに基づき、交流・連携活動の深化や広域生活圏の形成等の県境を越えた地域間連携を推進する。
(達成状況・課題) 南信州広域連合は、第4次広域計画書に沿った広域行政を進めている。 定住自立圏形成に関する協定による飯田市との関係事業を推進している。 下伊那北部総合事務組合による業務の推進と、ワーキンググループ活動による情報交換や事務事業の研究を実施している。	進捗状況 (達成状況・課題) 休日夜間急患診療の運営等、第2次定住自立圏共生ビジョンに基づいて事業を推進した。 各政策分野、テーマごとに北部5市町村の担当者間で情報交換と業務連携の研究を行った。	基本事業の成果指標 B 定住自立圏共生ビジョンや北部5町村のワーキンググループ活動などの実施の他、各自治体の共通課題・目標となる移住・定住の推進を共同で行うなど、南信州圏域の広域連携体制の整備が進んだ。
(今後の取り組み・改善策) 広域行政による効果的で経済的な事業を継続して推進する。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続 第3次定住自立圏共生ビジョンをもとに、単自治体で解決の難しい行政課題の解決に向けた広域連携を継続的に推進する。

第3項 地域の魅力が伝わる観光づくり(観光)			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 松川町のファンを増やす観光戦略の推進</b>			
①松川町のファンを増やす観光戦略の推進	<b>【01】松川町のファンを増やす観光戦略の推進</b> <b>●観光産業の振興を図るため、松川町のファンを増やす観光戦略を展開します。</b> ・松川町観光協会主催事業を実施します。 ・松川町内直売所(信州松川くだもの観光協会、あい菜果、松川IC選果場直売所もなりん)の情報交換会を実施し、連携を図ります。 ・銀座NAGANOや首都圏観光キャンペーン等でのPR事業を実施します。 ・山岳観光に関する検討を実施します。【新規】 ・農村観光交流センターみらいでの旅行業取り扱い(町内観光ツアー等)を開始します。【新規】	産業観光課 商工観光係/観光局設立準備室	(達成状況・課題) ・首都圏及び中京方面へ農園参加のマルシェを実施し、農産物のほか加工品やシードルのPRを行った。 ・ふるさと登山の会と連携し、登山道への標識、烏帽子岳への標柱設置を行い、今後の山岳観光推進のための足掛かりとなった。 ・松川町版DMOの設立準備及び観光交流地域づくり推進事業に着手した。
			(今後の取り組み・改善策) ・観光協会と農園との連携を図り、販売促進、観光PRを実施する。 ・元気づくり支援金を申請し、登山道整備等を行って山岳観光を推進する。 ・松川町版DMOをH30年3月までに設立するとともに、地方創生推進交付金を活用した事業を推進する。
		目標指標	単位
		観光人口	百人
	<b>【02】くだもの観光の推進</b> <b>●くだもの観光産業を推進するため、松川町のくだものを活用した取組を展開します。</b> ・信州松川くだもの観光協会の受入体制(農村観光交流センターみらいの窓口)の支援を拡充します。 ・直売所「もなりん」や「あい菜果」と連携した取組を検討実施します。【新規】 ・果樹宣伝対策補助事業(ふじ祭り等)を実施します。	産業観光課 商工観光係/農業振興係/観光局設立準備室	(達成状況・課題) ・みらいの利用者12540名。リニューアルに着手。観光案内所として看板の設置、案内カウンターの設置を行った。 ・さくらんぼの受け入れについて、農園の負担が減るように事務の一部を請け負い、実施した。 ・ふじ祭りについては、中央公民館前での開催が定着してきている。
			(今後の取り組み・改善策) ・くだもの観光協会の会員増のため、窓口案内を充実する。 ・さくらんぼの受入件数が増加しており、受け入れ態勢の検討が必要です。予約受け入れについて視察等を行い、検討する。 ・あい菜果、もなりん、JA祭などふじに関するイベントが続くことから、ふじ祭りの開催日について検討が必要である。
		目標指標	単位
		信州松川くだもの観光協会農家数	軒



## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価			
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7年ぶりのDCキャンペーンの実施で、観光PR事業を行った。また北部5町村をつなぐツアーなどを実施した。</li> <li>・南信州シードル連絡会議の発足を計画し、関係団体、行政にも呼びかけた。</li> <li>・松川町観光協会は発展的解散として、(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターが発足した。</li> <li>・観光局設立検討委員会11回、準備委員会2回、観光交流地域づくり戦略会議11回を開催し、平成30年3月23日に(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターの設立総会を行った。</li> <li>・観光交流地域づくりセミナー3回を開催し、観光まちづくりについて認識を高めることができた。</li> <li>・戦略会議を通じて滞在交流プログラム造成を行い、モニターツアーを8回実施した。</li> </ul>					<p>進捗状況</p> <p>○</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>南信州まつかわ観光まちづくりセンターが設立され、観光ワンストップ窓口の開設した、滞在交流プログラム開発、観光資源とするための旧松川青年の家のあと利用検討、ツリードームの企画運営を行った。</p> <p>南信州シードル協議会を発足し、シードルを活用した観光PRを実施。銀座NAGANO松川町の日の解禁イベント、シードル列車など行った。</p> <p>ふるさと山の会のみなさんと開山式を実施し、登山道の管理など連携した。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>C</p> <p>観光まちづくりセンターが推進する観光地域づくりを進めるため、交流人口の増、町内における経済波及効果を進め、それに対する適切なマーケティングが行われているか確認が必要となる。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくり支援金を使って今後も様々な事業を計画する。</li> <li>・発足した新たな組織とともに、観光地域づくりを目指す。</li> <li>・1人1人にあった観光案内や、地域の皆さんとのつながりを大事にする。</li> <li>・元気づくり支援金を申請し、山やシードル関係の事業を進め、地域の皆さんの活動を支援していく。</li> <li>・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターに業務を委託し、協力し、観光振興に努める。</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>観光まちづくりセンターが町の観光部門について一手に引き受けて「町の観光」について総合的にマーケティングする。</p>			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
2,634	2,832	2,963	2,663	2,664	3,000	施策による増を見込みます。				
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みらいのリニューアルが終わり、9月にオープンした。各種会議やイベント、直売所の説明会などの利用が進んでいる。</li> <li>・直売所の連絡会議を実施した。それぞれの活動報告を行い、今後、1年間の活動に向けての協議を行った。</li> <li>・さくらんぼ狩りの案内は1日に受け入れられる人数、バスの受入時間などの把握により、スムーズに実施できた。</li> </ul>					<p>進捗状況</p> <p>○</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>南信州まつかわ観光まちづくりセンターと連携し、観光ワンストップ窓口を開設した。くだもの狩りパンフレットの配布を積極的に行うとともに簡易版の作成を行った。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターの発足により、専門的な案内が期待できることから、くだもの観光協会との連携をさらに深め、お客様に満足いただける窓口案内を充実させる。</li> <li>・12月に入ってからふじ祭りを実施することが定着している。今後、りんごの販売以外のものを研究したい。</li> <li>・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターに業務を委託し、観光案内所の充実を図り、果物狩り手配だけでなく、様々な情報を一元化して発信するワンストップ窓口を開設する。</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
62	60	58	60	60	66	施策による増を見込みます。				

	<p><b>【03】地域資源保全型観光の推進【新規】</b></p> <p>●地域資源を生かした観光産業を推進するため、松川町の地域資源を学び、保全し、磨きをかけ利活用する取組を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元学の考えに基づく学びの場を継続します。</li> <li>・地域のお祭り等の行事や歴史などに目を向け、地元の人が再認識できる活動に繋がります。</li> </ul>	<p>産業観光課 商工観光係／観光局設立準備室</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と案内を続けることで、活動への意欲がわき、会以外の皆さんとの交流を行った。</li> <li>・町民有志実践型WSとして観光交流地域づくり戦略会議を開催し、地域ブランドの策定、滞在交流プログラムの開発に取り組んでいる。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員自らのプログラム作成により、住民の皆さんにしていいただく機会をつくる。また、みらいでの地元案内を行う。</li> <li>・観光交流地域づくり戦略会議において地域ブランドと滞在プログラムを具現化する。</li> </ul>				
<p>②清流苑、リフレッシュタウンまつかわの里の利用促進</p>	<p><b>【01】町営温泉宿泊施設清流苑の運営</b></p> <p>●住民および観光客の保養宿泊施設として、町営温泉宿泊施設清流苑を運営します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清流苑経営会議における長期的経営方針等の検討を実施します。</li> <li>・おもてなしと癒しの宿として、接客力の向上と、リピーター客の獲得、サービスメニューの充実に取り組めます。</li> </ul>	<p>産業観光課 まつかわの里係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊者数、入湯者数ともに、目標値を達成することができている。しかし、人口減少による国内旅行者の減及び慢性的な人手不足という、これからの日本の人口推移から考えられる影響がすでに出てきている。今後の状況を注視し、取り組んでいく。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の観光局(仮称)立ち上げに伴う戦略会議における意見を取り入れ、清流苑独自の魅力発信に努めていく。</li> <li>・H27より取り組んでいるDMの充実を図り、利用促進に努める。</li> <li>・入湯料の増額と、人手不足解消のための人材確保に努めていく。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="995 1133 1452 1245"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清流苑入湯者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	清流苑入湯者数	人
目標指標	単位						
清流苑入湯者数	人						
	<p><b>【02】リフレッシュタウンまつかわの里スポーツ施設の運営</b></p> <p>●住民と観光客の保養スポーツ施設として、リフレッシュタウンまつかわの里スポーツ施設を運営するとともに、利用拡大に向けた取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パターゴルフ場、屋内スポーツ施設、ゲートボール場、テニスコート等の施設を管理運営します。</li> <li>・フォレストアドベンチャー松川の運営を行います。清流苑と連携した利用促進を図ります。</li> <li>・森林セラピー基地を利用したノルディックウォーク等のメニューを実施します。</li> </ul>	<p>産業観光課 まつかわの里係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内スポーツ施設人工芝化に伴い、スポーツ施設全体における利用者数は20,932名、140%増となっている。</li> <li>・パターゴルフ場については、さらに厳しい状況となっており、要検討である。</li> <li>・フォレストアドベンチャーにおいては、試算通り現在順調に推移している。安全第一に運営をしていく。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>パターゴルフ場については、要検討としており、研究をしている。今後、まとめるなかで、方向性を示してまいりたい。フォレストアドベンチャーについては、さらなる利用促進を図るため、企業研修を取り入れるため、人材育成を進め取り組んでま</p> <table border="1" data-bbox="995 1648 1452 1774"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォレストアドベンチャー松川利用者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	フォレストアドベンチャー松川利用者数	人
目標指標	単位						
フォレストアドベンチャー松川利用者数	人						

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) ・学校からの依頼や、会員自身が企画して行う地域案内講座など自主的な活動を行った。賛助会員の皆さんにもお集まりいただき、地域で暮らす中に観光があることを見出した。 ・観光局の発足を目指す中で、戦略会議を実施し、交流プログラムも生まれてきている。 ・観光交流地域づくり戦略会議は、地域ブランドを言語化し、(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターの経営理念となった。また、滞在交流プログラムの造成も行い、8回のモニターツアーを実施した。					進捗状況 (達成状況・課題) △ 滞在交流プログラムの企画を進めた。神社の祭り体験、お寺体験、朝散歩などのモニターツアーを行った。		
(今後の取り組み・改善策) ・みつけに出演の皆さんとも連携して町を紹介していく。 ・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターの事業により、滞在プログラムの造成、販売促進を支援する。 ・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターと協力し、引き続き、戦略会議のような一人でも参加できる仕組みを作り、地域ブランドを掘り下げ、それらを体感できるプログラム作りを行う。					(今後の取り組み・改善策) /		
(達成状況・課題) ・入湯者数は、平成29年度総数163,175名で大幅増となったが、宿泊者数は減少した。 ・人口減少等の状況において、宿泊者数増の対応が第一の課題である。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・入湯料の料金改定を行ったことで入湯者数は減少し、入湯料の収入減となったが大きな落ち込みは無かった。 ・宿泊者数が減少したため、更なる対策が必要である。		基本事業の成果指標 B
(今後の取り組み・改善策) ・宿泊者数の増が収入に直結することから、第一の課題と考え、業務にあたる。 ・新たな取り組みとして、(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターとの連携を図り、新規のお客さまの増加へつなげる。 ・現場において、DM(ダイレクトメール)を中心にリピーター向けの取り組みを継続して行う。					(今後の取り組み・改善策) /		・宿泊者数については、ここ数年19,000人を超えることができていない状況である。要因は様々考えられるが、今まで取り組んでいない、団体旅行等に一定の営業をすすめ、経営の安定をはかりたい。よって、宿泊者数については、目標値を同数の20,000人としてすすめたい。しかしながら、新型コロナウイルスによる影響により、令和元年度については大幅な減となってしまった。 ・入湯者数については、料金改定の影響によりH30年度に減となったが、売り上げは通常年と比較し大幅な減にはならなかった。しかしながら令和元年度利用者数の増も期待できたが、新型コロナウイルスによる影響により、令和元年度最終的には大幅な減となってしまった。
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
145,560	156,467	163,175	135,977	132,375	146,000	現状の水準を維持します。	
(達成状況・課題) ・屋内スポーツ施設及びテニスコート利用の増により、大幅に利用者が増となった。 ・パターゴルフ場についてはさらに厳しい状況となっており、検討が必要である。 ・フォレストアドベンチャーにおいては、本年度の目標は達成できた。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・パターゴルフ場以外は、新規事業等を進める中で、一定の効果を得てきたので、今後も同様に進める。パターゴルフ場については、R1年度中に今後の方針等検討をすすめたい。 ・フォレストアドベンチャーについては、計画的に進んでおり、今後も一層の集客に向けて進める。		
(今後の取り組み・改善策) ・パターゴルフ場について検討をする。 ・フォレストアドベンチャーは、平日の集客として企業研修、教育プログラムに向けて、観光まちづくりセンターと連携を図る中で利用促進に努める。					(今後の取り組み・改善策) /		次期計画の方向性 維持継続 事業の方向性、目標値ともに、継続して進める。新型コロナウイルスによる影響により、大幅な計画の変更を余儀なくされています。今後については、元の情勢には当面戻れないことから、感染拡大防止に努め、安心な施設として経営をすすめてまいりたい。またまつかわの里全体の方についても早急に進め、次期計画については一新する必要があると考えます。
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
2,368 (7月～3月)	6,145	6,616	6,728	6,289	8,000	施策による増を見込みます。	

	<p><b>【03】リフレッシュタウンまつかわの里室内温水プールの運営</b>                  ●住民と観光客の保養スポーツ施設として、リフレッシュタウンまつかわの里室内温水プールを運営するとともに、利用拡大に向けた研究を行います。                  ・清流苑と合わせたパックプランの充実を図ります。</p>	産業観光課 まつかわの里係	(達成状況・課題) ・平成28年度42,000人を超え、利用者数は横ばいである。ピーク時以外での利用促進について、今後一層取り組んでいく必要がある。 (今後の取り組み・改善策) ・温水プールをまず知っていただくために、水中パフォーマンスショーなどを計画し実施している。 ・イベントだけでなく、利用促進につながるような事業運営をしていきたい。				
③都市農村交流の推進	<p><b>【01】都市農村交流等の推進</b>                  ●松川町の農山村の地域づくりを活性化させるため、都市と農村交流事業を推進します。                  ・受入農家の簡易宿泊免許取得のための補助を行います。【新規】                  ・農家と農業体験者等とのマッチングを行い、受入農家の拡大を図ります(ワーキングホリデー等)。                  ・グローバルな人材交流事業を展開します。【新規】</p>	産業観光課 農業振興係/商工観光係	(達成状況・課題) ・定期的な単独セミナーを実施することで、体験ツアーの参加も多くあった。 ・中国からの学校交流、ホームステイを実施した。 ・南信州観光公社との連携により、ホームステイについては、特定の学校より継続して受入を行うなど、定着してきている。 ・大学生の受入も行っているが、学校により温度差があるため、受入には慎重な対応が必要である。 (今後の取り組み・改善策) ・ホームステイの受入農家において、海外からの受入等ができるよう、研修会を実施する。 ・ホームステイ受け入れ農家の高齢化、家庭内の介護等の問題により、個別の支援対策が必要である。 ・世界規模で考え、地域で活動するためには、途上国ではなく、農業先進地との交流が必要である。 <table border="1" data-bbox="995 1041 1452 1167"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>移住等現地見学会(体感ツアー)参加者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	移住等現地見学会(体感ツアー)参加者数	人
目標指標	単位						
移住等現地見学会(体感ツアー)参加者数	人						
第4項 多くのひとが定住したくなるまちづくり(移住・定住)							
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
(1)住宅確保の支援							
①住宅確保の支援	<p><b>【01】定住促進の宅地分譲および住宅の整備</b>                  ●町内への定住を促すために、土地開発公社を通じた宅地分譲・販売を行うとともに賃貸住宅を整備します。                  ・名子原県住跡地、上片桐専用側線跡地等の町有地を活用した宅地分譲を検討し、優先度を鑑みながら整備を進めていきます。                  ・若者の定住を促進するための賃貸住宅整備の検討を進めます。【新規】</p> <p><b>【02】町営住宅の管理運営と長期方針の検討</b>                  ●町営住宅の安全な住環境を維持し、今後の住宅方針を検討します。                  ・公共施設等管理計画等と整合を図りながら、町としての町営住宅のあり方を検討します。</p>	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) 土地開発公社が現在所有する南森林分譲地の完売に向け、ホームページのほか、町内外の不動産業者への営業活動を行った。 (今後の取り組み・改善策) 新たな宅地分譲地の検討を行うとともに、移住体験住宅や移住促進住宅の活用を進め、定住住宅の検討を行う。 目標指標 単位 宅地分譲販売区画数 区画				
		建設課 建設管理係	(達成状況・課題) 5件中2件の町営住宅の耐震改修を実施し、安全な住環境を提供している。また耐震改修が未実施の町営住宅の利用者へ、内容の説明を行い既に改修が終わっている町営住宅への移転を行った。 (今後の取り組み・改善策) まだ耐震改修を行っていない町営住宅について、改修を実施するか取壊しを実施するか検討が必要である。 町営住宅の利用者について、所得が増えてきたことにより退去指示を行なう場合、諸問題が発生する恐れがある。				

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) 平成29年度総利用者42,623名、604名の増と、利用促進を図ることができた。					進捗状況	(達成状況・課題) ○ H30年度は総利用者43,459名と、597名の増と、大幅な利用促進を図ることができている。								
(今後の取り組み・改善策) ・冬期間の利用促進について継続して取り組む。 ・利用者数は毎年伸びているため、今後は、オフシーズンについて、さらなる利用促進を図る。 ・平成30年度については、プールサイドに健康器具の設置を検討しており、さらなる利用促進となるように努める。					(今後の取り組み・改善策)									
(達成状況・課題) ・簡易宿泊補助について、新規加入者2軒の実績があった。 ・中国からのホームステイについて、数軒の実績があった。 ・南信州観光公社との連携によるホームステイは、特定の学校で継続されているが、受入農家の高齢化や家族構成の変化などにより農家数が減少しており、農家の状況把握が課題である。 ・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターが発足したことにより、今後は一般のお客様のホームステイの受入も可能となり、多くの観光客を受け入れようとした場合に簡易宿泊施設の許可が必要となる。					進捗状況	(達成状況・課題) ○ ・簡易宿泊補助について、新規加入者1軒の実績があった。 ・南信州観光公社との連携によるホームステイは、継続して受入が可能な農家はいるが、家族の介護や高齢化など家族構成の変化等により農家数が減少している。 ・中国からの教育旅行の受け入れを数件行なった。	基本事業の成果指標	C						
(今後の取り組み・改善策) ・ホームステイ受け入れ可能な農家の状況を把握し、確実な受け入れを支援する。 ・一般観光客のホームステイの受け入れを見据え、簡易宿泊施設の必要性について検討する。					(今後の取り組み・改善策)			次期計画の方向性	維持継続					
								農泊関係については、観光公社が主導の地域連携DMOの取り組みや観光まちづくりセンターとの連携も必要となってくる。						
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明								
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値									
4	9	0	0	0	50	施策による増を見込みます。								
平成29年度評価					平成30年度評価					総括評価				
(達成状況・課題) 南森林分譲地の完売に向け、販売価格を値下げを行い、地域情報紙への広告掲載や、上下伊那の不動産業者などへ営業活動も行ったが、販売はできなかった。					進捗状況	(達成状況・課題) ○ 土地開発公社の所有する南森林団地の分譲地の契約を締結し、定住の促進をした。	基本事業の成果指標	以下のとおり						
(今後の取り組み・改善策) 名子原県住跡地について、周辺関係者の意見聴取を行い、活用の検討に着手する。					(今後の取り組み・改善策)			【まちづくり政策課:C】 平成30年度の契約締結により、土地開発公社所有の分譲地はすべて完売見込みとなった。南森林団地の販売に多くの時間を要したため、定住支援策の見直しが必要と考える。						
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明								
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値									
0	0	0	1	0	6	南森林団地1区画と施策による増加分を見込みます。								
(達成状況・課題) 引き続き5件の住宅管理・運営を行った。うち3件は耐震改修未実施であるが、今のところ改修計画はない。					進捗状況	(達成状況・課題) △ 引き続き5件の住宅管理・運営を行った。うち3件は耐震改修未実施である。	次期計画の方向性	以下のとおり						
(今後の取り組み・改善策) 利用者の契約更新に当たり、安全面から退去を勧めていく。 町営住宅と老朽化する教員住宅の今後の利用を関係各課で協議し、将来構想を検討する。					(今後の取り組み・改善策)			【まちづくり政策課:拡大・改善】 土地開発公社の在り方については、解散も含めて検討を行う。 それに代わる定住支援策として、宅建取協会等、民間と連携した取り組みを検討していく必要がある。						
								【建設課:C】 住宅管理・運営を行ったが、耐震改修が必要な住宅もあり、安全性に問題がある。その中で町営住宅のあり方について結論に至っていない。						
								【建設課:縮小・廃止】 ・公共施設等管理計画等と整合を図りながら、町としての町営住宅の有無、所管について検討する。						

<b>(2)IJUターンの支援</b>				
<b>①IJUターンへの支援</b>	<b>【01】移住・定住支援</b> ●地域外から松川町や南信州地域への移住・定住を推進するため、IJUターンを支援します。 ・活用可能な空き家等を空き家情報バンクとして整備し、移住希望者へ情報提供します。 ・空き家として活用可能な住宅等を調査し、活用へつなげます。 ・町ホームページ等のインターネットを活用したIJUターンの情報を発信します。 ・Iターン者が地域になじめるよう、相談受付、地域との懸け橋になるなど地域とサポート体制を整えます。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) 活用希望のあった空き家について、空き家情報バンクで情報提供を行った。 IJUターンの情報発信のひとつとして、移住パンフレットを新たに作成。	
			(今後の取り組み・改善策) 活用可能な住宅等について、建設課で実施した空き家実態調査の結果を基に調査を行う。 空き家の活用について、民間不動産業者との連携の検討を行う。	
			<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>空き家バンク登録数</td> <td>件</td> </tr> </table>	目標指標
目標指標	単位			
空き家バンク登録数	件			
<b>②空き家対策の推進</b>	<b>【01】空き家対策方針の作成【新規】</b> ●老朽化した危険な空き家等の適正管理について、助言・指導を行う体制を構築します。 ・町内の空き家の実態を把握するため、空き家調査を行い、データベース化します。 ・空き家発生の要因等を洗い出し、町の空き家対策計画および空き家対策条例の策定をします。	建設課 建設管理係	(達成状況・課題) 空き家調査業務を業者へ委託し、空き家実態調査を行った。また自治会へも空き家調査の協力を願った。また空き家と判断できた建物の所有者へ今後の空き家利用の調査を実施した。	
			(今後の取り組み・改善策) 国より指導されている空き家対策計画の作成と、町の空き家対策条例の策定を実施する。	

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題)						進捗状況		(達成状況・課題)		基本事業の成果指標		C	
活用希望のあった空き家について、空き家情報バンクで情報を提供した。 移住体験住宅を新たに整備し、移住・定住を促進した。						△		移住促進住宅を整備し、移住促進をした。 空き家バンク情報により、1件契約が成立した。 ホームページで新たに移住・定住特設ページを開設し、情報発信をした。		移住体験住宅・促進住宅の整備など、Uターンの受入体制の整備を進めた。また、中・高校生の地域学習を学校と連携して行い、Uターン施策にも着手をした。 空き家バンクの活用促進は進まず、見直しが必要である。			
(今後の取り組み・改善策) 建設課で実施した空き家等の実態調査結果をもとに、活用可能な住宅等について調査を行う。 空き家の活用について、民間不動産業者との連携を検討する。						/		(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性		拡大・改善	
/						/		/		空家対策計画を策定した建設課、新規就農の促進をする産業観光課とともに、横断的な空き家対策の推進を図る。		/	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明							
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値								
201	235	240	247	255	280	施策による毎年20人の登録を見込みます。							
(達成状況・課題) 松川町空家等対策計画策定に向け、松川町空家等対策庁内調整会議を開催し、計画の検討を行った。松川町空家等対策の推進に関する条例を制定した。						○		(達成状況・課題) 空家等対策協議会を開催し、松川町空家等対策基本計画を策定した。		基本事業の成果指標		B	
/						/		/		空家計画により、老朽化し危険な空家等の適正管理に、助言・指導を行う体制が整う。町が法に基づいた措置をとる手順が示された。空家に関する庁内会議を開催し役割・取組むべき方針で空家バンク活用が示された。空家対象者にダイレクトメールを送付(220件)し、空家バンクの周知と今後の管理等含め意向をアンケートにて聴取した。		/	
(今後の取り組み・改善策) 計画を決定するため、関係者による空家等対策協議会を開催し、計画素案について協議を行う。						/		(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性		維持継続	
/						/		/		計画に基づき、特定空家(危険な空家等)の認定基準の整備や空家防止のための現状把握と情報発信を行っていく。		/	

第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

第1項 どの世代も活躍できる人づくり(社会教育・スポーツ)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
(1)うるおいと生きがいを育む社会教育の充実							
①公民館活動の充実	<b>【01】公民館活動の支援</b> <b>●地域における自主的な生涯学習を奨励助長するため、生涯学習推進体制を整備するとともに支援を行います。</b> ・専門部(体育部、社会部、編集部)の活動を支援します。 ・住民ニーズや時代のすそせいにあった題材を公民館研究集会等学習の場で取り上げ、中央公民館、地区公民館ともに、実践に結びつけます。 ・「新しい中央公民館施設」を活用し、若者の自由で積極的な活動を支援します。 ・地域コミュニティの中核である地区公民館活動に対し、補助金や物品貸出、学習相談等の支援を行います。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) 本館専門部及び地区公民館の活動支援を実施。新中央公民館「えみりあ」が11月よりオープンし、大勢の方に利用していただいている。2月に開催した公民館研究集会では、現在活動している団体の紹介や、今後えみりあで何ができるのか意見交換を行った。  (今後の取り組み・改善策) 本館専門部と地区公民館の関わりを深くしていくように検討をしていく。新しい公民館について、積極的な情報発信を行い公民館活動を展開していく。				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>本館部員活動回数</td> <td>回</td> </tr> </table>	目標指標	単位	本館部員活動回数	回
	目標指標	単位					
	本館部員活動回数	回					
		(達成状況・課題) 計画していた講座は順調に開催できた。まつかわ大学については受講生の減少が見られる。だが、町外の方の参加も増えてきている。まつかわ大学本来の目的をもう一度考える必要がある。英会話教室は初級、一般の2コースで開催。  (今後の取り組み・改善策) まつかわ大学は運営委員会を中心に進めていくが、制度の見直しも検討していく。住民がどのようなことを学びたいのかを考え、各種講座を開催していく。					
		<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>まつかわ大学参加者延べ数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	まつかわ大学参加者延べ数	人	
目標指標	単位						
まつかわ大学参加者延べ数	人						
	<b>【02】各種学級講座の開催</b> <b>●住民の知識や技能向上のため、気軽に学ぶことのできる学習機会を提供します。</b> ・まつかわ大学(運営委員会主催、年4回程度) ・地域を知る講座(年6回程度) ・高齢者講座(年2回) ・英会話教室(通年毎週木曜日)	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) 社会教育関係団体の認定を定期的実施。公民館研究集会では、学習系、文化系、スポーツ系から10団体の活動事例発表を行った。  (今後の取り組み・改善策) チャンネル・ユーと連携をして、社会教育関係団体の番組制作を実施していく。また、公民館報などで活動内容を紹介する。また、サークルの立ち上げ支援等を引き続き行っていく。				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>社会教育団体登録数</td> <td>団体</td> </tr> </table>	目標指標	単位	社会教育団体登録数	団体
目標指標	単位						
社会教育団体登録数	団体						
	<b>【03】サークル活動等の支援</b> <b>●自主的な生涯学習活動を育成するため、サークル活動等への支援を行います。</b> ・自主企画講座を活用し、積極的に住民の主体的な企画・運営に関わり、活動の場づくりを支援します。 ・社会教育関係団体に認定した団体を一覧表で整理し、団体活動の情報提供を行います。 ・社会教育関係団体に対し、学習相談や中央公民館、社会体育施設の提供をするなどの支援します。 ・「若者が集う公民館」を目指し、成人式実行委員会をきっかけに青年層のサークルの立ち上げを支援します。【新規】	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) 本館社会部主催で人形劇、音楽祭を開催。2月には長野県の信濃美術館移動展を新公民館「えみりあ」で開催。来場者数は730名と大勢の方に来ていただいた。公民館のギャラリーへは各クラブの作品等を展示して、多くの方に見ていただいている。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き人形劇や音楽祭などの文化活動を実施、町の文化協会による文化祭の支援を行っていく。また、ギャラリーの展示作品を広く募集して文化の豊かな町を促進していく。				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>社会教育団体登録数</td> <td>団体</td> </tr> </table>	目標指標	単位	社会教育団体登録数	団体
目標指標	単位						
社会教育団体登録数	団体						
	<b>【04】芸術に触れる機会の提供</b> <b>●文化の豊かな町を維持・促進するため、芸術に触れる機会を提供します。</b> ・人形劇場(8月)、音楽祭(9月)を開催します。 ・「新しい中央公民館施設」にある、専用ギャラリーを使用し、子どもや文化サークルの作品を定期的に展示し、文化の香りのする公民館を目指します。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) 本館社会部主催で人形劇、音楽祭を開催。2月には長野県の信濃美術館移動展を新公民館「えみりあ」で開催。来場者数は730名と大勢の方に来ていただいた。公民館のギャラリーへは各クラブの作品等を展示して、多くの方に見ていただいている。  (今後の取り組み・改善策) 引き続き人形劇や音楽祭などの文化活動を実施、町の文化協会による文化祭の支援を行っていく。また、ギャラリーの展示作品を広く募集して文化の豊かな町を促進していく。				



## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
<p>(達成状況・課題) これからの公民館のあり方を模索するため、生涯学習アンケートを実施し、更に現事業を整理分析し、公民館の役割を確認した。公民館研究集会では、地区公民館にスポットを当て、その活動に関し共有を図り、相互に情報交換ができるようにした。新たな公民館利用者の増加のためには、新たな仕組みが必要である。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 専門部による地区館支援に力を入れ、館報講座やニュースポーツ指導を行った。公民館研究集会では、本館・地区公民館双方の事業発表を行い、その活動に関し共有を図り、情報交換、また公民館における今後と少し先の未来について年齢・所属の隔てなく意見交換を行った。</p>		<p>基本事業の成果指標 B 公民館事業を計画どおり実施でき、公民館研究集会では1年間の公民館事業の総括として参加者と様々な意見交換が行われた。ホストタウン事業の中のスペイン語講座に多くの方々の参加を得た。コスタリカへの関心が高まっていると思われる。各種スポーツ事業への参加も多くなり、駅伝大会は参加チームの増となった。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 住民主体の学習や活動となるような意識を持ち、事業推進や促進を図る。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
117	123	126	122	109	120	若者とともに取り組む体制を構築し、現状水準を維持します。		
<p>(達成状況・課題) まつかわ大学は、延べ739人の参加者があった。運営についても委員の方たちと協力して実施できた。また、地域を知る講座、高齢者講座など計画どおりに開催できた。コスタリカのホストタウンとなったことから、8月より公用語であるスペイン語講座を開催した。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 計画している講座は順調に実施できた。まつかわ大学の受講生はのべ525名と年々減少している。スペイン語講座は好評でありのべ562名の参加があった。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策) まつかわ大学は、運営委員会を中心に良い講座が開催できるように進める。好評であったスペイン語講座を引き続き開催し、コスタリカ交流に活かしていく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続 引き続き文化イベント、スポーツイベントを公民館事業として開催していく。ホストタウン事業も2020東京オリンピックに向けて力を入れていく。</p>	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
813	729	739	525	521	900	開催内容を研究し、現状水準を超える参加者を見込みます。		
<p>(達成状況・課題) 町民自主企画講座により、スケボー・日本舞踊・少年少女合唱団の活動支援を実施した。継続し、この講座を周知する必要がある。社会教育関係団体については、「えみりあクラブ」と題し、チャンネル・ユーで放送中である。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 社会教育関係団体の更新を行い、81団体の認定登録となった。社会教育関係団体の活動支援、相談業務を行った。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策) 新たな公民館利用者増加のため、「町民自主企画講座」を浸透させ、自主的・自発的学習を企画からサポートする。「えみりあクラブ」について、継続してチャンネル・ユーで放送することで、制度を認知させる。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
72	69	78	81	92	80	施策による増加分を見込みます。		
<p>(達成状況・課題) 本館社会部主催で人形劇、音楽祭を開催した。12月には伊那文化会館共催でフルートコンサートを開催した。来場者数は171名と大勢の方に来ていただいた。公民館のギャラリーへは各クラブの作品等を展示して、多くの方に見ていただいている。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 本館社会部主催で人形劇、音楽祭を開催した。音楽祭ではホストタウン事業と協力し、コスタリカ人ピアノ奏者を招聘した。町内音楽団体とのコラボも実現させることが出来た。公民館のギャラリーへは各クラブの作品等を展示して、多くの方に見ていただいている。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き人形劇や音楽祭などの文化活動を実施し、町の文化協会による文化祭の支援を行っていく。また、ギャラリーの展示作品を広く募集し、文化の豊かな町を促進していく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			

<p><b>【05】文化・芸術に携わる後継者の育成</b>  <b>●文化の豊かな町を維持・促進するため、芸術に携わる後継者の育成をします。</b>          ・学ぶきっかけづくりとして、文化、芸術等の講座で1日体験を行います。</p>	<p>生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係</p>	<p>(達成状況・課題) 1日体験講座として8講座を開催。56名の方が参加した。講座内容によっては参加者が少ないため、募集方法等も検討していく。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 体験講座を開催して、学ぶきっかけづくりを行う。チャンネル・ユートも連携して積極的な情報発信を行い、参加を呼び掛ける。</p>
<p><b>【06】学校支援の推進【新規】</b>  <b>●子どもたちの豊かな人間形成を育むとともに、町文化協会会員等の地域人材のやりがい・生きがいづくりのため、クラブ活動等を「地域コーディネーター」が支援します。</b>          ・学校現場でのクラブ活動          ・中学生のチャレンジショップ          ・中学生のボランティア活動          ・中学生のキャリア教育(サマートライアル)          ・青年の家の通学合宿</p>	<p>生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係</p>	<p>(達成状況・課題) 学校現場でのクラブ活動では、小学校での地域講師を新たに増やすことができた。学校のニーズを聞き、積極的に地域人材を学校につなげていく。 中学生のチャレンジショップでは、町内外12事業所に商品開発の依頼をし、完売することができた。中学生のボランティア活動やキャリア教育では、町内の各事業所や町の行事等で、生徒が地域に出て活動に参加することができた。特にボランティアへの関心が高まっているため、さらに受け入れ先の開拓を進める。 通学合宿では、62名の児童が参加し、松川高校生とも交流しながら宿泊活動を行うことができた。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 小学校にとどまらず、中学校での地域ボランティアによる読み聞かせや府学習支援ボランティアの導入も進めていく。 チャレンジショップやキャリア教育、中学生ボランティア活動では、新井商店街や商工会、社会福祉協議会等との連携をさらに深め、地域活性化も視野に入れながら学校と地域をつなぐ提案を続けていく。</p>
<p><b>【07】生涯学習情報の提供と充実</b>  <b>●生涯学習情報を積極的に広報するため、公民館報まつかわを発行するとともに、各種活動情報の提供を充実させます。</b>          ・公民館報まつかわを毎月1回発行します。          ・「新しい中央公民館施設」に併設された(株)チャンネル・ユート協力し、映像による情報発信を行います。          ・(株)チャンネル・ユートや公民館報を活用し、「地域思いやり隊」を広報します。また、新たな「地域思いやり隊員」を発掘し、平成30年度に更新します。          ・公民館主催事業以外の自主活動や各種イベントに関する情報提供を、「新しい中央公民館施設」や町民体育館ロビー等を利用して行います。</p>	<p>生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係</p>	<p>(達成状況・課題) 公民館報を毎月1回発行。チャンネル・ユート連携をして公民館研究集会での社会教育関係団体の活動発表を映像として発信した。各種イベントについては、館内放送(映像)での情報発信を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) チャンネル・ユート連携して積極的な情報発信を行う。新たな地域思いやり隊の発掘を行っていく。</p>

## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

<p>(達成状況・課題) 中学生を対象とした文化クラブ(美術、書道)を立ち上げ、活動成果を文化祭等で発表できた。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 中学生対象の文化クラブを昨年度に引き続き開催した。学習成果を町文化祭で発表(出展)できた。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) 中学生文化クラブを引き続き運営していく。美術及び書道以外についても検討をしていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>
<p>(達成状況・課題) 学校現場でのクラブ活動では、小学校での地域講師を新たに増やした。新事業として、中学生対象の書道クラブ及び美術クラブを開講し、地域講師3名に依頼している。また、中学校での地域ボランティアによる読み聞かせを導入した。 チャレンジショップは、町内5事業所に商品開発を依頼し、完売した。新たな形を検討していくため、今年度で事業終了とした。 中学生のボランティア活動では生徒の投票によりマスコットキャラクターが決定し、新たな受け入れ先も開拓した。また、キャリア教育では、町内外64事業所に受け入れていただいた。 青年の家の廃止に伴い、通学合宿は昨年度で事業終了とした。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 学校現場でのクラブ活動では昨年度に引き続き地域講師の方に依頼して中学生対象の美術クラブ及び書道クラブを開催した。中学生ボランティア活動、キャリア教育(スマートライヤル)を実施した。キャリア教育では町内49事業所に受け入れていただいた。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) 各学校と地域のニーズに応じて、新井商店街や商工会、社会福祉協議会等との連携をさらに深め、地域連携を柔軟に開拓していく。 引き続きキャリア教育の受け入れ先を開拓する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>
<p>(達成状況・課題) 公民館活動をテーマとした教育懇談会、公民館運営審議会、公民館研究集会の場で、公民館報が広報と合冊だと読まれづらいという意見をいただき、また、もとより性格の違う公民館報と広報との別冊にする案が出され、別冊の検討をした。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 公民館報を毎月1回発行。広報と分冊した。今まで隠れていた表紙を多くの町民に見て頂くことができ、また分冊となったことで部員の責任感・やる気も上がり、内容のさらなる充実を図ることが出来た。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) 住民に読みやすく、かつ、分かりやすいよう、公民館報と広報とを別冊とする。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>

②社会教育施設の管理・運営	<b>【01】中央公民館の施設管理</b> ●生涯学習を総合的に推進する拠点施設として、住民誰でも利用しやすい中央公民館の施設管理に努めます。 ・公民館等施設を貸与します。 ・住民の需要に応じた機能向上を図ります。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) 11月に新公民館「えみりあ」がオープン。生涯学習の拠点として、多くの方に利用していただいている。その中で、利用者からの要望等には都度対応している。			
			(今後の取り組み・改善策) 新公民館の維持管理に努め、住民の需要に応じて機能向上を図っていく。			
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>中央公民館利用団体数</td> <td>団体</td> </tr> </table>	目標指標	単位	中央公民館利用団体数
目標指標	単位					
中央公民館利用団体数	団体					
<b>【02】松川青年の家の運営(指定管理)</b> ●学校や各種団体等の社会教育交流のため、施設の運営を行います。 ・豊かな自然を生かした体験研修交流事業の実施をします。 ・子どもたちの自主性や社会性を養い、保護者の子育て力の伸長を図る通学合宿を実施します。 ・松川青年の家のあと利用について、検討を行います。	生涯学習課 青年の家係	(達成状況・課題) ・松川プログラムでは、豊かな自然を利用した講座やものづくりが参加者に好評を得た。 ・通学合宿では、参加児童が協力し合って自分たちの力で共同生活を体験し、思いやりや家族の大切さを知ることができた。蓮田市小学生との交流会も開催できた。				
		(今後の取り組み・改善策) 平成28年度をもって県の指定管理を終了し閉所となった。来年度は、研修棟、体育館、グラウンド、炊飯場のみを使用とし、管理をする。				
<b>【03】旧松川東小学校の有効利用【新規】</b> ●旧松川東小学校の有効利用ため、施設の貸出等を行います。 ・希望者へ施設貸出しを行います。 ・「生東森の会」と連携し、維持管理を行います。 ・旧松川東小学校(生田会場)での自然体験学習を実施します。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) 希望者への施設貸し出しを実施。維持管理については生東森の会へ委託をしている。				
		(今後の取り組み・改善策) 希望者への施設貸し出しを実施。				
		<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>旧東小学校利用団体数</td> <td>延べ団体</td> </tr> </table>	目標指標	単位	旧東小学校利用団体数	延べ団体
目標指標	単位					
旧東小学校利用団体数	延べ団体					

## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

(達成状況・課題) 利用者要望には随時対応する。計画している修繕については、予定通り終了した。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 利用者要望に対しては随時対応した。計画修繕は予定通り実施した。施設受付システムの導入を行った。	基本事業の成果指標 B 住民からの要望であった施設受付システム(インターネット化)を導入し、利用者の利便性の向上が図られた。引き続き住民要望に柔軟に対応していく。
(今後の取り組み・改善策) 公民館の維持管理に努め、要望や修繕については都度対応をしていく。施設受付業務をインターネット化し、利用者の利便性を図る。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
1,545	1,354	2,365	2,608	3,664	1,600	現状水準を維持します。
(達成状況・課題) 平成28年度で青年の家の指定管理が終了し、青年の家あと利用をまちづくり政策課、産業観光課、教委生涯学習課で検討している。議会等での審議を重ね、観光交流施設としてリニューアルすることに決定した。平成29年度の施設管理、改修工事は教委生涯学習課が担い、実施した。					進捗状況 (達成状況・課題) △ リニューアルすることは決定しているが、その先の決定には至っておらず、県教育委員会からの補助金を延長し、時間をかけて行っていく見通し。	
(今後の取り組み・改善策) 青年の家のリニューアル期間である平成30年度は、継続して教委生涯学習課が施設管理を担うこととする。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) 希望者への施設貸し出しを実施した。維持管理については生東森の会へ委託をしている。利用団体は、新たに体育館を利用するクライミングクラブが増えたため、平成28年度60団体に対し、平成29年度115団体と飛躍的に伸びた。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 希望者への施設貸し出しを実施した。維持管理については生東森の会へ委託をしている。チャレンジ東小により、活用の幅が広がっている。	次期計画の方向性 維持継続 現状を維持しつつ、引き続き今後の活用方法について探っていく。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き希望者への施設貸し出しを実施する。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
0	77	115	162	125	50	施設の有効利用と維持のため施策により50団体を見込みます。

(2) 魅力ある図書館運営の推進							
① 魅力ある図書館運営	<b>【01】図書館機能の充実</b> <b>●住民の知を支える場として、誰もが気持ちよく利用できる魅力ある図書館運営を行うため、環境の整備、利用者サービスの向上に取り組みます。</b> ・図書館の利用方法やイベントについて、広報活動を行います。 ・居心地良く、わかりやすく利用できる図書館をめざし、環境の整備・カウンター業務サービスの向上に努めます。 ・図書館に来ることが難しい方への効果的なサービスについて、移動図書館を含め調査研究します。	生涯学習課 文教施設係	(達成状況・課題) ・エレベーターを倉庫に改修したため、会議室に入れていた除籍資料を収納でき、快適に利用できるようになった。 ・インターネット閲覧端末について、利用時間が守られるようタイマー機能を設定した。 ・公民館等の土足化への対応は問題なく運用ができています。 ・図書館前駐車場が狭く危険であるという声が利用者より挙がっている。  (今後の取り組み・改善策) 図書館前駐車場の改善を検討する。				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>年間貸出冊数</td> <td>冊</td> </tr> </table>	目標指標	単位	年間貸出冊数	冊
	目標指標	単位					
	年間貸出冊数	冊					
	<b>【02】蔵書・提供資料の充実</b> <b>●利用者の資料選択の幅を広げ、より利用者ニーズに合った資料を提供するため、蔵書や資料選択を充実します。</b> ・適切な選書・図書館ネットワーク利用により、住民が必要としている資料を、早く適切に提供していきます。 ・松川町関連資料のコーナーを拡大し、より閲覧しやすいように整理します。 ・下伊那や松川町に関連する地域資料を適切に保存・公開していきます。 ・毎月館内整理を行い、蔵書の維持管理や、痛んだ本の入れ替えを行います。	生涯学習課 文教施設係	(達成状況・課題) ・地域資料について薄い本に背を貼るなど、内容の充実とともに見やすさを意識した整理を進めている。 ・公民館改築が影響と思われる貸出冊数の落ち込みが見られたが、改築後に利用が増えている傾向が見られる。 ・定期的に除籍作業を実施できた。  (今後の取り組み・改善策) ・図書の除籍を進めるとともに、全体的に書架の増設を検討する。				
	<b>【03】子どもの読書活動・生涯学習の推進</b> <b>●子どもたちの豊かな心を育むため、よみきかせや読書活動を中心に、子どもたちが広く知的好奇心を持てる取り組みを行います。</b> ・引き続き、子どもと本に関する勉強会を開催します。 ・ボランティアと協力し、保育園や小学校での読み聞かせと図書館利用案内を行います。 ・おたのしみ会やこども教室について、新たな企画を模索します。 ・ブックスタートでは、乳幼児の親子に対し、図書館利用やよみきかせの重要性を案内します。 ・毎週金曜日の「家族読書の日」を周知します。	生涯学習課 文教施設係	(達成状況・課題) ・中央小学校の読み聞かせボランティアに対して、選書支援、記録管理などの支援を行った。 ・上片桐児童館での出張おはなし会が順調に開催できた。 ・各種団体との連携、遠方地区への出張など地域とつながりのある児童サービスを展開できた。  (今後の取り組み・改善策) ・ボランティアが広がりを見せる中で、勉強の場の提供などニーズに合った支援を検討する。				
	<b>【04】幅広い世代の読書活動・生涯学習の推進【新規】</b> <b>●文化の豊かな町を目指し、幅広い世代の方が、読書や生涯学習に興味を持つ機会を提供していきます。</b> ・名画の上映会や、朗読会、読書会等、町内の大人の方が楽しめるイベントの事例を研究し、開催します。 ・福祉施設でのよみきかせや、本の団体貸出など、高齢者の方が読書に興味を持つ取り組みを進めます。 ・町内の各機関のイベントや、時勢や季節にあった、本の紹介や展示を行います。	生涯学習課 文教施設係	(達成状況・課題) ・福祉施設やボランティア向けに高齢者向け読み聞かせ資料をまとめて購入した。 ・コミュカフェや社会福祉協議会など、高齢者向け施設との連携も多く取り組むことができた。 ・本の福袋や中学生によるPOP展示など、今までとは違う切り口で読書や本を紹介することができた。  (今後の取り組み・改善策) ・20～50代向けのイベントが開催できないか検討する。 ・引き続き図書館に足を運んでもらえるような斬新な企画を検討する。				

## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

					進捗状況		基本事業の成果指標		B	
(達成状況・課題) ・図書館システムを更新し、機能を充実させた。 ・書架の増設や除籍を進め、快適な利用の促進を図った。 ・花壇を撤去し、駐車場を拡大させた。 ・無線LAN環境を整えた。					○		(達成状況・課題) ・国立国会図書館デジタルコレクションに登録し、レファレンス資料を充実させた。 ・ネットワークサービスについて、広報まつかわや窓口で広報を行った。		目標貸出冊数を上回るなど、目標を達成している部分が多くある。 事業も計画どおり進めている。	
(今後の取り組み・改善策) Webによるサービスの周知に力を入れ、利用の促進を検討する。					(今後の取り組み・改善策)					
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
97,708	95,172	105,410	113,056	109,057	100,000	現状実績値(過去5年)に施策による増加分を見込みます。				
(達成状況・課題) ・書架の増設や除籍を進め、快適な配架の促進を図った。 ・貸出冊数が昨年を大きく上回り、目標を達成することができた。えみりあの改築や読書手帳の導入等が要因と思われる。					○		(達成状況・課題) ・書架の増設や除籍を進め、快適な利用の促進を図った。 ・貸出冊数が昨年を上回り、当年度も目標を達成することができた。		次期計画の方向性 拡大・改善 引き続き環境整備を行っていく必要がある。大人が目を向けてくれる図書館に向けて、魅力等発信していく必要がある。研修等を積み、レファレンス対応力の向上につなげ、資料の貸出以外の面からも利用者の増加につなげたい。	
(今後の取り組み・改善策) ・書架、ブックラック等の導入や除籍を積極的に行い、快適な配架を促進する。					(今後の取り組み・改善策)					
(達成状況・課題) ・中央小学校の読み聞かせボランティアに対して、選書支援、記録管理などの支援を行った。 ・上片桐児童館での出張おはなし会が好評を得た。 ・ボランティア等からのニーズに応え、絵本勉強会を定期的開催することができた。					○		(達成状況・課題) ・小中学校の読み聞かせボランティアに対して、選書支援、記録管理などの支援を行った。 ・上片桐児童館での出張おはなし会へは大勢の児童の参加があった。 ・ボランティアと学校の関係性が確立されつつあるが、なお一層の歩み寄りに協力していきたい。			
(今後の取り組み・改善策) ・ボランティアと学校との効率的かつ良好な関係性の形成に向けてサポートを行っていく。					(今後の取り組み・改善策)					
(達成状況・課題) ・昨年に引き続き、本の福袋が好評を得た。 ・昨年に加えてオレンジカフェとも連携することができた。					○		(達成状況・課題) ・引き続き行った事業は、どれも好評を得た。 ・家族向け映画会の後援を行った。			
(今後の取り組み・改善策) ・依然として20～50代向けのイベント開催が課題であるので、公民館とも連携した企画を検討する。					(今後の取り組み・改善策)					

(3)心身の健康を育むスポーツ活動の推進							
①地域におけるスポーツ活動の推進	<b>【01】各種スポーツイベントの開催</b> <b>●住民の健康づくりと交流促進のため、駅伝大会や地区公民館各種スポーツ大会等を実施します。</b> ・住民ゴルフ大会(7月第4週)、ファミリーハイキング(8月第3週)、駅伝大会(11月第2週)を開催します。 ・各地区公民館主催スポーツ大会を開催します。 ・参加者の固定化やイベントのマンネリ化の改善策として、競技内容やPR方法を体育部員会、地区公民館を交えた合同体育部員会(年間2回)で研究協議します。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) ・各種イベント・行事等計画通りに行っている。 ・マンネリ化を避けるため、周知対象を増やす、運営方法・内容などを変え工夫し開催している。  (今後の取り組み・改善策) 参加者、運営側等人数が減少傾向にあるため対策を検討するとともに、それに対する運営方法の見直しも必要。				
	<b>【02】住民ひとりスポーツの推進</b> <b>●住民の体力づくりと健康維持のため、運動の日常化が図られるような環境づくりに取り組みます。</b> ・体育部・スポーツ推進委員による出前講座の実施により、誰でも気軽に参加できる、軽・ニュースポーツの普及を行います。 ・ニュースポーツ体験会等で様々なスポーツを紹介します。 ・ウォーキング教室を実施するとともに、サークル化の推進を図ります。 ・高齢者や障がいを持つ方でも参加できるような多様な運動メニューの研究を行います。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) ・出前講座が年々増えてきている。スポーツ大会へニュースポーツを取り入れている地域も増えている。 ・自主的にウォーキングをする人が増えている。  (今後の取り組み・改善策) ・ニュースポーツの種目にも限りがあるため、より新しい種目ではなく現在のニュースポーツの定着を目指す。 ・目に見えるようなサークル化立ち上げよりも、自主的にウォーキングする人口を増やす為、コースの紹介、整備等の検討が必要。				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>出前講座開催数</td> <td>回 (回/年)</td> </tr> </table>	目標指標	単位	出前講座開催数	回 (回/年)
	目標指標	単位					
	出前講座開催数	回 (回/年)					
<b>【03】少年少女スポーツクラブ・中学校運動部・体育協会の連携の確立</b> <b>●少年少女スポーツクラブ、中学校運動部および体育協会との連携を図るため、検討会議・活動を実施します。</b> ・中学校スポーツ活動運営委員会を開催し、課題解決のための検討を行います。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) こどものスポーツ離れ、指導者の減少等で運動部が少なくなっている。中学校、体育協会等と連携を図るため、松川中学校スポーツ活動運営委員会を開催して意見交換を行った。  (今後の取り組み・改善策) 中学校部活動部員数減少を防ぐため、連盟や協会と情報交換や密な連携が必要。					
<b>【04】少年少女スポーツクラブ等支援事業</b> <b>●子どもたちの生涯スポーツの確立と健全育成のため、少年少女サークル活動の支援を行います。</b> ・少年少女スポーツクラブ連盟活動への補助金や相談業務等の支援を行います。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) 補助金交付や相談等支援を行っている。  (今後の取り組み・改善策) クラブ員数の差に伴い、補助金にも差が出てきているため、各クラブの運営等に支障が出ないように見直し等検討が必要。					
		<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>少年少女スポーツクラブ登録者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	少年少女スポーツクラブ登録者数	人	
目標指標	単位						
少年少女スポーツクラブ登録者数	人						
<b>【05】体育活動団体の運営支援</b> <b>●スポーツ活動団体の自主的な運営を支援するため、各団体に応じた、有効な指導助言を行います。</b> ・町体育協会の運営を支援します。 ・ハーフマラソン大会実行委員会の運営に協力し開催します。 ・各ソフトボールリーグ、早起き野球リーグ、ソフトバレーボールリーグ実行委員会に対し、施設貸与や受付業務等の運営支援を行います。	生涯学習課 生涯学習・男女 共同参画係	(達成状況・課題) ・体育協会へ補助金、相談等支援を行っている。 ・第2回ハーフマラソン大会は、エントリー数1400余名で、無事終了することができた。時期を9月に変更したため、熱中症対策がより必要である。 ・各実行委員会に対し、施設予約の調整、運営等の支援を行っている。  (今後の取り組み・改善策) ・体育協会では、休会クラブが増えてきており、補助金等の見直しが必要。 ・ハーフマラソンは、熱中症対策として、保健師、看護師のスタッフ増と救護車輛の増を検討する。 ・各実行委員会の運営支援を引き続き行うことが必要。					
		<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>体育協会登録者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	体育協会登録者数	人	
目標指標	単位						
体育協会登録者数	人						



## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

(達成状況・課題) ・各種イベントを計画のとおり行っている。 ・イベントによっては参加者が減少傾向である。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 計画したスポーツイベントは無事終了した。駅伝大会参加チームが昨年度より増加した。	基本事業の成果指標	B
(今後の取り組み・改善策) 駅伝大会の参加は子ども達の減少、スポーツ大会の参加は一般の方の減少といった傾向の中で、参加募集に関しては、より焦点を当てて行っていく必要がある。					(今後の取り組み・改善策)	各スポーツ団体に対し、相談業務や補助金支援を実施した。子どもから大人まで参加できるスポーツイベント等を体育部、スポーツ推進員と協力して開催することができた。パラリンピック競技であるポッチャの普及を進めることができた。東京2020オリンピックパラリンピックのに向けて機運醸成をしていく。	
(達成状況・課題) ・出前講座は年々増えてきており、地区公民館等に限らず小学校からも依頼が増えてきている。 ・自主的にウォーキングをする人は増えてきているが、教室に参加する人数は減少している。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 地区公民館、学校PTAからの出前講座の依頼がありニュースポーツの推進を行った。ウォーキング教室は参加者が減少傾向にあるため実施方法の検討をしたい。パラリンピック競技のポッチャ体験会を実施した。		
(今後の取り組み・改善策) ・一部の地区ではニュースポーツがイベントに取り入れられるなど定着が見られる。このまま推進を継続していきたい。 ・年齢や障がいの有無に関わらず楽しみ、パラリンピック競技でもあるポッチャを普及する。					(今後の取り組み・改善策)		
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
(1)	5 (5)	12 (7)	20 (8)	28 (8)	32	年間8回、プラン期間中の4年間で32回を目標とします。	
(達成状況・課題) 松川中学校スポーツ活動運営委員会を開催し、現状の問題点の把握及び改善策の検討を行う。30年度より部活動指導員制度を導入して、1名の指導員を配置するようになった。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 松川中学校スポーツ活動運営委員会を開催した。子どものスポーツ離れについて話し合う教育懇談会を開催。R1年度スポーツ体験会を開催する予定。	次期計画の方向性	
(今後の取り組み・改善策) 指導者不足の問題等に対し、体育協会や少年少女スポーツクラブ連盟と密に連携をとり対応していく。					(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) ・補助金交付や相談等の支援を行っている。 ・クラブ員だけでなくクラブ数も減少傾向にあり、クラブ指導者等の運営側に対しても補助等の検討が必要である。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 少年少女スポーツクラブについて補助金交付や相談業務を実施した。指導者育成の補助要綱を制定した。	町民一人1スポーツを目標に、スポーツに関わる機会を創出していく。各種スポーツ団体の支援を継続していく。子どものスポーツ離れに対し学校、地域スポーツ団体と連携して対応していく。	
(今後の取り組み・改善策) クラブ指導者等に対する補助を検討する。					(今後の取り組み・改善策)		
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
414	423	358	308	295	380	少子化による影響を減少数として見込みます。	
(達成状況・課題) ・第3回ハーフマラソン大会は、1751名のエントリーがあり、盛大に開催された。救急車の待機など熱中症対策を講じたため、大きな事故もなく終了した。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 第4回ハーフマラソン大会は実行委員会を中心に大きな事故もなく終了した。エントリー数2049名。体育系の各団体についての運営支援を行った。		
(今後の取り組み・改善策) 第4回大会に向け、実行委員会を中心に反省点の改善を行い、準備をしていく。					(今後の取り組み・改善策)		
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
1,331	1,317	1,270	937	930	1,300	現状水準を維持します。	

<p>②社会体育施設管理</p>	<p><b>【01】社会体育施設の維持管理と整備計画</b>                  ●住民が安全で快適にスポーツ活動ができるよう、スポーツ施設の維持管理を行うとともに、整備計画を推進します。                  ・小規模修繕は速やかに実施します。                  ・新たなスポーツ施設整備計画の策定をします。                  ・町民体育館耐震補強工事は、有利な助成事業を選定し計画します。</p>	<p>生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係</p>	<p>(達成状況・課題) スポーツ施設の維持管理を実施。小規模な修繕はその都度対応している。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) ・施設の維持管理を行っていく。 ・町民体育館の耐震補強工事について、準備を進める。</p>
------------------	---	-------------------------------	---

第2項 歴史が伝わり、伝統が継承されるまちづくり(歴史・文化)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
------	-------	-------	----------

(1) 歴史・伝統文化の継承

<p>①情報提供と資料整理</p>	<p><b>【01】町の指定文化財の情報提供と歴史資料の整理</b>                  ●町の指定文化財を広く知ってもらうため、情報提供等を行います。                  ・子どもたちにもわかりやすいホームページを作成します。                  ・歴史資料に関する収蔵台帳作成は、収蔵書物等の所在確認をできるように、計画的に順次作成を行います。</p>	<p>生涯学習課 文教施設係</p>	<p>(達成状況・課題) ・大島城跡への新たな説明版を設置することができ、今後町内文化財へ広げていく基礎ができた。 ・収蔵庫内の再設置はほぼ終了した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) ・町内文化財の説明版の設置の継続と、統一した内容を考え広げていく。 ・旧役場文書の整理と目録化を進める。 ・公文書の公開についてのルールを検討していく。 ・現役場庁舎の文書保存等との連携、継続性を考えていく。</p>
-------------------	---	------------------------	---

<p>②伝統芸能の継承</p>	<p><b>【01】伝統芸能の継承【新規】</b>                  ●伝統芸能を次世代に繋げていくため、調査と支援策を研究します。                  ・奏楽保存会等の実情を調査します。                  ・継承のための支援策を研究します。</p>	<p>生涯学習課 文教施設係</p>	<p>(達成状況・課題) ・「わたしたちの松川町」については、構想段階のまま進まなかった。 ・奏楽保存会等に対する実情調査、支援策研究については、未着手。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) ・「わたしたちの松川町」について、編集組織、具体的スケジュールを考え進めていく。学校、公民館等との連携を考える。 ・奏楽保存会等の実情調査、支援策研究を計画的に実施していく。</p>
-----------------	--	------------------------	--

<p>③資料館運営</p>	<p><b>【01】資料館の運営</b>                  ●地域住民が町の良さを発見し、「愛郷心」が芽生えるよう、展示・学習会を行っていきます。                  ・わかりやすい歴史等の展示を行います。</p>	<p>生涯学習課 文教施設係</p>	<p>(達成状況・課題) ・例年に比べ、特別展の開催回数が減少してしまっただが、信濃美術館移動展と重なり、かなりの人たちに立ち寄ってもらえた。 ・町制60周年記念展・図書館資料館祭りの企画展を通じて、多くの町民に足を運んでもらえた。 ・特別展での展示ホールの利用は1団体あった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) ・資料館ホールを活用する機会を増やす。 ・資料館の収蔵品を使い、継続的なミニ展示を考える。</p> <table border="1" data-bbox="997 1657 1445 1785"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>企画展開催回数</td> <td>回</td> </tr> </table>	目標指標	単位	企画展開催回数	回
目標指標	単位						
企画展開催回数	回						

第3項 男(ひと)と女(ひと)が共に取り組む社会づくり(男女共同参画)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
------	-------	-------	----------

(1) 男女共同参画に向けたひとづくり

<p>①男女共同参画啓発活動の推進</p>	<p><b>【01】男女共同参画啓発活動の推進</b>                  ●男女共同参画に対する意識啓発を図るため、広報誌等による啓発活動を実施します。                  ・広報まつかわや館報まつかわ、チャンネル・ユー、男女共同参画コーナー、男女共同参画新聞による広報活動を行います。</p>	<p>生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係</p>	<p>(達成状況・課題) 公民館報等による啓発活動を実施。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 公民館報による情報発信を継続していく。学習会用の資料(冊子等)作成を検討する。</p>
-----------------------	--	-------------------------------	--

## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

(達成状況・課題) スポーツ施設の維持管理を実施した。小規模な修繕はその都度対応した。 町民体育館耐震補強工事は、平成30年度実施設計、平成31年度工事に決定した。 新たなスポーツ施設整備計画の策定については、文科省指定、社会教育施設長寿命化計画に変え、平成32年度までに実施することとする。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 町民体育館、名子原体育館のトイレ洋式化を実施した。町体耐震工事にむけて実施設計業務を実施した。小規模修繕については都度対応した。	基本事業の成果指標		B
		町民体育館耐震補強実施設計業務の実施した。町民体育館、名子原体育館トイレ洋式化工事の実施した。R1年度耐震化工事を実施する。利用者への周知や代替え体育館使用の調整会議を開催した。		
(今後の取り組み・改善策) ・施設の維持管理を行っていく。 ・町民体育館の耐震補強工事について、平成30年度は実施設計を実施する。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性		維持継続
		スポーツ施設整備計画策定を検討していく。		

平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
----------	----------	------

(達成状況・課題) ・片桐宿の看板を設置することができた。 ・旧役場文書の整理を進めることができ、ある程度の見通しが立った。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・大島城跡への看板設置が完了した。 ・旧役場文書の整理が完了した。	基本事業の成果指標		B
		指定文化財である大島城跡への看板設置や旧役場文書の整理が完了するなど、順調に進んでいる。		
(今後の取り組み・改善策) ・大島城跡への看板設置を完了するとともに、その他の史跡へも目を向けていく。 ・旧役場文書の整理を完了させるとともに、現役場庁舎の保存文書につなげていく。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性		維持継続
		指定のない文化財等への看板の設置や修繕についての対応を検討していく。		

(達成状況・課題) ・「わたしたちの松川町」(ふるさと副読本)に来年度着手するよう取り組んだ。 ・奏楽保存会等に対する調査については、着手できなかった。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・ふるさと副読本について、執筆者に依頼するなど、着手できている。 ・奏楽保存会等の実情調査を完了した。	基本事業の成果指標		C
		多年度にわたる事業に着手できており、順調に進んでいる。		
(今後の取り組み・改善策) ・「わたしたちの松川町」は、編集委員会を立ち上げ、内容の検討と一部執筆へ入っていく。 ・奏楽保存会等の調査を進め、実態を把握する。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性		維持継続
		・ふるさと副読本の完成に向けて事業を進めていく。 ・保存団体への補助制度や協議会の設立などの支援方法を考えていく。		

(達成状況・課題) ・例年に比べて特別展の開催回数は少なかったが、資料館独自の展示を複数回行うことができた。 ・特別展での展示ホールの利用は1団体あった。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 特別展での展示ホールの利用は1団体であったが、資料館の企画したミニ展示を4回行った。	基本事業の成果指標		C		
		特別展の回数は少ないが、ミニ展示等職員が企画して行っている。				
(今後の取り組み・改善策) ・資料館ホールを活用する機会を増やす。 ・資料館の収蔵品を使い、継続的なミニ展示を考える。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性		維持継続		
		今後もホールを有効に活用していきたい。				
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
2	2	2	4	5	3	施策による新たな企画展の開催分を見込みます。

平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
----------	----------	------

(達成状況・課題) 公民館報等により啓発活動を実施した。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 各種講座の情報等を公民館報やチャンネルユーで発信した。学習資料(冊子)を作成して学習会で活用した。	基本事業の成果指標		B
		男女共同参画概要版(冊子)を作成して学習会で活用した。		
(今後の取り組み・改善策) 公民館報、チャンネル・ユー等で情報発信を継続していく。男女共同参画の概要がわかる学習資料(冊子)を作成していく。	(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性		維持継続
		引き続き情報発信をして意識啓発を図る。		

②人権教育の推進	<b>【01】講座・教室の開催</b> ●男女共同参画に関する学習機会を提供するため、 <b>人権教育講座を開催します。</b> ・男と女(ひととひと) いきいき講座を開催します。 ・暮らしの知識を学ぶ講座を開催します。 ・町内在住の外国から来た方と協力し、国際交流の場の企画をします。	生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係	(達成状況・課題) 男と女いきいき講座、暮らしの知識を学ぶ講座を開催して、男女共同参画を推進した。  (今後の取り組み・改善策) 男女共同参画、人権教育講座を継続して実施していく。 広く周知して、多くの方の参加を募る。	<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>男と女(ひととひと)いきいき講座参加者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	男と女(ひととひと)いきいき講座参加者数	人
	目標指標	単位						
男と女(ひととひと)いきいき講座参加者数	人							
<b>【02】男女共同参画を学ぶ機会の充実</b> ●男女共同参画の取組状況等について学ぶため、 <b>研修の機会を確保します。</b> ・小さな単位での出前講座を通して、男女の違いを認め合い、それぞれの役割を理解し合い、意識改革を図るとともに意見や課題について話し合います。【新規】 ・女性団体連絡会主催の活動を支援します。 ・男女共同参画研修会への参加を促進します。	生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係	(達成状況・課題) 長野県男女共同参画センターで開催している講座等の情報を関係団体へ発信して参加。 女性団体連絡会の事務局として活動を支援。  (今後の取り組み・改善策) 男女共同参画に関する講座、イベント等の情報を随時発信していき、参加を促す。	<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>出前講座開催(各種団体)</td> <td>回</td> </tr> </table>	目標指標	単位	出前講座開催(各種団体)	回	
目標指標	単位							
出前講座開催(各種団体)	回							
(2)ともに参画できる社会づくり								
①政策や方針決定の場への女性参画	<b>【01】審議会、委員会等への女性参画の推進</b> ●女性の視点を町の政策や方針等へ反映させるため、 <b>審議会委員等への女性の登用を推進します。</b> ・男女共同参画推進条例に基づき、積極的な登用を促します。	生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係	(達成状況・課題) 審議会、委員会等への女性役員登用を推進。  (今後の取り組み・改善策) 男女共同参画条例に基づき、役員登用の推進を図る。取り組みを継続することで登用率を上げていく。	<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>町審議会等への女性登用率</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標指標	単位	町審議会等への女性登用率	%
目標指標	単位							
町審議会等への女性登用率	%							
②地域社会での男女共同参画推進	<b>【01】男女共同参画地区推進員活動の充実</b> ●地域や家庭における慣習の見直し等を推進するため、 <b>男女共同参画地区推進員活動を支援します。</b> ・男女共同参画地区推進員学習会の開催をします。	生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係	(達成状況・課題) 男女共同参画地区推進委員会を年2回開催。学習会についての意見交換を行う。委員は他地区の学習会へも参加。  (今後の取り組み・改善策) 地区推進委員の意見交換会を継続して開催していく。他地区の学習会にも参加することで、新たな取り組みの発見へとつなげる。					
	<b>【02】区会、自治会等役員への女性の積極的参加の推進</b> ●地域意思決定に関する方針等の企画の場に女性が男性とともに参画できるよう、 <b>あらゆる機会を通じて区会・自治会に協力要請を行うとともに、社会的気運の醸成を図ります。</b> ・区長・自治会長会での女性役員登用の要請を実施します。 ・男女共同参画地区推進員と協力し、自治会での出前講座の開催をします。【新規】 ・出前講座を通じ役員女性の女性枠について検討します。【新規】	生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係	(達成状況・課題) 8自治会で出前講座を開催。講座内容を見直し、映像(DVD)を取り入れて実施した。自治会会合のときに開催したため、出前講座の時間が十分にとれず、意見交換がしっかりとできない。  (今後の取り組み・改善策) 男女共同参画地区推進委員を連携をして、自治会出前講座を開催していく。出前講座を通して、女性役員の登用を推進していく。	<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画推進に関わる出前講座自治会単位での開催</td> <td>回 (回/年)</td> </tr> </table>	目標指標	単位	男女共同参画推進に関わる出前講座自治会単位での開催	回 (回/年)
目標指標	単位							
男女共同参画推進に関わる出前講座自治会単位での開催	回 (回/年)							

## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

(達成状況・課題) 男と女いきいき講座、暮らしの知識を学ぶ講座を開催して、男女共同参画を推進した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 男と女いきいき講座を、暮らしの知識を学ぶ講座と共同して開催した。	基本事業の成果指標 B 女性視点の防災について、男と女いきいき講座を開催した。70名の参加。女性団体へ呼びかけを行い、男女共同参画講座へ参加した。
(今後の取り組み・改善策) 男女共同参画、人権教育講座を継続して実施していく。 男女共同参画プラン推進委員会と連携して、多くの方の参加を募る。					/		
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			
26	31	24	70	61	50	現状実績値の2倍の参加者を見込みます。	
(達成状況・課題) 長野県男女共同参画センターで開催している講座等の情報を関係団体へ発信して参加した。 女性団体連絡会の事務局として活動を支援した。					進捗状況 △	(達成状況・課題) 女性団体連絡会の事務局として活動の支援をした。男女共同参画センターで開催している講座へ参加した。(1回)	次期計画の方向性 維持継続 男と女いきいき講座の開催、女性団体連絡会の活動支援を継続していく。
(今後の取り組み・改善策) 男女共同参画に関する講座、イベント等の情報を広報、チャンネル・ユウ等で随時発信し、参加を促す。					/		
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			
0	0	0	0	1	4	3か月に1度の開催を目標とします。	
(達成状況・課題) 審議会、委員会等への女性役員登用を推進した。自治会出前講座にて自治会の役員登用状況等を説明し、女性役員登用の推進を行う。					進捗状況 △	(達成状況・課題) 審議会、委員会等への女性役員登用を推進した。自治会出前講座にて自治会の役員登用状況等を説明し、女性役員登用の推進を行う。	基本事業の成果指標 C 自治会学習会で女性役員登用を推進した。学習会アンケートからは意識変化がみられている。
(今後の取り組み・改善策) 男女共同参画条例に基づき、役員登用の推進を図る。取り組みを継続することで登用率を上げていく。自治会毎に事情があるため、女性が就きやすい役職への登用を進める(福祉推進員、健康推進委員など)。					/		
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			
22.1	22.8	23.3	24.3	26.9	25	現在の比率以上とし、1/4を目標とします。	
(達成状況・課題) 男女共同参画地区推進委員会を年2回開催した。学習会についての意見交換を行う。委員は他地区の学習会へも参加した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 地区推進員会議を2回開催した。学習会アンケートの結果を基に、今後の学習会の進め方について話し合いを行った。	基本事業の成果指標 C 5自治会1区会で学習会を開催した。男性84名女性46名合計130名の参加があった。
(今後の取り組み・改善策) 地区推進委員の意見交換会を継続して開催していく。会議の中で出された意見及び出前講座アンケート結果を元に事業を推進していく。					/		
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			
(4) ※区会	8 (8)	15 (7)	21 (6)	25 (4)	32 ※自治会	現在の区単位での開催から、自治会単位での開催へ変更し、年間8回、プラン期間中の4年間で32回を目標とします。	
(達成状況・課題) 7自治会で出前講座を開催し、映像(DVD)を取り入れて実施した。アンケート集計を行い、地区推進員会議で報告、検討を行った。					進捗状況 △	(達成状況・課題) 5自治会1区会で出前講座を開催した。2地区で自治会との調整がつかず学習会を開催できなかった。新規作成したパンフレットを用いて学習会を実施した。	次期計画の方向性 維持継続 地区推進員と連携して自治会単位の学習会を開催していく。
(今後の取り組み・改善策) 新たな学習用の資料を作成して出前講座を開催していく。					/		
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値			
(4) ※区会	8 (8)	15 (7)	21 (6)	25 (4)	32 ※自治会	現在の区単位での開催から、自治会単位での開催へ変更し、年間8回、プラン期間中の4年間で32回を目標とします。	

③働く場での参画の推進	<b>【01】女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等啓発促進</b> ●女性の職業生活における活躍の推進するため、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」)および松川町男女共同参画推進条例の啓発に取り組みます。 ・商工会に協力を要請し、町内企業への女性活躍推進法と松川町男女共同参画推進条例の啓発を行います。	生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係	(達成状況・課題) 男女共同参画についての情報を松川町商工会へ情報提供。	
	(今後の取り組み・改善策) 商工会と連携をして実施していく。			
	<b>【02】女性の職域拡大と管理職等への登用の促進</b> ●女性の就業機会の拡大や再雇用の促進のため、『産前産後休暇制度や育児休業制度、介護休暇制度など各種制度』の普及・啓発に、関係機関と連携して努めます。 ・ワークライフバランスの啓発を行います。 ・マタニティハラスメント防止への啓発を行います。 ・実態把握のため、事業所対象のアンケート調査を定期的実施し、アンケート結果を各事業所に報告していきます。	生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係	(達成状況・課題) 男女共同参画についての情報を松川町商工会へ情報提供。	
	(今後の取り組み・改善策) 商工会と連携をして実施していく。			
			目標指標	単位
			町の課長係長に占める女性職員比率	%
<b>(3)ともに支え合う家庭づくり</b>				
①家庭と仕事の調和	<b>【01】家庭の日のPRと実践展開</b> ●家庭の絆と家族の相互理解を深めることのできるよう、「家庭の日」をPRします。 ・公民館報への掲載、小・中学校への呼びかけを行っていきます。 ・毎月第3日曜日を「家庭の日」と設定しPRします。 ・「家庭の日」は社会教育施設を夜間閉館とします。	生涯学習課 生涯学習・男女共同参画係	(達成状況・課題) 公民館報で家庭の日を周知。また、社会教育施設は夜間閉館をしている。	
			(今後の取り組み・改善策) 家庭の日PR、実践を継続して実施していく。	
<b>第4項 健全な食生活を継続する環境づくり(食育)</b>				
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価	
<b>(1)ライフステージに沿った食育の継続的な支援</b>				
①未来を担う子どもの食育	<b>【01】妊娠期の食育【新規】</b> ●母体や胎児を支えるため、食に関する意識づけを行います。 ・妊娠による身体の変化に伴う食事内容と健康について、本人や家族に情報提供と相談支援を行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 両親学級を年6回開催し、26名が参加(うち男性9名)。試食による意識づけや相談支援を行った。	
	(今後の取り組み・改善策) バランス食の必要性等、20代、30代の若い世代へのアプローチ・支援が課題となる。情報提供や相談支援の方法について工夫が必要。		目標指標	単位
			親子クッキング教室の実施	回/年
	<b>【02】乳幼児期の食育【新規】</b> ●食形成を進めていくため、学習の機会を提供していきます。 ・4ヶ月～3歳までの8回の健診の中で、子どもの発達に応じた食事の提供を案内します。 ・食形成の時期に、必要な手助けが進められるよう、母親への支援を行います。 ・楽しみとしての食事、生きるための食事の学習を進めます。 ・未入園児を対象に、食事・調理に触れ合う機会を提供します。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 乳幼児健診を通じて、発達段階に応じた食事の提供や支援を行った。 母親への相談支援も合わせて実施。出席者延べ761名。 また、子育て支援センターと連携して未入園児とその親を対象とした調理実習を開催した。	
			(今後の取り組み・改善策) 食環境が変化しており、時代に即した説明と支援を考えていく。	
	<b>【03】学童期～思春期の食育【新規】</b> ●成長期に健やかな体を育てるため、食と体の関連について学習の機会を提供していきます。 ・小学校5年生と中学校2年生において血液検査を実施し、食と体の関わりを学習する機会を提供するとともに子どもたちの課題について家族で改善に向けた取組を支援します。 ・調理技術の伝達や料理を覚えられる機会を提供します。 ・各小中学校で健康相談を実施します。 ・自分の地域の特徴や伝統を知る機会を提供します。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 小中学校の栄養教諭と連携し、小学校5年生と中学校2年生を対象に血液検査を実施した。子どもへの集団指導や親子を対象にした健康相談も行った。	
			(今後の取り組み・改善策) 今回の結果から、血糖の値が初期段階の人ほど改善されやすい傾向があることがわかったため、重症化する前の支援を一層大事にしていく。	

## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

(達成状況・課題) 男女共同参画についての情報を松川町商工会へ情報提供した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 県からの情報、パンフレット等を松川町商工会へ情報提供した。	基本事業の成果指標 C	松川町商工会への情報提供を行った。町の課長係長に占める女性職員の割合が目標値に達した。
(今後の取り組み・改善策) 商工会と連携して実施していく。					(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 男女共同参画についての情報を松川町商工会へ情報提供した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 県からの情報、パンフレット等を松川町商工会へ情報提供した。	次期計画の方向性 維持継続	引き続き情報提供をしていく。第5次計画策定について事業所アンケートを実施していく。
(今後の取り組み・改善策) 商工会と連携して実施していく。					(今後の取り組み・改善策)			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
19.4	16.2	20	29.2	30.9	25	現在の比率以上とし、1/4を目標とします。		
(達成状況・課題) 公民館報で家庭の日を周知した。社会教育施設は夜間閉館をしている。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 公民館報で家庭の日を周知した。社会教育施設は夜間閉館をしている。	基本事業の成果指標 C	第3日曜日の夜間は17時以降閉館としている。家庭の日の目的をしっかりと周知していく必要がある。
(今後の取り組み・改善策) 家庭の日のPR、実践を継続して実施していく。チャンネル・ユースを使ってPRしていく。					(今後の取り組み・改善策)			次期計画の方向性 維持継続
								引き続きPRを実施していく。
平成29年度評価					平成30年度評価			総括評価
(達成状況・課題) 両親学級を年6回開催し、32名(うち男性4名)が参加した。試食による意識づけや相談支援を行った。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 両親学級を開催し38名の参加があった。みそ汁の試食で塩分制限に対する意識付けとなった。	基本事業の成果指標 A	・両親学級や乳幼児健診の場で、バランス食の試食や月齢に必要な栄養素等について学習した。 ・小中学校の血液検査の結果から、指導内容を学校と検討し、保健指導を実施した。
(今後の取り組み・改善策) 20代、30代の世代へのアプローチの機会に限られているため、両親学級の参加者数の増加を目指す。					(今後の取り組み・改善策)			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
2	3	3	2	1	6	施策による増を見込みます。		
(達成状況・課題) 離乳食の経験のない初産婦などを対象に、本年度より離乳食教室を開催した。参加者10名。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) こども課と連携し、赤ちゃんくらぶで離乳食教室を開催した。5月と11月に開催し計25組の参加があった。		
(今後の取り組み・改善策) 子育て支援センターと連携し、赤ちゃんクラブの中で離乳食に関する個別相談を実施する。					(今後の取り組み・改善策)			次期計画の方向性 維持継続
								こども課と連携して、引き続き月齢や年齢に合わせたバランス食について学習したり、体験できる場の提供を行う。
(達成状況・課題) 小学校5年生と中学校2年生を対象に血液検査を実施した。あわせて小学生3名、中学生4名に食事のとり方に関する親子の健康相談を行った。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 小中学校の養護教諭と栄養士と連携し、血液検査の実施、授業、個別相談を実施した。		
(今後の取り組み・改善策) 学童期から思春期世代の食育は家庭環境によるものも大きいため、健康相談等の実施について引き続き小中学校の栄養教諭と連携していく。					(今後の取り組み・改善策)			

②生活習慣病の発症予防・重症化予防のための食育	<b>【01】若壮年期の食育【新規】</b> ●生活習慣病の発症予防・重症化予防のため、 <u>学習会や情報提供を行います。</u> ・消防団健診や総合健診において保健指導や学習会により情報を提供します。 ・子育て支援センター・親子クッキング等で料理を作る側の支援を行います。 ・健康に過ごすための支援と、疾病の重症化を防ぐための学習会や個別支援を行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 総合健診、消防団健診を通じて生活習慣病予防のための保健指導や相談支援を行った。また、各種グループで高血圧や高血糖についての学習会を開催し、発症予防・重症化予防の重要性について情報発信をした。				
	(今後の取り組み・改善策) 糖尿病性腎症重症化予防プログラム等について、医療機関と連携して取り組む。						
			<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>腎臓機能維持、回復に向けた食に関する学習会の実施</td> <td>回/年</td> </tr> </table>	目標指標	単位	腎臓機能維持、回復に向けた食に関する学習会の実施	回/年
目標指標	単位						
腎臓機能維持、回復に向けた食に関する学習会の実施	回/年						
	<b>【02】高齢期の食育【新規】</b> ●健康で過ごすための支援や疾病の重症化を防ぐため、 <u>学習会や個別での支援を提供します。</u> ・高齢者が健康を保つための食生活について、自治会学習会や総合健診等で分かり易く情報を提供します。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 包括支援センターと連携して水曜クラブを開催し、高齢者を対象とした食生活の学習会を開催した(年18回)。 また、総合健診を通じて個別の相談や保健指導を実施して支援を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) 継続して実施する。				
③「食に関する学習」機会の提供	<b>【01】「食に関する学習」機会の提供【新規】</b> ●地域の人や資源と関わりながら食文化を見直すため、「食」をテーマとした <u>学習機会を提供します。</u> ・保育園、小中学校、公民館活動等と連携し、「食」をテーマとした学習会を実施します。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 小学生とその親を対象に、おやつや糖分の摂り方についての学習会を開催した。また、健康を考える集会を通じて、食文化について地域住民同士が話し合うための支援を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) 食育推進計画策定にあわせ、食文化に関して取り組みを行っている地域組織やグループ同士の情報共有をしていく。				



## 第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

(達成状況・課題) 総合健診・消防団健診を通じて、生活習慣病予防のための保健指導や相談支援を行った。また本年度は、バランス食をテーマにした健康学習会を計12回開催した(11自治会、1団体)。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 総合健診・消防団健診を通じて、生活習慣病予防のための保健指導や相談支援を行った。また本年度は、バランス食をテーマにした健康学習会を計15回開催した。	基本事業の成果指標 A 青年期から高齢者まで、健康診断時や水曜くらぶ等で年齢や健診結果に合わせた栄養指導を行った。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き食に関する健康学習会を実施する。					(今後の取り組み・改善策)	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
6	5	4	2	2	10	施策による増を見込みます。
(達成状況・課題) 包括支援センターと連携して水曜クラブを開催し、高齢者を対象とした食生活の学習会を開催した(年18回)。また、総合健診を通じて個別の相談や保健指導を実施して支援を行った。重症化予防の学習会「いたわる会」を1回実施した。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 包括支援センターと連携して水曜クラブを開催し、高齢者を対象とした食生活の学習会を開催した(年18回)。また、総合健診を通じて個別の相談や保健指導を実施して支援を行った。	次期計画の方向性 維持継続 年齢に合ったバランス食を機会ある毎に学習していく。
(今後の取り組み・改善策) 継続して実施する。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) 保育園、小学生とその親を対象に飲み物の糖分の量について学習会を開催した。子供達の調理体験について食生活改善推進員の方と連携し、支援を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 8月に食育基本計画に向けて食育のつどいを実施した。参加者は18名と少なかったが、産業観光課、こども課、環境水道課、味の里からの発表もあり横のつながりが強化された。	基本事業の成果指標 A 地域の既存のグループや学校等と連携して、食についての学習会を実施した。加えて食育のつどいや食に関するアンケートを実施した。
(今後の取り組み・改善策) 食育に関する集会を開催し、課題や取り組みについて話し合う機会を設ける。こうした場でも出された提案等の実施に向け取り組んでいく。					(今後の取り組み・改善策)	
					次期計画の方向性 維持継続 食育基本計画を策定し、世代毎の課題解決を関係機関と連携して実施していく。	

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

### 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

#### 第1項 次世代の担い手を育てる環境づくり(次世代育成)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 次代の親の育成(結婚・出産等の支援)</b>			
①男女の出会い、交流の場の創設	<b>【01】男女の出会い、交流の場の創設</b> ●結婚を目的とする出会いを支援するため、結婚相談所の運営および交流イベント等を実施します。 ・常設の結婚相談所「愛ねっと北部」を、下伊那北部地区5町村で共同運営します。 ・松川町結婚相談所の運営を支援します。 ・家庭を持つことや子どもを育てることの喜び、意義を認識してもらうため、継続的に講座やセミナー等を開催します。【新規】	保健福祉課 福祉係	(達成状況・課題) ・「愛ねっと北部」登録者60名のうち2組が成婚、町の結婚相談所登録者61名のうち1組が成婚となった。町の結婚相談所については、3年間の登録制を導入するとともに、毎月結婚相談会を開催している。「愛ねっと北部」は、趣向をこらした婚活イベントを実施している。 ・未来デザイン支援講座については、早い段階から町内企業を中心に受講者を募集したが、参加者の確保が難しく12名の参加に止まった。
			(今後の取り組み・改善策) ・「結婚新生活支援事業補助金」の創設により、経済的な理由で結婚に踏み出せない世帯を支援していく。 ・イベントやセミナーについては、「愛ねっと北部」の事業に参画し、推進していく。
		目標指標	単位
		婚姻率(1,000人当りの婚姻件数の割合)	%
②めばえ支援(不妊治療費等助成)事業	<b>【01】めばえ支援(不妊治療費等助成)事業</b> ●不妊症や不育症に悩む夫婦を援助するため、「めばえ支援事業」を実施します。 ・制度の内容について、町ホームページや広報誌への掲載、また産科医院へのチラシの設置等で周知します。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 町ホームページで、県の補助制度とあわせて周知。個別相談も実施して9件の補助金を交付した。
			(今後の取り組み・改善策) 妊娠につながるケースが多いため、引き続き支援を行う。
<b>(2) 子育て世帯への経済的支援</b>			
①子育てへの経済的支援	<b>【01】出生祝い品給付事業</b> ●子どもの誕生に際し、健やかな発育を願い出生祝い品を給付します。 ・出生祝い品の金額・支給方法について検討します。	保健福祉課 福祉係	(達成状況・課題) H28年度については95名(第1子41人、第2子34名、第3子17人、第4子以降4名)、5,440千円を支給決定した。給付方法については、要望によりマークン商品券と現金の半分ずつの給付としている。全額現金による給付も検討したが、町内産業への還元を考慮し、次年度は現状のまま運用することとした。
	<b>【02】福祉医療助成事業</b> ●子どもの福祉の向上と保護者の経済的負担を軽減するため、福祉医療助成事業を実施します。 ・長野県福祉医療費補助金交付要綱に基づいて実施します。 ・診療報酬明細書につき、300円の自己負担についても無料化を検討します。		(今後の取り組み・改善策) 国の未就学児までのペナルティ撤廃や、県の中学校卒業までのペナルティ分半額支出などの動きを受け、H30年度予算では、これに対応した予算編成を行う必要がある。また、当町では高校生年齢相当までの無料化を実施しており、それらとの調整を行っていく必要がある。
	<b>【03】児童手当の支給事務</b> ●次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するため、中学生までの児童を対象に児童手当を支給します。 ・保育料や学校給食費等の納付を促すような支給手続きを実施します。		(達成状況・課題) 延19,707人、221,545千円を給付した。
			(今後の取り組み・改善策) 引き続き出生や転入等の児童を養育する世帯について、資格や所得要件等の給付決定を適正に行い、迅速な給付に努める。

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
<p>(達成状況・課題)</p> <p>・「愛ねっと北部」登録者59名のうち成婚は0件だった。マッチングでは19人(男性11人、女性8人)をつなげたものの成婚には至らなかった。</p> <p>・町の結婚相談所は登録者64名で、仲介を含め6名が成婚に至った。</p> <p>・平成29年度より結婚新生活支援事業に取り組んだが、新婚世帯の所得要件が厳しく、補助金の交付実績については1件に止まった。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○ 「愛ねっと北部」登録者59名の内成婚は0件だった。マッチングにより見込みがある方が1件ある。</p> <p>・町の結婚相談所は登録者64名で、仲介は2件となっている。登録者でも自力で3件が交際中である。</p> <p>・結婚新生活支援事業を継続実施したが、所得要件、年齢要件、居住地などの要件に該当せず実績は0件だった。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>B</p> <p>登録者を継続制から3年毎の更新制にすることにより登録者の活性化を促したり、大きなイベントではなく北部ブロック内での連携によるマッチングに重点を置くなど、活動内容を模索しながら実績増加に努めた。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き「愛ねっと北部」、町結婚相談所の運営に参画し、相談やマッチング事業を支援していく。結婚新生活支援事業については、補助金給付上限額を24万円⇒30万円に増額したことから、制度の周知にも力を入れていく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>新規登録者獲得が難しい中、愛ねっと北部や飯田市、天竜縁結びの会(北部、宮田、駒ヶ根、飯島、中川)など連携を深め、登録者のマッチング機会を増やし実績を上げる事を目標としていく。</p>	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
4.0	4.0	4.1 (町独自調査による)	4.8 (町独自調査による)	4.8 (町独自調査による)	4.8	長野県の婚姻率の目標値(5%)を鑑み、同水準を目指します。		
<p>(達成状況・課題)</p> <p>町ホームページや窓口を通じて、制度の周知を行った。個別相談も実施し、9件の補助金を交付した。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○ 町ホームページや窓口を通じて、制度の周知を行った。個別相談も実施し、1件の補助金を交付した。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>A</p> <p>県の制度と合わせて補助制度の広報を実施した。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き支援を行う。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>今後も医療機関と連携して、相談しやすい体制づくりを実施していく。</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <p>出生子育て支援金については85名(第1子34名、第2子32名、第3子17名、第4子2名)に合計5,200千円を支給した。アンケートによれば、給付方法については69%が妥当であると回答している。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <p>・H30年度については85名(第1子37名、第2子26名、第3子17名、第4子以降5名)、5,350千円を支給した。</p> <p>・給付条件である松川町への居住1年経過該当者について、もれなく対応し給付に繋がった。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>A</p> <p>子育て世帯への支援をそれぞれ滞滞なく行った。福祉医療の現物給付化については、広報等で周知を行いスムーズに移行することができた。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続きアンケートを実施する。給付方法については、当面現在の方法を維持する。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <p>H29年度において延べ33,824人に対し、合計69,454千円を給付した。給付費の割合では18歳以下の児童が49%、給付額34,263千円で最も多く、次に重度障害者が29%、20,657千円となっている。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <p>・8月診療分から18歳(高校生年齢相当)までの児童等において現物給付化となったが、広報や児童手当現況届の際に通知を行いトラブルはなかった。</p> <p>・H30年度において延べ29,577人に対し、合計69,225千円を給付した。</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>・出生祝い品の支給について子育て世帯への経済的安定の支援及び、松川町への居住促進のため引き続き行っていく。</p> <p>・福祉医療については、長野県基準である受益者負担500円及び15歳(中学生年齢相当)に対し、町は受益者負担300円、対象年齢18歳(高校生年齢相当)まで対応しており、無料化については国や他市町村の動向を踏まえ検討していく必要がある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>平成30年8月診療分から18歳(高校生年齢相当)までの児童等について、一部負担金(300円)を除き現物給付となる。これに伴い受診者の増加が予想される。また、これにより先発医薬品の使用も見込まれることから、既に町内薬局には協力を求めているが、必要に応じて後発医薬品への対策を講じる。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <p>延べ19,174人に対し、合計216,180千円を給付した。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <p>・延べ19,001人に対し、合計214,545千円を給付した。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き出生や転入等の児童を養育する世帯について、資格や所得等の情報を情報連携システム(マイナンバー)等を活用して取得し、適正な給付に繋げる。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			

②就園就学への経済的支援	<p><b>【01】保育料の軽減措置</b></p> <p>●子育て家庭へ経済的支援として、<b>保育料を軽減</b>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳以上児について、第3子以降無料、第2子5割を軽減します。</li> <li>・保育料徴収基準額の見直しを随時行います。</li> </ul>	<p>こども課 保育園係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>町独自として、所得制限なしで完全実施。第2子半額人数:168人・第3子以降無料人数:91人が該当。(未満児も同様)</p>
			<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>今後も、子育て家庭への支援として継続していく必要がある。また、社会情勢等を見る中で、随時保育料徴収基準額の見直しを行っていく。</p>
	<p><b>【02】就学援助費の支援</b></p> <p>●<b>経済的理由により就学困難と認められる家庭の負担軽減を図るため、就学援助費を支給</b>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童生徒就学援助費、準要保護児童生徒就学援助費を支給します。</li> </ul>	<p>こども課 学校教育係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>学校を通じて、援助費を必要とする家庭を把握し、認定者への支給を行った。認定審査について、生活保護認定基準を参考に、数値による客観的な判断ができる手法を取り入れている。28年度は児童・生徒126名に支給。</p>
		<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>援助制度を学校との連携により、判りやすく周知し、各家庭の状況把握を行い、適正な援助を行っていく。</p>	
	<p><b>【03】奨学金貸与事業</b></p> <p>●<b>十分な学力や能力を備えているにも関わらず、経済的、金銭的に進学が難しい高校生や大学生を支援するため、学費や生活費の一部として奨学金を貸与</b>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸与条件:松川町に1年以上居住していること</li> <li>・貸与額:高校生 月2万円以内 大学生等 月5万円以内</li> <li>・経済的に不利な家庭を支援できる制度の見直しを進めます。</li> </ul>	<p>こども課 学校教育係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>・28年度において24名、9,240千円の貸与を行っている。今年度、新規に大学生5名・高校生2名に対し認定を行った。</p>
			<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>学校との連携や広報等で制度の普及に努めていく。</p>

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題)		進捗状況 (達成状況・課題)		基本事業の成果指標	
町独自として、所得制限なしで完全実施した。第2子半額人数:163人・第3子以降無料人数:99人が該当した(未満児も同様)。		◎ 町独自として、所得制限なしで完全実施した。第2子半額人数:154人・第3子以降無料人数:96人が該当した(未満児も同様)。		A (学校教育・保育園)就園就学への経済的支援が必要な家庭に援助を行うことができた。	
(今後の取り組み・改善策) 今後も、子育て家庭への支援として継続していく必要がある。また、社会情勢等を見る中で、随時保育料徴収基準額の見直しを行っていく。		(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) 援助費を必要とする家庭を学校を通して把握し、認定者への支給を行っている。認定審査は生活保護認定基準を参考に、数値による客観的に判断できる手法を取り入れている。29年度は児童70名・生徒49名に支給した。新入学学用品費については、入学前に支給できるよう要綱の改正を行った。		○ 進捗状況 (達成状況・課題) 援助費を必要とする家庭を学校を通して把握し、認定者への支給を行った。認定審査は生活保護認定基準を参考に、数値による客観的に判断できる手法を取り入れている。H30年度は児童77名・生徒54名に支給した。新入学学用品費については、入学前に26名に支給した。			
(今後の取り組み・改善策) 学校との連携により、援助費制度の周知を徹底する。申請家庭の収入等状況把握を行い、適正な援助を行っていく。		(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続	
(達成状況・課題) 29年度は、大学生等17名、高校生4名に対し、9,000千円の貸与を行った。うち当年度、新規に大学生等5名に対し認定を行った。 29年度は、新しく日本育英会のHPに掲載を行うとともに、中学に個別のチラシを配布した。		○ 進捗状況 (達成状況・課題) 30年度は、大学生等17名、高校生3名に対し、9,720千円の貸与を行った。うち当年度、新規に大学生等5名、高校生1名に対し認定を行った。		・(学校教育)引き続き継続していくが、準要保護世帯に対する援助費が増加しており動向を注視し、予算計上する必要がある。また奨学金貸付について、国は奨学金給付型を拡大しつつあり、次期計画中に貸付制度そのものの検討が必要。 ・(保育園)幼児教育無償化に伴い、軽減制度の見直しが必要。	
(今後の取り組み・改善策) 今後とも学校との連携や広報等で制度の普及に努めていく。		(今後の取り組み・改善策)			

第2項 安心して子育てできる地域づくり(子育て支援)			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 子どもや母親の健康の確保</b>			
①乳幼児期の母子保健	<b>【01】妊娠届(母子手帳、健康相談)</b> ●妊婦が安心して安全な出産を迎えることができるよう、 <b>母子健康手帳、受診券を交付します。</b> ・妊娠届時の聞き取りから、ハイリスク妊産婦※の把握につなげます。 ・母子健康手帳交付時に妊婦健診受診券を交付し、健診受診を促します。 ・低体重での出生は高額医療の原因、生活習慣病のリスクとなることから、予防のための情報提供を行います。 ※「ハイリスク妊産婦」…産前産後や子どもの胎児期、新生児期に危険が生じる可能性を高く持っている妊産婦のことです。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 対象者すべてに母子手帳と受診券の交付を行い、健診受診を促進した(H29.4～H30.2月末補助件数1,818件)。
	<b>【02】両親学級の開催</b> ●妊娠による母体の変化や、生活のあり方を指導するため、 <b>両親学級を開催します。</b> ・妊娠届出時にハイリスク妊産婦を把握し、両親学級参加を促します。 ・教室では、両親が主体的に胎児の成長とそれを保証する環境としての母体を理解し、生活のあり方を考えるための学習を行います。 ・両親学級に参加できない方のために、母体や生活のあり方等の情報提供をします。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 年6回両親学級を開催、26名の参加があった。
	<b>【03】ハイリスク妊産婦訪問指導</b> ●産前産後の妊産婦の健康を支援するため、 <b>ハイリスク妊産婦へ助産師による妊婦訪問を行います。</b> ・把握した対象者に対して、助産師が訪問し、低出生体重児を防ぐための支援を行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) H28年度は対象者がいなかったため、実施していない。
	<b>【04】新生児健診(2ヶ月訪問、股関節脱臼等)</b> ●新生児の健やかな発育発達を図るため、 <b>新生児健診事業を実施します。</b> ・(1ヶ月児)乳児一般健康診査 ・(2ヶ月児)発達段階や育児環境に応じた訪問指導となるよう随時内容を検討していきます。また、訪問時の実態から継続的な支援が必要な場合には保育士訪問につなげます。 ・(3ヶ月児)股関節脱臼検診 ・乳幼児健診・相談の場において母親の健康相談もを行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 1ヶ月児健診、2ヶ月児訪問、3ヶ月児健診を年間通じて実施した。 2ヶ月訪問実施後、育児不安を抱える母親4名に対して個別相談等継続的な支援を行った。
			(今後の取り組み・改善策) 病院等で実施されている両親学級等の情報収集を行いながら、町で行う両親学級の意義を据えていく。
		目標指標	単位
		両親学級参加率	%
		(今後の取り組み・改善策) 対象者の把握により、該当があった場合にはハイリスク妊産婦への支援を行う。	
		(今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。	

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) 対象者すべてに母子手帳と受診券の交付を行い、健診受診を促進した(H29.4～H30.2月末 補助件数1,717件)。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 対象者すべてに母子手帳と受診券を交付し、両親学級、医療機関の妊婦健診の受診勧奨を行った。(H30.4～R1.3月末 補助件数 1,628件)		基本事業の成果指標 以下のとおり	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。					(今後の取り組み・改善策)		【保健福祉課:A】 妊娠期から乳幼児健診まで、母子保健事業を実施した。H30年10月から産後健診事業も開始し、産褥期の相談体制も充実させた。乳幼児健診で療育が必要な児に対し、こども課と連携してあそびの教室を実施した。	
(達成状況・課題) 年6回両親学級を開催し、参加者は32名(うち父親出席4名)であった。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 年6回の両親学級を開催し、参加者は38名であった。(うち父親出席3名)であった。		【こども課:B】 助産師による2か月児訪問で赤ちゃんクラブへの参加を呼びかけ、低月齢児からの参加につながった。 保健福祉課と連携したあそびの教室では、支援センターの日々利用で積極的に参加者のフォローをしたり、入園後のフォローを行ったりした。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き、病院等で行われている支援についての情報収集を行い、両親学級開催の意義について整理するとともに、参加率の向上について検討する。					(今後の取り組み・改善策)			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
27.7	15.6	18.3	23.2	18.5	30	実績に加え、施策による増加分を見込みます。		
(達成状況・課題) 平成29年度は対象者がいなかったため、実施していない。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 平成30年度は対象者がいなかったため、実施していない。		次期計画の方向性 以下のとおり	
(今後の取り組み・改善策) 該当があった場合には、助産師による訪問支援を行う。					(今後の取り組み・改善策)		【保健福祉課:維持継続】 妊婦健診や産後健診時の情報を医療機関と情報共有することで、産後うつを早期に発見し相談にのることができる。 あそびの教室を1歳と2歳クラスに分け、早期から課題解決ができるようにこども課と連携を図る。	
(達成状況・課題) 年間通じて1ヶ月児健診、2ヶ月児訪問、3ヶ月児健診を実施した。 2ヶ月児は、対象者87名に対し助産師による訪問を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 年間通じて1ヶ月児健診、2ヶ月児訪問、3ヶ月児健診を実施した。 2ヶ月児は、対象者89名に対し助産師による訪問を行った。		【こども課:拡大・改善】 保健福祉課と連携し、妊娠期からの相談体制の構築を行う。また、子が1歳を迎えると社会復帰する母親も多いため、赤ちゃんクラブに助産師や保健師といった専門職を配置し、子育てに対する不安や負担に対し早期対応できるようにする必要がある。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。					(今後の取り組み・改善策)			

<p><b>【05】保育士訪問事業</b></p> <p>●<u>育児不安の解消および家族の育児負担の軽減や育児力形成のため、保育士による訪問支援を行います。</u></p> <p>・2ヶ月児訪問の様子から4ヶ月健診までの間に、保育士による訪問支援を行います。</p> <p>・「子育て支援センターおひさま」と連携し育児支援が必要な家庭に対して、保育士が訪問支援を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>子育て支援センターおひさまと連携して、対象者4名に計7回の保育士訪問事業を実施した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き子育て支援センター職員との連携体制をとり、母親の育児不安の解消等継続的な支援につなげる。</p>								
<p><b>【06】乳幼児健診・乳幼児相談事業</b></p> <p>●<u>子どもや育児環境の実態を踏まえた親の育児力の形成を支援するため、乳幼児健診事業・乳幼児相談事業を実施します。</u></p> <p>・発育・発達異常の早期発見のため、4ヶ月、1歳半、3歳児を対象として乳幼児健診を実施します。医師と歯科医師の診察を行います。</p> <p>・7ヶ月児、10ヶ月児、12ヶ月児、2歳児、2歳6ヶ月児を対象とした乳幼児相談を実施します。保健師、栄養士、保育士、歯科衛生士による集団学習、個別相談を行います。</p> <p>・乳幼児健診・相談の未受診者に対して、受診勧奨を行い、対象者の実態に合わせて個別相談も行います。</p> <p>・集団指導・個別指導の内容を随時検討し、内容の充実を図っていきます。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施した。乳幼児健診受診者数775名。時代に即した健診とするための集団指導の見直しを行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>乳幼児の生活実態(おむつがとれる、服を着替えることが出来る等)について、個別の対応だけでなく町全体としての傾向や実態の特徴を把握していく。</p> <table border="1" data-bbox="986 725 1433 1010"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4ヶ月児健診受診率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>1歳半児健診受診率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>3歳半児健診受診率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	4ヶ月児健診受診率	%	1歳半児健診受診率	%	3歳半児健診受診率	%
目標指標	単位									
4ヶ月児健診受診率	%									
1歳半児健診受診率	%									
3歳半児健診受診率	%									
<p><b>【07】療育支援の実施</b></p> <p>●<u>子どもの成長や発達を促すため、親子のふれあい遊びや課題遊びを通し療育を行います。</u></p> <p>・理学療法士、言語聴覚士、保育士、子育て支援センター保育士、保健師による遊びの教室を行います。年間を通して、さまざまな課題遊びを行い、親子の関わりを通じて発達を支援します。</p> <p>・「子育て支援センターおひさま」や「療育支援センターひまわり」と連携し、専門機関への紹介も行います。</p> <p>・理学療法士、言語聴覚士等の専門相談や専門機関への紹介を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>理学療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等各種専門職が連携し、年23回遊びの教室を開催し、総合的な発達支援を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>母親の考えや不安を把握し、親も含めた支援を行うため、臨床心理士による母親面談を年2回実施していく。</p>								
<p><b>【08】赤ちゃんクラブ事業</b></p> <p>●<u>妊婦と乳児とその母との交流を通して、産前産後の精神的安定を図るため、安心できる出産や子育て、親子の健全な発達育成を支援します。</u></p> <p>・妊婦から12ヶ月児までの親子を対象としたサークル活動支援を「子育て支援センターおひさま」で行います。</p>	<p>こども課 こども係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>・新たに講師をお願いし、二つの新企画を展開した。</p> <p>・保護者からアンケートをとることで、子育ての悩みや疑問に直結する話を講師にお願いすることができた。また、臨床心理士に入ってもらい母子の精神的安定を図ることができた。</p> <p>・1～2回参加して来なくなってしまう親子も多く、継続参加・日々利用につながるような企画を展開していく。</p> <p>・乳健での声かけを継続していく。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>・1～2回参加して来なくなってしまう親子も多く、継続参加・日々利用につながるような企画を展開していく。</p> <p>・乳健での声かけを継続していく。</p>								



## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

(達成状況・課題) 平成29年度は、対象者がなかったため実施していない。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 平成30年度は対象者がいなかったため、実施していない。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き子育て支援センター職員との連携体制をとり、母親の育児不安の解消等のため継続的な支援につなげる。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) 月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施した。乳幼児健診受診者数788名。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施した。乳幼児健診受診者数778名。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き町全体の傾向や実態を把握していく。					(今後の取り組み・改善策)	
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
100	99	100	99	97	100	
96	100	97	99	99	98	
98	100	99	99	100	99	現状の水準を維持します。
(達成状況・課題) 理学療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等の各種専門職が連携し、年23回遊びの教室を開催し、総合的な発達支援を行った。遊びの教室登録者数18名(平成30年3月末現在)。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 理学療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等の各種専門職が連携し、年23回遊びの教室を開催し、総合的な発達支援を行った。遊びの教室登録者数17名延べ208名参加。	
(今後の取り組み・改善策) 言語の発達支援の拡充について検討する。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・年間計画に基づき全18回の赤ちゃんクラブを開催、年間通して90組の登録、総参加人数は686人であった。 ・4か月児健診での呼びかけ後の参加が多かった。 ・離乳食に関する相談が多く、栄養士との連携が不可欠である。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・年間計画に基づき全19回の赤ちゃんクラブを開催、年間で98組の登録があり、総参加人数は783名であった。 ・2か月児訪問時の助産師の呼びかけによる参加が多かった。 ・来年度は妊婦向けのサークルを計画し、妊娠期からの子育て支援を図る。	
(今後の取り組み・改善策) ・次年度は希望者に離乳食講座を行う(5月・11月)。 ・活動の中で自然と参加者同士が話したり、協力したりする活動を取り入れる(おもちゃ作り・赤ちゃん運動会など)。 ・乳健で引き続き参加の呼びかけをしていく。					(今後の取り組み・改善策)	

(2) 地域における子育て支援サービスの充実							
① 子育て支援相談体制の充実	<b>【01】地域子育て支援拠点事業</b> ●子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導および、子育てサークルへの支援を行うため、「子育て支援センターおひさま」を運営します。 ・子育て全般に関する相談・援助を行い育児負担の軽減を図ります。 ・地域の高齢者など様々な年齢層との世代間交流を図ります。 ・地域に向いた子育て支援活動に努めます。 ・子育て交流の場へ父親の利用を呼びかけ、父親の子育て参加を進めます。 ・きめ細かな育児相談事業に努め、必要に応じて関係機関と連携し、育児負担の軽減を図ります。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・開所日286日。 ・父親の来所は年々増加している(H27年度35人→H28年度59人)。 ・土曜企画を開催することで、保育園に通っている未満児親子にも参加してもらうことができた。  (今後の取り組み・改善策) ・先輩ママの実体験に基づく話をしてもらったり、お母さん同士で学び合う「きらりん広場」を必要に応じて開催する。				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て支援センター延べ利用者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	子育て支援センター延べ利用者数	人
	目標指標	単位					
	子育て支援センター延べ利用者数	人					
<b>【02】家庭児童相談事業</b> ●育児不安や育児負担の軽減を図るため、地域の子育て家庭の保護者や児童等に対する相談指導を行います。 ・子育て相談員(小中学生対象／おひさま) ・生徒指導専門員(教育相談全般／中央公民館内教育相談室) ・心理相談員(子育て全般／乳幼児健診、保育園および学校巡回) ・家庭訪問支援(養育困難家庭への訪問支援) ・子どもへの関わり方を学ぶ「ペアレント・トレーニング」の充実を図ります。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・子ども相談(50件) ・教育相談(142件) ・ペアレントトレーニング(8組参加) ・心理士の常勤採用により、専門性を生かした相談事業が日々提供できた。  (今後の取り組み・改善策) ・ペアレントトレーニングは引き続き行っていく。 ・保健師と情報を共有し、連携をとりながら訪問支援を行っていく。					
<b>【03】子育て支援情報の提供</b> ●子育て支援事業に関する情報、子育て情報等を保護者に提供するため、情報誌「サポータ」を毎月発行します。 ・子育て支援センター・役場・病院・銀行・農協・スーパー・図書館・清流苑等に設置します。 ・保育園、乳幼児健診時に配布します。 ・ホームページへ掲載します。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・「サポータ」を毎月発行し、HPにも掲載。 ・乳幼児健診や保育園で配布し周知した。 ・図書館、清流苑など町内12か所へ設置。  (今後の取り組み・改善策) ・サポータを発行し配布するだけでなく、読みたくなるような内容を掲載するよう、職員会などで検討していく。					
<b>【04】子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)【新規】</b> ●保護者の疾病や仕事等の理由により家庭での子どもの養育が一時的に困難になった場合や、育児不安・育児疲れなどリフレッシュのため、一時的にお子さんを児童養護施設等においてお預かりし、養育・保護を行います。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・利用回数1回(仕事の都合によるもの)  (今後の取り組み・改善策) ・育児不安から虐待につながることはないよう、事業の周知を図る。					

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題)						進捗状況 (達成状況・課題)		基本事業の成果指標		A	
・開所日287日 ・延べ利用者数7,924人中、父親の来所は138名と大幅に増加した(H28年度59名)。土曜日や母親の出産前後の利用が多かった。						◎		・開所日288日 ・延べ利用者数7,776名(うち父親125名) ・子育てに関するさまざまな相談に応じ、必要に応じて保健師や心理士、保育園と連携し支援にあたった。		・出生祝い品の支給については、子育て世帯への経済的安定の支援及び、松川町への居住促進のため引き続き行っていく。 ・福祉医療については、長野県基準である受益者負担500円及び15歳(中学生年齢相当)に対し、町は受益者負担300円、対象年齢18歳(高校生年齢相当)まで対応しており、無料化については国や他市町村の動向を踏まえ検討していく必要がある。	
(今後の取り組み・改善策)						(今後の取り組み・改善策)					
イベントや野菜づくりを通して、中高生やお年寄りとの世代間交流ができるよう計画する。											
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明					
基準値	実績値	実績値	見込み	実績値	目標値						
7,910	7,566	7,924	8,076	6,408	8,000	出生数の減少や、母親の就労の増加を鑑みて現在と同水準とします。					
(達成状況・課題)						進捗状況 (達成状況・課題)		次期計画の方向性		拡大・改善	
・こども相談(54件) ・家庭訪問支援3件(27回) ・教育相談(230件) ・心理士が非常勤となり、ペアレントトレーニングを行うことができなかった。						○		・子育て支援センターの利用につながらない孤立しがちな家庭に対し、どう関わっていくか検討が必要である。 ・相談事業については引き続き保護者のさまざまな相談に応じ、関係機関と連携して支援していく。あらゆる相談に対し、切れ目のない支援ができるよう、多様な専門職の配置が必要である。			
(今後の取り組み・改善策)						(今後の取り組み・改善策)					
・ペアレントトレーニングを行うよう、心理士のサークルへの関わりを見直す。 ・保健師との連携により、訪問支援活動を充実させる。											
(達成状況・課題)						進捗状況 (達成状況・課題)					
・子育て情報誌「サポータア」を毎月発行し、HPに掲載したほか、町内14カ所に設置した。 ・各保育園や乳幼児健診で配布した。						◎		・町で行っている子育て支援だけでなく、町内の子育てに関するボランティア団体の紹介を行い、新規の参加につながった。			
(今後の取り組み・改善策)						(今後の取り組み・改善策)					
・ニーズに合わせ、中央公民館えみりあ1階に掲示する。 ・栄養士に協力してもらい、離乳食に関する内容を掲載する。											
(達成状況・課題)						進捗状況 (達成状況・課題)					
・利用回数6件(仕事の都合5件、育児疲れ1件)						◎		・利用件数14件(46回) ・保育園での一時預かりでは補えない部分の子育て支援として、多くの利用があった。 ・11か月未満児の預かりに対応するため、新たに風越乳児院と契約をした。			
(今後の取り組み・改善策)						(今後の取り組み・改善策)					
・一時保育や保育サポートと並んで、利用者のニーズに合わせて提案していく。											

②子育てネットワークづくり	<p><b>【01】子育て支援ガイドブックの配布</b></p> <p>●子育て中の親子に子育て情報をわかりやすく提供するため、子育て支援情報をまとめた子育て支援ガイドブックを作成配布します。</p> <p>・子育て情報誌「のびのび」を、乳幼児2ヶ月訪問時と住所転入親子へ配布します。</p> <p>・情報内容の変化等により随時見直しを行います。</p>	こども課 こども係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>・2か月訪問時と転入対象家庭に子育て情報誌「のびのび」を配布した。</p>				
			<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>・保護者のニーズに合わせた内容を随時検討していく。</p> <p>・引き続き2か月訪問時と転入家庭を対象に配布する。</p>				
	<p><b>【02】子育てサークル等支援事業</b></p> <p>●未就園児までの親子が同じ仲間と集い交流する場を提供するため、子育てサークル活動の企画、調整、実施および自主サークルを支援します。</p> <p>・赤ちゃんクラブ(別掲)</p> <p>・ひよこクラブ(1歳～2歳までの親子)</p> <p>・なかよしクラブ(2歳～3歳までの親子)</p> <p>・わくわくクラブ(赤ちゃん～未就園児の親子/登録制)</p> <p>・リズムであそぼ(未就園児までの親子/楽器を使ったリミック遊び)</p>	こども課 こども係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>・事業計画策定時は、各サークル月2回行っていたが、回数ではなく内容を重視するという事で実績値が大幅に減少している。</p> <p>・各年齢・発達に合わせた内容を企画し、保護者の方にも好評だった。</p> <p>・土曜企画2回開催、32組参加</p>				
			<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>・サークル「げんきっこ」の新設。</p>				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>子育てサークルなど支援回数</td> <td>回</td> </tr> </table>	目標指標	単位	子育てサークルなど支援回数	回
目標指標	単位						
子育てサークルなど支援回数	回						
	<p><b>【03】ながの子育て家庭優待パスポート事業・プレミアムパスポート事業(多子世帯向け・新規)の推進</b></p> <p>●企業や店舗に協賛をいただきながら、地域全体で子どもと子育て家庭を応援する気運づくりを進めるため、地域の企業、店舗、施設が各種サービスを提供することにより、子育て家庭を地域で支えます。</p> <p>・企業の社会貢献、地域でのコミュニケーションの広がりが期待できることを店舗に理解してもらえよう働きかけます。</p> <p>※「ながの子育て家庭優待パスポート事業」・・・子育て家庭が買い物などの際にカードを提示すれば、割引など各種サービスを受けられる事業です。(長野県と市町村共同、地域企業協賛事業)</p>	こども課 こども係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>・協賛店舗数 46→47店舗に増加</p> <p>・多子世帯応援クーポン券、プレミアムパスポートカードを配布した。</p> <p>・子育て家庭優待パスポート事業全国共通パスポートカードを配布した。</p>				
			<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>・対象家庭への配布を継続する。</p>				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ながの子育て家庭優待パスポート協賛店舗</td> <td>店</td> </tr> </table>	目標指標	単位	ながの子育て家庭優待パスポート協賛店舗	店
目標指標	単位						
ながの子育て家庭優待パスポート協賛店舗	店						

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題) ・2か月訪問時と転入対象家庭に子育て情報誌「のびのび」を配布した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・子育て支援センター利用者10名でのびのび編集委員会を立ち上げ、より充実した内容の情報誌ができた。 ・来年度は母子手帳交付時に配布し、妊娠期からの子育て支援につなげていく。		基本事業の成果指標 A		
(今後の取り組み・改善策) ・掲載内容変更に伴い、編集委員会を立ち上げ、リニューアルを行う。 ・引き続き、2か月訪問時と転入家庭に配布する。					(今後の取り組み・改善策)		・リニューアルした子育て情報誌ののびのびは、より保護者のニーズに合った内容を掲載することができた。母子手帳交付時に妊婦に配布し、支援事業の周知を図ることができる内容となった。 ・年齢別のサークルでは、各年齢の発達や興味に即した内容を企画運営し、多くの参加があった。		
(達成状況・課題) ・サークル実施回数 78回 延べ参加人数2,490人 ・自主サークル支援 7回 ・土曜企画2回開催 18組45人参加 ・新たに開設した「げんきっこ」は、年齢に合った体を動かす活動を取り入れたことで、とても好評であった(全10回42組443人参加)。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・サークル実施回数60回 延べ参加人数1,969名 ・自主サークル支援 9回 ・土曜企画2回開催 47名参加 ・こどもが1歳になると仕事復帰する母親が多いため、ひよこクラブの参加人数が減少した。 ・来年度は各年齢の発達段階に応じた内容を計画している。				
(今後の取り組み・改善策) ・それぞれの年齢、発達段階に応じた内容を計画する。 ・保健師と情報交換し、孤立している保護者や育児不安の強い保護者にサークルへの参加を呼びかけ、仲間づくりのきっかけをつくる。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 拡大・改善		
H26 基準値		H28 実績値		H29 実績値		H30 実績値		R1 実績値	
219		101		85		85		60	
R1 目標値		目標値の説明							
220		松川町子ども・子育て支援事業計画に基づいた目標値とします。							
(達成状況・課題) ・協賛店舗・事業所数 51 ・多子世帯応援プレミアムパスポートの有効期限切れに伴い、対象家庭へ新カードの配布を行った(194世帯)。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・協賛店舗 54件 ・協賛店一覧パンフレットを更新した。 ・母子手帳交付時・転入時の配布が徹底されているため、各部署へ協力を依頼する。		・サークルに参加できない親子に対し、どう関わっていくか検討し、今後は各地区への出張ひろば等の開催の必要となってくるのではないかな。		
(今後の取り組み・改善策) ・商工会に協力を仰ぎ、協賛店舗、内容の見直しを行う。 ・転入家庭への配布を徹底する。					(今後の取り組み・改善策)				
H26 基準値		H28 実績値		H29 実績値		H30 実績値		R1 実績値	
43		47		51		51		44	
R1 目標値		目標値の説明							
45		店舗廃業等による店舗数の減少と施策による増分を見込みます。							

③学童保育など仕事と育児の両立支援	<b>【01】放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)</b> ●保護者が就労、介護看護等により、昼間家庭にいない小学生に遊びや生活の場を提供するため、 <b>放課後児童クラブ</b> を開設します。 ・障がいのある児童等、特に配慮を必要とする児童の受入れを行います。 ・設備および運営に関する基準による体制の整備を進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・名子児童館登録156名(うち長期76名)、上片桐児童館登録85名(うち長期29名)。中央小の29.1%、北小の58.6%が利用。 ・例年に倣い、利用児童の少ない土曜日は合同保育を実施した。 ・夏休み期間中は利用児童の増加により、中央小大会議室、上片桐改善センターを利用し分館方式で保育を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) ・利用者の増加に対応した職員体制の整備が必要。				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブ利用人数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	放課後児童クラブ利用人数	人
目標指標	単位						
放課後児童クラブ利用人数	人						
	<b>【02】放課後子ども教室</b> ●異学年児童との遊びの場や、様々な体験・交流活動等の機会を提供するため、 <b>学校の空き教室等</b> を活用した <b>放課後子ども教室</b> を開校します。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・中央小(週2回、1・2年生32名)、北小(週2回、1～6年生82名)の利用があった。様々なイベントを行うなど充実した活動を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) ・充実した活動内容を継続するために職員体制の確保が必要である。 ・放課後児童クラブとの運営の一体化に向けた検討を進めていく。				
			<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>放課後子ども教室利用人数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	放課後子ども教室利用人数	人
目標指標	単位						
放課後子ども教室利用人数	人						
	<b>【03】保育サポート事業</b> ●児童館や保育園での育児援助ができない部分を補うため、子育ての援助をしたい人と、援助を受けたい人との会員同士の相互援助活動をコーディネートします。 ・提供会員の募集、相互に利用しやすいサービスの提供と事業の周知に努めます。 ・対象児童:生後4ヶ月～小学校6年生まで(病児・病後児保育可能)	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・新規登録11名 ・実施回数 1回				
			(今後の取り組み・改善策) ・会員更新と新規会員の拡大 ・子育て支援センターおひさまを預かり場所にすることで、利用のしやすさを周知していく。				

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果指標	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>29年度名子児童館登録176名(うち長期89名)、上片桐児童館登録82名(うち長期27名)。中央小の33.5%、北小の58.1%が利用している。</li> <li>例年に倣い、利用児童の少ない土曜日は合同保育を実施した。</li> <li>夏休み期間中は利用児童の増加により、中央小大会議室、上片桐改善センターを利用し分館方式で保育を行った。</li> </ul>					◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>30年度名子児童館登録172名(うち長期82名)、上片桐児童館登録73名(うち長期20名)。中央小の32.2%、北小の57%が利用した。</li> <li>例年に倣い、利用児童の少ない土曜日は合同保育を実施した。</li> <li>夏休み期間中は例年どおり中央小大会議室、上片桐改善センターを利用し分館方式で保育を行った。</li> </ul>	放課後児童の安全安心な居場所として、児童館及び放課後こども教室を運用した。	
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の増加に伴う児童の安全確保のため、職員体制の充実が必要である。</li> </ul>								
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
209	241	258	245	248	187	松川町子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後の人口推計に基づいた減少分を見込みます。		
(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)	次期計画の方向性	拡大・改善
<ul style="list-style-type: none"> <li>29年度は中央小(週2回、1・2年生42名)、北小(週2回、1～6年生83名)の利用があった。様々なイベントを行うなど充実した活動を行った。</li> <li>児童の安全確保、また活動の継続のため職員体制の充実が必要である。</li> <li>放課後児童クラブとの運営の一体化に向け、合同でイベントを開催することができた。</li> </ul>					◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>30年度は中央小(週2回、1・2年生35名)、北小(週2回、1～6年生79名)の利用があった。様々なイベントを行うなど充実した活動を行った。</li> <li>児童の安全確保、また活動の継続のため職員体制の充実が必要である。</li> <li>放課後児童クラブとの運営の一体化に向け、合同でイベントを開催することができた。</li> </ul>	特に児童館においては、利用人数の増加に伴い物理的、職員体制のキャパシティが限界を迎えており、利用人数の制限などの見直しをかける必要がある。	
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の継続及び児童の安全確保のため、職員体制の充実を図る。</li> <li>放課後児童クラブとの運営の一体化に向け、引き続き、合同でイベントを開催する。</li> </ul>								
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
118	114	125	114	95	116	松川町子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後の人口推計に基づいた減少分を見込みます。		
(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規登録 依頼会員6名、提供会員1名</li> <li>実施回数 28回</li> <li>一時を利用できない1歳未満児や双子の利用があった。</li> </ul>					○	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施回数 3回</li> <li>今年度は短期支援事業の利用が多かった。</li> <li>より利用しやすい事業にするため、提供会員の充実を図ると同時に、町民へ周知をしていく必要がある。</li> </ul>		
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに応えられるよう、提供会員を確保するため、社協や各種イベントで登録を呼びかける。</li> </ul>								

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

④乳幼児親子への 情操教育	<b>【01】乳幼児情操教育</b> ●豊かな情操・感性を育むため、人形劇観賞、コンサートなどを開催します。 ・人形劇、影絵、コンサート等を行います。 ・乳幼児親子に限らず、地域の住民にも呼びかけます。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・9月おひさままつり バルフレズ 162人 ・10月やきいも会 フィガロ 109人  (今後の取り組み・改善策) ・サークル「リズムであそぼ」開催 ・地域の方々にも参加していただけるよう、チャンネル・ユーやHPを使って呼びかけていく。
	<b>【02】ブックスタート事業</b> ●絵本を通して、こどもの「こころ」や「ことば」を育み、親子の絆を深めることを応援するため、絵本のプレゼントを行います。 ・子育て支援センター職員、図書館司書、保育士、ボランティア「ノントンの会」のスタッフにより、絵本の紹介、読み聞かせ、親子遊び等実施します。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・7か月児参加(90名) ・11か月児参加(91名) ・絵本の見直しを行い、H29年度～計4冊を入れ替える  (今後の取り組み・改善策) ・未配布絵本への対応策を検討する。(乳健で配布する、など)
	<b>【03】子育て講演会の開催</b> ●保護者の子育てに対する理解を促進するため、「子育て支援センターおひさま」や保育園において、子育てに関する講演会を開催します。	こども課 こども係	(達成状況・課題) 栄養士の話(23名)・保健師の話(27名)・助産師の話(36名) ・理学療法士の話(49名)・歯科衛生士の話(45名)・わらべうた(20名)・親子運動あそび(21名)・親子クッキング(6名)  (今後の取り組み・改善策) ・利用者のニーズに合わせた内容の講演会を企画する。 ・ボランティアスタッフやお母さんボランティアにも協力してもらい、安心して託児をする環境を整える。
⑤ひとり親家庭等自立支援	<b>【01】ひとり親家庭の自立支援</b> ●児童を養育しているひとり親家庭の生活の安定と自立を助け福祉の増進を図るため、申請受付や窓口相談を行います。 ・飯田保健福祉事務所の女性相談員、就労支援相談員と連携し、相談業務を行います。 ・児童扶養手当や母子父子寡婦福祉会資金借入等について窓口相談を行っています。	保健福祉課 福祉係	(達成状況・課題) 児童扶養手当については、65名のひとり親世帯について現況届の受付処理等を行うとともに、新規認定10件、資格喪失17件を受理した。母子父子寡婦福祉会資金について利用者はなかった。  (今後の取り組み・改善策) 児童扶養手当については、ひとり親の交友関係、所得、年金収入により受給資格の有無に影響することから、慎重な審査と現況の把握に努める必要がある。



## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月焼き芋会&amp;ミニコンサート フィガロ 161人</li> <li>・赤ちゃんクラブ ベルフレンズ 21組46人</li> <li>・リズムであそぼ 全10回145組313人</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼き芋会&amp;ミニコンサートフィガロ 148名</li> <li>◎</li> <li>・赤ちゃんクラブクリスマス会ティアラ 46名</li> <li>・リズムであそぼ(全10回)154組376名</li> </ul>	<p>基本事業の成果指標 A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼少期からの情操教育として、生の音楽や歌に触れる機会を設け、多くの親子の参加があった。</li> <li>・昼食前の絵本の時間にわらべうたあそびを行い、普段からわらべうたに触れることができた。</li> </ul>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々への周知方法を検討し、サポーターだけでなく、チャンネル・ユーやお知らせカレンダー等で呼びかけていく。</li> </ul>		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7か月児参加 97人</li> <li>・11か月児参加 96人</li> <li>・未配布 2人</li> <li>・H28年度までの未配布分についても整理し、39人中2人に配布した。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎</li> <li>・7か月児 91名</li> <li>・11か月児 95名</li> <li>・未配布4名中2名は、集団への参加に苦しさのある母親である。そういった母親へどう働きかけるか、検討していく必要がある。</li> </ul>	<p>次期計画の方向性 維持継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関するさまざまな専門職による講演会を開催し、保護者の養育力向上を図る。</li> <li>・保健師や栄養士と連携し、当町の現状に沿った講演会を行うよう検討する。</li> </ul>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者については電話連絡や通知により配布を徹底する。</li> <li>・絵本の内容や渡す時期について、お母さん達の意見を聞き、検討していく。</li> </ul>		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士の話(13組)・保健師の話(13組)・助産師の話(29組)・理学療法士の話(37組)・歯科衛生士の話(23組)・わらべうた(31組)・親子運動あそび(29組)・親子クッキング(28組)</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎</li> <li>・栄養士の話(19組)・保健師の話(23組)・助産師の話(12組)・理学療法士の話(44組)・わらべうた(16組)・親子運動あそび(21組)・親子クッキング(16組)</li> <li>・来年度は乳幼児期のことばの発達について、言語聴覚士の講演を行う。</li> </ul>	<p>次期計画の方向性 維持継続</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズを聞き、ニーズに合わせた内容の講演会を企画する。</li> <li>・託児は事前申し込みとし、子どもの人数に合ったスタッフを確保する。</li> </ul>		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <p>児童扶養手当は、104名のひとり親世帯について現況届の受付等を行うとともに、新規認定申請13件を受付・審査し、資格認定につなげた。資格喪失は0件だった。母子父子寡婦福祉会資金の相談があり社会福祉協議会につなげるも決定には至らなかった。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>児童扶養手当について、115名のひとり親世帯に現況届の受付等を行うとともに、新規認定申請10件を受付・審査し、資格認定に繋げた。資格喪失は5件だった。母子父子寡婦福祉会資金について相談はなかった。</li> </ul>	<p>基本事業の成果指標 B</p> <p>県と連携を取りながら児童扶養手当の認定等を行った。現況届の際は時間外窓口を行うなど申請しやすい体制作りを行った。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>児童扶養手当は、新規認定を適正に行うほか、現在受給している世帯についても、必要がある場合は受給資格を具備しているか調査し、公平な給付を心掛ける。</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続</p> <p>児童扶養手当については県と連携を取りながら認定に繋げ、ひとり親家庭の生活安定等を図っていく。</p>	

(3) 保育サービスの充実							
① 保育サービス	<b>【01】通常保育事業</b> ●多様化する保護者の保育ニーズに対応するため、 <b>保育事業を実施します。</b> ・町内全5園による保育サービスを提供します。(標準時間8:00～19:00・短時間8:00～16:00) ・保育課程により、各園特色ある保育を提供します。 ・子育て相談をはじめ様々な保育事業を実施します。 ・保育ニーズに合わせた保育の質の向上、保育サービス等の研究を実施します。 ・保育園と小学校で連携し、就学前の育成支援を行います。	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・園児数減少により、福与保育園は休園となった。 ・町内4園にて各種サービスを提供することができた。(標準認定:86名・短時間認定:325名) ・保育の質の向上を目的に、8月に職員全体の研修を行い、その後計画的に職員研修を行う事が出来た。 ・小学校と連携し、保育園で行う就学前の育成支援について研修することができた。  (今後の取り組み・改善策) ・年間通じて、改訂される保育指針に即した職員研修を実施していく。 ・再開する福与保育園で行う「やまほいく」のように、各園保育課程の見直しをしながら、特色を生かした運営を行っていく。 ・小学校との連携を密にし、子ども達が安心して進学できる環境を作っていく。				
	<b>【02】延長保育事業</b> ●通常保育時間外の保育ニーズに対応するため、 <b>延長保育を実施します。</b> ・町内5園で実施します。(平日:7:00～8:00・16:00～19:00)(土曜日:7:00～8:00・16:00～19:00 保育短時間)	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・標準時間認定の世帯が増加したことにより、「延長保育」としての受入は減っている。しかし、実際の園児数は増えており、延長保育士で足りない部分を正規・臨時職員が担当している。  (今後の取り組み・改善策) ・延長保育士・正規・臨時職員では、対応できない園も出てくるため、パート職員にも協力してもらう。  <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標指標</td> <td style="text-align: center;">単位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">延長保育受入園児数</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	延長保育受入園児数	人
	目標指標	単位					
	延長保育受入園児数	人					
<b>【03】乳児保育事業</b> ●3歳未満児の保育ニーズに対応するため、 <b>未満児の保育を実施します。</b> ・実施園:名子中央保育園、双葉保育園、上片桐保育園、大島保育園(2歳児のみ) ・生後1歳未満の入園については相談に応じています。 ・未満児保育の人材確保およびニーズに応える方法を研究します。	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・特に途中入園の希望が多い未満児の受入をすするため、職員の配置見直しや、職員募集をしながら、クラス数を増やし対応することができた。  (今後の取り組み・改善策) ・29年度より、大島で0.1歳児、福与で2歳児の受入を行う。 ・途中入園について、急遽の対応ができないことから、入園説明会時に、予定がある場合は事前申込をしてもらうようお願いしていく。  <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標指標</td> <td style="text-align: center;">単位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">乳児保育受入園児数</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	乳児保育受入園児数	人	
目標指標	単位						
乳児保育受入園児数	人						
<b>【04】一時保育事業</b> ●疾病や冠婚葬祭等による一時的な保育ニーズに対応するため、 <b>保育を要する未就園児について、一時保育を実施します。</b> ・実施園:名子中央保育園 ・週3日、月12日を上限として実施しています。(平日8:30～16:00、土曜日8:30～12:00) ・保育園の開園時間に合わせて、一時保育受入時間の延長を行います。	こども課	(達成状況・課題) ・保護者の希望により、未就園児をお預かりすることができた。 ・一時保育ではお預かりできない場合は、こども係の「保育サポートサービス」をご紹介することで、保護者の希望に対応することができた。 ・未満児で入園している子どもが増えていることにより、一時保育で受け入れる人数は減ってきている。					

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

					進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果指標	A
(達成状況・課題) ・H28休園した福与保育園を再開した。町内5園にて各種サービスを提供することができた。(標準認定:101名・短時間認定:310名) ・保育の質の向上を目的に、5月に職員全体の研修を行い、その後11回職員研修を実施した。 ・小学校と連携し、保育参観後就学前の育成支援等について意見交換することができた。					◎	・町内5園にて各種サービスを提供することができた。(標準認定:94名・短時間認定:321名) ・保育の質の向上を目的に、5月に職員全体の研修を行い、その後10回職員研修を実施した。 ・小学校と連携し、授業参観後就学前の育成支援等について意見交換することができた。	・休園していた福与保育園を再開し、園児数を増やすことが出来た。 ・保育所保育指針にある「保育の質の向上」「保小の連携」を進めるため各種研修会を行い、進めることが出来た。 ・毎年増加している未満児の受け入れについて、年度途中で職員募集・職員異動を行い、希望者全員の受け入れを行う事が出来た。 ・通常の保育以外のサービス(一時・休日など)についても、対応することが出来た。	
(今後の取り組み・改善策) ・年間を通じて、職員研修を実施していく。また、外部で計画される研修会等に職員を参加させ、質の向上に努めていく。 ・年度当初に保育課程の見直しを行い、特色を生かした運営を行っていく。 ・意見交換会や保小連絡会で小学校と連携を密にし、子ども達が安心して進学できる環境を作っていく。					/			
(達成状況・課題) ・延長保育士が不足し、正規・臨時職員だけでは対応できない園も出て来たため、パート職員にも協力してもらった。					◎	・延長保育士が不足し、正規・臨時職員だけでは対応できない園も出て来たため、パート職員にも協力してもらった。		
(今後の取り組み・改善策) ・現在の延長保育士が定年を迎えることもあり、職員募集を継続的にを行い、利用者の要望に応えるようにする。					/		次期計画の方向性	維持継続
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
143	93	103	111	119	150	現状の数値に増加傾向にあるニーズ対応分を見込みます。		
(達成状況・課題) ・途中入園希望者(特に未満児)の受け入れをするため、加配を見直し、園を超えての職員異動や職員募集を行い、クラス数を増やし対応することができた。担任を持てる正規・臨時職員が不足したことから、特例としてパート職員がクラス担任を受け持った。 ・大島、福与で未満児保育を拡大した。					◎	・途中入園希望者(特に未満児)の受け入れをするため、加配を見直し、園を超えての職員異動や職員募集を行い、クラス数を増やし対応することができた。担任を持てる正規・臨時職員が不足したことから、今年度も特例としてパート職員がクラス担任を受け持った。		
(今後の取り組み・改善策) ・途中入園は急遽の対応ができないことから、入園説明会時に、予定がある場合は事前申込をしてもらうようお願いしていく。 ・途中入園を希望された場合、なるべく早く受け入れができるように調整を行っていく。					/			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
77	97	119	115	136	100	現状の数値に増加傾向にあるニーズ対応分を見込みます。		
(達成状況・課題) ・保護者の希望により、未就園児をお預かりすることができた。 ・一時保育ではお預かりできない場合は、こども係の「保育サポートサービス」を紹介することで、保護者の希望に対応することができた。 ・利用者が多い日は、代替職員をお願いするなどして受け入れを行った。					◎	・保護者の希望により、未就園児をお預かりすることができた。 ・一時保育ではお預かりできない場合は、こども係の「保育サポートサービス」を紹介することで、保護者の希望に対応することができた。 ・利用者が多い日は、代替職員をお願いするなどして受け入れを行った。		

		(今後の取り組み・改善策) ・今後も未就園児の保護者が、気軽に利用できる体制を取っていく。
		目標指標
		単位
		一時保育受入園児数
		人
<b>【05】病後児保育事業</b>	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・「おひさまはるる」に委託した病児保育を利用した人数は、27人。病後児の利用は0人だった。 ・病後児保育を行うにあたり、28年度看護師を採用し上片桐保育園に配置した。
●病気中や病気の回復期にある児童の保育ニーズに対応するため、 <b>病気回復期にある園児を専用スペース等で一時的に預かります。</b> ・実施園：上片桐保育園 ・看護師、保育士を病後児保育担当として登録します。 ・病気のため保育園で預かることのできない児童に対して、健和会病院(飯田市県)内の「おひさまはるる」で病児保育を行います。 ・広報誌、ホームページ等により、サービス内容の発信を行います。		(今後の取り組み・改善策) ・医師の診断に基づき、適切な対応を行う。
<b>【06】休日保育事業</b>	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・就労が理由で利用する保護者が増加し、28年度193人の利用となった。
●日曜日や祝日の保育ニーズに対応するため、 <b>休日保育を実施します。</b> ・実施園：名子中央保育園		(今後の取り組み・改善策) ・今後も増加すると予想されるため、職員体制等を整え対応していく。
		目標指標
		単位
		休日保育受入園児数
		人
<b>【07】保育園食育活動</b>	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・年齢に合わせた野菜の栽培・収穫体験を全園で実施した。 ・地域の方に、畑づくりや栽培に関わっていただくことができた。 ・年長クラスを中心にクッキング体験を行うことができた。
●子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとして食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう、 <b>野菜等の栽培、収穫、調理、食べるまで一連の活動を行います。</b> ・実施園：全園 ・年間食育計画に基づき「食」に関する活動を日々の保育に取り入れます。		(今後の取り組み・改善策) ・給食でも季節を感じられるメニューを多く取り入れ、食材の旬や栄養について話ができる機会を多く取り入れていく。
<b>②保育園地域交流事業</b>	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・各園地域のお年寄りの会やデイサービス、また小学生、中学生、松川高校生との交流を行う事が出来た。 ・ふれあい広場に参加し、人形劇の発表、食育についての展示を行い、多くの方に来場いただくことができた。
<b>【01】保育園地域活動事業</b>		(今後の取り組み・改善策) ・保育園側から地域の方にお願ひし、可能な限り交流する機会を増やしていけるようにしたい。 ・学生の保育体験、保育実習等の受入を行い、多くの人と係われる機会を作っていく。
●保育園と地域のふれあいのため、 <b>保育園が有する専門機能を活用し、地域活動を実施します。</b> ・地域のディサービスやお年寄りの会との交流、高校生、中学生との交流を実施します。 ・ふれあい広場、地区の文化祭における人形劇公演を行います。 ・食育等の専門的な知識を提供する世代間交流や異年齢交流を行います。		
<b>【02】保育園開放事業</b>	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・各園で年間計画を作成し、未就園児と園児が交流しながら活動することができた。 ・季節に合わせた活動を行い、多くの親子に参加してもらえた。
●安心して子育てができるよう、 <b>未就園児と保護者に保育園を開放します。</b> ・異年齢の交流、親同士が交流をしながら安心して遊ぶことのできる場、子育て情報の提供を行います。 ・子育て相談について、関係機関との連携を図りながら、スムーズに対応します。		(今後の取り組み・改善策) ・未就園児の保護者が、今後安心して子どもを預けることができるように、保育園の魅力が伝わる活動を行っていく。 ・子ども同士だけでなく、親同士の交流の場として気軽に出かけてもらえる環境を整える。

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(今後の取り組み・改善策) ・利用者が多い日には、園内で人員の調整を行うなどして受け入れを行い、今後も未就園児の保護者が、気軽に利用できる体制を取っていく。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
295	182	249	472	568	375	子ども・子育て支援事業計画に基づいた数値とします。
(達成状況・課題) ・「おひさまはるる」に委託した病児保育を利用した人数は、23人だった。病後児の利用は、2人(骨折)だった。 病後児を受け入れるため、期間限定で職員異動を行い対応した。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・「おひさまはるる」に委託した病児保育を利用した人数は、11人だった。病後児の利用は、1人(骨折)だった。	
(今後の取り組み・改善策) ・医師の診断に基づき、適切な対応を行う。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・就労が理由で利用する保護者が増加し、29年度208人の利用となった。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・就労が理由で利用する保護者が増加し、30年度201人の利用となった。	
(今後の取り組み・改善策) ・休日保育には、延長・正規・臨時職員が順番で対応している。今後は、協力してもらえらるパート職員にも当番を広げ、職員体制を整え対応していく。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	R1 目標値	目標値の説明
133	193	203	201	279	150	現状の数値に増加傾向にあるニーズ対応分を見込みます。
(達成状況・課題) ・地域の方に協力いただき、野菜の栽培・収穫体験を全園で実施した。自分たちで栽培した野菜を使ったクッキング体験を行うことができた。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・地域の方に協力いただき、野菜の栽培・収穫体験を全園で実施した。自分たちで栽培した野菜を使ったクッキング体験を行うことができた。 ・8月に開催された「食育のつどい」で保育園の食育活動について発表した。	
(今後の取り組み・改善策) ・年間食育計画や新保育所保育指針に関連した食育活動を計画的に行っていく。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・地域のお年寄りの会、デイサービス、コミュカフェ、小学生、中学生、高校生などとの交流を、各園で行う事ができた。 ・各地域の文化祭や演芸祭に参加し、発表をすることが出来た。 ・福与では、そば打ちやよもぎ団子づくりなど地域の皆さんに教わりながら体験することができた。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・地域のお年寄りの会、デイサービス、コミュカフェ、小学生、中学生、高校生などとの交流を、各園で行う事ができた。 ・各地域の文化祭や演芸祭に参加し、発表をすることが出来た。	
(今後の取り組み・改善策) ・今後も地域の方と可能な限り交流する機会ができるように、保育園から発信していく。 ・保育体験や実習の受け入れ、学校等との交流も行き、幅広い年代の方達と関われる機会を作る。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・各園で年間計画を作成し、未就園児と園児が交流しながら活動することができた。 ・季節に合った活動を計画し、多くの親子に参加してもらえた。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・各園で年間計画を作成し、未就園児と園児が交流しながら活動することができた。 ・季節に合った活動を計画し、多くの親子に参加してもらえた。	
(今後の取り組み・改善策) ・園ごとで活動を考え、保護者が選んで来園できるようにする。 ・子どもだけでなく、親同士の交流の場として気軽に出かけてもらえる場所、また、子育てについて相談しやすい場所になるよう環境を整える。					(今後の取り組み・改善策)	
					基本事業の成果指標	
					A	
					園毎に地域の皆さんとの交流、また園開放日に来園する未就園児と保護者との交流を積極的に行う事が出来た。	
					次期計画の方向性	
					維持継続	
					今後も、地域に愛される保育園を目指し、積極的に交流を行っていく。	

<p>③保育施設の整備</p>	<p><b>【01】保育園施設整備の推進</b>                  ●子ども達がのびのびと遊ぶことができる保育環境を提供するため、施設整備を推進します。                  ・双葉保育園・名子中央保育園の芝生管理を行います。                  ・保育施設の状況により、必要な整備を行います。                  ・乳児保育に対応するための設備の検討を行います。                  ・保育園へのエアコン設置を実施します。</p>	<p>こども課 保育園係</p>	<p>(達成状況・課題)                  ・双葉保育園、名子中央保育園の芝生管理を行った。                  ・未満児増加に対応するため、大島保育園0.1歳児・福与保育園2歳児を受け入れする施設整備を行った。                  ・全園にエアコンを設置するため、設計業務を行った。                  (今後の取り組み・改善策)                  ・双葉保育園の芝生について、対応を再度検討する。                  ・29年度より、大島保育園0.1歳児の受入を行う(福与は希望者なし)。                  ・全園エアコン設置の為工事を行う(名子中央以外4園)</p>
<p>(4) 障がい児へのきめ細やかな対応</p>			
<p>①障がい児へのきめ細かな対応</p>	<p><b>【01】支援を必要とする児童生徒への教育的支援</b>                  ●発達障がい等の児童生徒に対する学校生活上の介助、学習指導上の支援等を行うため、小学校および中学校へ教育支援員を配置します。</p>	<p>こども課 学校教育係</p>	<p>(達成状況・課題)                  ・支援が必要な児童生徒に対し、引き続き中央小6名、北小2名、中学校2名の教育支援員を配置し支援を行った。また、松川町児童生徒就学相談委員会を9回開催し、対象児童への就学相談を行った。                  (今後の取り組み・改善策)                  ・支援を必要とする児童生徒が増大しつつあり、支援体制を整えるために支援員を配置していく必要がある。</p>
	<p><b>【02】障がい児保育事業</b>                  ●集団生活が可能な比較的軽度の障がいのある児童の保育ニーズに対応するため、障がい児保育を実施します。                  ・実施園:全園                  ・加配保育士を配置し、個別支援計画に基づき個々にあった支援を行います。                  ・心理士、作業療法士の保育園巡回、支援会議を定期的に行います。                  ・保小中特別支援委員会、来入児支援会議等において関係機関との連携を図ります。                  ・障がい児支援研修等を行い、保育士のスキルアップを図ります。</p>	<p>こども課 保育園係</p>	<p>(達成状況・課題)                  ・支援が必要な子どもの対応を、個別支援計画に基づき加配保育士が担当した。                  ・心理士が保育園を巡回し、それにより保護者との面談等を行った。                  ・保小連携し、就学する際の情報等の共有を行った。                  ・保育士のスキルアップを目的に、飯田養護学校教諭による「障がい児支援研修」を行った。                  (今後の取り組み・改善策)                  ・今後も、職員全員を対象に「障がい児支援研修」を行っていく。                  ・支援が必要な子どもが、安心して生活できる場所が提供できるように、園ごと検討を重ねていく。                  ・保小連携して、お互いに参観したり情報交換を行い、情報を共有していく。</p>
	<p><b>【03】障がい児福祉サービスの提供</b>                  ●障がい児の生活を支援するため、障害区分に応じた自立支援サービスの提供と、相談支援を行います。                  ・障がい児の地域生活を支援するため、児童デイサービス・短期入所等のサービスを提供します。</p>	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題)                  障がい児の支援計画の相談に応じ、児童に合った放課後デイサービスや施設通所等のサービスを提供している。(サービス回数349件、給付額31,308千円)                  (今後の取り組み・改善策)                  障がい児福祉サービスにおいても入所施設が足りないため、在宅において複数のサービス、事業所の併用により家庭での看護の負担を軽減している。一方、これにより支援者1世帯あたりの給付単価は年々増大しており、今後サービスの合理化効率化の検討が求められる。</p>
	<p><b>【04】障害児福祉手当の支給</b>                  ●重度障がい児の福祉の増進を図るため、障害児福祉手当の申請受付および窓口相談による支援を行います。                  ・重度障がい児および家族の在宅介護の負担軽減を図るため対象となりうる児童と家族に制度を照会し、面接により手当の申請を指導します。</p>	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題)                  障害児福祉手当について、給付実績はなかった。                  (今後の取り組み・改善策)                  町ホームページ、広報等において制度の周知を図っていく。</p>
	<p><b>【05】特別支援教育就学奨励費の支給</b>                  ●保護者の経済的負担を軽減するため、小学校・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の学用品費や給食費など、その一部に就学奨励費を支給します。</p>	<p>こども課 学校教育係</p>	<p>(達成状況・課題)                  ・小・中学生の対象者(39名)に学用品、給食費、就学旅行費(7名)、新入学用品費(13名)の支給を行った。                  (今後の取り組み・改善策)                  ・国の補助基準に準じ、今後も継続して実施する</p>

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題)          ・これまでの管理者を変更し、双葉保育園、名子中央保育園の芝生管理を行った。          ・全園(名子中央以外)でエアコン設置工事を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)          ・双葉保育園、名子中央保育園の芝生管理を行った。          ・福与保育園で2歳児の受入を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>A</th> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・双葉、名子中央共に業者へ委託し芝生管理を行った。</li> <li>・大島及び福与保育園で未満児受入れの拡大を行い、受け入れ人数を増やすことが出来た。</li> <li>・全園にエアコンを設置することが出来た</li> </ul> </td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>・双葉、名子中央共に業者へ委託し芝生管理を行った。</li> <li>・大島及び福与保育園で未満児受入れの拡大を行い、受け入れ人数を増やすことが出来た。</li> <li>・全園にエアコンを設置することが出来た</li> </ul>
基本事業の成果指標	A					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・双葉、名子中央共に業者へ委託し芝生管理を行った。</li> <li>・大島及び福与保育園で未満児受入れの拡大を行い、受け入れ人数を増やすことが出来た。</li> <li>・全園にエアコンを設置することが出来た</li> </ul>					
<p>(今後の取り組み・改善策)          ・引き続き、双葉保育園、名子中央保育園の芝生管理を行う。          ・福与保育園で2歳児の受入を行う。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<table border="1"> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>維持継続</th> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化により、修繕が必要な箇所が出てきている。修繕を行い保育に支障が出ない対応をとる。</li> <li>・老朽化が進んでいる双葉保育園の改修について検討していく。</li> </ul> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	維持継続		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化により、修繕が必要な箇所が出てきている。修繕を行い保育に支障が出ない対応をとる。</li> <li>・老朽化が進んでいる双葉保育園の改修について検討していく。</li> </ul>
次期計画の方向性	維持継続					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化により、修繕が必要な箇所が出てきている。修繕を行い保育に支障が出ない対応をとる。</li> <li>・老朽化が進んでいる双葉保育園の改修について検討していく。</li> </ul>					
<p>(達成状況・課題)          ・29年度、支援が必要な児童生徒に対し、中央小5名、北小2名、中学校1名の教育支援員を配置し支援を行った(他に中央小に算数指導員2名を配置した)。また、松川町児童生徒就学相談委員会を9回開催し、対象児童への就学相談を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)          ・30年度、支援が必要な児童生徒に対し、中央小6名、北小2名、中学校2名の教育支援員を配置し支援を行った(他に中央小に算数指導員2名を配置した)。また、松川町児童生徒就学相談委員会を9回開催し、対象児童への就学相談を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>以下のとおり</th> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>【こども課:A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p> </td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	以下のとおり		<p>【こども課:A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p>
基本事業の成果指標	以下のとおり					
	<p>【こども課:A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p>					
<p>(今後の取り組み・改善策)          ・支援を必要とする児童生徒が増大しつつあり、支援体制を整えるために支援員を配置していく必要がある。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>【保健福祉課:A】</p> <p>障がい児の生活支援、居場所として放課後デイサービスや児童発達支援サービスを各事業所や子ども発達支援センターひまわりと連携、また経済面では障害児福祉手当事務、サービス利用負担額の補助、ひまわりへの通所交通費の補助を行うことで、障がい児(者)の社会参加等を自立に向けた支援をした。</p>				
<p>(達成状況・課題)          ・支援が必要な子どもの対応を、個別支援計画に基づき加配保育士が担当した。          ・心理士が保育園を巡回し、それにより保護者との面談等を行った。          ・保小連携し、就学する際の情報等の共有を行った。          ・保育士のスキルアップを目的に、飯田養護学校教諭による「障がい児支援研修」を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)          ・支援が必要な子どもの対応を、個別支援計画に基づき加配保育士が担当した。          ・心理士が保育園を巡回し、それにより保護者との面談等を行った。          ・保小連携し、就学する際の情報等の共有を行った。          ・保育士のスキルアップを目的に、講師による研修会を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <th>基本事業の成果指標</th> <th>以下のとおり</th> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>【こども課:維持継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p> </td> </tr> </table>	基本事業の成果指標	以下のとおり		<p>【こども課:維持継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p>
基本事業の成果指標	以下のとおり					
	<p>【こども課:維持継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p>					
<p>(今後の取り組み・改善策)          ・今後も、職員全員を対象に「障がい児支援研修」を行っていく。          ・支援が必要な子どもが、安心して生活できる場所が提供できるように、園ごと検討を重ねていく。また子どもの成長に合わせ、加配を見直し、場合によっては担当をはずす等対応していく。          ・保小連携し、参観・情報交換を行い、情報を共有していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<table border="1"> <tr> <th>次期計画の方向性</th> <th>以下のとおり</th> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>【こども課:維持継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p> </td> </tr> </table>	次期計画の方向性	以下のとおり		<p>【こども課:維持継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p>
次期計画の方向性	以下のとおり					
	<p>【こども課:維持継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。</li> <li>・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。</li> </ul> <p>加配保育士を配置し、支援を行った。</p>					
<p>(達成状況・課題)          障がい児の支援計画の相談に応じ、児童に合った放課後デイサービスや施設通所等のサービスを提供している(サービス回数401件、給付額40,800千円)。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)          障がい児の支援計画の相談に応じ、児童に合った放課後等デイサービスや施設通所等のサービスを提供した(サービス回数述べ400件、給付額38,610千円)。</p>	<p>【保健福祉課:継続維持】</p> <p>本人、家族の相談に応じ、適切なサービス提供に繋げる。障害児福祉手当は県と連携を取りながら給付に繋げることにより、経済的な支援を行う。</p>				
<p>(今後の取り組み・改善策)          児童発達支援サービスの利用者が増加しているため、今後お子さんや家庭の支援方法などを保健師や「こども発達センターひまわり」などの関係機関と連携し、子どもの将来を見据えた支援を行う。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)          新規1件、住所変更1件に対応し、給付に繋がった。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)          新規1件申請したが、却下となった。現在6件手当給付中。</p>					
<p>(今後の取り組み・改善策)          町ホームページ、広報等において制度の周知を図っていく。また保健師とも連携を取り、対象となる児童と家族に制度を周知していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)          ・29年度、小・中学生の対象者(45名)に学用品、給食費、就学旅行費(11名)、新入学学用品費(7名)の支給を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)          ・特別支援学級に在籍する小学生24名、中学生19名に特別支援教育就学奨励費の支給を行い、保護者の経済的負担の軽減を行った。</p>					
<p>(今後の取り組み・改善策)          ・国の補助基準に準じ、今後も継続して実施する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					

第3項 郷土に誇りのもてる人づくり(学校教育)			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 知・徳・体(食)の調和がとれた学校教育の推進</b>			
①松川町教育会議	<b>【01】キャリア教育(多様な体験活動の充実)</b> ●児童生徒等に勤労観や職業観を育成するため、 <u>民間学の連携によるキャリア教育を実施します。</u> ・中学校での職場体験学習を実施します。 ・中学生の志願者によるチャレンジショップ(起業体験)を実施します。 ・中学生ボランティア活動を推進します。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・3年生は農業体験、2年生は松中トライやる(夏休み7/12～7/14)で職場体験学習を実施した。 ・起業体験「チャレンジショップ」を11月に実施。2年生が19名が参加した。 ・社会福祉協議会と連携しボランティア体験事業(ニコボラ)を実施している。 ※ニコボラ=社協を通じてボランティアを行うとボランティアカードに記録、5回参加すると活動証明書を発行。以降5回増えるごとにステージが上がっていく仕組み。  (今後の取り組み・改善策) ・活動の周知を行っていく。 ・「地域から学校」「学校から地域」の流れを作っていく。
	<b>【02】松川町子ども支援連絡会</b> ● <u>学校生活への適応困難な児童生徒を支援するため、保育園・小学校・中学校で連携した支援会議を開催し、適切な支援に取組みます。</u> ・不適応傾向の児童生徒の追跡調査を行い、教育の進め方や理解を深めるための情報交換を行います。 ・いじめ防止、学校安全等に関する相談・支援を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・会議を5回実施し、全ての回において個別の支援策の検討を行った。 ・「不登校親の会」を毎月第3週の水曜日に開催(年間9回、延べ参加者67名)。 ・不適応・不登校児童生徒の学習指導を「えみりあ」内、教育相談室にて延べ141回の指導を実施した。  (今後の取り組み・改善策) ・不適応傾向の児童生徒は増加傾向にあり、引き続き支援を行っていく。
	<b>【03】松川町健康教育会議</b> ● <u>子どもの健全な心身の発達を促すため、松川町健康会議を開催し、保育園・小学校・中学校が連携した保健指導や食の指導を行います。</u> ・小学校5年生と中学校2年生に血液検査を実施し、「生活習慣病」の予防について、継続した保健指導を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・会議を年間5回実施し、学校・保育園・保健師・日赤病院で情報の共有、交換を行った。 ・小学5年生、中学2年生に血液検査を実施、保健指導の資料として活用した。 ・保健師による学校での血液に関する授業の実施。・保育園での食生活アンケートを実施した。  (今後の取り組み・改善策) 小中学校において引き続き血液検査を行い、経年変化を追跡し、健康指導に役立てていく。
	<b>【04】松川町学力向上委員会</b> ● <u>子どもの学力を向上させるため、小学校、中学校および学習支援講師連携による実践研究組織として学力向上委員会を開催します。</u> ・家庭学習の習慣化を図ります。 ・てらこや事業を実施し、基礎基本の確実な定着と伸びる力を一層伸ばす学習支援を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・年間5回の会議を開催し、家庭学習の有り方を検討した。 ・学校間で互いの授業を参観し、授業の要点などを確認し、授業向上のきっかけとした。 ・全国学力テスト等の結果を参考に学校での取り組み目標を立てている。  (今後の取り組み・改善策) 継続して開催し、子どもの学力向上につなげていく。
	<b>【05】松川町特別支援学級担任者会</b> ● <u>保育園、小学校および中学校における障がいや精神的に不安定な子どもたちの就学を支援するため、松川町特別支援学級担任者会を開催します。</u> ・個別の支援計画、指導計画を作成管理し、子どもの理解や情報交換を行います。 ・松川町児童生徒就学相談委員会と連携し、情報の共有を図ります。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・年間4回の会議を実施し、各学校の特別支援に関する情報交換を行った。 ・個人ファイルの保存の在り方を明確にすることができた。 ・小中高の連携を考える機会を得た。(高校での様子から小中での教育のあり方。)  (今後の取り組み・改善策) ・引き続き開催を行い、自立活動についての各校情報交換を行っていく。 ・特別支援連携マップの見直しを行っていく。



## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生は農業体験、2年生は松中トライやる(夏休み7/11～7/13)で職場体験学習を実施した。</li> <li>・起業体験「チャレンジショップ」を9月に実施し、2年生9名が参加した。</li> <li>・社会福祉協議会と連携し中学生によるボランティア体験事業(ニコボラ)を実施した。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生は農業体験、2年生は松中トライやる(夏休み7/9～7/11)で職場体験学習を実施した。</li> <li>・起業体験「チャレンジショップ」は今年度より廃止となった。</li> <li>・社会福祉協議会と連携し中学生によるボランティア体験事業(ニコボラ)を実施した。(延べ参加人数173名)</li> </ul>	<p>基本事業の成果指標</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>中学校において職場体験などのキャリア教育を行った。また、「教育相談室」において学校生活への不適応傾向の児童生徒等に対し支援を行った。</p> <p>小学校5年、中学校2年在学時の血液検査を継続することにより町内の児童生徒の健康状況の推移が記録され、保健指導の資料として活用している。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の周知を行っていく。</li> <li>・引き続き「地域から学校」「学校から地域」の流れを作っていく。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を5回実施し、全ての回において個別の支援策の検討を行った。</li> <li>・「不登校親の会」を毎月第3週の水曜日に開催した(年間10回、延べ参加者64名)。</li> <li>・不適応・不登校児童生徒の学習指導を「えみりあ」内、教育相談室にて延べ183回の指導を実施した。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を5回実施し、全ての回において個別の支援策の検討を行った。</li> <li>・「不登校親の会」を毎月第3週の水曜日に開催した(年間10回、保護者の延べ参加者72名)。</li> <li>・不適応・不登校児童生徒の学習指導を「えみりあ」内、教育相談室にて延べ94回の指導を実施した。</li> </ul>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不適応傾向の児童生徒は増加傾向にあり、引き続き支援を行っていく。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性</p> <p style="text-align: center;">縮小・廃止</p> <p>中学校の起業体験は中止したが、他の松中トライアル、ニコボラの事業は継続し実施する。また、学力向上委員会、特別支援学級担任者会はH30年度をもって中止する。(健康教育会議は体制を改め、継続)</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を年間5回実施し、学校・保育園・保健師情報の共有、交換を行った。</li> <li>・小学5年生、中学2年生に血液検査を実施、保健指導の資料として活用した。</li> <li>・保健師による学校での血液に関する授業を実施した。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を年間5回実施し、学校・保育園・保健師情報の共有、交換を行った。</li> <li>・小学5年生、中学2年生に血液検査を実施、保健指導の資料として活用した。</li> <li>・保健師による学校での血液に関する授業を実施した。</li> </ul>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>今後も小中学校において引き続き血液検査を行い、経年変化を追跡し、健康指導に役立てていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間5回の会議を開催し、家庭学習の有り方を検討した。</li> <li>・学校間で互いの授業を参観し、授業の要点などを確認し、授業向上のきっかけとした。</li> </ul>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間5回の会議を開催し、家庭学習の有り方を検討した。</li> <li>・学校間で互いの授業を参観し、授業の要点などの確認を続けている。</li> </ul>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して開催し、子どもの学力向上につなげていく。</li> <li>・全国学力テスト等の結果を参考に学校での取り組みを考えていく。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <p>年間5回の会議を実施し、各学校の特別支援に関する情報交換を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>年間5回の会議を実施し、各学校の特別支援に関する情報交換を行った。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き開催を行い、自立活動についての各校情報交換を行う。</li> <li>・特別支援連携マップの見直しを行っていく。</li> <li>・引き続き小中高の連携を考えていく。</li> </ul>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	

②教育内容の充実	<p><b>[01]きめ細かな指導の充実</b></p> <p>●個に応じたきめ細かな指導を推進するため、小学校、中学校において地域人材講師を活用した学習支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日と夏休みに中学生へ英語・数学の指導を行う「てらこや松中」を開講します。</li> <li>・小学校向け「テレビてらこや」を放映します。</li> </ul>	こども課 学校教育係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>地域未来塾「てらこや松中」事業を実施。水曜でてらこや684人、夏のてらこや206人、冬のてらこや143名が受講した。(延べ受講者数)</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>学校との連携も深まり好評。来年度以降も継続して実施する。</p>
	<p><b>[02]小学校、中学校における外国語教育の推進</b></p> <p>●外国語教育を実施するため、ALT(外国語指導助手)による小学校、中学校での指導を行います。</p>	こども課 学校教育係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>9月にALTが交代した。前任者同様、町内学校を巡回し指導を行っている。また、社会教育活動として英会話教育で講師として活動している。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>契約の更改を行い、引き続き指導をお願いしていく。</p>
	<p><b>[03]地産地消事業(地元産給食実施)</b></p> <p>●児童生徒が、地元生産者を知ることにより、地元産の農産物に興味を持ち、食育を学ぶ機会とするため、地元食材を使った給食を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産米を使用した米飯給食、地元生産者が生乳供給する牛乳を継続実施します。</li> <li>・地元生産者と連携し、学校給食に地元産食材の利用を進めます。</li> </ul>	こども課 学校教育係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育・地産地消を目的とし、町内3校の給食牛乳について、地元生産者が生乳供給する牛乳工場からの調達している。また、地元産米飯給食を継続実施している。</li> <li>・納入業者を通じて供給可能な食材について地元食材の活用にも努めている。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き、地元産食材の利用について研究していく。</p>
③思春期保健対策	<p><b>[01]喫煙や薬物等に関する教育</b></p> <p>●喫煙や薬物に対する知識の普及・啓発を図るため、その害について教育指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供の充実を図ります。</li> <li>・小学校、中学校で外部講師を活用した授業を実施します。</li> </ul>	こども課 学校教育係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>薬物乱用防止ポスター等を防止週間にあわせ各学校へ配布した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>学校と連携し、効果的な情報提供を進めていく。</p>
	<p><b>[02]性に関する健全な知識の普及</b></p> <p>●性に関する健全な知識を養い育てるために、各学年に合わせた性教育を行い、理解を深められるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師や医療機関と連携し、「命の誕生・命の大切さ」等をテーマに児童生徒の発達段階に応じた指導を行います。</li> </ul>	こども課 学校教育係	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央小学校、北小学校にて性に関する年間指導計画を作成。中学校では性に関する指導委員会を設けている。</li> <li>・それぞれ学校で性に関する指導の手引きに従い、保健体育や特別活動において授業を行った。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>保健師等との連携を考えていく。</p>
	<p><b>[03]メディアリテラシーに関する知識の普及</b></p> <p>●有害サイトによる犯罪被害やトラブル、学校非公式サイトによるいじめ等から、子どもたちを守るため、情報機器に関する知識の普及を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒、保護者、教職員を対象に、情報モラルに関する研修を実施します。</li> <li>・情報提供の充実を図ります。</li> <li>・スマートフォン時代に対応した保護策と教育・啓発を行います。</li> </ul>	こども課 学校教育係	<p>(達成状況・課題)</p> <p>松川中学校において、職員及び全校生徒対象にインターネットの危険性について講演を行っている。・教育懇談会の議題に取り上げ、「我が家のネットルール」を作成、小中学生の家庭に配布を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>スマホなどインターネットに接続できる携帯機器の普及が進み、小学生からの所有率も上がっており与える保護者への啓発活動が必要。</p>

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題) 地域未来塾「てらこや松中」事業を実施した。水曜 てらこや1,214人、夏のてらこや57人、冬のてらこや 142人が受講した。(延べ受講者数) 夏のてらこやについては、高校体験の時期と重なり、減少してしまっ た。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 地域未来塾「てらこや松中」事業を実施し た。水曜てらこや1,329人、夏のてらこや 133人、冬のてらこや177人が受講した。 (延べ受講者数)</p>	<p>基本事業の成果指標 A 中学校において地域の人材を講師とし、生徒の 学力にあわせた学習支援(指導)を行った。ま た、ALTの配置等により外国語(英語)教育の 推進を行うことができた。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 学校との連携も深まり好評であるので、継続して実 施する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) ALTを配置し、町内学校を巡回し指導を行った。ま た、社会教育活動として英会話やスペイン語教育 で講師として活動している。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ALTを配置し、町内学校を巡回し指導を 行った。また、社会教育活動として英会話 やスペイン語教育で講師として活動して いる。</p>	<p>次期計画の方向性   維持継続</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 契約の更改を行い、引き続き指導をお願いしてい く。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) ・町内3校の給食牛乳について、地元生産者が生 乳供給する牛乳工場から調達している。また、地元 産米飯給食を継続実施している。 ・納入業者を通じて供給可能な食材について地元 食材の活用に努めている。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・町内3校の給食牛乳について、地元生 産者が生乳供給する牛乳工場から調達し ている。また、地元産米飯給食を継続実 施している。 ・納入業者を通じて供給可能な食材につ いて地元食材の活用に努めている。</p>	<p>英語教育について小学校での授業化に向けて 前倒しで取り組んでおり、英検受験について補 助金制度を設けるなど更に充実していく必要が ある。また、学校での食育を通じ地産地消への PRを進めていく。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き、地元産食材の利用について研究してい く。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) 例年に倣い、薬物乱用防止ポスター等を防止週間 にあわせ各学校へ配布した。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 例年に倣い、薬物乱用防止ポスター等を 防止週間にあわせ各学校へ配布した。</p>	<p>基本事業の成果指標 A 各学校において青少年として健全な育成に不 可欠な、薬物・性・メディアなどに対する知識の 普及、教育をおこなった。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き学校と連携し、効果的な情報提供を進め ていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) ・中央小学校、北小学校にて性に関する年間指導 計画を作成した。中学校では性に関する指導委員 会を設けている。 ・それぞれ学校で「性に関する指導の手引き」に従 い、保健体育や特別活動において授業を設けた。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・中央小学校、北小学校にて性に関する 年間指導計画を作成した。中学校では性 に関する指導委員会を設けている。 ・それぞれ学校で「性に関する指導の手 引き」に従い、保健体育や特別活動にお いて授業を設けた。</p>	<p>次期計画の方向性   維持継続</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 保健師等との連携を検討していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) 松川中学校において、職員及び全校生徒対象にイ ンターネットの危険性について講演を行っている。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 松川中学校において、職員及び全校生 徒を対象にインターネットの危険性につ いて講演を行った。</p>	<p>各学校において、児童生徒の健全育成に必要 な教育、普及を引き続き実施する必要がある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) スマホなどインターネットに接続できる携帯機器の 普及が進み、一層の啓発活動が必要である。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		

④子どもの安全を守る活動	<b>【01】「子どもを守る安心の家」の推進事業</b> ●登下校時の安全を確保するため、緊急避難先として、通学路沿いの家庭等に「子どもを守る安心の家」への加入を依頼します。 ・警察、学校と連携し、安心の家の加入と地域の啓発活動の普及拡大を進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・子ども見守り隊・安全推進協議会の青パトなど各団体によるパトロールの実施。 ・PTAが通学路点検、危険箇所点検を実施。 ・安心の家による地域見守り活動を継続。				
			(今後の取り組み・改善策) 警察、学校と連携し、安心の家の加入と地域の啓発活動の普及拡大を進める。				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもを守る安心の家登録数</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	子どもを守る安心の家登録数	件	
目標指標	単位						
子どもを守る安心の家登録数	件						
	<b>【02】教職員防犯講習の実施</b> ●不審者に対する対処手法を取得するため、教職員・保育園職員への防犯講習、訓練、不審者対応の講話および実技指導を実施します。 ・対策マニュアルによる防犯対策の意識啓発を実施します。 ・防犯実地講習会(実技指導)を実施します。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・各校が、対策マニュアルによる防犯対策の意識啓発を実施した。 ・中学校では職員・生徒を対象に危機回避訓練を実施した。				
			(今後の取り組み・改善策) 警察と連携し、防犯講習等を充実していく。				
	<b>【03】緊急時メール発信システムの活用</b> ●保護者との連携を図るため、保育園、小学校、中学校の連絡情報・緊急情報を発信します。 ・非常時の情報提供を行います。(有害鳥獣への安全対策・インフルエンザによる学級閉鎖情報等)	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) メール配信システムにより、非常時の情報提供を行った。(有害鳥獣への安全対策・インフルエンザによる注意喚起・台風情報等)				
			(今後の取り組み・改善策) 時期を失することなくメールの配信を行っていく必要がある。				
⑤学校施設整備	<b>【01】学校施設の耐震化の実施</b> ●安全・安心な学校施設の整備を図るため、構造体、非構造部材の点検、耐震対策を実施します。 ・中学校給食棟の改修改築工事を計画し、耐震化を図ります。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・校舎は平成23年度までに実施済み。 ・中学校給食棟改築に向け実施設計を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) 来年度、中学校給食棟改築工事を行う。				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校施設耐震化率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	学校施設耐震化率	%	
	目標指標	単位					
学校施設耐震化率	%						
	<b>【02】学校施設の老朽化対策</b> ●教育面や安全面、機能面での適切な整備を行うため、改修等の時期や規模を定めた整備計画の策定を進めます。 ・施設の劣化状況、教育内容への適応状況を把握し、計画的な予防保全、整備方針を示します。(個々の施設の老朽化を把握し、いつどのような改修や改築、維持管理を行うか検討します)	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・個別の建物(施設)長寿命化計画策定の情報を収集した。(業者委託の場合の参考見積等)				
			(今後の取り組み・改善策) ・平成31年度を目途に文部科学省の指針に基づく学校施設の長寿命化計画策定に向けて検討をしていく。				
	<b>【03】学校施設環境の充実</b> ●学習環境の向上のため、小中学校施設の充実に努めます。 ・学習内容や方法の変化、社会状況や環境の変化に求められる学校施設の機能向上を進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 夏季の学習環境の実態を把握するために中学校で教室温度推移の記録を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) 学校施設環境改善交付金などの補助事業を用いた普通教室へのエアコン整備を研究していく。				
	<b>【04】ICT環境の充実</b> ●確かな学力をより効果的に育成するため、学校と連携しICTを活用した授業に対応する情報機器の整備を進めます。 ・普通教室における無線LANの利活用、電子黒板、タブレットPCの計画的な整備を進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 中学校において、地域未来塾の補助事業を用い40台のタブレット端末を整備、更にふるさと応援基金により30台のタブレット端末を追加し、70台を整備した。(電子黒板も1台導入)				
			(今後の取り組み・改善策) 来年度以降、小学校でのICT環境を整備を行っていく。				

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども見守り隊・安全推進協議会の青パトなど各団体によるパトロールを実施した。</li> <li>・PTAが通学路点検、危険箇所の点検を実施。</li> <li>・安心の家による地域見守活動を継続。</li> </ul>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども見守り隊・安全推進協議会の青パトなど各団体によるパトロールを実施した。</li> <li>・PTAが通学路点検、危険箇所の点検を実施した。</li> <li>・安心の家による地域見守活動を継続。</li> </ul> <p>中央小94件、北小11件</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>A</p> <p>各学校を中心に地域にあった児童生徒の危険予防・防犯対策への取り組みを行っている。メール配信システムの積極的な活用を行った。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>警察、学校と連携し、安心の家の加入と地域の啓発活動の普及を進める。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
109	108	108	105	110	119	毎年2件の増を見込みます。		
<p>(達成状況・課題)</p> <p>各校が、対策マニュアルによる防犯対策の意識啓発を実施した。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <p>各校が、対策マニュアルによる防犯対策の意識啓発を実施した。</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>「子どもを守る安心の家」登録数は頭打ち状態であり大きくは増えない状況であるが、登録した箇所については、周知を徹底していく必要がある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>警察と連携し、防犯講習等を充実していく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <p>メール配信システムにより、非常時の情報提供を行った。(有害鳥獣への安全対策・インフルエンザによる注意喚起・台風情報等)</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <p>メール配信システムにより、非常時の情報提供を行った。(有害鳥獣への安全対策・インフルエンザ等注意喚起・台風情報等)</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>時期を失すことなくメールの配信を行っていく必要がある。またJアラート情報の補足も必要である。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎は平成23年度までに実施済み。</li> <li>・中学校給食棟改築を行った。</li> </ul>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <p>校舎は平成23年度までに実施済み。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>A</p> <p>学校校舎等建物について耐震化を実施した。ICT環境の充実、エアコン設置など学校環境施設の改善を行っている。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>中学校校舎の大規模改修の検討を行う。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
H26	H28	H29	H30	R1	R1	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
93	93	100	100	100	100	耐震診断結果に基づき、耐震化が必要な施設(1棟)の実施を見込みます。		
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の建物(施設)長寿命化計画策定の情報を収集した。(業者委託の場合の参考見積等)</li> </ul>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <p>学校施設等長寿命化計画策定業務委託を発注し、建物の劣化状況の診断を行った。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に文部科学省の指針に基づく学校施設の長寿命化計画策定を行っていく。</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北小学校給食調理室及び会議室、中央小学校大会議室にエアコン整備を行った。</li> <li>・中央小の中庭整備など各学校からの要望により施設整備を行った。</li> </ul>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校教室に国の補助金を用いたエアコン整備を行いつつある。</li> <li>・各学校からの要望により修繕、整備を行った。</li> </ul>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>長寿命化計画の策定を進め、各学校の改修優先度を検討し、計画的に改修を行っていく。ICT環境の整備を進めつつ、その効果の検証を行う必要がある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画に合わせて普通教室へのエアコン設置を考えていく。</li> <li>・学校施設環境改善交付金などの補助事業を用いた普通教室へのエアコン整備を進めていく。</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <p>小学校110台(中央小70台、北小40台)、中学校30台のタブレット端末を整備した。更に小学校に対し電子黒板を各校1台導入した。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <p>中学校に大型モニター8台、小学校に対し電子黒板を各校1台導入した。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>ICT教育を実施し、検証を行っていく必要がある。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			

<b>(2) 要保護児童への対応等きめ細やかな取り組みの推進</b>		
① DV、児童虐待防止対策の推進	<b>[01] DV、児童および高齢者の虐待防止対策の推進</b> ● DV や虐待の発生を予防するため、啓発および通報協力等の普及促進を行うとともに、事案が発生した場合は速やかに対応します。 ・噂や風評等の段階であっても担当地区の民生児童委員に確認を行う他、児童相談所、保健福祉事務所の相談員等と情報の交換を行います。 ・広報誌により住民にDV、虐待事案の通報協力をお願いします。 ・保護対象者(児童)の保護 ①住民票・戸籍附表の閲覧制限の手続き指導を行います。 ②各種手当の給付についてアドバイスします。 ③ DV・児童虐待案件は密接に関係していることから、子ども課や関係機関と連携し必要に応じて母子寮(一時保護)やシェルター等への避難誘導を図ります。	保健福祉課 福祉係  (達成状況・課題) DV相談案件は0件で、民生児童委員からの照会や、くらしの相談等への相談もなかった。DVについて被害者の自覚が遅れるケースが多く、早期発見、早期対応が求められる。  (今後の取り組み・改善策) DV事案は、水面下で進行していることが多く、今後も地域の民生児童委員や福祉推進委員からの通報等アンテナを高くしておくとともに、被害を察知した場合は女性相談所等と連携を密にして支援していく。
	<b>[02] 要保護児童対策地域協議会の機能強化と発揮</b> ● 虐待等による要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため、地域協議会の機能強化を図り、関係機関(児童相談所・民生児童委員等)との連携を取りながら適切な対応に努めます。 ・実態把握、個別ケース検討会議等を設け適切な対応に努めます。	こども課 こども係  (達成状況・課題) ・2月要対協開催。当町の事案について報告と情報の共有・連携・役割の確認をした。 ・「虐待予防研修」(講師:飯田児相所長)を行った。 ・関係機関と連絡を取り合い、必要に応じて支援会議を行った。  (今後の取り組み・改善策) ・2か月に一度、児相担当者と情報交換の場を設け、現状を把握し、早期対応ができるようにする。 ・引き続き関係機関と連携をとり、早期発見・早期対応に努める。
<b>(3) 子どもの健全育成</b>		
① 子どもの健全育成	<b>[01] 子ども会等地域活動の支援</b> ● 子どもの多様な人間形成のため、地域の子ども会育成会活動に対して補助金による支援を行います。 ・各地区子ども会育成会への補助を行います。 ・子ども会のリーダーとして資質向上に繋がる研修会の内容、また各育成会活動事業の充実を図ります。	こども課 こども係  (達成状況・課題) ・8単位に対し補助金を交付。 ・育成会役員研修会、ジュニアリーダー研修会の開催。  (今後の取り組み・改善策) ジュニアリーダー研修会から「子ども会育成会交流研修会」と名称を改め、より多くの参加者を募る。
	<b>[02] 社会を明るくする運動の推進</b> ● 非行や犯罪のない社会づくりを目的とし、次代を担う青少年が健全に育つ環境づくりに重点を置いた社会を明るくする運動を行います。 ・町、保護司、更生保護女性会、青少年健全育成関係団体が連携して「松川町社会を明るくする運動」を実施します。	保健福祉課 福祉係  (達成状況・課題) 「お互いにあいさつを交わし合い地域のつながりを深めよう。」をスローガンに、町の保護司、更生保護女性会と共に小中学校において街頭あいさつ運動を行い、チラシを配布した。また、学童への啓発活動の一環として、県保護司会連合会が主催する長野県作文コンテストへの作文の応募を行っている。  (今後の取り組み・改善策) 本運動については、例年7月が強化月間であるが、活動内容に変化がなくマンネリ化が否めない。犯罪のない明るい社会の構築に向け、社会を明るくする運動準備会議等においてよりよい啓発活動を模索していく。
	<b>[03] 青少年非行防止活動の推進</b> ● 有害環境から子どもたちを守るため、関係機関と協力し青少年による犯罪や非行の未然防止に努めます。 ・少年警察ボランティア、子ども会育成会連絡協議会と連携し、啓発活動を実施します。	こども課 こども係  (達成状況・課題) ・少年警察ボランティア、子ども会育成会連絡協議会の事業として、夜間パトロールを実施(8月)。 ・関係機関への非行防止パンフレットの配布、チャンネル・ユースを利用した啓発活動。  (今後の取り組み・改善策) ・子ども会育成会連絡協議会事業として、夜間パトロールの継続と啓発活動を継続していく。

## 第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題)		進捗状況 (達成状況・課題)		基本事業の成果指標	以下のとおり
<p>(達成状況・課題)</p> <p>今年度は明確なDVの相談や通報はなかった。表面化していない案件が少なからずある事も予想されることから、常に情報収集に努める。</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1件相談があり、福祉事務所の女性相談員へ繋げた。</li> <li>・住民基本台帳事務における支援措置について1件継続申請があり、福祉事務所女性相談員と連携を取り対応した。</li> </ul>		【保健福祉課:B】	<p>対応件数は少ないが、常にこども課や民生児童委員と連携を取り情報収集に努めた。</p> <p>【こども課:B】</p> <p>実務者会議を開催することができなかった。児相やこども家庭支援センターこっこと連携し、支援にあたった。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>今後も民生児童委員や福祉推進委員からの通報等アンテナを高くしておくとともに、社協や福祉事業所の介護職員等からの情報収集に努める。</p>		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <p>・2か月おきに児童相談所担当者と進行管理を行い、在宅支援児童・施設入所児童について把握したり、新規登録児童について情報共有をした。</p> <p>・2月に要対協代表者会議を開催し、当町の事例をもとに支援の方法や連携のとり方について講演会を行った(児童相談所長)。</p> <p>・要対協に実務者会議を設置した(30年度より開催していく)。</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースにより児童相談所の担当者が異なるため、それぞれと情報を共有し、支援にあたった。保健福祉課や児童家庭支援センターと連携し支援をするケースも多かった。</li> <li>・代表者会議では健和会病院の和田医師による講演を行った。</li> <li>・実務者会議は行うことができなかった。学校や保育園といった所属の見守りケースも多いため、来年度早々に行う必要がある。</li> </ul>		次期計画の方向性	以下のとおり
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>・児童相談所担当者の変更となるが、2か月おきの連絡会を継続し、対象児童の把握に努める。</p> <p>・実務者会議を行い、関係機関とのより細やかな連携を図る。</p>		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		【保健福祉課:維持継続】	<p>情報収集に努め、児童相談所や福祉事務所と連携を密にとり、緊急時には即時対応できるように努める必要がある。</p> <p>【こども課:拡大・改善】</p> <p>実務者会議を行うことができなかったため、今後は定期的に開催し、全ケースの進行状況について把握し各機関と連携し、より丁寧な支援を行う必要がある。そのためにも多様な専門職の配置を検討する。</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <p>・8単位に補助金を交付した。</p> <p>・6月の役員研修会に28人、7月の交流研修会に61人が参加した。</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の交付要綱を制定した。</li> <li>・ジュニア・リーダー研修会は台風のため中止した。</li> </ul>		【こども課:B】	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>・補助金の交付要綱を整備し、より公平な交付を行う。</p> <p>・課題となっている育成会事業への参加者減について、意見交換を行い、対応していく。</p>		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題)</p> <p>社会を明るくする運動については、街頭啓発活動(リーフレット配布)を従来の小・中学生から町内2ヶ所の駅に拡大し、より広範囲で多くの人に、運動のスローガンを周知できた。</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <p>松川町社会を明るくする運動を予定通り行った。街頭啓発活動や小中学校から長野県作文コンテストへの応募を行った。</p>		次期計画の方向性	以下のとおり
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>今後も保護司や更生保護女性、関係機関と連携し、啓発活動を工夫して実施していく。</p>		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		【こども課:継続維持】	<p>より公平な交付のため、交付要綱を見直す。引き続き防犯パトロールを行い、安全な環境づくりを行う。</p> <p>【保健福祉課:維持継続】</p> <p>非行や犯罪を少しでも減少させるため、社会を明るくする運動を継続していく事により、活動の周知を図っていく。</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <p>・少年警察ボランティア、子ども会育成会連絡協議会の事業として、夜間パトロールを実施した(8月)。</p> <p>・関係機関への非行防止パンフレットの配布、チャンネル・ユウを利用した啓発活動を行った。</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年警察ボランティア、子ども会育成会連絡協議会協働で、夜間パトロールを実施した(8月)。</li> <li>・関係機関への非行防止パンフレットの配布、チャンネル・ユウを利用した啓発活動を行った。</li> </ul>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>・子ども会育成会連絡協議会事業として、夜間パトロールの継続と啓発活動を継続していく。</p>		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			